Nikon

デジタルカメラ

Z fc

活用ガイド

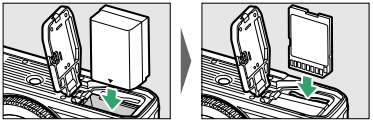
- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- 「安全上のご注意」（26ページ）も必ずお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるようにしてください。

Jp

すぐに撮影したいときは

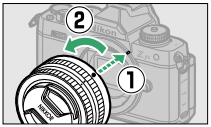
▮▮ 準備する

1 **カメラにバッテリーとメモリーカードを入れる（🕮70）**



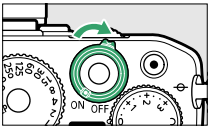
バッテリーの充電については「バッテリーを充電する」（🕮69）をご覧ください。

2 **レンズを取り付ける（🕮73）**



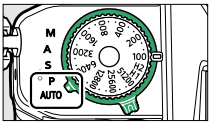
・カメラの指標とレンズの指標を合わせて（①）、図の矢印の方向に回します（②）。
・カメラにはストラップも取り付けられます。取り付け方は「ストラップを取り付ける」（🕮68）をご覧ください。

3 **カメラの電源をONにして日付と時刻を設定する（🕮76）**

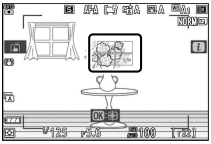


撮る（🕮77）/見る（🕮86）

1 撮影モード切り換えレバーを**AUTO**（📷）に合わせる



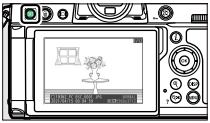
2 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、ピントを合わせる



3 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）撮影する



4 撮影した画像を確認する



すぐに撮影したいときは

便利なニコン純正スマートフォン用アプリのご紹介

● SnapBridge

SnapBridgeは、スマートフォンとカメラを無線接続することでスマートフォンへの画像転送やリモート撮影などができるアプリケーションです。

・SnapBridgeアプリはApple App Store®またはGoogle Play™でダウンロードできます。
・SnapBridgeアプリの最新情報については当社ホームページでご確認ください。

Download on the App Store

GET IT ON Google Play

すぐに撮影したいときは

カメラと付属品を確認する

万一、付属品がそろっていない場合は、ご購入店にご連絡ください。

❑ カメラ本体



❑ ボディーキャップBF-N1



❑ 接眼目当てDK-32（カメラに装着済み）（🕮515）



❑ Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL25

❑ バッテリーチャージャーMH-32

❑ ストラップ（🕮68）

❑ 保証書

❑ 使用説明書

- メモリーカードは別売です。
- レンズキットの場合はレンズも付属しています。
- 日本国内でご購入いただいたカメラは、画面の表示言語を日本語または英語に設定できます。

☑ ニコンダウンロードセンターについて

ニコンダウンロードセンターでは、ファームウェアの更新や、NX Studioなどのニコンソフトウェア、カメラやニッコールレンズ、スピードライトなどの説明書をダウンロードできます。

https://downloadcenter.nikonimglib.com/

本書について

文中のマークについて

本書では、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことなどを記載しています。
ヒント	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
	本書で関連情報が記載されているページです。

表記について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記しています。ただし、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記する場合があります。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- 撮影時の画像モニターとファインダーの表示を「撮影画面」と表記しています。イラストは主に画像モニターの表示を使用しています。
- 本書では、スマートフォンおよびタブレットを「スマートフォン」と表記しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。本書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。

⚠ 安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくは「安全上のご注意」(🕮26) をご覧ください。

目次

すぐに撮影したいときは....2
カメラと付属品を確認する....5
本書について....6
メニュー一覧....21
安全上のご注意....26
ご確認ください....30

各部の名称と機能 33

各部の名称....33
カメラ本体....33
表示パネル....37
画像モニター/ファインダー....38
各部の機能と基本的な操作....41
ファインダー....41
（モニターモード切り換え）ボタン....42
撮影モード切り換えレバー....43
シャッタースピードダイヤル....44
メインコマンドダイヤル/サブコマンドダイヤル....44
ISO感度ダイヤル....45
露出補正ダイヤル....46
画像モニター....46
タッチパネル....50
DISPボタン....56
ボタン/（?）ボタン....58
（）ボタン....58
MENUボタン....59
ボタン（メニュー）....63
Fnボタン....66

準備をする 68

ストラップを取り付ける....68
バッテリーを充電する....69

バッテリーとメモリーカードを入れる....70
バッテリー残量について....71
記録可能コマ数について....72
レンズを取り付ける....73
レンズを取り外すには....74
画像モニターを開く....75
電源をONにする....76

撮影と再生の基本操作 77

静止画を撮影する（AUTOオート）....77
動画を撮影する（AUTOオート）....82
動画モード中の静止画撮影....84
撮影した画像を確認する....86
動画の再生....86
画像の削除....88

カメラの基本機能と設定 90

ピント合わせの設定....90
フォーカスモード....90
AFエリアモード....92
タッチシャッター....100
マニュアルフォーカスでのピントの合わせ方....102
ホワイトバランス....105
ホワイトバランスの設定方法....105
サイレント撮影....110
撮影した画像のレーティング設定....112
撮影した画像のプロテクト....114

ボタンなどを使った応用撮影 115

撮影モード切り換えレバー....115
撮影モードの設定方法....115
P（プログラムオート）....116
S（シャッター優先オート）....116
A（絞り優先オート）....118
M（マニュアル）....118

ISO感度ダイヤル……124
ISO感度の設定方法……124
露出補正ダイヤル……126
露出補正の設定方法……126
AEL（OK）ボタン……129
AEロック……129
フォーカスロック……129
AEロック/フォーカスロックの方法……129

iメニューを使う　132

iメニューについて……132
静止画モード……134
ピクチャーコントロール……134
ホワイトバランス……139
画質モード……147
画像サイズ……148
フラッシュモード……149
測光モード……149
Wi-Fi通信機能……150
アクティブD-ライティング……151
レリーズモード……152
手ブレ補正……156
AFエリアモード……157
フォーカスモード……158
動画モード……159
ピクチャーコントロール……160
ホワイトバランス……160
画像サイズ/フレームレート/画質……160
マイク感度……163
風切り音低減……164
測光モード……165
Wi-Fi通信機能……165
アクティブD-ライティング……165
電子手ブレ補正……166

手ブレ補正……166
AFエリアモード……166
フォーカスモード……167

撮影した画像を見る 168

画像を再生する……168
1コマ表示モード……168
サムネイル表示モード……169
カレンダー表示モード……169
画像情報を表示する……171
標準表示……172
露出情報……173
ハイライト表示……173
RGBヒストグラム……174
撮影情報……177
位置情報表示……179
統合表示……180
*i*ボタン（再生時）……182
静止画選択時……182
動画選択時……184
動画再生一時停止時……185
画像を拡大表示する……192
拡大表示中の操作方法……192
画像を削除する……194
ボタン操作で画像を削除する……194
複数の画像をまとめて削除する……194

メニューガイド 197

初期設定一覧……197
再生メニューの初期設定……197
静止画撮影メニューの初期設定……198
動画撮影メニューの初期設定……201
カスタムメニューの初期設定……203
セットアップメニューの初期設定……208
▶再生メニュー：再生で使える便利な機能……212

削除……212
再生フォルダー設定……213
再生画面設定……213
撮影直後の画像確認……213
縦位置自動回転……214
スライドショー……214
スライドショーを再生する……215
レーティング……216
静止画撮影メニュー：静止画撮影で使える便利な機能……217
静止画撮影メニューのリセット……218
記録フォルダー設定……218
フォルダーグループ名変更……219
フォルダー番号指定……219
既存フォルダーから選択……220
ファイル名設定……222
撮像範囲設定……222
画質モード……223
画像サイズ……223
RAW記録……223
ISO感度設定……224
ホワイトバランス……226
メニューからホワイトバランスを微調整する……226
メニューの色温度設定で色温度を指定する……228
撮影済み画像のホワイトバランスデータをプリセットマニュアルデータとしてコピーする……230
ピクチャーコントロール……233
メニューからピクチャーコントロールを調整する……233
カスタムピクチャーコントロール……235
カスタムピクチャーコントロールの登録方法……236
色空間……239
アクティブD-ライティング……239
長秒時ノイズ低減……239
高感度ノイズ低減……240
ヴィネットコントロール……241

回折補正 241
自動ゆがみ補正 241
フリッカー低減撮影 242
測光モード 242
フラッシュ発光 243
発光モード 243
ワイヤレス設定 244
グループ発光設定 244
フラッシュモード 245
フラッシュ調光補正 245
レリーズモード 245
フォーカスモード 245
AFエリアモード 246
手ブレ補正 246
オートブラケティング 246
AEブラケティング、フラッシュブラケティングの撮影方法 247
WBブラケティングの撮影方法 252
ADLブラケティングの撮影方法 254
多重露出 257
多重露出の撮影方法 259
HDR（ハイダイナミックレンジ） 265
HDRの撮影方法 266
インターバルタイマー撮影 271
インターバルタイマー撮影の撮影方法 273
タイムラプス動画 282
タイムラプス動画の撮影方法 284
フォーカスシフト撮影 290
フォーカスシフト撮影の撮影方法 291
サイレント撮影 298
動画撮影メニュー：動画撮影で使える便利な機能 300
動画撮影メニューのリセット 301
ファイル名設定 301
画像サイズ/フレームレート 301

動画の画質 301
動画記録ファイル形式 302
ISO感度設定 302
ホワイトバランス 303
ピクチャーコントロール 304
カスタムピクチャーコントロール 304
アクティブD-ライティング 304
高感度ノイズ低減 305
ヴィネットコントロール 305
回折補正 305
自動ゆがみ補正 305
フリッカー低減 305
測光モード 306
レリーズモード（フレーム保存） 306
フォーカスモード 307
AFエリアモード 307
手ブレ補正 307
電子手ブレ補正 307
マイク感度 307
アッテネーター 308
録音帯域 308
風切り音低減 309
タイムコード 309
カスタムメニュー：撮影に関するさらに詳細な設定 311
カスタムメニューのリセット 313
a：オートフォーカス 314
a1：AF-C モード時の優先 314
a2：AF-Sモード時の優先 314
a3：AFロックオン 315
a4：AF点数 315
a5：縦/横位置フォーカスポイント切換 316
a6：半押しAFレンズ駆動 317
非合焦時のレリーズ 317
a7：AFエリアモードの限定 318

a8：フォーカスポイント循環選択 318
a9：フォーカスポイント表示の設定 318
マニュアルフォーカス時の表示 319
ダイナミックAFモード時のアシスト表示 319
a10：ローライトAF 319
a11：内蔵AF補助光の照射設定 320
a12：AF設定時のフォーカスリング操作 321
b：露出・測光 321
b1：露出補正簡易設定 321
b2：中央部重点測光範囲 322
b3：基準露出レベルの調節 322
b4：AUTOモード時の露出補正 323
c：AEロック・タイマー 323
c1：シャッターボタンAEロック 323
c2：セルフタイマー 323
c3：パワーオフ時間 324
d：撮影・記録・表示 324
d1：低速連続撮影速度 324
d2：連続撮影コマ数 324
d3：露出ディレーモード 325
d4：シャッター方式 325
d5：Mモード時のシャッタースピード延長 326
d6：連番モード 326
d7：Lvに撮影設定を反映 327
d8：格子線表示 328
d9：フォーカスピーキング 328
ピーキングの検出 328
ピーキング表示色 328
d10：連続撮影中の表示 328
e：フラッシュ・BKT撮影 328
e1：フラッシュ撮影同調速度 328
e2：フラッシュ時シャッタースピード制限 330
e3：フラッシュ使用時の露出補正 330
e4：ϟ使用時の感度自動制御 331

e5：BKT変化要素（M モード）……331
e6：BKTの順序……332
f：操作……333
f1：メニューのカスタマイズ……333
Bluetooth通信機能……334
f2：カスタムボタンの機能（撮影）……334
f3：カスタムボタンの機能（再生）……342
f4：コマンドダイヤルの設定……343
回転方向の変更……343
メインとサブの入れ換え……343
再生/メニュー画面で使用……344
サブコマンドダイヤルで画像送り……345
f5：ボタンのホールド設定……345
f6：インジケーターの＋ / －方向……346
g：動画……346
g1：メニューのカスタマイズ……346
Bluetooth通信機能……347
g2：カスタムボタンの機能……347
g3：AF速度……352
g4：AF追従感度……353
g5：ハイライト表示……353
表示パターン……353
ハイライト表示のしきい値……354
セットアップメニュー：カメラを使いやすくする基本設定……355
カードの初期化（フォーマット）……356
言語（Language）……356
タイムゾーンと日時……357
モニターの明るさ……357
モニターのカラーカスタマイズ……358
ファインダーの明るさ……359
ファインダーのカラーカスタマイズ……359
モニターモードの限定……360
インフォ画面の表示設定……360
AF微調節の設定……360

AF微調節の設定と微調節値の登録方法 362
未登録レンズ装着時の微調整値の設定方法 362
レンズ情報手動設定 363
フォーカス位置の記憶 363
イメージダストオフデータ取得 363
イメージダストオフデータ取得の手順 364
ピクセルマッピング 365
画像コメント 366
コメント入力 366
コメント添付 366
著作権情報 367
撮影者名入力、著作権者名入力 367
著作権情報添付 367
電子音 368
電子音設定 368
音量 368
音の高さ 368
タッチ操作 368
タッチ操作の設定 369
1コマ送り時のフリック操作 369
自分撮りモード 369
HDMI 369
機内モード 369
スマートフォンと接続 370
ペアリング（Bluetooth） 370
送信指定（Bluetooth） 370
Wi-Fi接続 371
電源OFF中の通信 372
位置情報（スマートフォン） 372
PCと接続 372
Wi-Fi通信機能 372
接続設定 372
オプション 373
MACアドレス 374

リモコン（ML-L7）設定 374
リモコン接続 375
リモコン登録 375
リモコン登録の解除 375
Fn1ボタンの機能/Fn2ボタンの機能 375
認証情報 376
USB給電 376
パワーセーブ（静止画モード） 377
カードなし時レリーズ 378
メニュー設定の保存と読み込み 378
保存 381
読み込み 381
カメラの初期化 382
ファームウェアバージョン 382
画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能 384
画像編集の操作方法 385
RAW現像（パソコンを使わずにRAW画像をJPEG画像に変換する） 387
トリミング 391
リサイズ 392
複数の画像を選んでリサイズ画像を作成する 392
D-ライティング 395
赤目補正 396
傾き補正 397
ゆがみ補正 397
アオリ効果 398
モノトーン 398
画像合成 399
加算 399
比較明合成、比較暗合成 403
動画編集（始点/終点設定） 405
マイメニュー/最近設定した項目 406
マイメニュー：よく使うメニューを登録する 406
最近設定した項目：最近設定したメニューをたどる 411

パソコン/スマートフォンと無線接続する 412

カメラのネットワークシステム....412
パソコンとWi-Fi接続する....413
Wi-Fi接続してできること....413
Wireless Transmitter Utilityについて....413
カメラとパソコンの接続方法について....413
アクセスポイントモードの接続設定....415
インフラストラクチャーモードの接続設定....421
パソコンに画像を送信する....428
ネットワーク接続を解除/再接続する....431
スマートフォンと接続する....433
SnapBridgeアプリについて....433
SnapBridgeアプリを使ってできること....433
スマートフォンと無線接続するには....434
Bluetooth接続（ペアリング）....434
Wi-Fiモード（Wi-Fiで接続）....437
トラブルシューティング....441

パソコン/HDMI対応機器と有線接続する 442

パソコンとUSBケーブルで接続する....442
NX Studioをインストールする....442
NX Studioを使ってパソコンに画像を取り込む....443
HDMI対応機器と接続する....447
テレビと接続する....447
外部レコーダーと接続する....447

スピードライトをカメラに装着して撮影する 450

フラッシュ撮影の方法....450
一灯撮影....450
増灯撮影....450
別売スピードライトをカメラに装着して撮影する（一灯撮影）....451
カメラに装着したスピードライトの発光モードを設定する....454
フラッシュモードを設定する....455
調光補正してフラッシュの発光量を変更する....457
FVロックして調光量を固定する....458

複数のスピードライトをワイヤレスで制御する（増灯撮影） 461

増灯撮影とは....461
リモートフラッシュを制御する....462
SB-500を使用して撮影する....462

困ったときは 466

お問い合わせになる前に....466
故障かな？と思ったら....468
電源・表示関連....468
撮影関連....468
再生関連....473
Wi-Fi（無線LAN）およびBluetooth関連....474
その他....475
警告表示と警告メッセージ....476
警告表示....476
警告メッセージ....478

資料 481

使用できるレンズ....481
全画面表示....482
画像モニター....482
ファインダー....490
使用できるスピードライト....495
ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）について....495
ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組み合わせで使用できる機能....495
スピードライト使用時のご注意とヒント....510
使用できるアクセサリー....514
本体充電ACアダプターを使用して充電する....516
リモコンML-L7について....518
ソフトウェア/アプリケーション....525
カメラのお手入れについて....526

保管について……526
クリーニングについて……526
撮像素子前面をブロアーで掃除する……527
カメラとバッテリーの使用上のご注意……529
カメラの取り扱い上のご注意……529
バッテリーの使用上のご注意……532
チャージャーの使用上のご注意……534
本体充電ACアダプターの使用上のご注意……534
主な仕様……535
ニコンデジタルカメラ Z fc……535
使用できるメモリーカード……545
外部充電池（モバイルバッテリー）……546
記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数……547
撮影可能コマ数（電池寿命）について……548
AF補助光撮影に制限のあるレンズについて……550
商標およびソフトウェアの著作権とライセンスについて……551
Wi-Fi（無線LAN）機能/Bluetooth機能について……554
ファームウェアバージョンアップによる変更内容　557
バージョンアップ方法について……557
ファームウェア（C: 1.30）による変更点について……558
カスタムメニューf2［カスタムボタンの機能（撮影）］/ g2［カスタムボタンの機能］に［フォーカス位置の登録］/［フォーカス位置の呼び出し］の追加……558
ファームウェア（C: 1.40）による変更点について……561
パワーズームレンズに対応……561
セットアップメニューに［USB］追加……563
リモートグリップMC-N10に対応……563
索引　564

メニュー一覧

このカメラには次のメニューがあります。各メニューの詳細については、「メニューガイド」をご覧ください。

再生メニュー
削除
再生フォルダー設定
再生画面設定
撮影直後の画像確認
縦位置自動回転
スライドショー
レーティング

静止画撮影メニュー
静止画撮影メニューのリセット
記録フォルダー設定
ファイル名設定
撮像範囲設定
画質モード
画像サイズ
RAW記録
ISO感度設定
ホワイトバランス
ピクチャーコントロール
カスタムピクチャーコントロール
色空間
アクティブD-ライティング
長秒時ノイズ低減
高感度ノイズ低減
ヴィネットコントロール
回折補正
自動ゆがみ補正
フリッカー低減撮影
測光モード
フラッシュ発光
フラッシュモード
フラッシュ調光補正
レリーズモード
フォーカスモード

静止画撮影メニュー
AFエリアモード
手ブレ補正
オートブラケティング
多重露出
HDR（ハイダイナミックレンジ）
インターバルタイマー撮影
タイムラプス動画
フォーカスシフト撮影
サイレント撮影

動画撮影メニュー
動画撮影メニューのリセット
ファイル名設定
画像サイズ/フレームレート
動画の画質
動画記録ファイル形式
ISO感度設定
ホワイトバランス
ピクチャーコントロール
カスタムピクチャーコントロール
アクティブD-ライティング
高感度ノイズ低減
ヴィネットコントロール
回折補正
自動ゆがみ補正
フリッカー低減
測光モード
レリーズモード（フレーム保存）
フォーカスモード
AFエリアモード
手ブレ補正
電子手ブレ補正
マイク感度
アッテネーター
録音帯域
風切り音低減
タイムコード

カスタムメニュー	
カスタムメニューのリセット	
a オートフォーカス	
a1	AF-Cモード時の優先
a2	AF-Sモード時の優先
a3	AFロックオン
a4	AF点数
a5	縦/横位置フォーカスポイント切換
a6	半押しAFレンズ駆動
a7	AFエリアモードの限定
a8	フォーカスポイント循環選択
a9	フォーカスポイント表示の設定
a10	ローライトAF
a11	内蔵AF補助光の照射設定
a12	AF設定時のフォーカスリング操作
b 露出・測光	
b1	露出補正簡易設定
b2	中央部重点測光範囲
b3	基準露出レベルの調節
b4	AUTOモード時の露出補正
c AEロック・タイマー	
c1	シャッターボタンAEロック
c2	セルフタイマー
c3	パワーオフ時間
d 撮影・記録・表示	
d1	低速連続撮影速度
d2	連続撮影コマ数
d3	露出ディレーモード

カスタムメニュー	
d4	シャッター方式
d5	Mモード時のシャッタースピード延長
d6	連番モード
d7	Lvに撮影設定を反映
d8	格子線表示
d9	フォーカスピーキング
d10	連続撮影中の表示
e フラッシュ・BKT撮影	
e1	フラッシュ撮影同調速度
e2	フラッシュ時シャッタースピード制限
e3	フラッシュ使用時の露出補正
e4	ϟ使用時の感度自動制御
e5	BKT変化要素（Mモード）
e6	BKTの順序
f 操作	
f1	iメニューのカスタマイズ
f2	カスタムボタンの機能（撮影）
f3	カスタムボタンの機能（再生）
f4	コマンドダイヤルの設定
f5	ボタンのホールド設定
f6	インジケーターの+/−方向
g 動画	
g1	iメニューのカスタマイズ
g2	カスタムボタンの機能
g3	AF速度
g4	AF追従感度
g5	ハイライト表示

セットアップメニュー
カードの初期化（フォーマット）
言語（Language）
タイムゾーンと日時
モニターの明るさ
モニターのカラーカスタマイズ
ファインダーの明るさ
ファインダーのカラーカスタマイズ
モニターモードの限定
インフォ画面の表示設定
AF微調節の設定
レンズ情報手動設定
フォーカス位置の記憶
イメージダストオフデータ取得
ピクセルマッピング
画像コメント
著作権情報
電子音
タッチ操作
自分撮りモード
HDMI
機内モード
スマートフォンと接続
PCと接続
リモコン（ML-L7）設定
認証情報
USB給電
パワーセーブ（静止画モード）
カードなし時レリーズ

セットアップメニュー
メニュー設定の保存と読み込み
カメラの初期化
ファームウェアバージョン

画像編集メニュー
RAW現像
トリミング
リサイズ
D-ライティング
赤目補正
傾き補正
ゆがみ補正
アオリ効果
モノトーン
画像合成
動画編集（始点/終点設定）

マイメニュー
マイメニュー登録
登録項目の削除
登録項目の順序変更
このタブの機能変更

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書をお読みになった後は、いつでも参照できるようにしてください。

危険 「死亡または重傷を負うおそれが大きい内容」です。

警告 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

は、してはいけない内容です。

分解、修理または改造してはいけない内容です。

人体やものに密着させてはいけない内容です。

は、実行しなければならない内容です。

警告

歩きながらや運転・操縦しながらの操作はしない
事故やけがの原因になります。

分解、修理または改造をしない
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電源を取り外す
放置すると、発火、やけどの原因になります。

水でぬらさない
ぬれた手で触らない
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電や発火の原因になります。

電源を入れたまま長時間直接触らない
低温やけどの原因になります。

引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。

レンズで直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障碍の原因になります。

フラッシュやAF補助光を運転者にむけて発光しない
事故の誘発につながります。

幼児の手の届くところに置かない
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

ストラップ類を首に巻きつけない
事故の原因になります。

指定外の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルは使わない
指定の電池、充電器、ACアダプター、USBケーブルを使う際は、以下の点に注意する
- **コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない**
  重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、無理に曲げたりしない
- **海外旅行者用電子式変電圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わない**

発火、感電の原因になります。

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触らない
感電の原因になります。

高温環境や低温環境では、直接触らない
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

⚠ 注意

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない
集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらしてください。
画角から太陽をわずかに外しても、発火の原因になります。

使用が禁止されている場所では、電源をOFFにする
無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しないようにする
医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に悪影響を与えるおそれがあります。

長時間使わないときは、電池やACアダプターを取り外す
故障や発火の原因になります。

フラッシュを人体やものに密着させて発光させない
やけどや発火の原因になります。

夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない
故障や発火の原因になります。

AF補助光を直接見ない
視覚に悪影響を及ぼすことがあります。

三脚などにカメラやレンズを取り付けたまま移動しない
故障やけがの原因になります。

⚠ 危険（電池について）

電池は誤った使いかたをしない
注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 充電池は、専用の充電池以外を使わない
- 電池を火の中に入れたり、加熱したりしない
- 電池を分解しない
- 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させてショート（短絡）しない
- 電池、または電池の入った製品に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
- 電池に釘を刺したり、電池をハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない

指定の方法で充電する
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受ける
放置すると、目に傷害を与える原因になります。

航空機内に持ち込むときは、航空会社の指示に従う
超高度の気圧が低いところに放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

警告（電池について）

電池を乳幼児の手の届く所に置かない
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

電池をペットなどが触れる場所に置かない
噛みつきなどにより、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

水につけたり、雨にぬらしたりしない
発火や故障の原因になります。
ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってください。

変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない
リチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25は、所定の時間を超えても充電が完了しなければ、充電を中止する
放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

使用済みの電池は、ビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水で洗い流す
放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。

ご確認ください

● 保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、直ちに購入店にご請求ください。

● カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。
https://www.nikon-image.com/support/

● 大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

● 本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（レンズ、スピードライト、バッテリー、チャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。



- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

● メモリーカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後はメモリーカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- メモリーカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やカメラやメモリーカードの故障の原因となります。
  - メモリーカードの着脱をしないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
- 端子部に手や金属を触れないでください。
- メモリーカードに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

● 本書について

- 本書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。

・製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
・「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入できます（有料）。

● 著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合がありますのでご注意ください。

● 電波障害自主規制について

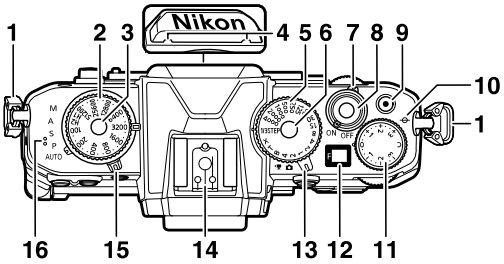
この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

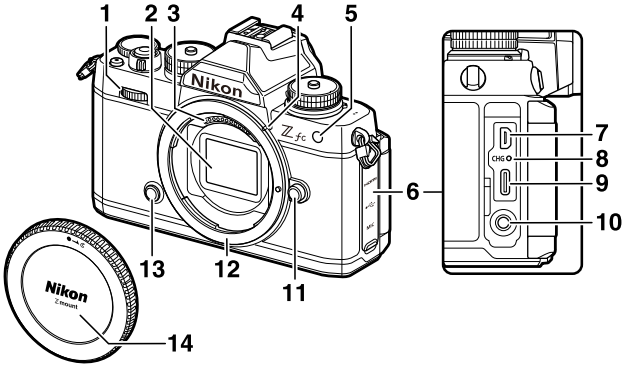
各部の名称と機能

各部の名称

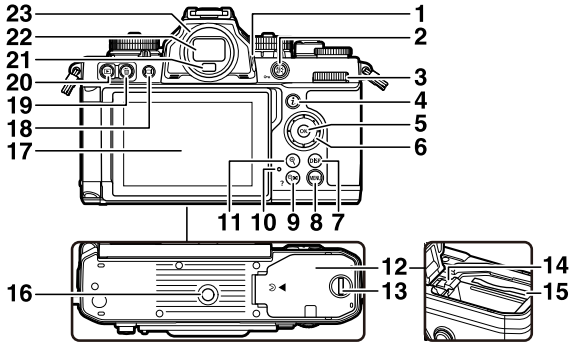
カメラ本体



1	ストラップ取り付け部（吊り金具）（🕮68）
2	ISO感度ダイヤル（🕮45、🕮124）
3	ISO感度ダイヤルロックボタン（🕮45、🕮124）
4	マイク（ステレオ）（🕮82）
5	シャッタースピードダイヤル（🕮44、🕮116）
6	シャッタースピードダイヤルロックボタン（🕮44、🕮116）
7	電源スイッチ（🕮76）
8	シャッターボタン（🕮77）
9	動画撮影ボタン（🕮82）
10	⊖距離基準マーク（🕮103）
11	露出補正ダイヤル（🕮46、🕮126）
12	表示パネル（🕮37）
13	静止画/動画切り換えレバー（🕮77、🕮82）
14	フラッシュ取り付け部（アクセサリーシュー）（🕮451、🕮495）
15	撮影モード切り換えレバー（🕮43、🕮115）
16	スピーカー（🕮87）



1	サブコマンドダイヤル（🕮44）
2	イメージセンサー（撮像素子）（🕮527）
3	レンズ信号接点
4	レンズ着脱指標（🕮73）
5	AF補助光ランプ（🕮79、🕮320） 赤目軽減ランプ（🕮149、🕮455） セルフタイマーランプ（🕮155）
6	HDMI端子/USB端子/マイク端子カバー
7	HDMI端子（🕮447）
8	チャージLED（🕮516）
9	USB端子（🕮376、🕮442）
10	外部マイク入力端子（🕮516）
11	レンズ取り外しボタン（🕮74）
12	レンズマウント（🕮73、🕮103）
13	Fnボタン（🕮66、🕮105）
14	ボディーキャップ（🕮73）



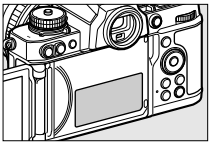
1	視度調節ダイヤル（🕮41）
2	🔒（🔑）ボタン（🕮58、🕮114、🕮129）
3	メインコマンドダイヤル（🕮44）
4	**i**ボタン（🕮63、🕮132）
5	**OK**ボタン（🕮60）
6	マルチセレクター（🕮60、🕮96）
7	**DISP**ボタン（🕮56）
8	**MENU**ボタン（🕮59、🕮197）
9	🔍（**?**）ボタン（🕮58、🕮63、🕮168、🕮192）
10	メモリーカードアクセスランプ（🕮80、🕮84）
11	🔍ボタン（🕮58、🕮102、🕮168、🕮192）
12	バッテリー/メモリーカードカバー
13	バッテリー/メモリーカードカバー開閉ノブ
14	バッテリーロックレバー（🕮70）
15	メモリーカードスロット（🕮70）
16	三脚ネジ穴
17	画像モニター（🕮46、🕮50、🕮100）
18	**I◻I**ボタン（🕮42、🕮360）
19	🗑ボタン（🕮88、🕮194）
20	▶ボタン（🕮86、🕮168）
21	アイセンサー（🕮41）
22	ファインダー（🕮41）
23	接眼目当て（🕮515）

イメージセンサー（撮像素子）に触れない

イメージセンサー（撮像素子）を押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。撮像素子のお手入れについては「撮像素子前面をブロアーで掃除する」（🕮527）をご覧ください。

製品番号について

このカメラの製品番号は、画像モニターを開いて確認できます。



表示パネル

カメラの電源をONにすると、表示パネルが点灯します。

表示パネルには、絞り値が表示されます（🕮118、🕮118）。

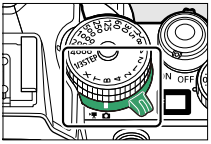


- 絞り値をF0.95に設定した場合、表示パネルには［**.95**］と表示されます。
- ［**Mモード時のシャッタースピード延長**］を［**する**］に設定した場合、シャッタースピードを60秒または60秒よりも長くして撮影を開始すると、露光中を示す表示に切り替わります。
- レンズの装着状態によっては、警告を示す［**--**］が表示されることがあります（🕮476）。
- パソコンやスマートフォンなどと接続すると、接続中を示す［**PC**］が表示されることがあります。

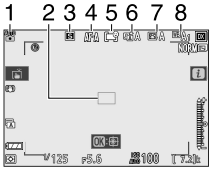
画像モニター/ファインダー

■■ 静止画モードの場合

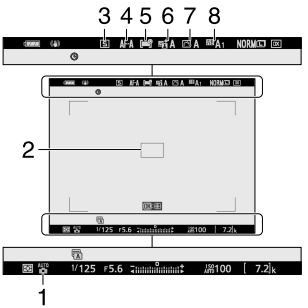
初期設定では、画像モニターやファインダーに次のような情報が表示されます。全点灯画面については、「資料」の「全画面表示」（🕮482）をご覧ください。



画像モニター

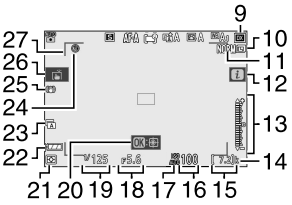


ファインダー

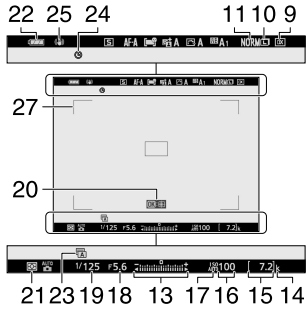


1	撮影モード（🕮115）
2	フォーカスポイント（🕮92）
3	レリーズモード（🕮152）
4	フォーカスモード（🕮90）
5	AFエリアモード（🕮92）
6	アクティブD-ライティング（🕮151）
7	ピクチャーコントロール（🕮134、🕮233）
8	ホワイトバランス（🕮105、🕮139、🕮226）

画像モニター

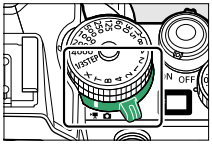


ファインダー

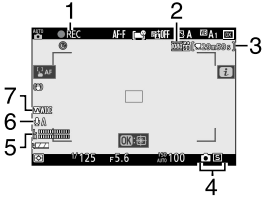


9	撮像範囲（🕮222）
10	画像サイズ（🕮148）
11	画質モード（🕮147）
12	iメニュー（🕮132）
13	インジケーター 露出（🕮120） 露出補正（🕮126）
14	1000コマ以上補助表示（🕮72）
15	記録可能コマ数（🕮72、🕮547）
16	ISO感度（🕮124）
17	ISO感度マーク（🕮124） ISO-AUTOマーク（🕮224）
18	絞り値（🕮118、🕮118）
19	シャッタースピード（🕮116、🕮118）
20	ターゲット追尾AF（🕮99）
21	測光モード（🕮149）
22	バッテリー残量表示（🕮71）
23	シャッター方式（🕮325）
24	⏲マーク（🕮76）
25	手ブレ補正（🕮156）
26	タッチ撮影機能（🕮100）
27	AFエリアフレーム（🕮92）

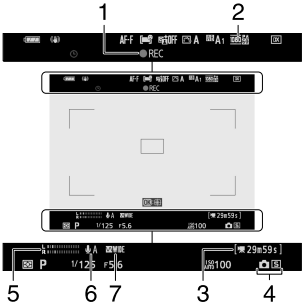
動画モードの場合



画像モニター



ファインダー

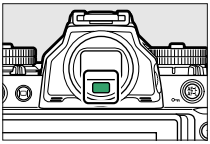


1	録画中マーク（🕮82） 動画記録禁止マーク（🕮84）
2	画像サイズ/フレームレート/画質（🕮160）
3	動画記録残り時間（🕮82）
4	静止画撮影のレリーズモード（🕮306）
5	音声レベルインジケーター（🕮163）
6	マイク感度（🕮163）
7	録音帯域（🕮308）

各部の機能と基本的な操作

ファインダー

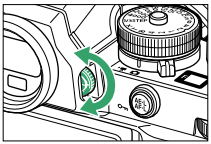
・ファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応して、画像モニターの表示が消えてファインダー表示に切り替わります。指などを近づけてもアイセンサーが反応します。



・ファインダー表示時は、メニューや再生画面もファインダーで見ることができます。

視度調節ダイヤルについて

・視度調節ダイヤルを回すと、ファインダー内がはっきり見えるように調節できます。



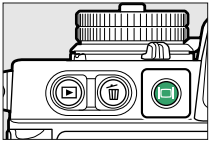
・爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。

ヒント: 長時間ファインダー撮影をする場合

カスタムメニューd7［**Lvに撮影設定を反映**］を［**しない**］に設定すると、撮影画面が見やすい色味や明るさで表示されます。

|□|（モニターモード切り換え）ボタン

ファインダーと画像モニターの表示設定を切り換えることができます。



|□|ボタンを押すたびに、次のようにモニターモードが切り替わります。

［**自動表示切り換え**］：アイセンサーにより、ファインダーの表示と画像モニターの表示が自動的に切り替わります。



［**ファインダーのみ**］：画像モニターには何も表示されなくなります。メニューの設定や撮影した画像の確認などもすべてファインダーで行ってください。



［**モニターのみ**］：画像モニターのみを使用して撮影や設定をする場合に選びます。ファインダーに顔を近づけてもファインダーには何も表示されません。



［**ファインダー優先**］：これまでのデジタル一眼レフカメラと似た動作になります。

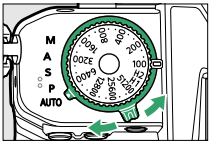


・静止画モードの場合、ファインダーに顔を近づけるとファインダーに撮影画面が表示されますが、顔を離しても画像モニターには撮影画面は表示されません。
・メニュー画面や再生画面、動画モードの撮影画面は、アイセンサーにより自動的に切り替わります。

ヒント: 使用するモニターモードを限定する
セットアップメニュー［**モニターモードの限定**］で表示設定を限定できます。

撮影モード切り換えレバー

撮影モード切り換えレバーを回すと撮影モードを変更できます。



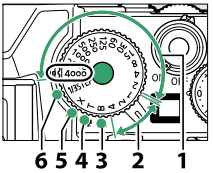
モード		内容
AUTO（AUTO）	**オート**	カメラまかせの簡単な操作で撮影を楽しむことができます（🕮77、🕮82）。
P	**プログラムオート**	シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S	**シャッター優先オート**	シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A	**絞り優先オート**	絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。

モード		内容
M	マニュアル	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。

シャッタースピードダイヤル

撮影モードが**S**または**M**の時にシャッタースピードダイヤルを回すと、シャッタースピードを設定できます。

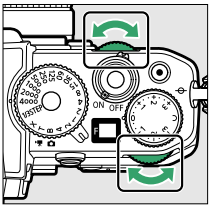
［**X**］、［**T**］に合わせたり、［**1/3STEP**］、［**X**］、［**T**］、［**B**］から変更したりするには、シャッタースピードダイヤルロックボタンを押しながら回します。



1 1/4000〜1/2秒
2 1〜4秒（赤文字）
3 **B**（Bulb）（🕮121）
4 **T**（Time）（🕮121）
5 **X**（フラッシュシンクロ）（🕮328）
6 **1/3STEP**（1/3ステップ）（🕮117）

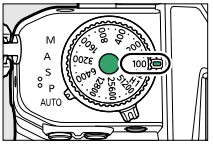
メインコマンドダイヤル/サブコマンドダイヤル

コマンドダイヤルを回すと、絞り値やカメラのボタンに割り当てられた機能の設定を変更できます。



ISO感度ダイヤル

ISO感度ダイヤルロックボタンを押しながらISO感度ダイヤルを回すと、撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度（ISO感度）を変更できます。



▮▮ 静止画撮影時

ISO感度ダイヤルロックボタンを押しながらISO感度ダイヤルを回すと、ISO感度を設定できます。

- 撮影モードが^{AUTO}📷の場合、**ISO-A（AUTO）**に固定され、カメラが自動的にISO感度を設定します。

▮▮ 動画撮影時

次のように設定した場合のみISO感度を設定できます。それ以外の場合は、カメラが自動的にISO感度を設定します。

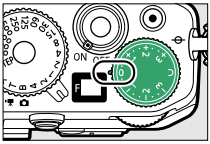
- 撮影モード：**M**
- 動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**Mモード時の感度自動制御**］：［**しない**］

ISO感度ダイヤルロックボタンを押しながらISO感度ダイヤルを回すと、ISO感度を設定できます。

- ISO 感度は**ISO 100**～**25600**の間で設定できます。ISO感度ダイヤルをそれ以外に合わせた場合、**ISO 25600**に設定されます。

露出補正ダイヤル

露出補正ダイヤルを回すと、カメラが制御する適正露出値を意図的にずらせます。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。



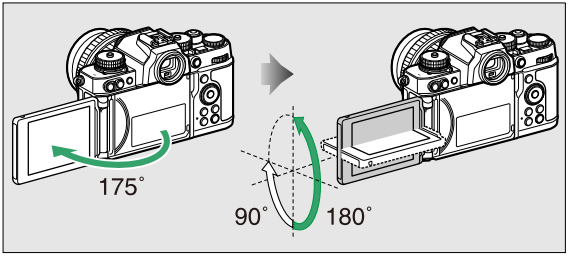


−1段補正　　露出補正なし　　＋1段補正

・被写体を明るくしたいときは＋側に、暗くしたいときは−側に補正してください。

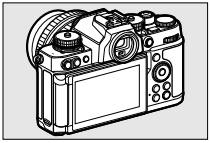
画像モニター

このカメラの画像モニターは、向きや角度を変えて使えます。



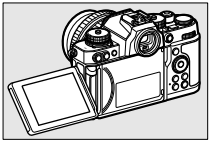
● 通常の撮影

通常の撮影では、画像モニターを外側にしてカメラ本体に収納した状態でお使いください。



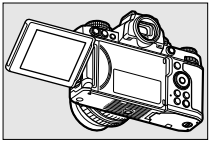
● ローアングル撮影

画像モニターを上に向けると、カメラを低い位置に構えて撮影できます。



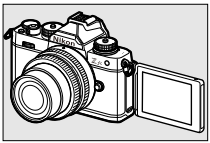
● ハイアングル撮影

画像モニターを下に向けると、カメラを高い位置に構えて撮影できます。



● 自分撮りモード

画像モニターをカメラ前面に向けると、自分撮りモードに切り替わります（🕮48）。



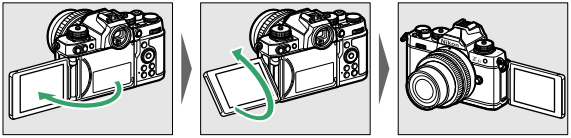
☑ 画像モニター取り扱い上のご注意

- 画像モニターを回転させる場合は、回転範囲内でゆっくりと回してください。無理な力がかかると、カメラ本体や画像モニターの破損の原因となります。
- 画像モニターを使用しないときは、傷や汚れを防ぐためにモニター画面を内側にしてカメラ本体に収納することをおすすめします。
- 画像モニター部分をつかんで、カメラを持ち上げたりしないでください。カメラが破損するおそれがあります。

▮▮ 自分撮りモードで撮影する

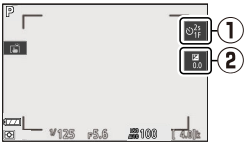
画像モニターを自分撮りモードのポジションにセットすると自分撮りモードに切り替わります。

画像モニターには鏡に映ったような状態（鏡像）で表示されますが、画像はカメラから見た状態（正像）で記録されます。



- 自分撮りモードにすると、画像モニターをタッチしてセルフタイマーの設定が行えます。
- 自分撮りモードで露出補正ダイヤルを［**C**］に合わせると、画像モニターをタッチして露出補正の設定も行えます。
- セルフタイマーアイコン（**①**）をタッチすると、シャッターがきれるまでの時間と撮影する枚数を設定できます。

・露出補正アイコン（②）をタッチすると、画像の明るさの設定を変更できます。



・シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせを行います。全押しすると静止画を撮影します。
・タッチAFやタッチシャッターも使用できます。
・動画モードの場合、動画撮影ボタンを押すと動画を撮影します。
・画像モニターを自分撮りモードのポジションから動かすと、自分撮りモードを終了します。

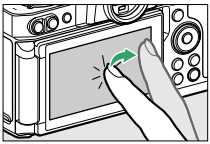
☑ 自分撮りモードについて

自分撮りモードでは次の点にご注意ください。

・自分撮りモード中は、電源スイッチ、シャッターボタン、動画撮影ボタン、静止画/動画切り換えレバー、撮影モード切り換えレバー、シャッタースピードダイヤル、ISO感度ダイヤル、露出補正ダイヤル以外の操作は無効になります。
・カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］の設定が1分未満の場合は約1分間、1分以上の場合は設定した時間何も操作が行われないと、半押しタイマーがオフになります。
・次の設定が固定されます。
- ［**レリーズモード**］：［**セルフタイマー**］
- 動画撮影メニューの［**フォーカスモード**］：［**フルタイムAF**］
- ［**タッチ操作**］の［**タッチ操作の設定**］：［**有効**］
・ファインダーは使用できません。
・次の機能は使用できません。
- ［**長秒時ノイズ低減**］
- ［**オートブラケティング**］
- ［**HDR（ハイダイナミックレンジ）**］
- ［**露出ディレーモード**］
- ［**Mモード時のシャッタースピード延長**］
・セットアップメニューの［**自分撮りモード**］（🕮369）を［**無効**］に設定すると、画像モニターを自分撮りモードのポジションにセットしても自分撮りモードに切り替わりません。

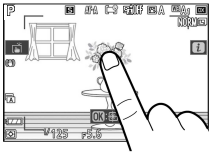
タッチパネル

このカメラの画像モニターはタッチパネルになっており、指で画面に触れて操作できます。ファインダーを見ながら撮影する場合はタッチ操作は無効になり、ピント合わせなどは行えません。



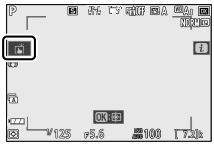
ピントを合わせる/シャッターをきる

・画像モニターをタッチすると、その場所にピントを合わせます（タッチAF）。



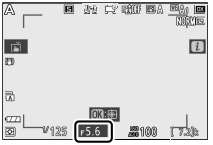
・静止画モードの場合は画像モニターをタッチして指を放すと、シャッターがきれます（タッチシャッター）。

・をタッチすると、タッチAFやタッチシャッターの設定を変更できます（100）。

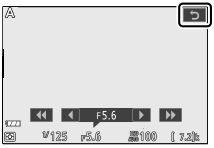


設定を変更する

・枠が表示されたアイコンをタッチすると、設定を変更できます。

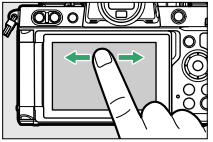


・アイコンやスライドバーをタッチして項目や数値を選びます。
・↩をタッチするかⓀボタンを押すと設定を決定して前の画面に戻ります。

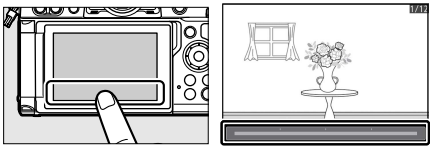


再生画面を切り換える

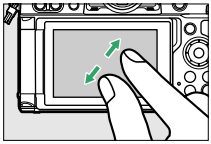
・1コマ表示時に左右にフリックすると、前後の画像を表示します。



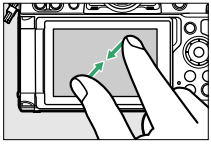
・1コマ表示時に画面下部をタッチすると、フレームアドバンスバーが表示されます。フレームアドバンスバーに触れたまま指を左右にスライドすると、前後の画像を高速で切り換えられます。



・1コマ表示時に広げる操作をするか、画像モニターを素早く2回タッチすると、拡大表示します。拡大表示した状態でさらに広げる操作をすると拡大率が上がり、つまむ操作をすると拡大率が下がります。



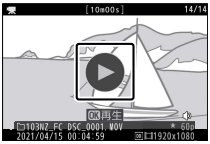
・拡大表示時に画像モニターでスライド操作をすると、見たい部分に移動できます。
・拡大表示時に画像モニターを素早く2回タッチすると、拡大表示を解除します。
・1コマ表示時につまむ操作をすると、サムネイル表示します。サムネイル表示で広げる/つまむ操作をすると、表示コマ数（4コマ/9コマ/72コマ）が切り替わります。



・72コマ表示時につまむ操作をすると、サムネイル表示からカレンダー表示に切り替わります。72コマ表示に切り換えるには、広げる操作をします。

動画を再生する

- 🎥が表示されている画像で、操作ガイドをタッチすると再生します。



- 再生中に画像モニターをタッチすると一時停止します。もう一度タッチすると再生を再開します。
- 再生中に↩をタッチすると、再生を終了して1コマ表示モードに戻ります。

*i*メニューを設定する

- 撮影時に画像モニターの*i*をタッチすると*i*メニュー（📖63、📖132）が表示されます。



- 設定したい項目をタッチすると、設定項目の内容を変更できます。



文字を入力する

・文字入力画面が表示された場合、キーボードエリアで文字をタッチして入力できます。

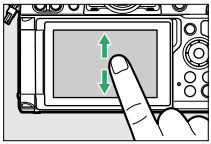


1 入力エリア
2 キーボードエリア
3 文字種変更

・入力エリアをタッチするか◀▶をタッチすると、文字の入力位置を移動できます。
・文字種変更アイコンをタッチすると、アルファベット大文字/小文字/記号を切り換えられます。

メニューを設定する

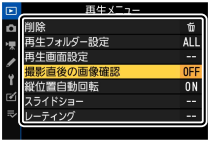
・上下にスライドすると、メニュー画面がスクロールします。



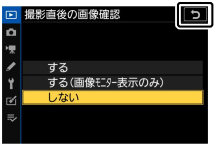
・画面左端のアイコンをタッチすると、選んだアイコンのメニュー画面が表示されます。



・メニュー項目をタッチすると、設定項目の内容を変更できます。アイコンやスライドバーをタッチして項目や数値を選びます。



・↩をタッチすると、設定を変更しないで前の画面に戻ります。



タッチパネルについてのご注意

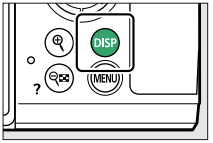
・このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
・先のとがった硬い物で押さないでください。
・タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
・市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。
・タッチパネルに指が触れたまま、別の指でタッチすると、適切に動作しないことがあります。

ヒント: タッチ操作の有効/無効について

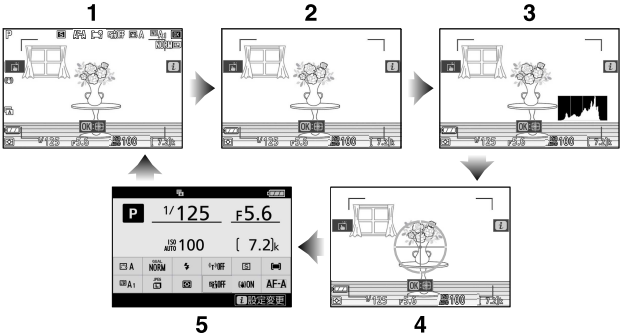
セットアップメニュー［**タッチ操作**］で、タッチ操作の有効/無効を切り換えられます。

DISPボタン

DISPボタンを押すたびに、次のように画面の表示が切り替わります。



■■ 静止画モードの場合



1	情報表示あり
2	シンプル表示
3	ヒストグラム※1、2
4	水準器表示
5	インフォ画面（🕮482）

※1　カスタムメニューd7［**Lvに撮影設定を反映**］が［**する**］の場合に表示されます。

※2　多重露出撮影中で、［**確認撮影**］を［**する**］に設定している場合は表示されません。

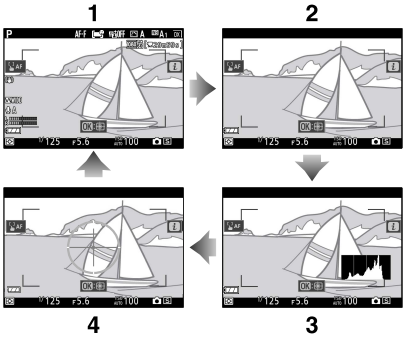
ヒント: ファインダーの表示について

ファインダー使用時も、**DISP**ボタンを押すと表示される情報が切り替わります。ただし、インフォ画面は表示されません。

ヒント: 情報表示の消灯について

カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］で［**ライブビュー情報表示の消灯**］を割り当てると、ボタンを押すだけで情報表示を消灯できます。もう一度押すと再表示します。

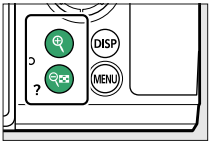
■■ 動画モードの場合



1 情報表示あり
2 シンプル表示
3 ヒストグラム
4 水準器表示

⊕ボタン/⊖▪（?）ボタン

撮影時や再生時に押すと、画像モニターの表示を拡大または縮小することができます。



▮▮ 撮影時

⊕ボタンを押すと、被写体を拡大表示できます。さらに⊕ボタンを押すと拡大率が上がり、⊖▪（**?**）ボタンを押すと拡大率が下がります。

▮▮ 再生時

1コマ表示モードのときに⊕ボタンを押すと拡大表示できます。さらに⊕ボタンを押すと拡大率が上がり、⊖▪（**?**）ボタンを押すと拡大率が下がります。
1コマ表示モードのときに⊖▪（**?**）ボタンを押すと、サムネイル表示モードに切り替わります。サムネイル表示モードの72コマ表示中に⊖▪（**?**）ボタンを押すと、カレンダー表示モードに切り替わります。

AEL（⊶）ボタン

撮影時にフォーカスロックとAEロックを行ったり、再生時に画像にプロテクト（保護）を設定できます。



■■ 撮影時

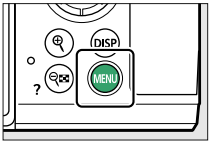
AEロックとフォーカスロックを同時に行います。

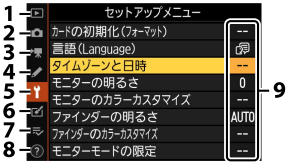
■■ 再生時

表示中の画像にプロテクトを設定します。

MENUボタン

MENUボタンを押すと、画像モニターにメニュー画面を表示します。



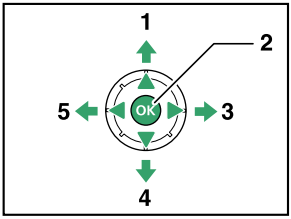


1	▶再生メニュー（📖212）
2	静止画撮影メニュー（📖217）
3	動画撮影メニュー（📖300）
4	カスタムメニュー（📖311）
5	セットアップメニュー（📖355）
6	画像編集メニュー（📖384）
7	マイメニュー/最近設定した項目※（📖406）
8	ⓘヘルプあり表示（📖63）
9	各項目の現在の設定

※　どちらかに設定できます。初期設定は［**マイメニュー**］です。

メニュー項目の設定

メニューの操作には、マルチセレクターとⓄⓀボタンを使います。



1	上に移動
2	決定する
3	次の画面に進む（右を選択または決定）
4	下に移動
5	前の画面に戻る（左を選択または取り消し）

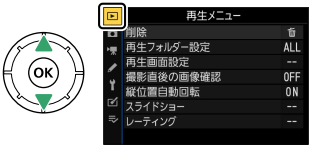
1 メニューのタブを選ぶ

◀を押して、タブの選択エリアにカーソルを移動させます。



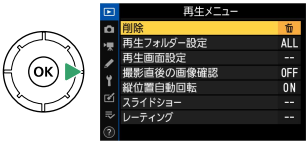
2 メニューを切り換える

▲▼を押して、メニューのタブを切り換えます。



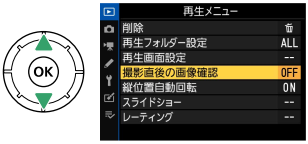
3 選んだメニューに入る

▶を押して、選んだメニューに入ります。



4 メニュー項目を選ぶ

▲▼で項目を選びます。



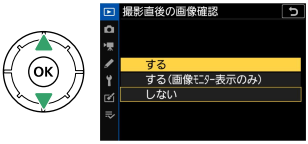
5 設定内容を表示する

▶を押して設定内容を表示します。



6 設定内容を選ぶ

㊦㊧で設定内容を選びます。



7 決定する



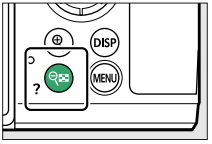
- ㊙ボタンを押して決定します。
- メニュー操作をキャンセル（中止）するには、**MENU**ボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

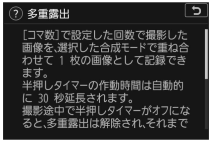
グレーで表示されるメニューについて

撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。

ヒント: ⑦（ヘルプあり表示）

- ヘルプがある場合に?（**?**）ボタンを押すと、その項目のヘルプ（説明）を表示します。
- 説明が2ページ以上ある場合は、マルチセレクターの▽を押して、次のページを表示してください。
- もう一度?（**?**）ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。



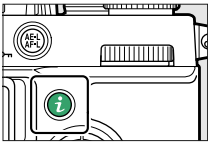


ヒント: タッチパネルでの設定について

メニューはタッチパネルで設定することもできます（🕮50）。

*i*ボタン（*i*メニュー）

*i*ボタンを押すか画像モニターの**i**をタッチすると、*i*メニューが表示されます。





- 静止画モードの場合と動画モードの場合で表示される内容が異なります。

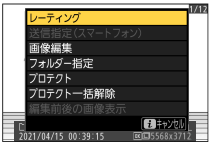


・項目を選んでⓄKボタンを押すかタッチすると、設定内容の確認やマルチセレクターによる設定変更ができます。
・操作ガイドが表示される項目の場合、iメニュー上で項目にカーソルを置いてコマンドダイヤルを回しても設定を変更できます。項目によってはメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルで設定する場合があります。



ヒント: 再生時のiメニューについて

再生画面や動画再生時などにiボタンを押すと、状況に応じたiメニューが表示されます。



iメニュー項目のカスタマイズ

撮影時のiメニューで表示される項目は、カスタムメニューf1またはg1［**iメニューのカスタマイズ**］で変更できます。

1 **カスタムメニューf1または g1［ メニューのカスタマイズ］を選んで ボタンを押す**



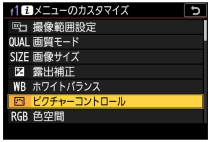
メニューの選び方は「**MENU**ボタン」（59）をご覧ください。

2 **機能を割り当てたい場所を選んで ボタンを押す**



割り当てられる機能の一覧が表示されます。

3 **割り当てたい機能を選んで ボタンを押す**

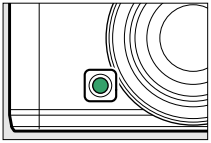


・新しい機能が割り当てられ、手順2の画面に戻ります。
・他の場所にも機能を割り当てたい場合は手順2、3を繰り返します。

4 **MENUボタンを押す**
機能の割り当てが決定してメニュー画面に戻ります。

Fnボタン

撮影時にFnボタンを押すと、よく使う機能を素早く呼び出せます。



- Fnボタンの初期設定はホワイトバランス（🕮105）です。
- Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、割り当てた機能の設定を変更できます。項目によってはメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルで設定する場合があります。

▉▉ Fnボタン機能の割り当て変更

Fnボタンの機能の割り当ては、カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］またはg2［**カスタムボタンの機能**］の［**Fnボタン**］で変更できます。

1 カスタムメニュー f2［カスタムボタンの機能（撮影）］またはg2［カスタムボタンの機能］を選んでⓄKボタンを押す



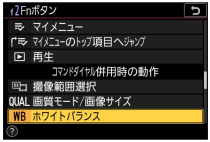
メニューの選び方は「**MENU**ボタン」（🕮59）をご覧ください。

2 **を選んで⊛ボタンを押す**



割り当てられる機能の一覧が表示されます。

3 **割り当てたい機能を選んで⊛ボタンを押す**



・新しい機能が割り当てられ、手順2の画面に戻ります。

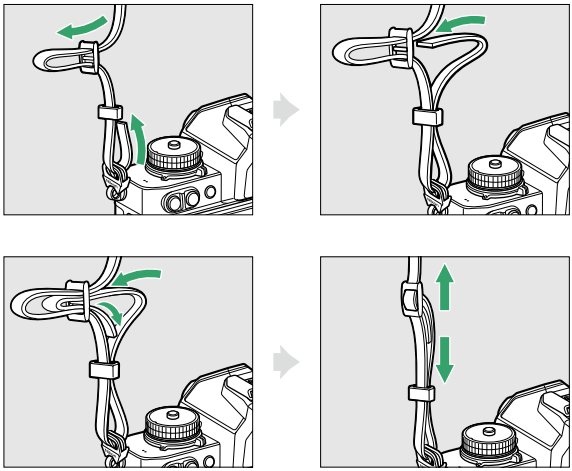
4 **MENUボタンを押す**

機能の割り当てが決定してメニュー画面に戻ります。

準備をする

ストラップを取り付ける

付属または別売ストラップの取り付け手順は次の通りです。

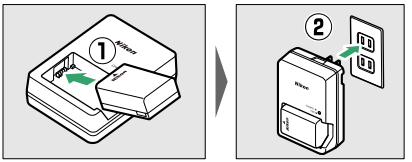


バッテリーを充電する

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25は、お使いになる前に付属のバッテリーチャージャーMH-32でフル充電してください。

バッテリーとチャージャーの使用上のご注意

- お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」（🕮26）、「カメラとバッテリーの使用上のご注意」（🕮529）をお読みになり、記載事項をお守りください。
- EN-EL25aを使用するには、カメラのファームウェアバージョンがC: 1.50以上であることが必要です（🕮382）。



- 家庭用コンセントに差し込んで充電を行います。充電中はチャージャーのランプが点滅し、充電が完了すると点灯します。
- フル充電するには約2時間40分（EN-EL25a使用時）または約2時間30分（EN-EL25使用時）かかります（残量のないバッテリーの場合）。

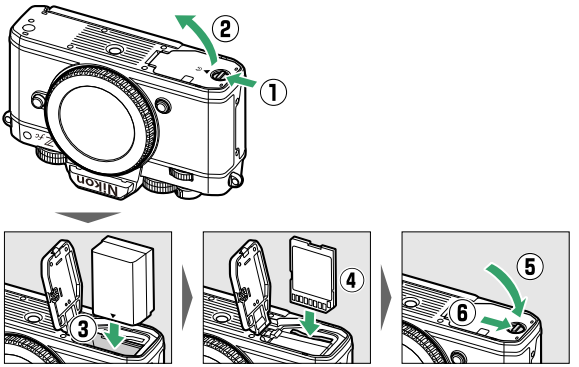
チャージャーの「CHARGE」ランプが速く（1秒間に8回）点滅する場合の原因と対処方法

- **バッテリーのセットミス**：電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、チャージャーにセットし直してください。
- **指定温度外での使用**：チャージャーを指定温度範囲内（0℃～40℃）でお使いください。

上記の処置をしても不具合が続く場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。

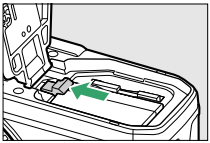
バッテリーとメモリーカードを入れる

- バッテリーやメモリーカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがバッテリーに掛かって固定されます。
- メモリーカードは正しい向きでカチッと音がするまで、まっすぐ挿入してください。



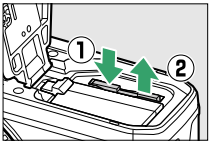
☑ バッテリーを取り出すには

電源をOFFにしてからバッテリー/メモリーカードカバーを開けてください。バッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと、バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いて取り出してください。



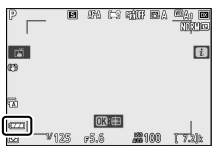
☑ メモリーカードを取り出すには

メモリーカードアクセスランプの消灯を確認し、電源をOFFにしてからバッテリー/メモリーカードカバーを開けてください。メモリーカードを奥に押し込んで放すと(①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください(②)。



バッテリー残量について

・カメラの電源をONにすると、撮影画面でバッテリーの残量を確認できます。



画像モニター



ファインダー

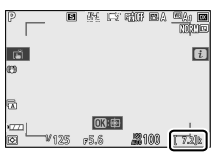
・バッテリー残量に応じて、、、のように表示されます。になったら残量が残りわずかのため、予備のバッテリーを準備するか、充電してください。
・［**撮影できません。バッテリーを交換してください。**］と警告メッセージが表示された場合は、バッテリーを交換するか、充電してください。

半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消耗を抑えるための「半押しタイマー」という機能があります。何も操作が行われないまま約30秒経過すると半押しタイマーがオフになり、画像モニターやファインダー、表示パネルの表示が消灯します。消灯する数秒前には画像モニターとファインダーの表示が暗くなります。シャッターボタンを半押しすると、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］で変更できます。

記録可能コマ数について

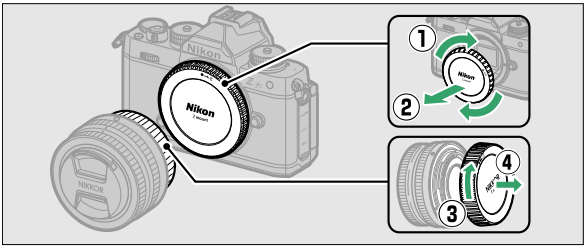
・カメラの電源をONにすると、撮影画面でメモリーカードの記録可能コマ数（これから撮影できる枚数）を確認できます。
・記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは、1000を意味する「k」マークが点灯します。たとえば「[1.5] k」と表示されている場合、1500枚以上の撮影が可能です。



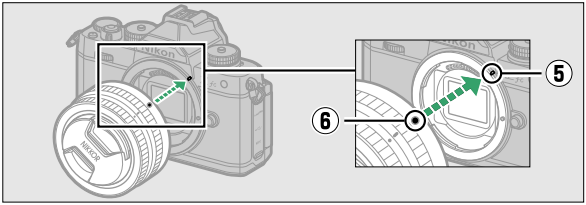
画像モニター　　ファインダー

レンズを取り付ける

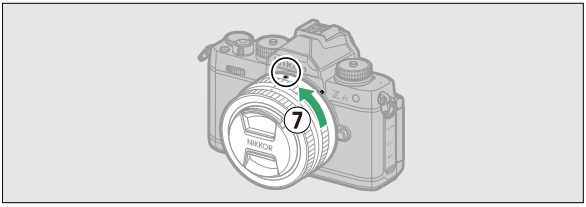
- このカメラにはZマウントのレンズが使用できます。本書では、主にNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VRのレンズを使用して説明しています。
- ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。
- レンズをカメラに取り付けるときは、必ずカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
  - カメラのボディーキャップを取り外し（①、②）、レンズのリアキャップを取り外します（③、④）。



  - カメラの指標（⑤）とレンズの指標（⑥）を合わせます。撮像素子やレンズ信号接点に指などが触れないようにご注意ください。



- カチッと音がするまで矢印の方向にレンズを回します（⑦）。



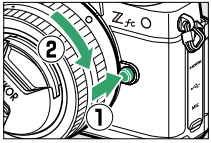
- 撮影する前に、レンズキャップを取り外してください。

Fマウントレンズをご使用の場合

- Fマウントのレンズをご使用になる場合は、必ず別売のマウントアダプターFTZを装着してから取り付けてください。
- Fマウントレンズをカメラに直接取り付けようとすると、撮像素子やレンズが破損する恐れがありますので、絶対にしないでください。

レンズを取り外すには

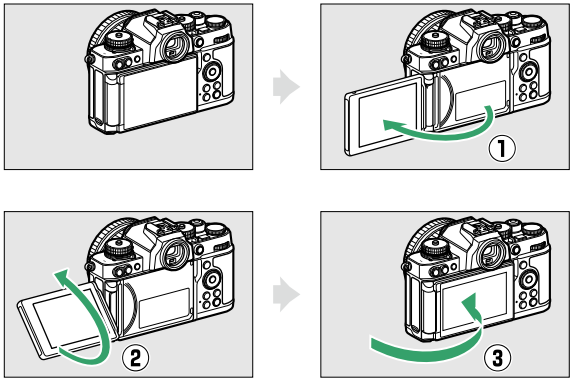
- カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら（①）、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し（②）、引き抜いてください。



- レンズを取り外した後は、カメラのボディーキャップとレンズのリアキャップをそれぞれ取り付けてください。

画像モニターを開く

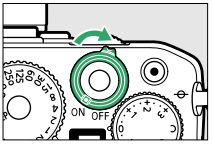
画像モニターは、無理な力を加えずにゆっくりと回してください。



電源をONにする

カメラの電源を初めてONにすると、日付と時刻の設定が表示されます。お使いになる前に次の手順で日時を設定してください（日時の設定が完了するまで、撮影や他の設定はできません）。

1 カメラの電源をONにする



・［**日時の設定**］画面が表示されます。

2 日付と時刻を合わせる



・マルチセレクターの◀▶を押して設定する日時の項目を選び、マルチセレクターの▲▼を押して日時を合わせます。
・日付と時刻の設定を完了したら、Ⓚボタンを押してください。
・「**設定しました。**」とメッセージが表示され、カメラが撮影できる状態に切り替わります。

Ⓜ ◔マークについて

撮影画面で◔が点滅している場合、カメラの内蔵時計が初期化されています。その場合は撮影日時が正しく記録されないため、セットアップメニュー［**タイムゾーンと日時**］の［**日時の設定**］で日時設定をしてください。カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れると、時計用電池が充電されます。フル充電するには約2日間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。

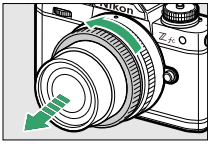
撮影と再生の基本操作

静止画を撮影する（AUTOオート）

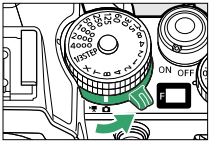
撮影モードAUTO（オート）を使うと、カメラまかせの簡単な操作で静止画撮影を楽しむことができます。

沈胴式のレンズをお使いの場合

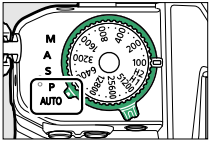
沈胴機構を採用しているレンズをご使用の場合、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。ズームリングを矢印の方向にカチッと音がするまで回すと、レンズが繰り出します。



1 静止画/動画切り換えレバーをに合わせて静止画モードにする



2 撮影モード切り換えレバーをAUTO（AUTO）に合わせる



3 カメラを構える

脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。

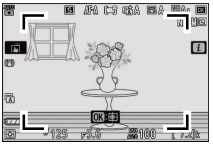


横位置



縦位置

4 構図を決める



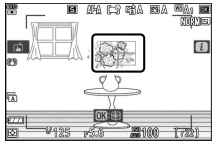
被写体をAFエリアフレーム（［ ］）内に配置します。

・カメラが人物の顔を検出した場合、AFエリアフレームの表示が消え、顔に黄色の枠（フォーカスポイント）が表示されます。瞳を検出できるときは、左右どちらかの瞳に黄色のフォーカスポイントが表示されます。

5 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、ピントを合わせる



・ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。ピントが合わないと、AFエリアフレームが点滅します。

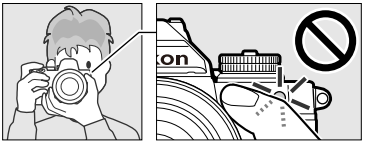


・暗い場所などでは、AF補助光が光ることがあります。
・カメラが人物の顔または瞳を検出している場合、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。ピントが合わないと、フォーカスポイントが赤色で点滅します。



AF補助光について

AF補助光が照射される場合、手などでAF補助光を遮らないようにご注意ください。

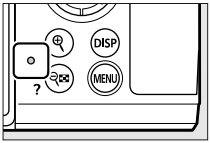


6 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）撮影する



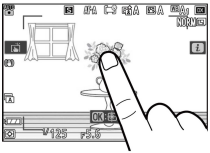
メモリーカードアクセスランプについて

メモリーカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。**メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。**



ヒント: タッチシャッターについて

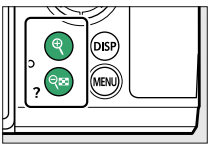
画像モニターをタッチしても撮影できます。タッチした位置でピント合わせを行い、指を放すとシャッターがきれます。

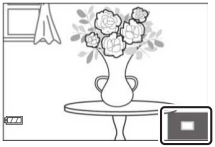


ヒント: 静止画モード時の拡大表示

静止画モード時に🔍ボタンを押すと、拡大表示できます（最大約31倍）。

- 🔍ボタンを押すごとに拡大率が上がり、🔍（**?**）ボタンを押すごとに拡大率が下がります。
- 拡大表示時は、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウが表示されます。
- 拡大表示時は、マルチセレクターを操作すると、見たい部分に移動できます。

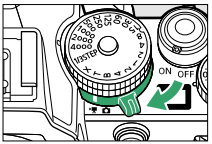




動画を撮影する（AUTOオート）

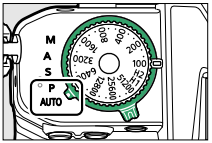
撮影モードAUTO（オート）を使うと、カメラまかせの簡単な操作で動画撮影を楽しむことができます。

1 静止画/動画切り換えレバーを▶に合わせて動画モードにする

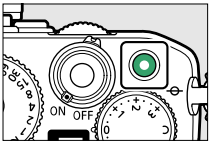


動画モード時は別売スピードライトは発光しません。

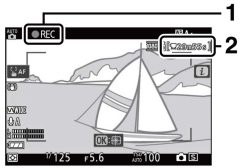
2 撮影モード切り換えレバーをAUTO（AUTO）に合わせる



3 **動画撮影ボタンを押して、動画の撮影を始める**



・動画記録中は、録画中マークが画像モニターに表示されます。メモリーカードに撮影できる残り時間の目安も画像モニターで確認できます。



1 録画中マーク
2 残り時間

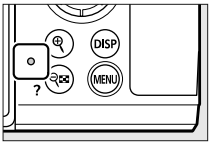
・内蔵マイクで音声を記録します。動画記録中は、マイクを指でふさがないようにしてください。

・動画記録中に画像モニターをタッチすると、タッチした位置の被写体にフォーカスポイントを追尾させることができます（🕮99）。

4 **もう一度動画撮影ボタンを押して、動画の撮影を終了する**

メモリーカードアクセスランプについて

メモリーカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。**メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。**



（動画記録禁止）マークについて

マークが表示されているときは、動画の撮影ができません。

動画記録時のご注意

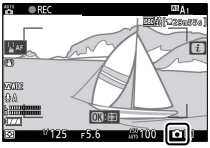
・次のような場合は、動画記録は自動的に終了します。
- 最長記録時間に達したとき
- 撮影モードを切り換えたとき
- 静止画/動画切り換えレバーを切り換えたとき
- レンズを取り外したとき

・次のような場合は、動作音が録音されることがあります。
- オートフォーカス作動中
- 手ブレ補正機能作動中
- パワー絞り作動中

動画モード中の静止画撮影

動画モードでも、シャッターボタンを全押しすると静止画を撮影できます。動画撮影メニュー［**レリーズモード（フレーム保存）**］で、1コマ撮影または連続撮影から撮影方法を選べます。

・静止画を撮影すると、撮影画面のアイコンが点滅します。



・［**レリーズモード（フレーム保存）**］が［**連続撮影**］になっている場合、連続撮影速度は設定している［**画像サイズ/フレームレート**］により異なります。
・動画撮影中でも撮影できます。動画の撮影は途切れることなく継続します。ただし、動画撮影メニュー［**レリーズモード（フレーム保存）**］を［**連続撮影**］に設定しても1コマ撮影になります。

動画モード中の静止画撮影について

・静止画モードの設定は反映されません。
・1回の動画記録中に撮影できる静止画は、最大40コマです。
・ピントが合っていなくても撮影されます。
・撮影される静止画の画像サイズは動画の画像サイズと同じです。
・画質モードは［**FINE**］に固定されます。
・マークが表示されているときは、静止画の撮影ができません。

カメラで静止画および動画を撮影するときのご注意

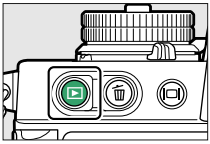
・撮影画面の表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した静止画および動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
  - 動きのある被写体が歪む（電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む／カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む）
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
  - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
  - 動画記録時のパワー絞り作動中、画面にちらつきが発生する
・撮影画面を🔍ボタンで拡大表示した場合、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）、色の変化が発生しやすくなります。
・撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。

ヒント: 動画モードの拡大表示

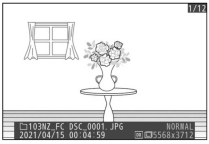
動画モード時も🔍ボタンを押して拡大表示できます（🕮81）。動画記録中は🔍ボタンを押すと等倍（100%）表示になります。🔍（**?**）ボタンを押すと元の表示に戻ります。

撮影した画像を確認する

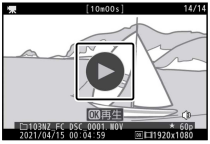
▶ボタンを押すと、撮影した静止画と動画を画像モニターまたはファインダーに再生して確認できます。



・マルチセレクターの◀▶を押すか画像モニターを左右にフリックすると画像を切り替えられます。



・動画には画面の左上に🎥マークが表示されています。Ⓚボタンを押すか、または画面上の▶アイコンをタッチすると動画が再生されます。



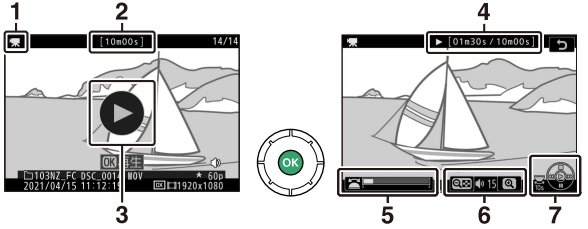
・撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。

動画の再生

動画再生時の画面表示と操作方法は、次の通りです。

動画再生時の画面表示

動画の再生画面では次のような情報が表示され、記録時間や再生時間を確認できます。プログレスバーで再生中の位置の目安を確認することもできます。



1	🎥マーク	5	プログレスバー
2	記録時間	6	音量設定
3	▶アイコン	7	操作ガイド
4	再生時間/記録時間		

動画再生中の操作方法

動画の再生中は、次の操作ができます。

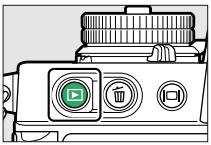
操作	内容
一時停止する	マルチセレクターの⊛を押すと一時停止します。
再生を再開する	一時停止中または早戻し/早送り中にOKボタンを押すと動画再生を再開します。
早戻しする/早送りする	・動画の再生中に◀を押すと早戻し、▶を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、早戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。 ・◀を押し続けると、先頭フレームに移動し、▶を押し続けると、最終フレームに移動します。 ・先頭フレームには⏮アイコンが、最終フレームには⏭アイコンが、画面右上に表示されます。

操作	内容
スロー再生する	一時停止中に㊦を押すとスロー再生します。
コマ戻しする/コマ送りする	・一時停止中に◀▶を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 ・◀▶を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。
10秒進める/10秒戻す	メインコマンドダイヤルを回すと、10秒前または後に移動します。
先頭フレームに移動する/最終フレームに移動する	サブコマンドダイヤルを回すと、先頭フレームまたは最終フレームに移動します。
音量を調節する	🔍ボタンを押すと音量が大きくなり、🔍（**?**）ボタンを押すと小さくなります。
動画を編集する	一時停止中に**i**ボタンを押すと、［**動画編集**］画面を表示します。
再生終了	㊧または▶ボタンを押すと1コマ表示モードに戻ります。
撮影に戻る	シャッターボタンを半押しすると、再生を終了します。

画像の削除

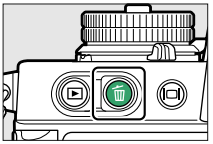
表示中の画像を削除します。**削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。**

1 削除したい画像を表示する



・▶ボタンを押して画像モニターに画像を表示してから、マルチセレクターの◀▶で削除したい画像を選びます。

2 画像を削除する



・🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度🗑ボタンを押すと、表示中の画像を削除して、再生画面に戻ります。
・削除確認画面で▶ボタンを押すと、画像の削除をキャンセルします。



ヒント: 再生メニュー［削除］

再生メニューの［**削除**］では、次の操作ができます。

・ 複数の画像を選んで削除
・ 同じ日付の画像をまとめて削除
・ 再生フォルダー内の全画像を一括して削除

カメラの基本機能と設定

ピント合わせの設定

フォーカスモード

ピントの合わせ方を選べます。

■■ フォーカスモードの設定方法

・**i**メニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの［**フォーカスモード**］で変更できます（🕮158、🕮245、🕮307）。



項目		内容
AF-A	［**AFモード自動切り換え**］	・静止している被写体は**AF-S**で撮影し、動いている被写体は**AF-C**で撮影します。 ・静止画モードの場合のみ選べます。
AF-S	［**シングルAF**］	・静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、ピントが合った時点でフォーカスポイントが赤色から緑色に変わって点灯し、フォーカスがロックされます。ピントが合っていないときはフォーカスポイントが赤に点滅してシャッターがきれません。 ・初期設定はピントが合うとシャッターがきれるフォーカス優先モードです。

項目		内容
AF-C	**［コンティニュアスAF］**	・スポーツなど動きのある被写体の撮影に適しています。シャッターボタンの半押しを続けている間はフォーカスロックはされず、被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。 ・初期設定では、ピントの状態に関係なくシャッターがきれるレリーズ優先モードです。
AF-F	**［フルタイムAF］**	・カメラは常に被写体の動きや構図の変化に合わせてピントを合わせ続けます。 ・シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行って、ピントが合った時点でフォーカスポイントが赤色から緑色に変わって点灯し、フォーカスがロックされます。 ・動画モードの場合のみ選べます。
MF	**［マニュアルフォーカス］**	ピントを自分で合わせたいときに選びます（🕮102）。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。

☑ オートフォーカスについてのご注意

・次の被写体はオートフォーカスでピントが合わない場合がありますので、ご注意ください。
  - 画面の長辺側と平行な線の被写体
  - 明暗差の少ない被写体
  - フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
  - イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被写体
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見える場合
  - クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
  - フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
  - 連続した繰り返しパターンの被写体（ビルの窓やブラインドなど）
  - 動く被写体
・オートフォーカス作動中は、画面の明るさが変わることがあります。
・ピントが合わなくてもフォーカスポイントが緑色で点灯する場合があります。

ヒント: フォーカス（ピント）位置の記憶について

カメラの電源をOFFにしてもピント位置を保持するには、セットアップメニュー［**フォーカス位置の記憶**］を［**する**］に設定します。ただし、カメラの電源をONにしてから操作ができるようになるまで時間がかかることがあります（ズーム操作や環境温度の変化によっては、カメラの電源をOFFにする前と再度ONにした後でピント位置が変わる場合があります）。

AFエリアモード

オートフォーカス使用時に、フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。

・AFエリアモードが［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］以外の場合、フォーカスポイントはマルチセレクター（🕮96）を使用して移動できます。

AFエリアモードの設定方法

・***i***メニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの［**AFエリアモード**］で変更できます（🕮157、🕮246、🕮307）。



項目		内容
PIN	［**ピンポイントAF**］	・シングルポイントAFよりも小さいフォーカスポイントを使って、より狭い範囲にピンポイントでピントを合わせることができます。 ・シングルポイントAFよりもピント合わせに時間がかかることがあります。 ・建築物などの静止している被写体の撮影や、スタジオでの商品撮影や接写に適しています。 ・静止画モードで、フォーカスモードが［**シングルAF**］の場合のみ選べます。

項目		内容
[▫]	[**シングルポイントAF**]	・撮影者が選んだフォーカスポイントでピント合わせを行います。 ・静止している被写体の撮影に適しています。
[⁘]	[**ダイナミックAF**]	・撮影者が選んだフォーカスポイントでピント合わせを行います。選んだフォーカスポイントから被写体が一時的に外れても、周辺のフォーカスポイントからのピント情報を利用してピントを合わせます。 ・スポーツの撮影など、シングルポイントAFでは被写体をとらえにくい動きのある被写体の撮影に適しています。 ・静止画モードで、フォーカスモードが［**AFモード自動切り換え**］または［**コンティニュアスAF**］の場合のみ選べます。

項目		内容
WIDE-S	［**ワイドエリアAF（S）**］	・シングルポイントAFよりも広い範囲（エリア）で被写体をとらえてピント合わせを行います。 ・スナップ撮影や、動きのある被写体、シングルポイントAFではとらえにくい被写体の撮影などに適しています。 ・動画撮影で、動きのある被写体を撮影する場合やパン・チルトを行う場合にも、滑らかで安定したピント合わせが行えます。 ・フォーカスポイント内に複数の被写体がある場合、手前の被写体を優先してピントを合わせます。 ・［**ワイドエリアAF（L）**］は［**ワイドエリアAF（S）**］よりも広い範囲で被写体をとらえます。 ・［**ワイドエリアAF（L-人物）**］に設定すると、カメラが人物の顔や瞳を検出してピントを合わせます（瞳AF/顔検出AF、🕮96）。 ・［**ワイドエリアAF（L-動物）**］に設定すると、カメラが犬や猫の顔や瞳を検出してピントを合わせます（動物AF、🕮97）。
WIDE-L	［**ワイドエリアAF（L）**］	
WIDE-L	［**ワイドエリアAF（L-人物）**］	
WIDE-L	［**ワイドエリアAF（L-動物）**］	

項目		内容
[▬]	[**オートエリアAF**]	・カメラが自動的に全てのフォーカスポイントから被写体を判別してAFエリアフレーム内でピントを合わせます。 ・シャッターチャンスを優先した撮影、人物撮影、スナップ撮影などに適しています。 ・[**オートエリアAF（人物）**]に設定すると、カメラが人物の顔や瞳を検出してピントを合わせます（瞳AF/顔検出AF、🕮96）。 ・[**オートエリアAF（動物）**]に設定すると、カメラが犬や猫の顔や瞳を検出してピントを合わせます（動物AF、🕮97）。 ・OKボタンを押すと、ターゲット追尾AFを使用できます（🕮99）。カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］またはg2［**カスタムボタンの機能**］で、ターゲット追尾AFの開始をFnボタンに割り当てることもできます（🕮334、🕮347）。レンズの**Fn**ボタンおよびレンズの**Fn2**ボタンにも割り当てられます。
[▬]	[**オートエリアAF（人物）**]	
[▬]	[**オートエリアAF（動物）**]	

ヒント：フォーカスポイントが⊡のように表示されている場合

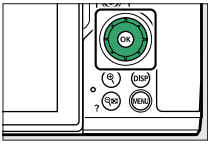
フォーカスポイント中央に点が表示されているときは、フォーカスポイントが画面の中央にあることを示しています。

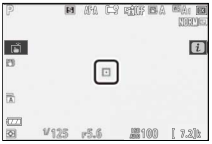
ヒント：フォーカスポイントを素早く選ぶには

- カスタムメニューa4［**AF点数**］を［**スキップ**］に設定すると、マルチセレクターで選べるフォーカスポイントの数が約1/4になります。AFエリアモードが［**ピンポイントAF**］または［**ワイドエリアAF（L）**］、［**ワイドエリアAF（L-人物）**］、［**ワイドエリアAF（L-動物）**］の場合は［**スキップ**］に設定しても選べるフォーカスポイントの数は変化しません。
- カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］の［**OKボタン**］で［**フォーカスポイント中央リセット**］に設定しておくと、フォーカスポイントを素早く画面中央に戻すことができます。

フォーカスポイントの移動

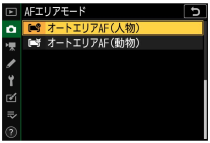
AFエリアモード（🕮92）が［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］以外の場合、撮影画面でマルチセレクターを押した方向にフォーカスポイントを移動できます。





人物の瞳や顔を検出する（瞳AFと顔検出AF）

静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー［**AFエリアモード**］で［**ワイドエリアAF（L-人物）**］または［**オートエリアAF（人物）**］に設定すると、カメラが人物の顔と瞳を検出します（瞳AF/顔検出AF）。



- カメラが人物の顔を検出した場合、顔に黄色の枠（フォーカスポイント）が表示されます。瞳を検出できるときは、左右どちらかの瞳に黄色のフォーカスポイントが表示されます。



- フォーカスモードが**AF-C**の場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、顔または瞳を検出している間、フォーカスポイントは黄色で点灯します。

・フォーカスモードが**AF-S**の場合または**AF-A**に設定していて**AF-S**で撮影している場合、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。
・［**オートエリアAF（人物）**］に設定して複数の顔や瞳を検出した場合は、フォーカスポイントに◀および▶が表示されます。マルチセレクターの◀▶を押してピントを合わせたい顔や瞳を選ぶことができます。
・カメラが顔を検出した人物が一時的に横や後ろを向いたりしても、追尾してフォーカスポイントが移動します。
・再生画面でⓄⓀボタンを押すと、ピントを合わせた顔や瞳を中心に画像が拡大されます。

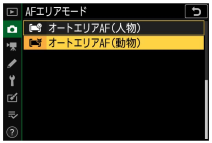
瞳AFと顔検出AFについてのご注意

次のような場合は、瞳および顔が正常に検出できないことがありますので、ご注意ください。

・顔が画面に対して大きい/小さい場合
・顔が明るすぎる/暗すぎる場合
・メガネやサングラスをかけている場合
・髪の毛で目や顔が隠れている場合
・人物の動きが大きすぎる場合

動物の瞳や顔を検出する（動物AF）

静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー［**AFエリアモード**］で［**ワイドエリアAF（L-動物）**］または［**オートエリアAF（動物）**］に設定すると、カメラが犬や猫の顔と瞳を検出します（動物AF）。



・カメラが犬や猫の顔を検出した場合、顔に黄色の枠（フォーカスポイント）が表示されます。瞳を検出できるときは、左右どちらかの瞳に黄色のフォーカスポイントが表示されます。



・フォーカスモードが**AF-C**の場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、顔または瞳を検出している間、フォーカスポイントは黄色で点灯します。
・フォーカスモードが**AF-S**の場合または**AF-A**に設定していて**AF-S**で撮影している場合、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。
・［**オートエリアAF（動物）**］に設定して複数の顔や瞳を検出した場合は、フォーカスポイントに◀および▶が表示されます。マルチセレクターの◀▶を押してピントを合わせたい顔や瞳を選ぶことができます。
・再生画面で⊛ボタンを押すと、ピントを合わせた顔や瞳を中心に画像が拡大されます。

☑ 動物AFについてのご注意

・次のような場合は、瞳および顔が正常に検出できないことがありますので、ご注意ください。
  - 顔が画面に対して大きい/小さい場合
  - 顔が明るすぎる/暗すぎる場合
  - 体毛などで目や顔が隠れている場合
  - 瞳と周辺部位の色が近い場合
  - 犬や猫の動きが大きすぎる場合
・撮影条件によっては、［**ワイドエリアAF（L-動物）**］または［**オートエリアAF（動物）**］に設定しても犬や猫の種類によっては顔や瞳を検出できない場合があります。また、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。
・AF補助光が犬や猫の瞳に悪影響をおよぼす可能性があるため、カスタムメニューa11［**内蔵AF補助光の照射設定**］を［**しない**］に設定してください。

ターゲット追尾AF

［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］に設定している場合、フォーカスポイントを指定した被写体に追尾させることができます。

・ ⓞボタンを押すと、フォーカスポイントの形が変わってターゲット選択画面になります。



・ 追尾させたい被写体にフォーカスポイントを合わせ、ⓞボタンを押すと被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。もう一度ⓞボタンを押すと追尾を終了し、フォーカスポイントが画面中央に戻ります。ただし、静止画モードでフォーカスモードを**AF-C**または**AF-A**に設定しているときに、シャッターボタンを半押しして追尾を開始した場合は、シャッターボタンを押している間のみ追尾を行い、シャッターボタンから指を放すと追尾を終了してフォーカスポイントが追尾を開始する前の位置に戻ります。

・ Q（**?**）ボタンを押すと、ターゲット追尾AFを終了します。

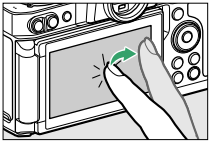
ターゲット追尾AFについてのご注意

次のような場合は、追尾動作が正常に行われないことがありますので、ご注意ください。

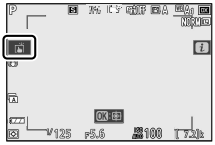
- 被写体の色、明るさが背景と似ている場合
- 被写体の大きさ、色、明るさが著しく変わる場合
- 被写体が大きすぎる/小さすぎる場合
- 被写体が明るすぎる/暗すぎる場合
- 被写体の動きが速すぎる場合
- 被写体が隠れたり、画面から外れた場合

タッチシャッター

タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行います。指を放すとシャッターがきれます。



図のアイコンをタッチすると、画像モニターをタッチしたときの機能を切り換えられます。



項目		内容
	［**タッチシャッター/タッチAF**］	・タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行い、指を放すとシャッターがきれます。AFエリアモードを［**ワイドエリアAF（L-人物）**］、［**ワイドエリアAF（L-動物）**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］に設定して人物または犬や猫の顔や瞳を検出している場合は、タッチした位置に近い顔または瞳※にピント合わせを行います。 ・静止画モードの場合のみ選べます。

項目		内容
AF	［タッチAF］	・タッチした位置にフォーカスポイントを移動して、ピント合わせのみを行います。指を放してもシャッターはきれません。 ・AFエリアモードを［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］に設定している場合、タッチした位置にある被写体の追尾を開始します。追尾中に画像モニターをタッチすると、追尾する被写体を変更します。人物または犬や猫の顔や瞳を検出している場合は、タッチした位置に近い顔または瞳※にピント合わせを行って追尾します。
OFF	［無効］	タッチ操作は無効になります。
	［フォーカスポイント移動］	・タッチした位置にフォーカスポイントを移動します。ピント合わせを行わず、指を放してもシャッターがきれません。 ・AFエリアモードを［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］に設定している場合、タッチした位置にある被写体の追尾を開始します。追尾中に画像モニターをタッチすると、追尾する被写体を変更します。人物または犬や猫の顔や瞳を検出している場合は、タッチした位置に近い顔または瞳※を追尾します。

※　瞳をタッチしても意図した側の瞳にピントが合わないことがあります。その場合はマルチセレクターで選んでください。

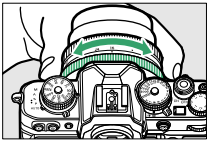
タッチ操作で撮影するときのご注意

- マニュアルフォーカス撮影時はタッチしてもピント合わせを行いません。
- OFFが表示されている場合も、シャッターボタンを押して撮影できます。
- タッチシャッターでは動画モード中に静止画の撮影はできません。
- レリーズモードを連続撮影に設定していても、1コマしか撮影されません。連続撮影するには、シャッターボタンを押して撮影してください。
- セルフタイマー設定時は、画面の被写体をタッチするとピントが固定され、指を放してから約10秒後にシャッターがきれます。また、セルフタイマーの撮影コマ数を1コマ以外に設定した場合、連続で撮影します。

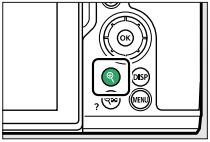
マニュアルフォーカスでのピントの合わせ方

フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定すると、ピントを自分で合わせられます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影する場合などに使用します。

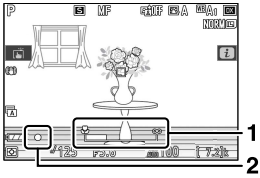
・ピントを合わせたい場所にフォーカスポイントを合わせ、レンズのフォーカスリングまたはコントロールリングを回します。



・ピントの状態を細部まで確認したい場合は、🔍ボタンを押して被写体を拡大表示してください。



・マニュアルフォーカスで撮影するときは、ファインダー内および画像モニター内のピント表示（●）でピントが合っているかどうかを確認できます（フォーカスエイド）。また、ピントが合うとフォーカスポイントが緑色で点灯します。



1 フォーカス距離指標　　2 ピント表示

ピント表示	意味
●（点灯）	被写体にピントが合っています。
▶（点灯）	目的の被写体よりも手前にピントが合っています。
◀（点灯）	目的の被写体よりも後方にピントが合っています。
▶ ◀（点滅）	ピント合わせができません。

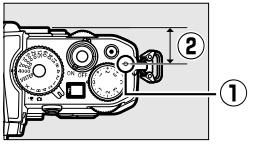
・オートフォーカスの苦手な被写体をマニュアルフォーカスでピント合わせした場合、ピントが合っていなくてもピント表示（●）が点灯することがあります。撮影画面を拡大表示して、被写体にピントが合っていることを確認してください。また、ピント合わせがしづらい場合は、三脚のご使用をおすすめします。

マニュアルフォーカスの切り換えについて

フォーカスモードが切り換えられるレンズを装着している場合、レンズでオートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り換えることができます。

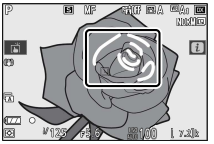
距離基準マークとフランジバックについて

距離基準マーク⊖（①）は撮影距離の基準となるマークで、カメラ内の撮像面の位置を示します。マニュアルフォーカスや接写などでカメラから被写体までの距離を実測する場合、このマークが基準となります。また、レンズ取り付け面（レンズマウント）から撮像面までの寸法をフランジバック（②）といいます。このカメラのフランジバックは16mmです。



ヒント: フォーカスピーキング

・マニュアルフォーカス時にカスタムメニューd9［**フォーカスピーキング**］を［**しない**］以外に設定すると、ピントが合っている部分（ピーキング）の輪郭に色を付けて表示できます。



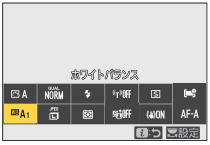
・被写体の輪郭を検出できない場合、ピントが合っていてもピーキング表示ができないことがあります。撮影画面でピントが合っていることを確認してください。

ホワイトバランス

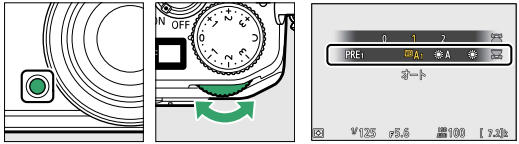
光源に合わせて、白いものを白く撮影するための機能です。初期設定のオート（WB A1）でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

ホワイトバランスの設定方法

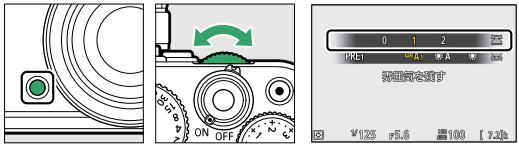
・ *i*メニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの［**ホワイトバランス**］で設定できます（🕮139、🕮226、🕮303）。



・ 初期設定では、Fnボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとホワイトバランスを設定できます（🕮66）。



・ホワイトバランスが[WB]**A**［**オート**］および☀［**蛍光灯**］のときに、Fnボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、[WB]**A**［**オート**］および☀［**蛍光灯**］の種類を設定できます。



項目	設定される色温度※	内容
[WB]**A**［**オート**］		カメラが自動的にホワイトバランスを調節し、ほとんどの光源に対応できます。別売のスピードライトの使用時は、フラッシュ発光時の条件に応じて適したホワイトバランスに調整されます。
[WB]**A0**［**白を優先する**］	約3500～8000K	電球下の環境で撮影する場合、電球色を残さずに白く補正します。
[WB]**A1**［**雰囲気を残す**］	約3500～8000K	電球下の環境で撮影する場合、やや電球色を残して暖かみのある画像に仕上げます。
[WB]**A2**［**電球色を残す**］	約3500～8000K	電球下の環境で撮影する場合、電球色を残して暖かみのある画像に仕上げます。
☀**A**［**自然光オート**］	約4500～8000K	自然光下での撮影に適したホワイトバランスに調整され、自然光下では[WB]**A**［**オート**］より見た目に近い色味で撮影できます。
☀［**晴天**］	約5200K	晴天の屋外での撮影に適しています。
☁［**曇天**］	約6000K	曇り空の屋外での撮影に適しています。
⌂［**晴天日陰**］	約8000K	晴天の日陰での撮影に適しています。
✹［**電球**］	約3000K	白熱電球下での撮影に適しています。
☀［**蛍光灯**］		それぞれの光源下での撮影に適しています。

項目	設定される色温度※	内容
［白色蛍光灯］	約4200K	それぞれの光源下での撮影に適しています。
［昼白色蛍光灯］	約5000K	
［昼光色蛍光灯］	約6500K	
WB ［フラッシュ］	約5400K	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。
K ［色温度設定］	約2500〜10000K	・色温度を直接指定できます。 ・Fnボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、色温度を設定できます。
PRE ［プリセットマニュアル］		・撮影者が被写体や光源を基準にホワイトバランスを合わせたり、メモリーカード内の画像と同じホワイトバランスで撮影したりできます。 ・Fnボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、プリセットマニュアルデータの保存場所を選べます。 ・Fnボタンを長押しすると、プリセットマニュアル取得モードになります（🕮142）。

※　微調整が0の場合の値です。

☀A［自然光オート］について

人工光下で撮影するときに☀A［**自然光オート**］を選択していると、適正なホワイトバランスが得られないことがあります。WB A［**オート**］または光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。

ホワイトバランスの微調整について

設定したホワイトバランスは微調整が可能です（K［**色温度設定**］以外）。微調整は**i**メニューまたは静止画撮影メニュー、動画撮影メニューの［**ホワイトバランス**］で行えます（🕮140、🕮226）。

スタジオ用大型ストロボを使用する場合

スタジオ用大型ストロボを使用する場合は、WB A［**オート**］に設定していても適正なホワイトバランスが得られないことがあります。その場合は、WB ϟ［**フラッシュ**］モードにして微調整を行うか、プリセットマニュアルをお使いください。

ヒント: AWBまたは☀A撮影時の色温度について

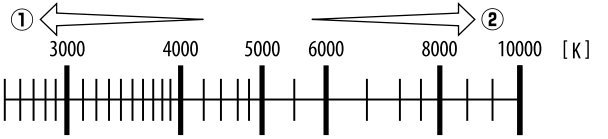
・ホワイトバランスをAWB A［**オート**］または☀A［**自然光オート**］に設定して撮影した場合、カメラが判断した色温度の値を再生画面の撮影情報で確認できます。ホワイトバランスのK［**色温度設定**］で色温度を調整する場合に参考にできます。



・撮影情報を表示するには、再生メニュー［**再生画面設定**］の［**再生画面の追加**］で［**撮影情報**］のチェックボックスをオン☑にしてください。

ヒント: 色温度について

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の色を表すと、見る人によって微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度（K：ケルビン）という客観的な数字で表したのが色温度です。色温度が低くなるほど赤みを帯びた光色になり（❶）、色温度が高くなるほど青みを帯びた光色になります（❷）。

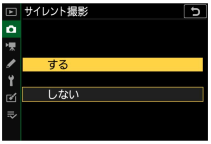


ヒント: 色温度の設定について

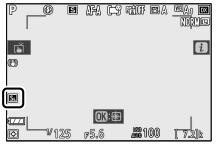
一般的に、画像に赤みを感じた場合（撮影した画像に青みを帯びさせたい場合）は低い数値を設定し、画像に青みを感じた場合（撮影した画像に赤みを帯びさせたい場合）は高い数値を選びます。

サイレント撮影

静止画撮影メニュー［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定すると、電子シャッターを使用して、シャッター動作による振動とシャッター音を出さずに撮影できます。



- サイレント撮影中は画面にアイコンが表示されます。



- カスタムメニューd4［**シャッター方式**］の設定にかかわらず、電子シャッターを使用します。
- レリーズモードが［**高速連続撮影（拡張）**］以外の場合、シャッターがきれると、撮影画面が一瞬暗くなります。撮影できているかどうかの目印になります。
- セットアップメニュー［**電子音**］の設定にかかわらず、ピントが合ったときの電子音とセルフタイマー作動時の電子音は鳴りません。
- 次の機能など、サイレント撮影中は使用できなくなる機能があります。
  - フラッシュ撮影
  - 長秒時ノイズ低減
  - フリッカー低減撮影
  - ISO感度の高感度（Hi 1、Hi 2）

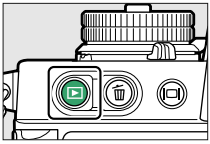
サイレント撮影について

- ［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定していても、完全に無音にはなりません。撮影時に絞りやオートフォーカスなどカメラの動作音がすることがあります（特に絞りをf/5.6よりも絞った（大きい数値にした）場合は、絞りによる動作音がします）。
- 撮影画面の表示に次のような現象が発生することがあり、これらの現象は静止画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
  - 動きのある被写体が歪む（被写体に動きがある場合、被写体が歪む／カメラ本体の動きによっては、画像が歪む）
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
  - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
- レリーズモードが連続撮影の場合、［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定すると連続撮影速度が変更されます（🕮154）。
- サイレント撮影中はシャッター音を消して撮影できますが、被写体の肖像権やプライバシーなどに充分ご配慮の上、お客様の責任においてお使いください。

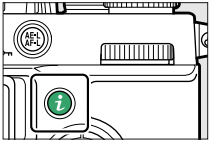
撮影した画像のレーティング設定

選んだ画像にレーティングを設定します。画像に設定したレーティングは、NX Studioにも反映されます。プロテクトした画像にはレーティングを設定できません。

1 **▶ボタンを押して再生画面を表示する**

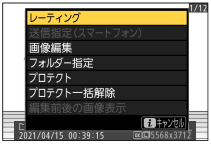


2 **レーティングを設定したい画像を選んでiボタンを押す**

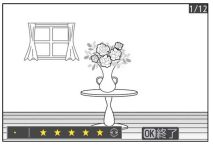


再生時のiメニューが表示されます。

3 **［レーティング］を選んでOKボタンを押す**



4 レーティングを設定する



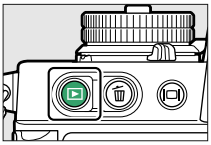
・メインコマンドダイヤルを回して、★★★★★～★、なし、🗑（削除候補）から選びます。

・㊗ボタンを押して決定します。

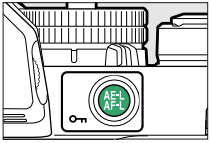
撮影した画像のプロテクト

大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。ただし、メモリーカードを初期化すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

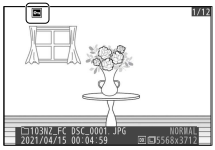
1 **▶ボタンを押して再生画面を表示する**



2 **プロテクトしたい画像を選んで（🔑）ボタンを押す**



・🔑アイコンが表示されます。



・プロテクトを解除するには、解除する画像を選んで再度（🔑）ボタンを押します。

ヒント: プロテクトの一括解除について

iメニューで［**プロテクト一括解除**］を選ぶと、再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。

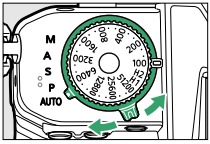
ボタンなどを使った応用撮影

撮影モード切り換えレバー

撮影モードを変更すると、シャッタースピードと絞りを自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。

撮影モードの設定方法

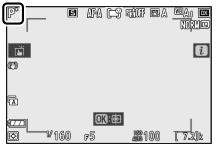
撮影モード切り換えレバーを回すと撮影モードを変更できます。



モード		内容
AUTO (AUTO)	**オート**	カメラまかせの簡単な操作で撮影を楽しむことができます (🕮77、🕮82)。
P	**プログラムオート**	シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S	**シャッター優先オート**	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A	**絞り優先オート**	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
M	**マニュアル**	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。長時間露出（バルブ、タイム）撮影も、このモードで行います。

P（プログラムオート）

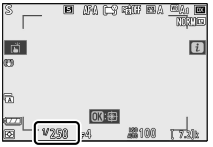
- 被写体の明るさに応じて露出が適正になるように、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。
- メインコマンドダイヤルを回すと、適正露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられる「プログラムシフト」が行えます。
  - プログラムシフト中は、プログラムシフトマーク（✱）が表示されます。



  - プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマークが消えるまでメインコマンドダイヤルを回してください。電源をOFFにしたときや、他の撮影モードに切り換えたときも、プログラムシフトは解除されます。

S（シャッター優先オート）

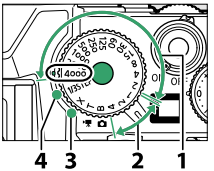
- シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。動きの速い被写体の撮影や、遅いシャッタースピードで被写体の動きを強調する撮影に適しています。



- シャッタースピードはシャッタースピードダイヤルを回して設定します。

撮影モード切り換えレバー

・［**X**］、［**T**］に合わせたり、［**1/3STEP**］、［**X**］、［**T**］、［**B**］から変更したりするには、シャッタースピードダイヤルロックボタンを押しながら回します。

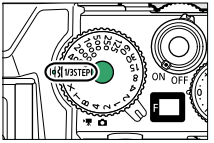


1 1/4000～1/2秒
2 1～4秒（赤文字）
3 **X**（フラッシュシンクロ）（🕮328）
4 **1/3STEP**（1/3ステップ）（🕮117）

・撮影モード**S**では、シャッタースピードダイヤルを［**B**］（Bulb）または［**T**］（Time）に合わせても、長時間露出撮影（🕮121）できません。長時間露出撮影をする場合、撮影モードを**M**に設定してください。

■ シャッタースピードを1/3ステップで設定する（撮影モードS、M）

シャッタースピードダイヤルを［**1/3STEP**］に合わせると、メインコマンドダイヤルでシャッタースピードを変更できます。

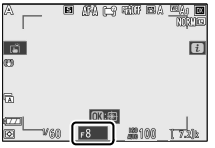


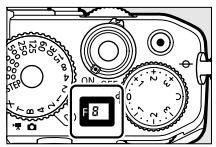
・シャッタースピードは1/3ステップで1/4000～30秒、［**X**］に設定できます。撮影モード**M**の場合、［**B**］（Bulb）や［**T**］（Time）も設定できます。
・次のようなシャッタースピードダイヤル以外を使ったシャッタースピードの設定ができます。
  ˉタッチ操作（🕮50）
  ˉ自分撮りモード時のタッチ操作（🕮48）

撮影モード切り換えレバー

A（絞り優先オート）

・絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。





・絞り値はサブコマンドダイヤルを回して設定します。
・設定できる最小絞り値、開放絞り値はレンズの種類によって異なります。

ヒント: 動画撮影時の絞り値やシャッタースピードなどについて

動画撮影時に絞り値、シャッタースピード、ISO感度を設定できるかどうかは、撮影モードによって異なります。

撮影モード	絞り値	シャッタースピード	ISO感度
P、**S**※1	—	—	—※2
A	✓	—	—※2
M	✓	✓	✓※3

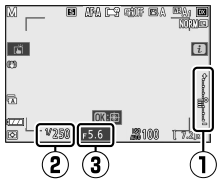
※1　撮影モードが**S**の場合は、**P**に設定したときと同じ露出制御になります。
※2　動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**制御上限感度**］でISO感度の上限を設定できます。
※3　動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**Mモード時の感度自動制御**］を［**する**］に設定した場合、［**制御上限感度**］でISO感度の上限を設定できます。

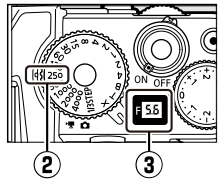
M（マニュアル）

・シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星空などを長時間露出（バルブ撮影、タイム撮影、🕮121）で撮影する場合にも使用します。

撮影モード切り換えレバー

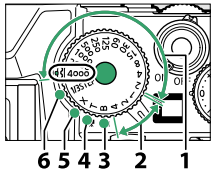
・露出インジケーター（**1**）を確認しながら、シャッタースピード（**2**）と絞り値（**3**）を設定します。





シャッタースピードの設定

・シャッタースピードはシャッタースピードダイヤルを回して設定します。
・［**X**］、［**T**］に合わせたり、［**1/3STEP**］、［**X**］、［**T**］、［**B**］から変更したりするには、シャッタースピードダイヤルロックボタンを押しながら回します。
・シャッタースピードダイヤルを［**1/3STEP**］に合わせると、メインコマンドダイヤルでシャッタースピードを変更できます。シャッタースピードを15秒や30秒に設定することもできます（🕮117）。



1 1/4000〜1/2秒
2 1〜4秒（赤文字）
3 **B**（Bulb）（🕮121）
4 **T**（Time）（🕮121）
5 **X**（フラッシュシンクロ）（🕮328）
6 **1/3STEP**（1/3ステップ）（🕮117）

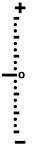
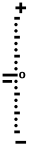
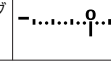
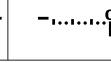
絞り値の設定

・サブコマンドダイヤルを回すと絞り値が変化します。
・設定できる最小絞り値、開放絞り値はレンズの種類によって異なります。

撮影モード切り換えレバー

露出インジケーターについて

・自分で設定したシャッタースピード、絞り値、およびISO感度の組み合わせによる露出値と、カメラが測光した適正露出値との差が、画像モニターとファインダーに表示されます。この「露出インジケーター」の見方は次の通りです。

表示部	適正露出の場合	1/3段アンダーの場合	3 1/3段以上オーバーの場合
画像モニター			
ファインダー			

・撮影モード**M**で露出補正を行った場合、露出インジケーターの適正露出の基準値が変わります。

露出の制御ができないときの警告について

光量がカメラの測光範囲を超えて露出の制御ができない場合は、露出インジケーターが点滅して警告します。

ヒント: シャッタースピードの延長について

カスタムメニューd5［**Mモード時のシャッタースピード延長**］を［**する**］に設定し、撮影モード**M**でシャッタースピードダイヤルを［**1/3STEP**］に合わせると、シャッタースピードを最長900秒（15分）まで設定できます。

・シャッタースピードを延長したときは、露出インジケーターは表示されません。

ヒント: 撮影モードM時の感度自動制御機能について

感度自動制御機能（🕮224、🕮302）を使用すると、設定したシャッタースピードと絞り値で適正露出になるようにISO感度が自動的に制御されます。

撮影モード切り換えレバー

▌▌ 長時間露出で撮影する

長時間露出撮影には、バルブ撮影とタイム撮影の2種類があります。花火や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに使います。

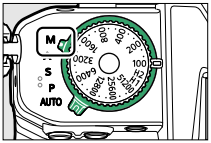


シャッタースピードをBulbに設定し、絞り値をF25にして35秒間の長時間露出撮影した場合の画像

撮影方法	内容
バルブ撮影	シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままになり、シャッターボタンを放すとシャッターが閉じます。
タイム撮影	シャッターボタンを全押しするとシャッターが開いたままになり、もう一度押すとシャッターが閉じます。

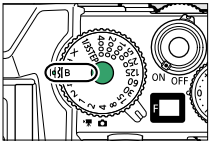
1 三脚などを使ってカメラを固定する

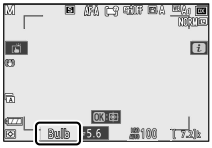
2 撮影モード切り換えレバーをMに合わせる



撮影モード切り換えレバー

3 **シャッタースピードダイヤルを回して、シャッタースピードを[Bulb]（バルブ）または[Time]（タイム）に合わせる**





バルブ撮影　　タイム撮影

- シャッタースピードダイヤルを［**1/3STEP**］に合わせている場合は、メインコマンドダイヤルでBulbまたはTimeに設定します。

4 **ピントを合わせて、長時間露出撮影を開始する**

- **バルブ撮影**：シャッターボタンを全押しして、長時間露出撮影を開始します。シャッターボタンは押し続けてください。
- **タイム撮影**：シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開き、長時間露出撮影を開始します。

5 **長時間露出撮影を終了する**

- **バルブ撮影**：シャッターボタンを放すと、長時間露出撮影は終了します。
- **タイム撮影**：もう一度シャッターボタンを全押しします。

撮影モード切り換えレバー

長時間露出について

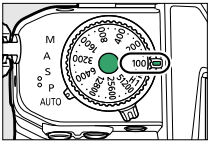
- 露光時間が長くなると、画像にノイズ（ざらつき、むら、輝点）が発生することがあります。
- 静止画撮影メニュー［**長秒時ノイズ低減**］を［**する**］に設定すると、画像に発生するむらや輝点が低減されます。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、電源としてフル充電したLi-ionリチャージャブルバッテリー、または別売の本体充電ACアダプターをお使いいただくことをおすすめします。
- 手ブレを抑えるために三脚の使用をおすすめします。
- 別売のリモコンML-L7をお使いの場合、バルブ撮影時もタイム撮影になります。

ISO感度ダイヤル

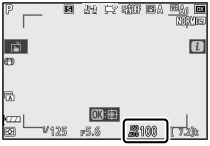
撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度（ISO感度）を変更できます。一般的に、ISO感度を高くするほど、より高速のシャッタースピードで撮影できます（同じ被写体を同じ絞り値で撮影する場合）。

ISO感度の設定方法

- ISO感度ダイヤルロックボタンを押しながらISO感度ダイヤルを回します。



- 設定したISO感度は撮影画面に表示されます。



■■ 静止画撮影時

- ISO感度はISO 100～51200 の間で設定できます。ISO感度ダイヤルを［**H1**］（Hi 1）に合わせると約1段、［**H2**］（Hi 2）に合わせると約2段、ISO 51200からの増感ができます。
- 撮影モードが［AUTO］の場合、ISO-A（AUTO）に固定され、カメラが自動的にISO感度を設定します。
- 静止画撮影メニュー［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定した場合、ISO感度の［**H1**］（Hi 1）と［**H2**］（Hi 2）は使用できません。ISO感度ダイヤルを［**H1**］や［**H2**］に合わせた場合、ISO 51200に設定されます。

ヒント: 静止画撮影時の感度自動制御について

静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］（🕮224）の［**感度自動制御**］を［**する**］に設定すると、撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で設定したISO感度で適正露出が得られないときに、カメラによる自動的なISO感度の変更ができます。

■■ 動画撮影時

- 次のように設定した場合のみISO感度を設定できます。それ以外の場合は、カメラが自動的にISO感度を設定します。
  - 撮影モード：**M**
  - 動画撮影メニュー［**ISO 感度設定**］の［**Mモード時の感度自動制御**］：［**しない**］
- ISO感度はISO 100～25600の間で設定できます。ISO感度ダイヤルをそれ以外に合わせた場合、ISO 25600に設定されます。

☑ ISO感度を高く設定した場合

ISO感度を高くするほど暗い場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効果的です。ただし、撮影した画像に多少ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。

☑ 増感域の高感度（H1、H2）に設定した場合

ISO感度を［**H1**］（Hi 1）に設定すると、ISO 51200に対して約1段分増感し（ISO 102400相当）、［**H2**］（Hi 2）では約2段分の増感になります（204800相当）。これらのISO感度に設定したときは、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生しやすくなります。

露出補正ダイヤル

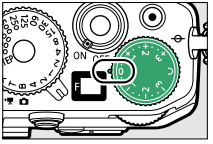
カメラが制御する適正露出値を意図的にずらせます。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。



−1段補正　　露出補正なし　　＋1段補正

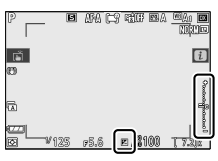
露出補正の設定方法

・露出補正ダイヤルを回します。



・露出補正は、1/3段ステップで±3段の範囲で設定できます。
・被写体を明るくしたいときは＋側に、暗くしたいときは−側に補正してください。
・露出補正を解除するには、露出補正ダイヤルを［**0**］に合わせてください。
・静止画撮影時には±アイコンとインジケーター（🕮120）が、動画撮影時には±アイコンが撮影画面に表示されます。静止画撮影時はインフォ画面（🕮56）や***i***メニューで、動画撮影時は***i***メニューで補正量を数字で確認できます。***i***メニューで補正量を確認するには、カスタムメニューf1またはg1

［**i メニューのカスタマイズ**］で、**i**メニューに［**露出補正**］を割り当ててください（🕮64）。



画像モニター

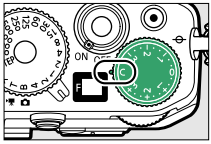


ファインダー

■■ 露出補正ダイヤル以外で設定する

露出補正ダイヤルを［**C**］に合わせると、次のような露出補正ダイヤル以外を使った露出補正の設定ができます。
静止画の場合は±5段の範囲で、動画の場合は±3段の範囲で設定できます。

- ［**露出補正簡易設定**］（🕮321）
- **i**メニュー（🕮132）
- 自分撮りモード時のタッチ操作（🕮48）
- レンズのコントロールリング（🕮334、🕮347）



撮影モードMでの露出補正について

- 撮影モードが**M**のときは、露出のインジケーター表示が変わるだけで、設定したシャッタースピード、絞り値、およびISO感度は変わりません。画像全体の明るさも変わりません。
- 感度自動制御機能（🕮224、🕮302）を使用している場合、補正量に応じてISO感度が自動的に制御され、画像全体の明るさが変わります。

別売スピードライト使用時の露出補正

別売スピードライト使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とスピードライトの発光量の両方に補正が行われ、画像全体の明るさが変わります。背景の明るさだけを補正することもできます（カスタムメニュー e3［**フラッシュ使用時の露出補正**］）。

AE-L/AF-L（Fn）ボタン

AEロックとフォーカスロックを同時に行います。



AEロック

- 被写体の特定の部分を測光して露出を決め、そのまま構図を変えて撮影できます。
- AEロックする場合、測光モードは中央部重点測光またはスポット測光に設定することをおすすめします。

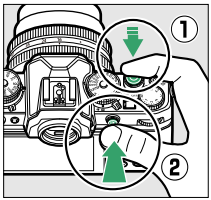
フォーカスロック

- フォーカスモードが**AF-C**の場合にフォーカスを固定したいときに使用します。
- フォーカスロックする場合、AFエリアモードを［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］以外に設定してください。

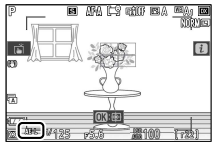
AEロック/フォーカスロックの方法

1 露出とピントを合わせたい被写体にフォーカスポイントを重ね、シャッターボタンを半押しする

2 AE-L/AF-L（ON）ボタンを押す



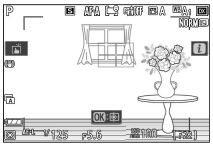
- AE-L/AF-L（ON）ボタンを押している間は、露出とピントが固定（ロック）されます。構図を変えても露出は変わりません。
- 画像モニターなどに**AE-L**マークが点灯します。



3 AE-L/AF-L（ON）ボタンを押したまま、構図を決めて撮影する



被写体との距離は変えないでください。AEロック/フォーカスロック後に被写体との距離が変化した場合は、いったんロックを解除し、ピントを合わせ直してください。



AE-L/AF-L（ON）ボタン

フォーカスモードをAF-Sに設定している場合またはAF-Aに設定していてAF-Sで撮影している場合のフォーカスロックについて

シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます。AF-ON（ON）ボタンを押してピントを固定することもできます。

シャッターボタンの半押しで露出を固定するには

カスタムメニュー c1［**シャッターボタンAEロック**］を［**する（半押し）**］に設定すると、シャッターボタンの半押しで露出を固定できます。

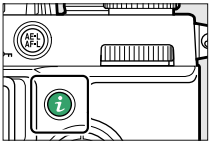
ピントを固定したまま繰り返し撮影したいときは

- AF-ON（ON）ボタンを押してフォーカスロックを行った場合は、AF-ON（ON）ボタンを押したままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。
- シャッターボタンの半押しでフォーカスロックした場合は、シャッターをきった後にシャッターボタンを半押しの状態に戻し、そのままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。

iメニューを使う

iメニューについて

使用頻度の高い機能の設定を素早く変更できます。iボタンを押すと、iメニューが表示されます。



・設定したい項目をマルチセレクターで選んでⓄⓀボタンを押すと、選択項目が表示されます。選択項目を選んでⓄⓀボタンを押すと、設定が変更されてiメニュー画面に戻ります。



・設定を変更せずに1つ前の画面に戻るには、iボタンを押してください。

ヒント: コマンドダイヤルで設定する

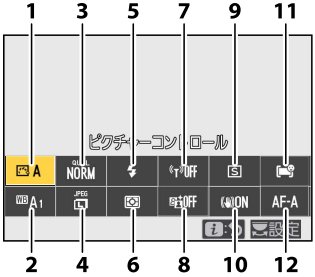
・項目によっては、**i**メニュー画面でメインコマンドダイヤルを回して設定を変更できます。設定した項目にさらに選択肢がある場合、サブコマンドダイヤルを回して設定を変更できます。



・項目によっては、メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルのどちらでも設定できるものがあります。

・⊛ボタンを押すと決定します。マルチセレクターで他の項目を選んだり、シャッターボタンを半押ししても設定が決定されます。

静止画モード



1 ピクチャーコントロール（📖134）
2 ホワイトバランス（📖139）
3 画質モード（📖147）
4 画像サイズ（📖148）
5 フラッシュモード（📖149）
6 測光モード（📖149）
7 Wi-Fi通信機能（📖150）
8 アクティブD-ライティング（📖151）
9 レリーズモード（📖152）
10 手ブレ補正（📖156）
11 AFエリアモード（📖157）
12 フォーカスモード（📖158）

ピクチャーコントロール

記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。

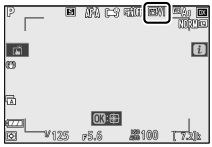
項目		内容
A	［**オート**］	・［**スタンダード**］をもとに、色合いや階調をカメラが自動的に調整します。 ・人物を撮影するシーンでは、［**スタンダード**］に比べて人物の肌を柔らかく表現した画像になります。 ・屋外のシーンでは、［**スタンダード**］に比べて青空や草木などの色が鮮やかな画像になります。

項目		内容
SD	［**スタンダード**］	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。ほとんどの撮影状況に適しています。
NL	［**ニュートラル**］	素材性を重視した自然な画像になります。撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。
VI	［**ビビッド**］	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
MC	［**モノクローム**］	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
PT	［**ポートレート**］	人物の肌が滑らかで自然な画像になります。
LS	［**風景**］	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。
FL	［**フラット**］	シャドー部からハイライト部まで幅広く情報を保持した画像になります。撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。
01～**20**	［**Creative Picture Control**］（クリエイティブピクチャーコントロール）	・色合いや階調、彩度などを細やかに作りこんだ多彩な効果により、さまざまな雰囲気を表現して撮影できます。 ・［**ドリーム**］、［**モーニング**］、［**ポップ**］、［**サンデー**］、［**ソンバー**］、［**ドラマ**］、［**サイレンス**］、［**ブリーチ**］、［**メランコリック**］、［**ピュア**］、［**デニム**］、［**トイ**］、［**セピア**］、［**ブルー**］、［**レッド**］、［**ピンク**］、［**チャコール**］、［**グラファイト**］、［**バイナリー**］、［**カーボン**］の20種類があります。

・ピクチャーコントロール選択画面で㊎を押すと、好みに合わせて調整できます。撮影画面を見ながら色味などを調整できます（🕮136）。

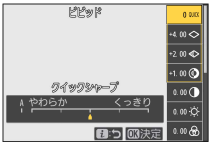


・設定したピクチャーコントロールは、撮影画面に表示されます。



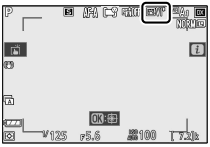
ピクチャーコントロールの微調整

iメニューで［**ピクチャーコントロール**］を選んで㊗ボタンを押すと、ピクチャーコントロールの選択項目が表示されます。調整したいピクチャーコントロールを選んで㊎を押すと撮影画面を見ながら調整できます。



・㊋㊎で調整する項目を選びます。㊌㊍を押すと1ステップ刻みで、サブコマンドダイヤルを回すと0.25ステップ刻みで値を調整します。
・調整できる項目は、選んだピクチャーコントロールによって異なります。
・🗑ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。
・㊗ボタンを押すと調整値を決定して**i**メニュー画面に戻ります。

・ピクチャーコントロールを微調整すると、ピクチャーコントロールのアイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。



ピクチャーコントロール調整時の△マークについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示される△マークは、前回調整した値を示しています。



調整項目の［A］（オート）について

・［**A**］（オート）がある項目では、［**A**］を選ぶと自動で調整されます。
・同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。

ヒント:［オート］を選んでいる場合

オートの調整レベルを［**A−2**］～［**A+2**］から選べます。



ピクチャーコントロールの調整項目

項目	内容
［**適用度**］	Creative Picture Controlの効果をどれだけ適用するかを調整します。
［**クイックシャープ**］	［**クイックシャープ**］を調整すると、画像のシャープさを調整する［**輪郭強調**］、［**ミドルレンジシャープ**］、［**明瞭度**］の各項目をバランスよく調整します。各項目を個別に調整することも可能です。

項目		内容
	［**輪郭強調**］	画像の精緻な部分や、被写体の輪郭部分のシャープさを調整します。
	［**ミドルレンジシャープ**］	［**輪郭強調**］と［**明瞭度**］の中間の細かさの模様や線に対してシャープさを調整します。
	［**明瞭度**］	画像の階調や明るさを維持しながら、画像全体や太めの線のシャープさを調整します。
［**コントラスト**］		画像のコントラストを調整できます。
［**明るさ**］		白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。
［**色の濃さ（彩度）**］		画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整できます。
［**色合い（色相）**］		画像の色合いを調整できます。
［**フィルター効果**］		白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。
［**調色**］		印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。調色の項目（［**B&W**］以外）を選んで⊛を押すと、さらに色の濃淡を選べます。
［**色の濃淡**］		適用するCreative Picture Controlの色の濃さを調整できます。

［フィルター効果］について

［**フィルター効果**］には、次のような効果があります。

項目	内容
［**Y**］（黄※）	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。［**Y**］→［**O**］→［**R**］の順にコントラストが強くなります。
［**O**］（オレンジ※）	
［**R**］（赤※）	
［**G**］（緑※）	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

※　市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを変更できます。ホワイトバランスの詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」の「ホワイトバランス」（🕮105）もご覧ください。

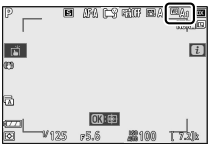
項目	
WB A［オート］	
	WB A0［白を優先する］
	WB A1［雰囲気を残す］
	WB A2［電球色を残す］
☀A［自然光オート］	
☀［晴天］	
☁［曇天］	
［晴天日陰］	

項目	
［電球］	
［蛍光灯］	
	［白色蛍光灯］
	［昼白色蛍光灯］
	［昼光色蛍光灯］
WB ϟ［フラッシュ］	
K［色温度設定］	
PRE［プリセットマニュアル］	

・WB A［**オート**］または［**蛍光灯**］が選ばれている状態で⊛を押すと、それぞれの種類が選べます。



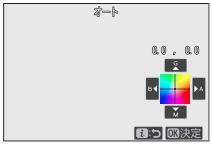
・設定したホワイトバランスは、撮影画面に表示されます。

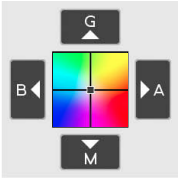


ホワイトバランスの微調整

iメニューで［**ホワイトバランス**］を選んでⓄⓀボタンを押すと、ホワイトバランスの選択項目が表示されます。設定したいホワイトバランスを選び（K［**色**

温度設定］以外）、調整画面が出るまで㊦を押すと、ホワイトバランスを調整できます。画像モニターを見ながら色味を調整できます。





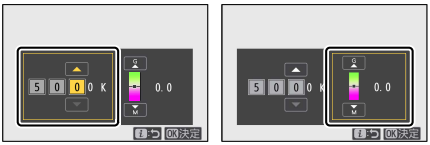
G	グリーンが強くなる
B	ブルーが強くなる
A	アンバーが強くなる
M	マゼンタが強くなる

- 画面上の矢印をタッチするか、マルチセレクターを押すと値を変更できます。
- ㊧ボタンを押すと調整値を決定して**i**メニュー画面に戻ります。
- ホワイトバランスを微調整すると、ホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。



色温度の設定

iメニューで［**ホワイトバランス**］を選んでⓀボタンを押すと、ホワイトバランスの選択項目が表示されます。K［**色温度設定**］を選んでを押すと、色温度を設定できます。



A（アンバー）および B（ブルー）方向　　G（グリーン）および M（マゼンタ）方向

- を押してA（アンバー）およびB（ブルー）方向の色温度の桁を選びます。また、G（グリーン）およびM（マゼンタ）方向の色温度にカーソルを移動できます。
- を押して数値を設定します。
- Ⓚボタンを押すと色温度を決定して**i**メニュー画面に戻ります。
- G（グリーン）、M（マゼンタ）方向の色温度を0以外に設定すると、ホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。

色温度設定についてのご注意

- 光源が蛍光灯のときは、色温度設定を使わず、［**蛍光灯**］に設定してください。
- ホワイトバランスの色温度を指定したときは、試し撮りをして、設定した色温度が撮影状況に適しているかどうかを確認することをおすすめします。

基準となる白を取得して設定（プリセットマニュアル）

カクテル照明や特殊照明下で撮影する場合、WBA［**オート**］や［**電球**］、K［**色温度設定**］では望ましいホワイトバランスが得られないことがあります。その場合、撮影する照明下で白またはグレーの被写体を撮影してプリセットマニュアルデータを取得し、それを基準にしてホワイトバランスを設定します。プリセットマニュアルデータは最大6つまでカメラに保存できます。

1 **i**メニューの［ホワイトバランス］で**PRE**［プリセットマニュアル］を選んでマルチセレクターの㊦を押す



2 新規取得するプリセットマニュアルデータの保存場所を選ぶ

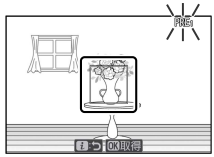


・保存場所は［**d-1**］～［**d-6**］から選べます。
・㊎ボタンを押して決定すると、**i**メニュー画面に戻ります。

3 **iメニューの［ホワイトバランス］を選んだ状態で⊛ボタンを長押しし、プリセットマニュアル取得モードにする**



・プリセットマニュアル取得モードになると、撮影画面に**PRE**が点滅します。

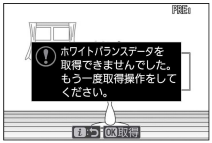


・画面中央に□が表示されます。

4 □を被写体の白またはグレーの部分に重ね、プリセットマニュアルデータを取得する



・□はマルチセレクターで移動できます。
・シャッターボタンを全押しするか⊛ボタンを押すとプリセットマニュアルデータを取得できます。
・画像モニターをタッチすると、その場所に□が移動してプリセットマニュアルデータを取得できます。
・別売のスピードライトを装着している場合は、□を移動できません。カメラを動かして画面の中央部分に被写体の白またはグレーの部分を重ねてください。
・データが取得できなかった場合は、撮影画面にメッセージが表示されてプリセットマニュアル取得モードの状態に戻ります。□の位置を変えるなどして、再度プリセットマニュアルデータを取得してください。



5 iボタンを押してプリセットマニュアル取得モードを終了する

プリセットマニュアルについて

静止画撮影メニュー［**ホワイトバランス**］で**PRE**［**プリセットマニュアル**］を選ぶと、取得したプリセットマニュアルデータを管理できます。撮影済み画像のホワイトバランスのデータをプリセットマニュアルとして使用することや、コメントの記入およびプロテクト設定ができます。

ホワイトバランスのプロテクト設定について

プロテクト設定されたプリセットマニュアルデータが選ばれている場合、プリセットマニュアルデータは新規取得できません（プリセットマニュアルのアイコンの横にアイコンが表示されます）。

プリセットマニュアルデータについて

- ご購入時のプリセットマニュアルデータd-1～d-6は、☀［**晴天**］と同じ色温度5200Kに設定されています。
- 静止画撮影メニュー［**ホワイトバランス**］の**PRE**［**プリセットマニュアル**］を選ぶと、取得したプリセットマニュアルデータが表示されます。マルチセレクターでプリセットマニュアルデータを選んでOKボタンを押すと、選んだプリセットマニュアルを使って撮影できます。



プリセットマニュアル取得モードの時間制限について

プリセットマニュアル取得モードの時間制限は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］で設定した時間になります。

プリセットマニュアルデータ取得時の制限について

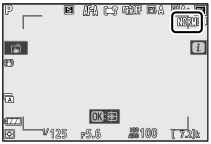
多重露出撮影時は、プリセットマニュアルデータを取得できません。

画質モード

記録する画像の画質モードを選びます。

項目	内容
[**RAW+FINE**]	・RAWとJPEGの2種類の画像を同時に記録します。 ・カメラではJPEG画像のみを再生します。JPEG画像と同時記録されたRAW画像はパソコンでのみ再生できます。 ・RAW画像と同時記録されたJPEG画像をカメラ上で削除すると、RAW画像も削除されます。
[**RAW+NORMAL**]	
[**RAW+BASIC**]	
[**RAW**]	RAWの画質が最も高く、「FINE」、「NORMAL」、「BASIC」の順に画質は低くなります。
[**FINE**]	
[**NORMAL**]	
[**BASIC**]	

設定した画質モードは、撮影画面に表示されます。



ヒント: RAW画像について

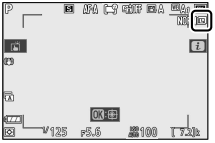
- ファイルの拡張子はNEFになります。
- RAW画像からJPEG画像などの汎用性の高い画像ファイルフォーマットに変換することをRAW現像と呼びます。RAW現像の際に、露出補正やホワイトバランス、ピクチャーコントロールなどの設定を調整できます。
- RAW現像では、RAW画像そのものは加工されないため、いろいろな設定で繰り返しRAW現像を行っても、RAW画像そのものの品質は維持されます。
- RAW現像は、カメラの画像編集メニュー［**RAW現像**］で行うか、パソコンでニコンソフトウェアNX Studioを使用すると行えます。NX Studioはニコンダウンロードセンターから無料でダウンロードできます。

ヒント: RAW画像とJPEG画像の同時記録について

- RAWとJPEGを同時に記録する画質モードで撮影したとき、カメラではJPEG画像のみを再生します。JPEG画像と同時記録されたRAW画像はパソコンでのみ再生できます。
- RAW画像と同時記録されたJPEG画像をカメラ上で削除すると、RAW画像も削除されます。

画像サイズ

画像を記録するときの画像サイズを選びます。設定した画像サイズは、撮影画面に表示されます。



▮▮ 画像サイズのピクセル数

画像のピクセル数は、静止画撮影メニュー［**撮像範囲設定**］の設定によって異なります。

撮像範囲	画像サイズ		
	L	M	S
［**DX（24×16）**］	5568×3712	4176×2784	2784×1856

撮像範囲	画像サイズ		
	L	M	S
［**1:1（16×16）**］	3712×3712	2784×2784	1856×1856
［**16:9（24×14）**］	5568×3128	4176×2344	2784×1560

フラッシュモード

別売スピードライトをカメラに装着した場合のフラッシュモードを設定できます。設定できるフラッシュモードと撮影モードの組み合わせは次の通りです。

項目		設定できる撮影モード
ϟ	［**通常発光**］	**AUTO**、**P**、**S**、**A**、**M**
ϟ◉	［**赤目軽減発光**］	**AUTO**、**P**、**S**、**A**、**M**
ϟ SLOW	［**通常発光+スローシャッター**］	**P**、**A**
ϟ◉ SLOW	［**赤目軽減+スローシャッター**］	**P**、**A**
ϟ REAR	［**後幕発光**］	**P**、**S**、**A**、**M**
⊗	［**発光禁止**］	**AUTO**、**P**、**S**、**A**、**M**

設定したフラッシュモードは、撮影画面に表示されます。

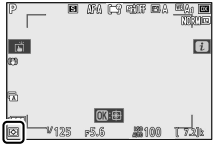


測光モード

画面内のどの部分の明るさを、どのように測定するかを決めるための測光モードを選びます。

	項目	内容
▣	［**マルチパターン測光**］	画面の広い領域を測光して、被写体の輝度（明るさ）分布、色、距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画像が得られます。
◉	［**中央部重点測光**］	・画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。 ・露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。 ・測光範囲はカスタムメニューb2［**中央部重点測光範囲**］で変更できます。
⊡	［**スポット測光**］	・フォーカスポイントに重なるφ3.5mm相当（全画面の約2.5%）の部分だけを測光します。逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲での露出を基準にして撮影したい場合に適しています。 ・測光エリアは、フォーカスポイントに連動します。ただし、AFエリアモード（🕮92）が［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］のときは中央のフォーカスポイントに相当する部分を測光します。
⊡*	［**ハイライト重点測光**］	画面のハイライト部分を重点的に測光します。舞台撮影など、ハイライト部分の白とびを軽減して撮影したい場合に適しています。

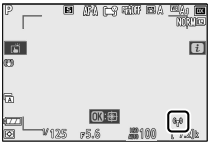
設定した測光モードは、撮影画面に表示されます。



Wi-Fi通信機能

Wi-Fi通信機能のオン/オフを切り替えられます。

- Wi-Fi通信機能をオンにすると、パソコンやSnapBridgeアプリをインストールしたスマートフォンと無線接続することができます（🕮437）。
- Wi-Fi通信機能がオンになっていると、Wi-Fiアイコンが撮影画面に表示されます。



- Wi-Fi通信機能がオンの場合に**i**メニュー画面で［**Wi-Fi通信機能**］を選び、Ⓚボタンを押すと［**Wi-Fi接続を停止**］が表示されます。Ⓚボタンを押すと、無線通信を終了します。

アクティブD-ライティング

白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するのに効果的です。アクティブD-ライティングを設定したときは、測光モードをマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめします。



［**しない**］

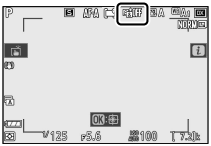


［**暗A オート**］

項目		内容
暗A	［**オート**］	撮影シーンに応じて自動的にアクティブD-ライティングの効果の度合いを設定します。
暗H	［**より強め**］	効果の度合いは、強い順に［**より強め**］、［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］になります。

項目		内容
H	［**強め**］	効果の度合いは、強い順に［**より強め**］、［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］になります。
N	［**標準**］	
L	［**弱め**］	
OFF	［**しない**］	アクティブD-ライティングを設定しません。

設定したアクティブD-ライティングの設定は、撮影画面に表示されます。



アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影をするとき、撮影シーンによっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が強調される場合があります。
- 撮影モードが**M**のときは、［**Aオート**］に設定していても［**N標準**］相当の度合いに固定されます。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- ISO感度が高感度（Hi 1、Hi 2）および感度自動制御でISO感度が高感度に制御された場合は機能しません。

レリーズモード

シャッターをきる（レリーズする）ときの動作を設定できます。

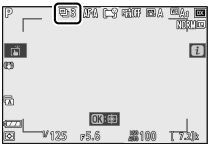
項目		内容
S	［**1コマ撮影**］	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。

項目		内容
L	[**低速連続撮影**]	・シャッターボタンを全押ししている間、設定した速度で連続撮影します。 ・レリーズモード設定画面で低速連続撮影が選ばれている状態でサブコマンドダイヤルを回すと、連続撮影速度を設定できます。 ・連続撮影速度は1コマ/秒～4コマ/秒の間で設定できます。
H	[**高速連続撮影**]	シャッターボタンを全押ししている間、最速約5コマ/秒で連続撮影します。
H*	[**高速連続撮影（拡張）**]	・シャッターボタンを全押ししている間、最速約11コマ/秒で連続撮影します。 ・別売のスピードライトは発光しません。 ・フリッカー低減撮影の効果は無効になります。
	[**セルフタイマー**]	セルフタイマー撮影ができます（🕮155）。

・[**低速連続撮影**] が選ばれている状態で🌍を押すと、連続撮影速度を設定できます。



・設定したレリーズモードは、撮影画面に表示されます。



連続撮影時の撮影画面について

低速連続撮影および高速連続撮影の場合、連続撮影中でも被写体の動きがリアルタイムに表示されます。

連続撮影速度について

連続撮影時の最大撮影速度は、カメラの設定により異なります。

レリーズモード	画質モード	記録ビットモード	サイレント撮影	
			しない	する
［低速連続撮影］	JPEG	—	設定したコマ/秒	
	RAWを含む画質モード	12ビット		
		14ビット		
［高速連続撮影］	JPEG	—	約5コマ/秒	約4.5コマ/秒
	RAWを含む画質モード	12ビット		
		14ビット		約4コマ/秒
［高速連続撮影（拡張）］	JPEG	—	約11コマ/秒※	約11コマ/秒
	RAWを含む画質モード	12ビット		
		14ビット	約9コマ/秒	約8.5コマ/秒

※　カスタムメニューd4［**シャッター方式**］で［**電子先幕シャッター**］を選んでいる場合は約10コマ/秒になります。

連続撮影についてのご注意

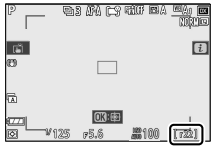
- メモリーカードの性能や撮影条件によっては、数十秒から1分間程度メモリーカードアクセスランプが点灯します。メモリーカードアクセスランプの点灯中にカメラからメモリーカードを取り出さないでください。データが消失するだけでなく、カメラとメモリーカードに不具合が生じるおそれがあります。
- メモリーカードアクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、撮影された全ての画像がメモリーカードに記録されてから電源が切れます。
- 連続撮影時にバッテリーの残量がなくなった場合は、撮影は行わず、撮影済みの画像データがメモリーカードに記録されて終了します。

高速連続撮影（拡張）撮影時のご注意

カメラの設定によっては、連続撮影中に露出が安定しないことがあります。露出の変化が気になる場合は、AEロック（🕮129）を行って連写中の露出を固定してください。

連続撮影可能コマ数について

- シャッターボタンを半押しすると、記録可能コマ数表示部に連続撮影可能コマ数が表示されます。



- 「**r00**」と表示されている間は連続撮影速度が低下します。
- 表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその目安です。カメラの設定や撮影条件によって増減することがあります。

セルフタイマー撮影

シャッターボタンを全押しした後、設定した時間が過ぎると、自動的にシャッターがきれます。

1 iメニューの［レリーズモード］で［セルフタイマー］を選んでマルチセレクターの◎を押す



2 **シャッターがきれるまでの時間と、撮影するコマ数を設定する**



Ⓚボタンを押して決定します。

3 **構図を決め、ピントを合わせる**



フォーカスモードが**AF-S**でピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態ではセルフタイマーは作動しません。

4 **セルフタイマー撮影を開始する**

・セルフタイマー設定時は撮影画面に⏲アイコンが表示されます。
・シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅します。撮影2秒前になると点滅から点灯に変わります。



☑ セルフタイマーの撮影間隔と撮影コマ数について

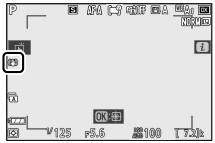
カスタムメニューc2［**セルフタイマー**］で撮影するコマ数、連続撮影するときの撮影間隔を設定できます。

手ブレ補正

手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。表示される項目は、カメラに装着しているレンズによって異なります。

項目		内容
ON	［**する**］ ［**ノーマル**］	手ブレ補正効果が高く、静止している被写体を撮影する場合に適しています。
SPT	［**スポーツ**］	スポーツなどの動きの変化が激しい被写体を撮影する場合に適しています。
OFF	［**しない**］	手ブレ補正を行いません。

［**しない**］以外に設定すると、アイコンが撮影画面に表示されます。



手ブレ補正使用時のご注意

- 装着しているレンズによっては設定を変更できない場合があります。
- 撮影画面の表示が安定してから撮影することをおすすめします。
- 装着しているレンズによっては、手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後に撮影画面の表示がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。
- 流し撮りする場合は［**ノーマル**］または［**スポーツ**］に設定することをおすすめします。［**ノーマル**］または［**スポーツ**］に設定して流し撮りなどでカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレだけが補正されます。
- 手ブレ補正機能を備えたレンズを装着した状態で三脚や一脚をお使いになるときは、レンズにより設定が異なる場合がありますので、レンズの説明書をご覧の上お使いください。

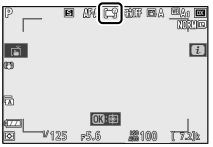
AFエリアモード

フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。各項目の詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「AFエリアモード」（🕮92）もあわせてご覧ください。

項目	
PIN	［ピンポイントAF］
[ ]	［シングルポイントAF］
[ ]	［ダイナミックAF］
WIDE-S	［ワイドエリアAF（S）］
WIDE-L	［ワイドエリアAF（L）］

項目	
WIDE-L	［ワイドエリアAF（L-人物）］
WIDE-L	［ワイドエリアAF（L-動物）］
[ ]	［オートエリアAF］
[ ]	［オートエリアAF（人物）］
[ ]	［オートエリアAF（動物）］

設定したAFエリアモードは、撮影画面に表示されます。



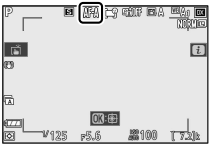
フォーカスモード

ピントの合わせ方を選べます。各項目の詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「フォーカスモード」（□90）もあわせてご覧ください。

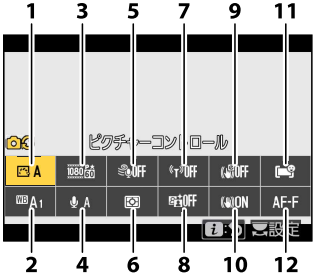
項目	
AF-A	［AFモード自動切り換え］
AF-S	［シングルAF］

項目	
AF-C	［コンティニュアスAF］
MF	［マニュアルフォーカス］

設定したフォーカスモードは、撮影画面に表示されます。



動画モード



1	ピクチャーコントロール（🕮160）
2	ホワイトバランス（🕮160）
3	画像サイズ/フレームレート/画質（🕮160）
4	マイク感度（🕮163）
5	風切り音低減（🕮164）
6	測光モード（🕮165）
7	Wi-Fi通信機能（🕮165）
8	アクティブD-ライティング（🕮165）
9	電子手ブレ補正（🕮166）
10	手ブレ補正（🕮166）
11	AFエリアモード（🕮166）
12	フォーカスモード（🕮167）

ヒント:［静止画の設定と同じ］

動画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］、［**ホワイトバランス**］、［**アクティブD-ライティング**］または［**手ブレ補正**］で［**静止画の設定と同じ**］を選んでいる場合、**i**メニューの左上に📷🔄アイコンが表示されます。**i**メニューから設定する場合、静止画モードのときにピクチャーコントロールやホワイトバランスを変更すると動画モードでも、動画モードで設定を変更すると静止画モードでも同じ設定になります。



ピクチャーコントロール

ピクチャーコントロールを選べます。ピクチャーコントロールの詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」（🕮134）もあわせてご覧ください。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを選べます。ホワイトバランスの詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」（🕮139）もあわせてご覧ください。

画像サイズ/フレームレート/画質

動画を記録するときの画像サイズ（ピクセル）とフレームレート、動画の画質を設定します。

▮▮ 動画の画質

［**高画質**］と［**標準**］があります。［**高画質**］を選ぶと［**画像サイズ/フレームレート**］のアイコンに★が表示されます。選んだ画像サイズ/フレームレートによっては［**高画質**］に固定される場合があります。

▌▌ 画像サイズ/フレームレート

［**画像サイズ/フレームレート**］の設定と、それぞれの最大ビットレートおよび最長記録時間は次の通りです。ビットレートは画質の設定により異なります。

項目※1		最大ビットレート		最長記録時間
		高画質	標準	
2160 60p	［**3840×2160 30p**］※2	144Mbps	—※3	29分59秒※5
2160 50p	［**3840×2160 25p**］※2			
2160 24p	［**3840×2160 24p**］※2			
1080 120p	［**1920×1080 120p**］※4			
1080 100p	［**1920×1080 100p**］※4			
1080 60p/1080 60i	［**1920×1080 60p**］	56Mbps	28Mbps	
1080 50p/1080 50i	［**1920×1080 50p**］			
1080 30p/1080 30i	［**1920×1080 30p**］	28Mbps	14Mbps	
1080 25p/1080 25i	［**1920×1080 25p**］			
1080 24p/1080 24i	［**1920×1080 24p**］			
1080 60p	［**1920×1080 30p 4倍スロー**］※4	36Mbps	—※3	3分
1080 50p	［**1920×1080 25p 4倍スロー**］※4			
1080 24p	［**1920×1080 24p 5倍スロー**］※4	29Mbps		

※1　120p：119.88コマ/秒（fps）、100p：100コマ/秒、60p：59.94コマ/秒、50p：50コマ/秒、30p：29.97コマ/秒、25p：25コマ/秒、24p：23.976コマ/秒

※2　4K UHD動画として記録されます。

※3　画質は［**高画質**］に固定されます。

※4　次の機能は使用できません。

- ［**AFエリアモード**］が［**ワイドエリアAF（L-人物）**］、［**ワイドエリアAF（L-動物）**］、［**オートエリアAF（人物）**］、または［**オートエリアAF（動物）**］の場合の人物または犬や猫の顔検出および瞳検出

・フリッカー低減
・電子手ブレ補正
・動画撮影中のHDMI出力

※5 32GBを超えるカードを使用する場合、1回の動画撮影で最長記録時間まで撮影し続けます。32GB以下のカードを使用する場合、最長記録時間まで撮影し続けますが、動画は最大8個のファイルに分割されて記録されることがあります。分割された各ファイルのファイルサイズは最大で4GBです。1回の撮影で作成されるファイルの数と1ファイルあたりの記録時間は［**画像サイズ/フレームレート**］および［**動画の画質**］の設定によって異なります。

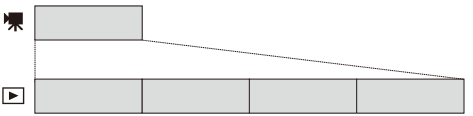
設定した［**画像サイズ/フレームレート/画質**］は、撮影画面に表示されます。



スローモーション動画について

［**画像サイズ/フレームレート**］で［**1920×1080 30p 4倍スロー**］、［**1920×1080 25p 4倍スロー**］、または［**1920×1080 24p 5倍スロー**］を選ぶとスローモーション動画を撮影できます。音声は記録されません。

・例えば［**1920×1080 30p 4倍スロー**］の場合、120pのフレームレートで読み出した画像を30pの動画として記録します。約10秒間撮影した動画は、約40秒かけて再生されます。スポーツでのボールのインパクトの瞬間など、一瞬の出来事をゆっくりと見ることができます。



・画像を読み出すときのフレームレートと、動画を記録および再生するときのフレームレートは次の通りです。

画像サイズ/フレームレート	画像を読み出すときのフレームレート※	動画を記録・再生するときのフレームレート※
1920×1080 30p 4倍スロー	120p	30p
1920×1080 25p 4倍スロー	100p	25p
1920×1080 24p 5倍スロー	120p	24p

※ 120p：119.88コマ/秒（fps）、100p：100コマ/秒、30p：29.97コマ/秒、25p：25コマ/秒、24p：23.976コマ/秒

スローモーション動画撮影時のご注意

次の機能は、スローモーション動画撮影中に使用できません。

- フリッカー低減
- 電子手ブレ補正
- タイムコード記録
- 動画撮影中のHDMI出力

マイク感度

内蔵マイクまたは外部マイクの感度の程度を設定します。

項目	内容
A	カメラが自動的にマイク感度を調整します。
[**録音しない**]	音声は記録しません。
1～**20**	マイク感度を手動調整します。[**1**] ～ [**20**] の調整ができます。数字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなります。

- **A**以外に設定した場合、撮影画面にマイク感度が表示されます。



・音声レベルインジケーターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示しています。マイク感度を調節してください。



音声が記録されていない動画の表示について

マイク感度を［**録音しない**］にして撮影した動画の場合、🔇（音声なしマーク）が表示されます。



風切り音低減

動画撮影時に風切り音低減機能を使用するかどうかを設定できます。

項目	内容
［**する**］	ローカットフィルター機能により、内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録できます。ただし、風切り音以外の音も聞こえにくくなることがあります。
［**しない**］	風切り音低減機能を使用しません

［**する**］に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。



別売のステレオマイクロホンをお使いの場合は、カメラ側で［**風切り音低減**］を［**する**］に設定しても風切り音は低減されません。風切り音低減機能のあるステレオマイクロホンをお使いの場合は、ステレオマイクロホン側で設定してください。

測光モード

測光モードを選べます。測光モードの詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」（🕮149）もあわせてご覧ください。

☑ 測光モードのご注意
動画モードの場合、［**スポット測光**］は選べません。

Wi-Fi通信機能

Wi-Fi通信機能のオン/オフを切り替えられます。Wi-Fi通信機能の詳しい内容や設定方法などは、「静止画モード」（🕮150）や、「メニューガイド」にある「スマートフォンと接続」の「Wi-Fi接続」（🕮371）もあわせてご覧ください。

アクティブD-ライティング

動画モード時のアクティブD-ライティングを設定できます。［**静止画の設定と同じ**］を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります。アクティブD-ライティングの詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」もあわせてご覧ください（🕮151）。

［静止画の設定と同じ］
静止画撮影メニューのアクティブD-ライティングが［**オート**］のときに、動画撮影メニューで［**静止画の設定と同じ**］を選んだ場合は、［**標準**］と同じ設定になります。

電子手ブレ補正

動画撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。

項目	内容
［**する**］	・動画撮影時に電子手ブレ補正を行います。 ・動画の画像サイズ/フレームレートを1920×1080 120p、1920×1080 100pまたは1920×1080スローに設定している場合は電子手ブレ補正は機能しません。 ・［**する**］に設定すると、画角が小さくなり表示が少し拡大されます。
［**しない**］	電子手ブレ補正を行いません。

［**する**］に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。



手ブレ補正

動画撮影時に手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。手ブレ補正の詳しい内容や設定方法などは「静止画モード」（🕮156）もあわせてご覧ください。

AFエリアモード

フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。AFエリアモードの詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「AFエリアモード」（🕮92）もあわせてご覧ください。

項目	
[↕]	［シングルポイントAF］
WIDE-S	［ワイドエリアAF（S）］
WIDE-L	［ワイドエリアAF（L）］
WIDE-L	［ワイドエリアAF（L-人物）］

項目	
WIDE-L	［ワイドエリアAF（L-動物）］
[▬]	［オートエリアAF］
[▬]	［オートエリアAF（人物）］
[▬]	［オートエリアAF（動物）］

フォーカスモード

ピントの合わせ方を選べます。フォーカスモードの詳しい説明については「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「フォーカスモード」（🕮90）もあわせてご覧ください。

項目	
AF-S	［シングルAF］
AF-C	［コンティニュアスAF］

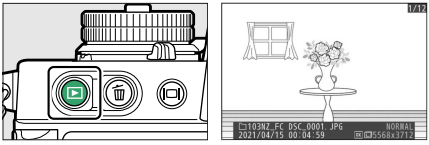
項目	
AF-F	［フルタイムAF］
MF	［マニュアルフォーカス］

撮影した画像を見る

画像を再生する

1コマ表示モード

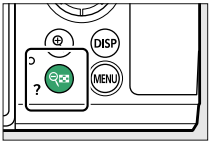
▶ボタンを押すと、最後に撮影した画像が画像モニターまたはファインダーに表示されます。



- マルチセレクターの◀を押すと前の画像が、▶を押すと次の画像が表示されます。
- ▲▼または**DISP**ボタンを押すと、表示中の画像についての詳しい情報が表示されます（🕮171）。

サムネイル表示モード

1コマ表示モードのときに（?）ボタンを押すと、複数の縮小画像（サムネイル画像）を表示する「サムネイル表示モード」に切り替わります。

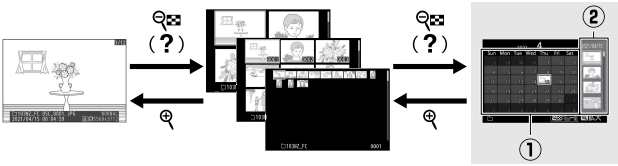




- 表示される画像の数は、（?）ボタンを押すたびに4コマ、9コマ、72コマの順に増え、ボタンを押すたびに減ります。
- マルチセレクターの▲▼◀▶を押して画像を選びます。

カレンダー表示モード

72コマ表示のときに（?）ボタンを押すと、撮影した日付ごとに縮小画像を表示する「カレンダー表示モード」に切り替わります。



- カレンダー表示（①）でマルチセレクターの▲▼◀▶を押し撮影日を選んでから、（?）ボタンを押すと、黄色い枠が撮影日サムネイル表示（②）に移動します。撮影日サムネイル表示で▲▼を押すと、その日に撮

影した画像が選べます。撮影日サムネイル表示からカレンダー表示に戻るには、もう一度Q（**?**）ボタンを押します。
- 撮影日サムネイル表示のときは、Wボタンを押している間、拡大表示をします。
- カレンダー表示モードからサムネイル表示モードに切り換えるには、Wボタンを押します。

☑ タッチパネルでの操作について
画像モニターで再生している場合、タッチ操作で再生画面を切り換えることができます（🕮51）。

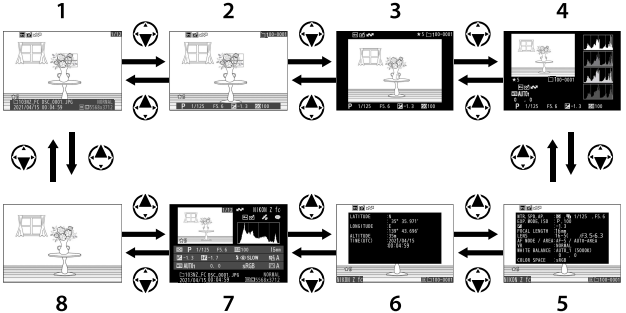
☑ 縦位置で撮影した画像の場合
再生メニュー［**縦位置自動回転**］を［**する**］に設定している場合、縦位置で撮影された画像を縦位置で再生します。



☑ 撮影直後の画像確認について
再生メニュー［**撮影直後の画像確認**］を［**する**］に設定している場合、▶ボタンを押さなくても、撮影した画像を自動的に画像モニターまたはファインダーに表示します。
- ［**する（画像モニター表示のみ）**］に設定している場合、ファインダーには撮影画像は表示されません。
- 連続撮影時は、撮影終了後に最初のコマから順次画像を表示します。
- 再生メニュー［**縦位置自動回転**］を［**する**］に設定していても、撮影直後の画像確認時は自動回転しません。

画像情報を表示する

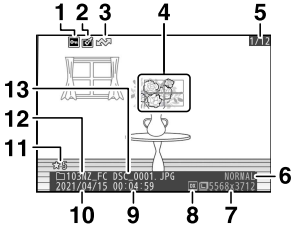
1コマ表示モードでは、画像についての詳しい情報を見ることができます。マルチセレクターの▲▼または**DISP**ボタンを押すと、次のように撮影情報の表示が切り替わります。



1	標準表示	5	撮影情報※1、2
2	露出情報※1	6	位置情報表示※3
3	ハイライト表示※1	7	統合表示※1
4	RGBヒストグラム※1	8	画像のみ表示※1

※1　再生メニュー［**再生画面設定**］で設定している場合のみ表示します。
※2　撮影情報では複数の詳細情報のページがあり、マルチセレクターの▲▼で表示を切り換えます。
※3　位置情報が記録された画像の場合のみ表示します。

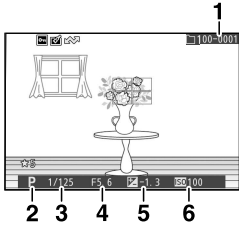
標準表示



1	プロテクト設定の有無（🕮114）	8	撮像範囲（🕮222）
2	画像編集の有無（🕮384）	9	撮影時刻（🕮357）
3	送信指定の有無（🕮185）	10	撮影日付（🕮357）
4	フォーカスポイント※（🕮77）	11	レーティング（🕮112）
5	コマ番号/フォルダー内全画像数	12	フォルダー名（🕮218）
6	画質モード（🕮147）	13	ファイル名（🕮222）
7	画像サイズ（🕮148）		

※ 再生メニュー［**再生画面設定**］で［**フォーカスポイント**］を設定した場合のみ表示します。

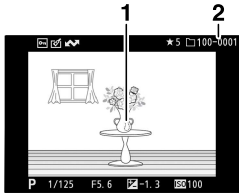
露出情報



1	フォルダー番号-ファイル名を表す4桁の数字（🕮218）
2	撮影モード（🕮115）
3	シャッタースピード（🕮116、🕮118）
4	絞り値（🕮118、🕮118）
5	露出補正値（🕮126）
6	ISO感度※（🕮124）

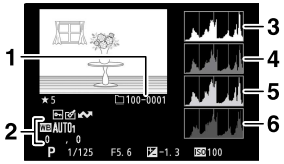
※ 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

ハイライト表示



1	画像のハイライト部分（画像の中の非常に明るい部分）を各色ごとに点滅表示します。
2	フォルダー番号-ファイル名を表す4桁の数字（🕮218）

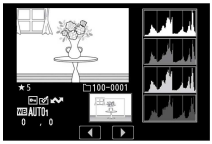
RGBヒストグラム



1	フォルダー番号-ファイル名を表す4桁の数字（🕮218）
2	ホワイトバランス（🕮105、🕮139、🕮226） ホワイトバランス色温度（🕮142） プリセットマニュアル（🕮142） ホワイトバランス微調整（🕮140）
3	RGBのヒストグラム
4	赤色（R）のヒストグラム
5	緑色（G）のヒストグラム
6	青色（B）のヒストグラム

拡大ヒストグラム表示について

RGBヒストグラム表示で🔍ボタンを押すと、ヒストグラム表示のまま拡大画面になります。拡大ヒストグラム表示では、拡大領域のヒストグラムを表示することができます。また、拡大表示中にマルチセレクターを操作すると画面をスクロールして見たい部分に移動できます。🔍（?）ボタンを押すと画像を縮小表示します。



ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、画像の明るさ（輝度）の分布を表すグラフのことです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。

・いろいろな明るさの被写体が写っている画像では、グラフの山が全体的に分布したヒストグラムになります。



・暗い画像はヒストグラムの分布が左側に寄った形になります。



・明るい画像はヒストグラムの分布が右側に寄った形になります。



露出補正を＋側にすれば山が右側に寄り、－側にすれば山が左側に寄ります。屋外などで周りが明るすぎて画像モニターでは画像の明るさが確認しにくいときでも、ヒストグラムから画像全体の露出傾向を確認することができます。

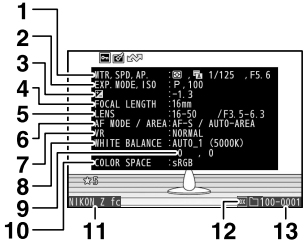
ヒストグラム表示について

・RGBヒストグラムは明るさ（輝度）を表示しています。
・ヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムと異なることがあります。目安としてお使いください。

撮影情報

撮影時の設定の詳細を表示します。撮影情報では複数の詳細情報のページがあり、マルチセレクターの㊤㊦で表示を切り換えます。

■■ 撮影基本情報



1	測光モード（🕮149） シャッター方式（🕮325） シャッタースピード（🕮116、🕮118） 絞り値（🕮118、🕮118）
2	撮影モード（🕮115） ISO感度※1（🕮124）
3	露出補正値（🕮126） 基準露出レベルの調節値※2（🕮322）
4	焦点距離
5	レンズ情報
6	フォーカスモード（🕮90） AFエリアモード（🕮92）
7	手ブレ補正機能（🕮156）
8	ホワイトバランス※3（🕮105、🕮139、🕮226）
9	ホワイトバランス微調整（🕮140）
10	色空間（🕮239）
11	カメラ名
12	撮像範囲（🕮222）
13	フォルダー番号-ファイル名を表す4桁の数字（🕮218）

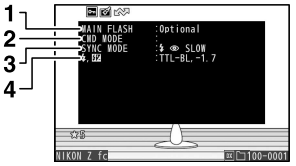
※1 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

※2 カスタムメニューb3［**基準露出レベルの調節**］を0以外に設定している場合のみ表示します。

※3 WB**A**［**オート**］で撮影した場合は、撮影時の色温度が表示されます。

フラッシュ情報

別売のスピードライト使用時にのみ表示します（🕮450、🕮461）。



1 フラッシュの種類
2 リモートフラッシュの制御方法
3 フラッシュモード（🕮455）
4 フラッシュ発光モード（🕮454）
調光補正値（🕮457）

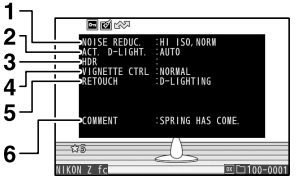
ピクチャーコントロール情報

表示される項目は、撮影時に設定したピクチャーコントロールによって異なります。



1 ピクチャーコントロール（🕮134、🕮233）

▮▮ 撮影情報その他



1 高感度ノイズ低減（🕮240）
長秒時ノイズ低減（🕮239）

2 アクティブD-ライティング（🕮151）

3 HDRの露出差（🕮265）
HDRのスムージング（🕮265）

4 ヴィネットコントロール（🕮241）

5 画像編集メニュー（🕮384）で行われた画像編集の内容が一覧表示されます。複数の画像編集が行われた場合は、順番に表示されます。

6 画像コメント（🕮366）

▮▮ 著作権情報

セットアップメニュー［**著作権情報**］を設定して撮影した画像の場合のみ表示します。



1 撮影者名（🕮367）

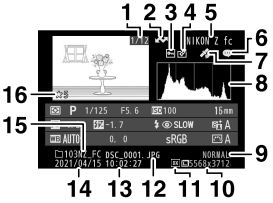
2 著作権者名（🕮367）

位置情報表示

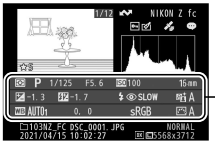
緯度、経度など、スマートフォンで取得した位置情報を表示します。

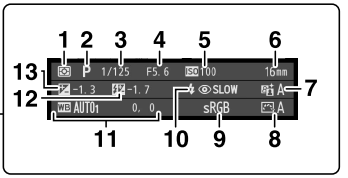
- 表示される項目は、スマートフォンによって異なります。
- 動画の場合は、動画撮影開始時に取得した情報を表示します。

統合表示



1	コマ番号/フォルダー内全画像数
2	送信指定の有無（🕮185）
3	プロテクト設定の有無（🕮114）
4	画像編集の有無（🕮384）
5	カメラ名
6	画像コメントの有無（🕮366）
7	位置情報の有無
8	画像のヒストグラムを表示します（🕮175）
9	画質モード（🕮147）
10	画像サイズ（🕮148）
11	撮像範囲（🕮222）
12	ファイル名（🕮222）
13	撮影時刻（🕮357）
14	撮影日付（🕮357）
15	フォルダー名（🕮218）
16	レーティング（🕮112）





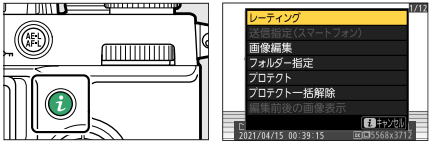
1	測光モード（🕮149）
2	撮影モード（🕮115）
3	シャッタースピード（🕮116、🕮118）
4	絞り値（🕮118、🕮118）
5	ISO感度※1（🕮124）
6	焦点距離
7	アクティブD-ライティング（🕮151）
8	ピクチャーコントロール（🕮134、🕮233）
9	色空間（🕮239）
10	フラッシュモード※2（🕮455）
11	ホワイトバランス（🕮105、🕮139、🕮226） ホワイトバランス色温度（🕮142） プリセットマニュアル（🕮142） ホワイトバランス微調整（🕮140）
12	調光補正値※2（🕮457） コマンダーモードの有無※2
13	露出補正値（🕮126）

※1 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

※2 別売のスピードライト使用時にのみ表示します（🕮450、🕮461）。

iボタン（再生時）

1コマ表示モード、サムネイル表示モードまたは拡大表示時にiボタンを押すと、iメニューが表示されます。項目を選んでOKボタンまたはマルチセレクターの▶を押すと、選んだ項目の設定画面が表示されます。



再生画面に戻るには、もう一度iボタンを押してください。

・ カレンダー表示モードの場合、撮影日サムネイル表示中にiボタンを押すとiメニューが表示されます。

静止画選択時

項目	内容
［**簡易トリミング**］※1	画像の拡大表示された部分だけを切り抜きます。RGBヒストグラム表示（🕮174）の場合は選べません。
［**レーティング**］	選んだ画像にレーティングを設定します（🕮112）。
［**送信指定（スマートフォン）**］ ［**送信指定（PC）**］	画像の送信指定を行えます（🕮185）。表示される項目は、現在カメラと接続している無線機器により異なります。
［**画像編集**］	選んだ静止画を編集できます（🕮384）。
［**フォルダー指定**］	フォルダーを切り換えられます。フォルダーを選んでOKボタンを押すと、フォルダー内の画像が表示されます。
［**プロテクト**］	現在選ばれている画像を、削除しないようにプロテクト（保護）します（🕮114）。

項目	内容
［**プロテクト一括解除**］※2	再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。
［**編集前後の画像表示**］※3	画像編集を行った画像を、元画像と並べて表示して、画像編集の効果を確認できます。

※1　拡大表示している場合のみ表示されます。
※2　拡大表示している場合は表示されません。
※3　編集後の画像（🖻が表示されている画像）または編集元の画像を選択しているときのみ表示されます。

ヒント:［編集前後の画像表示］について

［**編集前後の画像表示**］を選ぶと、画像編集で作成した画像と画像編集の元画像を比較しながら、画像編集の効果を確認できます。



1 画像編集の内容
2 編集前の画像
3 編集後の画像

- 編集前の画像が左側、編集後の画像が右側に表示されます。
- 画像編集の内容は、2つの画像の上に表示されます。
- マルチセレクターの◀▶で、編集前/編集後の画像を切り換えられます。
- 画像合成の元画像の場合、▲▼で2枚の元画像を切り換えられます。
- 1枚の元画像から複数の画像編集を行った場合、▲▼で編集後の画像を切り換えられます。
- 🔍ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- ⊛ボタンを押すと、黄色の枠で選択中の画像を1コマ表示します。
- ▶ボタンを押すと、再生画面に戻ります。
- プロテクトされている画像を編集した場合は、編集前の画像は表示されません。
- 編集元の画像を削除した場合、編集前の画像は表示されません。

動画選択時

項目	内容
［**レーティング**］	選んだ動画にレーティングを設定します（🕮112）。
［**送信指定（PC）**］	画像の送信指定を行えます（🕮185）。
［**音量調節**］	動画再生時の音量を調節できます。
［**動画編集（始点/終点設定）**］	選んだ動画の前半、後半、または前後両端を切り取って、選択した範囲だけを残すことができます（🕮186）。

項目	内容
［**フォルダー指定**］	フォルダーを切り換えられます。フォルダーを選んで㊗ボタンを押すと、フォルダー内の画像が表示されます。
［**プロテクト**］	現在選ばれている画像を、削除しないようにプロテクト（保護）します（🕮114）。
［**プロテクト一括解除**］	再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトを一括で解除できます。

動画再生一時停止時

項目		内容
🎞	［**始点/終点の設定**］	動画の必要な部分だけを残します（🕮186）。
🖼	［**表示中のフレームを保存**］	選択した1フレームを切り出して、JPEG画像として保存します（🕮190）。

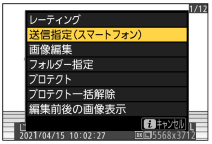
▮▮ 送信指定

スマートフォンやパソコンに取り込みたい画像をカメラで選んで送信指定することができます。

- **i**メニューに表示される項目は、現在カメラと接続している機器によって異なります。
  - カメラのBluetooth通信機能を使用して、セットアップメニュー［**スマートフォンと接続**］でスマートフォンと接続（🕮370）している場合：［**送信指定（スマートフォン）**］
  - カメラのWi-Fi通信機能を使用して、セットアップメニュー［**PCと接続**］でパソコンと接続（🕮372）している場合：［**送信指定（PC）**］
- SnapBridgeアプリを使用してスマートフォンと接続している場合、動画は送信指定できません。
- ファイル容量が4GBを超える動画は送信指定できません。

1 送信指定する画像を選んで*i*ボタンを押す

2 **［送信指定（スマートフォン）］/［送信指定（PC）］を選んでOKボタンを押す**



アイコンが表示されます。



送信指定を解除するには

解除したい画像を選んで、手順1と2を行います。

始点/終点の設定

動画の必要な部分を残せます。

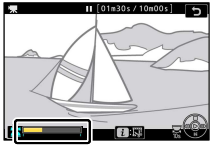


1 **1コマ表示モードで編集したい動画を表示する**

2 **残したい範囲の冒頭部分（始点）で動画を一時停止する**

・Ⓚボタンを押すと、動画が再生されます。再生中にマルチセレクターの▽を押すと、一時停止します。

・プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます。



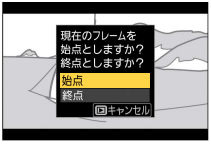
・◁▷、メインコマンドダイヤルで再生中の位置を調整できます。

3 **［始点/終点の設定］を選ぶ**

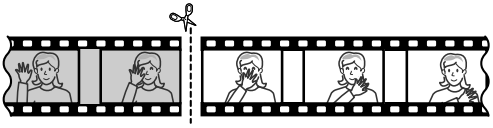


*i*ボタンを押して、［**始点/終点の設定**］を選んでⓀボタンを押します。

4 **始点を選ぶ**

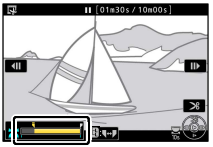


［**始点**］を選んでⓀボタンを押すと、そこから後ろの部分が残ります。



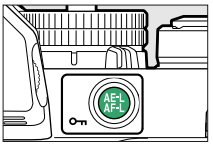
*i*ボタン（再生時）

5 **手順4で選んだ位置を調整する**



- ◀▶を押して、残したい部分の最初の位置を調整します。
- メインコマンドダイヤルを回すと、10秒前または後に移動します。
- サブコマンドダイヤルを回すと、先頭フレームまたは最終フレームに移動します。

6 **残したい範囲の末尾の部分（終点）を選ぶ**

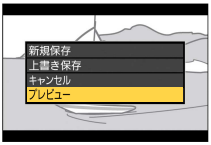


- AE-L/AF-L（Fn）ボタンを押して▼（終点）に切り換え、手順5と同じ手順で▼（終点）の位置を調整します。



7 **Ⓚを押して決定する**

8 保存する動画を確認する



・[**プレビュー**] を選んでⓄKボタンを押すと、編集後の動画のプレビューが再生されます（プレビューを終了するには▲を押します）。

・[**キャンセル**] を選んでⓄKボタンを押すと、手順5の画面に戻ります。

9 動画ファイルの保存方法を選んで保存する



・[**新規保存**] を選んでⓄKボタンを押すと、編集前の動画とは別に、新しい動画として保存します。

・[**上書き保存**] を選んでⓄKボタンを押し、[**はい**] を選んでⓄKボタンを押すと、編集前の動画に新しい動画が上書きされます。

動画編集時のご注意

- メモリーカードに充分な空き容量がない場合、動画編集できません。
- ［**始点/終点の設定**］では、2秒未満の動画は編集できません。
- 動画編集で作成した動画の日時情報は、撮影時の日時になります。

動画の前半または後半だけを残すには

- 動画の前半だけを残したい場合は、手順4で［**終点**］を選んでOKボタンを押してから、手順6ではAE-L/AF-L（O-n）ボタンを押さずに手順7に進みます。
- 動画の後半だけを残したい場合は、手順6でAE-L/AF-L（O-n）ボタンを押さずに手順7に進みます。

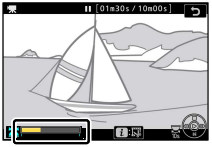
画像編集メニュー［動画編集（始点/終点設定）］

動画の切り出しおよび保存は、画像編集メニューの［**動画編集（始点/終点設定）**］でも行えます。

表示中のフレームを保存

動画の1フレームをJPEG画像として保存します。

1 保存したい位置で動画を一時停止する



- 動画の再生中にマルチセレクターの▽を押すと、一時停止します。
- ◁▷を押すと、再生中の位置を調整できます。

*i*ボタン（再生時）

2 ［表示中のフレームを保存］を選ぶ



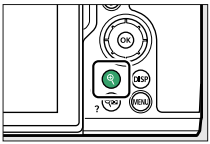
iボタンを押して、［**表示中のフレームを保存**］を選んで㊗ボタンを押すとJPEGの画像として保存します。

［表示中のフレームを保存］で作成した画像について

- 動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］で設定した画像サイズで記録されます。
- 画像編集はできません。
- 再生時の画像情報で表示されない項目があります。

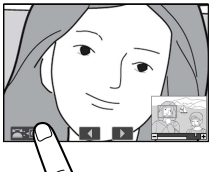
画像を拡大表示する

1コマ表示モードのときに🔍ボタンまたはOKボタンを押すと、拡大表示されます。拡大できる最大の大きさ（長さ比）は、画像サイズが**L**の場合は約21倍、**M**では約16倍、**S**では約10倍です（撮像範囲が［**DX（24×16）**］の場合）。



拡大表示中の操作方法

操作	内容	
拡大率を上げる/拡大率を下げる	・🔍ボタンを押すか、画面で広げる操作をするごとに拡大率が上がります。 ・🔍（**?**）ボタンを押すか、画面でつまむ操作をするごとに拡大率が下がります。	 拡大表示中に拡大率を操作すると、画面の右下にナビゲーションウィンドウが表示され、拡大表示中の部分が黄色い枠で囲んで示されます。ナビゲーションウィンドウの下には拡大率を示すバーが表示され、拡大率が100%の場合、バーの色が緑で表示されます。ナビゲーションウィンドウは数秒すると消えます。
画面をスクロール（移動）させる	マルチセレクターを押すか、画像モニターでスライド操作すると見たい部分に移動できます。マルチセレクターを押し続けると、高速で移動します。	

操作	内容
人物の顔へ移動させる	拡大表示中に人物の顔を検出すると、画面右下のナビゲーションウィンドウに白枠が表示されます。サブコマンドダイヤルを回すか、操作ガイドをタッチすると、検出した顔に順次移動します。 
前後の画像を見る	メインコマンドダイヤルを回すと、そのままの拡大率と表示範囲で、前後の静止画を表示します（動画を選ぶと、拡大表示を終了します）。画面下部に表示される◀▶をタッチしても画像を切り換えられます。
撮影に戻る	シャッターボタンを半押しするか、▶ボタンを押すと、再生を終了します。
メニューに移る	**MENU**ボタンを押すと、メニューが表示されます。

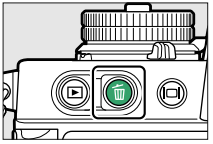
画像を削除する

メモリーカードに記録された画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。ただし、プロテクトされている画像は削除できません。

ボタン操作で画像を削除する

🗑ボタンを押すと、表示中の画像を1コマ削除できます。

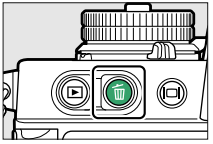
1 **マルチセレクターで削除する画像を選んで🗑ボタンを押す**



・削除確認の画面が表示されます。

・▶ボタンを押すと、画像の削除はキャンセルされます。

2 **もう一度🗑ボタンを押す**



表示中の画像が削除されます。

ヒント: カレンダー表示モードで選んだ日付の画像を削除するには

カレンダー表示モードのカレンダー表示時に、日付を選んで🗑ボタンを押すと、選んだ日付の画像を全て削除します。

複数の画像をまとめて削除する

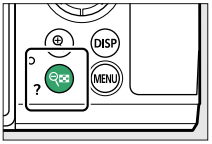
再生メニューの［**削除**］では、複数の画像を一括して削除できます。たくさんの画像を削除するときは、時間がかかることがあります。

項目		内容
▪▫▫ ▫▫▪	［**画像を選択して削除**］	選んだ画像を削除します。
DATE	［**日付を選択して削除**］	選んだ日付に撮影した画像を一括で削除します（🕮196）。
ALL	［**全画像を削除**］	再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定したフォルダー内の全ての画像を削除します。

▮▮ 画像を選択して削除

1 削除する画像を選ぶ

・マルチセレクターで画像を選び、🔍（**?**）ボタンを押すと、🗑が表示されて削除設定されます。もう一度🔍（**?**）ボタンを押すと解除されます。

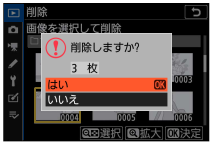




・削除する画像全てに設定してください。

・🔍ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。

2 画像を削除する



・Ⓚボタンを押すと、確認画面が表示されます。
・確認画面で［**はい**］を選んでⓀボタンを押すと、選んだ画像が全て削除されます。

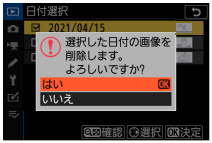
▮▮ 日付を選択して削除

1 日付を選ぶ



・マルチセレクターで日付を選んで▶を押すと、日付の横にチェック☑が入ります。もう一度▶を押すと解除されます。
・削除する日付全てにチェックを入れてください。

2 画像を削除する



・Ⓚボタンを押すと、確認画面が表示されます。
・確認画面で［**はい**］を選んでⓀボタンを押すと、選んだ日付の画像が全て削除されます。

メニューガイド

初期設定一覧

再生、静止画撮影、動画撮影、カスタム、セットアップの各メニューの初期設定は次の通りです。

再生メニューの初期設定

再生メニュー項目	初期設定
［削除］	—
［再生フォルダー設定］	全てのフォルダー
［再生画面設定］	
［フォーカスポイント］	□
［露出情報］	□
［ハイライト］	□
［RGBヒストグラム］	□
［撮影情報］	□
［統合表示］	□
［画像のみ］	□
［撮影直後の画像確認］	しない
［縦位置自動回転］	する
［スライドショー］	
［再生画像の種類］	静止画と動画
［インターバル設定］	2秒
［レーティング］	—

静止画撮影メニューの初期設定

静止画撮影メニュー項目		初期設定
［静止画撮影メニューのリセット］		—
［記録フォルダー設定］		
	［フォルダーグループ名変更］	NZ_FC
	［フォルダー番号指定］	100
	［既存フォルダーから選択］	—
［ファイル名設定］		DSC
［撮像範囲設定］		DX（24×16）
［画質モード］		NORMAL
［画像サイズ］		サイズ L
［RAW記録］		14ビット記録
［ISO感度設定］		
	［ISO感度］	—
	［感度自動制御］	しない
	［制御上限感度］	51200
	［ϟ使用時の制御上限感度］	フラッシュなしの設定と同じ
	［低速限界設定］	オート
［ホワイトバランス］		WB A1：雰囲気を残す
	微調整値	A-B: 0、G-M: 0
	［色温度設定］	5000K
	［プリセットマニュアル］	d-1
［ピクチャーコントロール］		オート
［カスタムピクチャーコントロール］		—

静止画撮影メニュー項目		初期設定
［色空間］		sRGB
［アクティブD-ライティング］		しない
［長秒時ノイズ低減］		しない
［高感度ノイズ低減］		標準
［ヴィネットコントロール］		標準
［回折補正］		する
［自動ゆがみ補正］		する
［フリッカー低減撮影］		しない
［測光モード］		マルチパターン測光
［フラッシュ発光］		
	［発光モード］	TTL調光
	［ワイヤレス設定］	しない
［フラッシュモード］		通常発光
［フラッシュ調光補正］		0.0
［レリーズモード］		1コマ撮影
［フォーカスモード］		AFモード自動切り換え
［AFエリアモード］		オートエリアAF（人物）
［手ブレ補正］		（装着するレンズにより異なります）
［オートブラケティング］		
	［オートブラケティングのセット］	AE・フラッシュ ブラケティング
	［コマ数］	0
	［補正ステップ］	1.0
［多重露出］		

静止画撮影メニュー項目		初期設定
	［多重露出モード］	しない
	［コマ数］	2
	［合成モード］	加算平均
	［合成前の画像を保存（RAW）］	する
	［確認撮影］	する
	［1コマ目の画像（RAW）の指定］	—
［HDR（ハイダイナミックレンジ）］		
	［HDRモード］	しない
	［露出差］	オート
	［スムージング］	標準
	［合成前の画像を保存（RAW）］	しない
［インターバルタイマー撮影］		
	［開始日時の設定］	即時
	［撮影間隔］	1分
	［撮影回数×1回のコマ数］	0001×1
	［露出平滑化］	する
	［サイレント撮影］	する
	［撮影間隔優先］	しない
	［撮影間隔毎のAF駆動］	しない
	［オプション］	しない
	［撮影開始時の記録フォルダー］	
	［新規フォルダー作成］	□
	［ファイル番号リセット］	□
［タイムラプス動画］		

静止画撮影メニュー項目			初期設定
	［撮影間隔］		5秒
	［撮影時間］		25分
	［露出平滑化］		する
	［サイレント撮影］		する
	［画像サイズ/フレームレート］		1920×1080 60p
	［撮影間隔優先］		しない
	［撮影間隔毎のAF駆動］		しない
［フォーカスシフト撮影］			
	［撮影回数］		100
	［フォーカスステップ幅］		5
	［待機時間］		0
	［露出固定］		する
	［サイレント撮影］		する
	［撮影開始時の記録フォルダー］		
		［新規フォルダー作成］	□
		［ファイル番号リセット］	□
［サイレント撮影］			しない

動画撮影メニューの初期設定

動画撮影メニュー項目	初期設定
［動画撮影メニューのリセット］	—
［ファイル名設定］	DSC
［画像サイズ/フレームレート］	1920×1080 60p
［動画の画質］	高画質

動画撮影メニュー項目		初期設定
［動画記録ファイル形式］		MOV
［ISO感度設定］		
	［制御上限感度］	25600
	［Mモード時の感度自動制御］	する
	［Mモード時のISO感度］	—
［ホワイトバランス］		静止画の設定と同じ
	微調整値	A-B: 0、G-M: 0
	［色温度設定］	5000K
	［プリセットマニュアル］	d-1
［ピクチャーコントロール］		静止画の設定と同じ
［カスタムピクチャーコントロール］		—
［アクティブD-ライティング］		しない
［高感度ノイズ低減］		標準
［ヴィネットコントロール］		標準
［回折補正］		する
［自動ゆがみ補正］		する
［フリッカー低減］		オート
［測光モード］		マルチパターン測光
［レリーズモード（フレーム保存）］		1コマ撮影
［フォーカスモード］		フルタイムAF
［AFエリアモード］		オートエリアAF（人物）
［手ブレ補正］		静止画の設定と同じ
［電子手ブレ補正］		しない
［マイク感度］		オート

動画撮影メニュー項目		初期設定
［アッテネーター］		無効
［録音帯域］		広帯域
［風切り音低減］		しない
［タイムコード］		
	［タイムコード記録］	しない
	［カウントアップ方式］	レックラン
	［タイムコードの起点］	—
	［ドロップフレーム］	する

カスタムメニューの初期設定

カスタムメニュー項目			初期設定
［カスタムメニューのリセット］			—
a1	［AF-Cモード時の優先］		レリーズ
a2	［AF-Sモード時の優先］		フォーカス
a3	［AFロックオン］		3
a4	［AF点数］		全点
a5	［縦/横位置フォーカスポイント切換］		しない
a6	［半押しAFレンズ駆動］		する
a7	［AFエリアモードの限定］		
		［ピンポイントAF］	☑
		［シングルポイントAF］	✔（固定）
		［ダイナミックAF］	☑
		［ワイドエリアAF（S）］	☑

カスタムメニュー項目			初期設定
a7		［ワイドエリアAF（L）］	☑
		［ワイドエリアAF（L-人物）］	☑
		［ワイドエリアAF（L-動物）］	☑
		［オートエリアAF］	☑
		［オートエリアAF（人物）］	☑
		［オートエリアAF（動物）］	☑
a8	［フォーカスポイント循環選択］		しない
a9	［フォーカスポイント表示の設定］		
		［マニュアルフォーカス時の表示］	する
		［ダイナミックAF時のアシスト表示］	する
a10	［ローライトAF］		する
a11	［内蔵AF補助光の照射設定］		する
a12	［AF設定時のフォーカスリング操作］		有効
b1	［露出補正簡易設定］		する
b2	［中央部重点測光範囲］		Φ8 mm
b3	［基準露出レベルの調節］		
		［マルチパターン測光］	0
		［中央部重点測光］	0
		［スポット測光］	0
		［ハイライト重点測光］	0
b4	［モード時の露出補正］		有効
c1	［シャッターボタンAEロック］		しない

カスタムメニュー項目		初期設定
c2	［セルフタイマー］	
	［時間］	10秒
	［撮影コマ数］	1
	［連続撮影間隔］	0.5秒
c3	［パワーオフ時間］	
	［画像の再生］	10秒
	［メニュー表示］	1分
	［撮影直後の画像確認］	4秒
	［半押しタイマー］	30秒
d1	［低速連続撮影速度］	3コマ/秒
d2	［連続撮影コマ数］	100
d3	［露出ディレーモード］	しない
d4	［シャッター方式］	オート
d5	［Mモード時のシャッタースピード延長］	しない
d6	［連番モード］	する
d7	［Lvに撮影設定を反映］	する
d8	［格子線表示］	しない
d9	［フォーカスピーキング］	
	［ピーキングの検出］	しない
	［ピーキング表示色］	赤
d10	［連続撮影中の表示］	する
e1	［フラッシュ撮影同調速度］	1/200秒

	カスタムメニュー項目	初期設定
e2	［**フラッシュ時シャッタースピード制限**］	1/60秒
e3	［**フラッシュ使用時の露出補正**］	全体を補正
e4	［**ϟ使用時の感度自動制御**］	被写体と背景
e5	［**BKT変化要素（Mモード）**］	フラッシュ・ シャッタースピード
e6	［**BKTの順序**］	［0］→［−］→［+］
f1	［**z メニューのカスタマイズ**］	ピクチャーコントロール、 ホワイトバランス、 画質モード、 画像サイズ、 フラッシュモード、 測光モード、 Wi-Fi通信機能、 アクティブD-ライティング、 レリーズモード、 手ブレ補正、 AFエリアモード、 フォーカスモード
f2	［**カスタムボタンの機能（撮影）**］	
	［**Fnボタン**］	ホワイトバランス
	［**AE/AFロックボタン**］	AE-L/AF-L
	［**OKボタン**］	フォーカスポイント中央リセット
	［**動画撮影ボタン**］	ライブビュー情報表示の消灯
	［**レンズのFnボタン**］	AE-L/AF-L
	［**レンズのFn2ボタン**］	AF-ON
	［**レンズのコントロールリング**］	（装着するレンズにより異なります）
f3	［**カスタムボタンの機能（再生）**］	

カスタムメニュー項目		初期設定
f3	[**AE/AFロックボタン**]	プロテクト
	[**OKボタン**]	拡大画面との切り換え
f4	[**コマンドダイヤルの設定**]	
	[**回転方向の変更**]	露出補正の設定時：□、シャッタースピード/絞り値設定時：□
	[**メインとサブの入れ換え**]	露出設定：しない、AF設定：しない
	[**再生/メニュー画面で使用**]	しない
	[**サブコマンドダイヤルで画像送り**]	10コマ
f5	[**ボタンのホールド設定**]	しない
f6	[**インジケーターの+/−方向**]	
g1	[**Zメニューのカスタマイズ**]	ピクチャーコントロール、 ホワイトバランス、 画像サイズ/フレームレート/画質、 マイク感度、 風切り音低減、 測光モード、 Wi-Fi通信機能、 アクティブD-ライティング、 電子手ブレ補正、 手ブレ補正、 AFエリアモード、 フォーカスモード
g2	[**カスタムボタンの機能**]	
	[**Fnボタン**]	ホワイトバランス
	[**AE/AFロックボタン**]	AE-L/AF-L
	[**OKボタン**]	フォーカスポイント 中央リセット

カスタムメニュー項目			初期設定
g2		［シャッターボタン］	静止画撮影
		［レンズのFnボタン］	AE-L/AF-L
		［レンズのFn2ボタン］	AF-ON
		［レンズのコントロールリング］	（装着するレンズにより異なります）
g3	［AF速度］		0
		［作動条件］	常時有効
g4	［AF追従感度］		4
g5	［ハイライト表示］		
		［表示パターン］	しない
		［ハイライト表示のしきい値］	248

セットアップメニューの初期設定

セットアップメニュー項目		初期設定
［カードの初期化（フォーマット）］		—
［言語（Language）］		（国や地域により異なります）
［タイムゾーンと日時］		
	［タイムゾーン］	（国や地域により異なります）
	［日時の設定］	—
	［日付の表示順］	（国や地域により異なります）
	［夏時間の設定］	しない
［モニターの明るさ］		0
［モニターのカラーカスタマイズ］		A-B: 0、G-M: 0
［ファインダーの明るさ］		オート

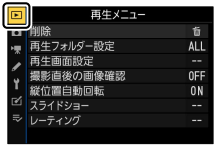
セットアップメニュー項目		初期設定
［ファインダーのカラーカスタマイズ］		A-B: 0、G-M: 0
［モニターモードの限定］		
	［自動表示切り換え］	☑
	［ファインダーのみ］	☑
	［モニターのみ］	☑
	［ファインダー優先］	☑
［インフォ画面の表示設定］		黒文字
［AF微調節の設定］		
	［AF微調節の適用］	しない
	［レンズの調節と登録］	—
	［未登録レンズの調節］	—
	［登録済みレンズリスト］	—
［レンズ情報手動設定］		
	［レンズNo.］	1
	［焦点距離（mm）］	—
	［開放絞り値］	—
［フォーカス位置の記憶］		しない
［イメージダストオフデータ取得］		—
［ピクセルマッピング］		—
［画像コメント］		
	［コメント添付］	□
［著作権情報］		
	［著作権情報添付］	□
［電子音］		

セットアップメニュー項目			初期設定
	［電子音設定］		無効
	［音量］		2
	［音の高さ］		低音
［タッチ操作］			
	［タッチ操作の設定］		有効
	［1コマ送り時のフリック操作］		左→右
［自分撮りモード］			有効
［HDMI］			
	［出力解像度］		オート
	［詳細設定］		
		［出力レンジ］	オート
		［外部記録制御］	しない
［機内モード］			無効
［スマートフォンと接続］			
	［ペアリング（Bluetooth）］		
		［Bluetooth通信機能］	無効
	［送信指定（Bluetooth）］		
		［撮影後自動送信指定］	しない
	［Wi-Fi接続］		—
	［電源OFF中の通信］		する
	［位置情報（スマートフォン）］		
		［緯度］	—
		［経度］	—
		［標高］	—

セットアップメニュー項目			初期設定
		［**UTC**］	—
［**PCと接続**］			
	［**Wi-Fi通信機能**］		無効
	［**接続設定**］		—
	［**オプション**］		
		［**撮影後自動送信**］	しない
		［**送信後ファイル削除**］	しない
		［**RAW+JPEG送信設定**］	RAW+JPEG
		［**全送信マーク解除**］	—
	［**MACアドレス**］		—
［**リモコン（ML-L7）設定**］			
	［**リモコン接続**］		無効
	［**リモコン登録**］		—
	［**リモコン登録の解除**］		—
	［**Fn1ボタンの機能**］		カメラの▶ボタンと同じ
	［**Fn2ボタンの機能**］		カメラのMENUボタンと同じ
［**認証情報**］			—
［**USB給電**］			有効
［**パワーセーブ（静止画モード）**］			有効
［**カードなし時レリーズ**］			レリーズ許可
［**メニュー設定の保存と読み込み**］			—
［**カメラの初期化**］			—
［**ファームウェアバージョン**］			—

▶再生メニュー：再生で使える便利な機能

メニュー画面で▶タブを選ぶと、再生メニューが表示されます。



再生メニューの項目は、次の通りです。

メニュー項目	🕮
[**削除**]	212
[**再生フォルダー設定**]	213
[**再生画面設定**]	213
[**撮影直後の画像確認**]	213

メニュー項目	🕮
[**縦位置自動回転**]	214
[**スライドショー**]	214
[**レーティング**]	216

☑ 関連ページ

「再生メニューの初期設定」（🕮197）

削除

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

複数の画像を一括して削除できます。詳しくは、「複数の画像をまとめて削除する」（🕮194）をご覧ください。

項目		内容
▪▫▫▪	[**画像を選択して削除**]	選んだ画像を削除します。
DATE	[**日付を選択して削除**]	選んだ日付に撮影した画像を一括で削除します。

項目		内容
ALL	［**全画像を削除**］	再生メニュー［**再生フォルダー設定**］で設定したフォルダー内の全ての画像を削除します。

再生フォルダー設定

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

画像の再生時に表示するフォルダーを設定します。

項目	内容
（フォルダーグループ名）	表示されているフォルダーグループ名のフォルダー内の画像を再生します。フォルダーグループ名は静止画撮影メニュー［**記録フォルダー設定**］の［**フォルダーグループ名変更**］で変更できます。
［**全てのフォルダー**］	メモリーカード内の全てのフォルダーの画像を再生します。
［**記録中のフォルダー**］	画像の記録に実際に使われているフォルダーの画像を再生します。

再生画面設定

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

撮影時に使用したフォーカスポイントを再生画面の1コマ表示モードで表示するかどうかを設定できます。また、1コマ表示時の画像情報表示の種類を追加します。

- 追加したい項目を選び、マルチセレクターの▶を押すとオン☑とオフ☐を切り換えられます。
- ⓄⓀボタンを押すと、設定を完了します。

撮影直後の画像確認

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。

項目	内容
［**する**］	画像モニターを見ながら撮影している場合は画像モニターに、ファインダーを見ながら撮影している場合はファインダーに撮影画像を表示します。
［**する（画像モニター表示のみ）**］	画像モニターを見ながら撮影している場合にのみ画像モニターに撮影画像を表示します。モニターモードが［**ファインダーのみ**］の場合、ファインダーには撮影画像を表示しません。
［**しない**］	撮影画像を表示確認するには、▶ボタンを押してください。

縦位置自動回転

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

［**する**］に設定すると、縦位置で撮影した画像を自動的に回転して表示します。

☑ 縦位置自動回転についてのご注意

［**縦位置自動回転**］を［**する**］に設定しても、撮影直後の画像確認時は自動回転しません。

スライドショー

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

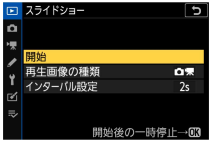
撮影した画像を記録された順番に1コマずつ連続再生します。［**再生フォルダー設定**］（🕮213）で設定されたフォルダー内の画像が記録された順番で再生されます。

項目	内容
［**開始**］	スライドショーを開始します。
［**再生画像の種類**］	・スライドショーで再生する画像の種類を選べます。 ・［**レーティングの選択**］を選ぶと、特定のレーティングの画像のみを再生します。再生したいレーティングを選んでマルチセレクターの◑を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。

項目	内容
[**インターバル設定**]	1コマの静止画を表示する時間を設定します。

スライドショーを再生する

[**開始**] を選んでⓄⓀボタンを押すと、スライドショーが始まります。スライドショーの再生中は、次の操作が可能です。



操作	内容
1コマ進む/戻る	マルチセレクターのⓄを押すと前の画像が、Ⓟを押すと次の画像が表示されます。
画像情報を切り換える	ⓄⓅを押すと、静止画再生時に画像情報の切り換えができます。画像情報を [**画像のみ**] に切り換えると、画像だけをスライドショーで再生できます。
一時停止する	ⓄⓀボタンを押すと、スライドショーが一時停止します。[**再開**] を選んでⓄⓀボタンを押すと、スライドショーが再開します。
動画再生中に音量を調節する	⊕ボタンを押すと音量が大きくなり、⊖🖂（**?**）ボタンを押すと小さくなります。
再生メニューに戻る	**MENU**ボタンを押すと、スライドショーを中止して、再生メニューに戻ります。
通常再生に戻る	▶ボタンを押すと、スライドショーを中止して、再生画面に戻ります。
撮影に戻る	シャッターボタンを半押しすると、再生を終了します。

再生が終わると、メニューが表示されます。[**再開**]を選んでⓄボタンを押すと、スライドショーが再開します。[**終了**]を選んでⓄボタンを押すと、スライドショーが終了します。



レーティング

MENUボタン➡ ▶再生メニュー

画像にレーティングを設定できます。



- マルチセレクターの◀▶でレーティングを設定したい画像を選びます。
- ▲▼を押して★5～★1、なし、🗑（削除候補）から選びます。
- 🔍ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- Ⓞボタンを押して決定します。

静止画撮影メニュー：静止画撮影で使える便利な機能

メニュー画面で📷タブを選ぶと、静止画撮影メニューが表示されます。



静止画撮影メニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	🕮
[**静止画撮影メニューのリセット**]	218
[**記録フォルダー設定**]	218
[**ファイル名設定**]	222
[**撮像範囲設定**]	222
[**画質モード**]	223
[**画像サイズ**]	223
[**RAW記録**]	223
[**ISO感度設定**]	224
[**ホワイトバランス**]	226
[**ピクチャーコントロール**]	233
[**カスタムピクチャーコントロール**]	235
[**色空間**]	239
[**アクティブD-ライティング**]	239

メニュー項目	🕮
[**長秒時ノイズ低減**]	239
[**高感度ノイズ低減**]	240
[**ヴィネットコントロール**]	241
[**回折補正**]	241
[**自動ゆがみ補正**]	241
[**フリッカー低減撮影**]	242
[**測光モード**]	242
[**フラッシュ発光**]	243
[**フラッシュモード**]	245
[**フラッシュ調光補正**]	245
[**レリーズモード**]	245
[**フォーカスモード**]	245
[**AFエリアモード**]	246

メニュー項目	🕮
[手ブレ補正]	246
[オートブラケティング]	246
[多重露出]	257
[HDR（ハイダイナミックレンジ）]	265

メニュー項目	🕮
[インターバルタイマー撮影]	271
[タイムラプス動画]	282
[フォーカスシフト撮影]	290
[サイレント撮影]	298

関連ページ

「静止画撮影メニューの初期設定」（🕮198）

静止画撮影メニューのリセット

MENUボタン➡ 📷静止画撮影メニュー

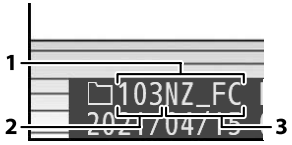
静止画撮影メニューをリセットして初期設定に戻します。

- 多重露出撮影中は、1コマ目を撮影してから設定したコマ数分撮影し終えるまで静止画撮影メニューはリセットできません。

記録フォルダー設定

MENUボタン➡ 📷静止画撮影メニュー

撮影した画像を保存するフォルダーについての設定を行います。



1 フォルダー名
2 フォルダー番号
3 フォルダーグループ名

フォルダーグループ名変更

このカメラのフォルダーには、末尾に「NZ_FC」というフォルダーグループ名が付きます。［**フォルダーグループ名変更**］では、新規フォルダーを作成する場合の「NZ_FC」の5文字を任意に変更できます。

- 既存のフォルダー名は変更できません。
- 文字入力画面で🗑ボタンを長押しすると、フォルダーグループ名を初期設定に戻せます。

☑ 入力画面の操作方法について

ファイル名設定や画像コメントなど、文字を入力するときに表示される画面での操作方法は次の通りです。

- 入力エリアに新しい文字を入力する場合は、キーボードエリアで文字をタッチしてください。マルチセレクターを操作して入力するキーボードエリアの文字上にカーソルを移動させ、OKボタンを押しても入力できます。



1 入力エリア　　2 キーボードエリア

- 入力エリアのカーソルを左右に移動するには、入力エリアをタッチするかメインコマンドダイヤルを回します。
- 入力エリアからあふれた文字は削除されます。
- 1文字削除するには、削除する文字の上にカーソルを移動させ、🗑ボタンを押します。
- 内容を確定し、文字入力を終了する場合は、🔍ボタンを押します。
- 文字の入力をキャンセルするには、**MENU**ボタンを押します。

フォルダー番号指定

画像を保存するフォルダーを、フォルダー番号を指定して変更します。指定したフォルダーが存在しない場合、新規フォルダーを作成します。

1 **［フォルダー番号指定］を選ぶ**



・［**フォルダー番号指定**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、［**フォルダー番号指定**］画面が表示されます。

2 **フォルダー番号の桁を選び、番号を変更する**

・◀▶を押して、フォルダー番号の変更したい桁を選びます。

・▲▼を押して、フォルダー番号の数値を変更します。

3 **フォルダー番号を設定する**

・既存のフォルダー番号を指定すると、フォルダー番号の左にフォルダーマーク（🗀、🗁、🗁）が表示されます。🗀または🗁が表示されたフォルダーを選んでOKボタンを押すと、指定したフォルダーを記録フォルダーに設定してメニューに戻ります

・既存のフォルダー番号以外の数値を入力してOKボタンを押すと、入力したフォルダー番号で新規フォルダーを作成します。

・次に撮影する画像は、指定したフォルダーまたは作成した新規フォルダーに保存されます。

・キャンセルしたい場合は、**MENU**ボタンを押してください。

フォルダーマークについて

［**フォルダー番号指定**］画面では、画像の入っていないフォルダーのときは🗀、フォルダー内のファイル数が5000個またはファイル番号が9999に達しているフォルダーのときは🗁、その他のフォルダーのときは🗁のフォルダーマークが表示されます。🗁が表示されているフォルダーには、画像は記録できません。

既存フォルダーから選択

既存のフォルダーの一覧から選びます。

1 ［既存フォルダーから選択］を選ぶ



［**既存フォルダーから選択**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、［**既存フォルダーから選択**］画面が表示されます。

2 フォルダーを選ぶ

▲▼を押して、画像を記録するフォルダーを選びます。

3 画像を記録するフォルダーを設定する

- Ⓚボタンを押すと、設定が有効になりメニュー画面に戻ります。
- 次に撮影する画像は、選んだフォルダーに保存されます。

☑ フォルダー番号およびファイル番号についてのご注意

- フォルダー番号が999になるとカメラが自動的にフォルダーを作成できないため、次のときに撮影ができなくなります。
  - フォルダー内のファイル数が5000個に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル数が5000個を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）
  - ファイル番号が9999に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル番号が9999を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）
- ただし次の場合、メモリーカードにまだ空き容量があれば、さらに撮影を続けられます。
  - フォルダー番号が 999未満のフォルダーを新規に作成し、それを記録フォルダーとして選んだ場合
  - 動画モード時、動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］および［**動画の画質**］の設定を変更した場合

☑ 多数のフォルダーや画像が記録されたメモリーカードを使用する場合

メモリーカードを挿入したときや、カメラの電源をONにしたときなどに行われるファイル検索に時間がかかるため、撮影や再生ができるまでに時間がかかることがあります。

ファイル名設定

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

このカメラで撮影した画像には、自動的にDSC_nnnn.xxxというファイル名が付きます。［**ファイル名設定**］では、「DSC」の3文字を任意に変更できます。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮219）をご覧ください。

ファイル名について

- このカメラで撮影された画像にはDSC_nnnn.xxxという名称が付きます。nnnnには0001～9999までの数字が入ります。xxxには選んだ画質モードによって、次の拡張子が入ります。
  - NEF：RAWの場合
  - JPG：FINE/NORMAL/BASICの場合
  - MOV：MOV形式の動画の場合
  - MP4：MP4形式の動画の場合
  - NDF：イメージダストオフデータの場合
- 静止画撮影メニュー［**色空間**］で［**Adobe RGB**］を選んだ場合は_DSCnnnn.xxxという名称が付きます。
- 同時記録されたRAW画像とJPEG画像のファイル名は同じですが、拡張子がそれぞれNEF、JPGになります。

撮像範囲設定

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

このカメラで設定できる撮像範囲は次の通りです。

項目		内容
DX	［**DX（24×16）**］	23.5×15.7mmの撮像範囲で画像を記録します（DXフォーマット）。35mm判換算で、レンズに表記されている焦点距離の約1.5倍の焦点距離を持つレンズに相当する画角になります。
1:1	［**1:1（16×16）**］	アスペクト比（縦横比）が1：1の画像を記録します。
16:9	［**16:9（24×14）**］	アスペクト比（縦横比）が16：9の画像を記録します。

画質モード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

画像を記録するときの画質モードを設定できます。詳しくは、「*i*メニューを使う」の「画質モード」（🕮147）をご覧ください。

画像サイズ

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

画像を記録するときの画像サイズ（大きさ）を設定できます。画像サイズは撮像範囲との組み合わせで変わります。

撮像範囲	画像サイズ	プリント時の大きさ（出力解像度300dpiの場合）※
［**DX（24×16）**］	L（5568×3712ピクセル）	約47.1×31.4 cm
	M（4176×2784ピクセル）	約35.4×23.6 cm
	S（2784×1856ピクセル）	約23.6×15.7 cm
［**1:1（16×16）**］	L（3712×3712ピクセル）	約31.4×31.4 cm
	M（2784×2784ピクセル）	約23.6×23.6 cm
	S（1856×1856ピクセル）	約15.7×15.7 cm
［**16:9（24×14）**］	L（5568×3128ピクセル）	約47.1×26.5 cm
	M（4176×2344ピクセル）	約35.4×19.8 cm
	S（2784×1560ピクセル）	約23.6×13.2 cm

※　ピクセル数÷出力解像度（dpi）×2.54 cmで計算しています。

RAW記録

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

RAW画像を記録するときの記録ビットモードを設定できます。

項目		内容
12-bit	［**12ビット記録**］	RAW画像を12ビットで記録します。
14-bit	［**14ビット記録**］	RAW画像を14ビットで記録します。［**12ビット記録**］の場合よりもさらに豊かな階調表現になります。画像のファイルサイズは［**12ビット記録**］よりも大きくなります。

ISO感度設定

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

静止画撮影時のISO感度の感度自動制御機能に関する設定ができます。感度自動制御機能とは、撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で設定したISO感度で適正露出が得られない場合に、カメラが自動的にISO感度を変更する機能です。



項目	内容
［**ISO感度**］	ISO感度ダイヤルで設定したISO感度が表示されます。
［**感度自動制御**］	［**する**］を選んでOKボタンを押すと、カメラが自動的にISO感度を変更します。［**しない**］を選ぶと、ISO感度ダイヤルで設定したISO感度に固定されます。
［**制御上限感度**］	感度自動制御するときにISO感度が高くなりすぎないように制御上限感度を設定します。
［**使用時の制御上限感度**］	別売スピードライトを使用した場合の上限感度を設定します。

項目	内容
［**低速限界設定**］	撮影モード**P**または**A**のときの感度自動制御が働き始めるシャッタースピード（1/4000～30 秒）を設定できます。また、［**オート**］に設定すると、レンズの焦点距離に応じてシャッタースピードの低速限界をカメラが自動で設定します。例えば、望遠レンズ使用時は手ブレが発生しやすくなるため、低速限界が自動的に高速側に設定され、ブレを軽減できます。 ・［**オート**］を選んで⊛を押すと、補正値の設定画面が表示されます。低速限界をカメラが自動で設定するときに、より高速側または低速側になるように調整できます。高速で移動する被写体を撮影する場合は、補正値を高速側に設定するとブレを軽減できます。 ・ISO感度を［**制御上限感度**］まで上げても露出不足になる場合は、適正露出を得るために、低速限界設定よりもさらにシャッタースピードが低速になります。

・感度自動制御する場合、撮影画面に**ISO AUTO**が表示されます。感度が自動制御されると、制御されたISO感度が表示されます。



感度自動制御についてのご注意

・［**制御上限感度**］で設定したISO感度よりもISO感度ダイヤルで設定したISO感度が高い場合、ISO感度ダイヤルで設定したISO感度を制御上限感度として撮影します。

・フラッシュ撮影時のシャッタースピードはカスタムメニューe1［**フラッシュ撮影同調速度**］とe2［**フラッシュ時シャッタースピード制限**］で設定した範囲内に制限されます。

ホワイトバランス

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定します。ホワイトバランスの詳しい説明については、「カメラの基本機能と設定」の「ホワイトバランス」（🕮105）および「**i**メニューを使う」の「ホワイトバランス」（🕮139）をご覧ください。



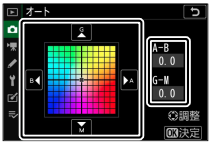
メニューからホワイトバランスを微調整する

1 **静止画撮影メニュー［ホワイトバランス］で、設定したいホワイトバランスを選び、微調整画面が表示されるまで▶を押す**



PRE［**プリセットマニュアル**］での微調整画面の表示方法については、「プリセットマニュアルデータの微調整について」（🕮232）をご覧ください。

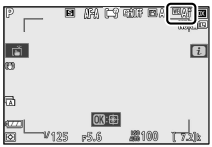
2 微調整値を設定する



- マルチセレクターを操作すると、A（アンバー）、B（ブルー）、G（グリーン）、M（マゼンタ）の4方向で、設定段数を各方向6段階まで微調整できます。設定した段数は、画面の右側に表示されます。
- A（アンバー）、B（ブルー）方向は、色温度の高さを0.5段単位で微調整できます。1段は約5ミレッドに相当します。
- G（グリーン）、M（マゼンタ）方向は、色補正用（CC）フィルターと同じような微調整を0.25段単位で行えます。1段は濃度約0.05に相当します。

3 微調整値を決定する

- Ⓚボタンを押して微調整値を決定すると、メニューに戻ります。
- ホワイトバランスを微調整すると、アイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。



ホワイトバランスの微調整画面について

ホワイトバランスの微調整画面で表示されている色は、色温度方向の目安の色を表しています。微調整画面で設定しても、設定したそのままの色の画像にはならない場合があります。たとえば、ホワイトバランスを［**電球**］に設定してB（ブルー）方向に微調整しても、青色が強い画像にはなりません。

ミレッド（MIRED）について

色温度の逆数を百万（10^6）倍したものです。色温度は、同じ色温度差でも、色温度の低い場合では色の変化が大きく、色温度の高い場合では、色の変化が小さくなります。たとえば同じ1000ケルビンの違いでも6000ケルビン付近での変化は比較的小さく、3000ケルビン付近では1000ケルビンの違いで光色が大きく変わります。ミレッドは、その変化幅をほぼ同じに表現する尺度であり、色温度変換フィルターの単位としても利用されます。

例）色温度の差（K：ケルビン）：ミレッドの差（M：ミレッド）

- 4000K－3000K＝1000K：83 M
- 7000K－6000K＝1000K：24 M

メニューの色温度設定で色温度を指定する

A（アンバー）およびB（ブルー）方向とG（グリーン）およびM（マゼンタ）方向の両方の色温度を設定できます。

1 静止画撮影メニュー［ホワイトバランス］で、K［色温度設定］を選んでマルチセレクターの▶を押す

2 色温度を設定する

・◀▶を押してA（アンバー）およびB（ブルー）方向の色温度の桁を選びます。また、G（グリーン）およびM（マゼンタ）方向の色温度にカーソルを移動できます。

・▲▼を押して数値を設定します。



A（アンバー）および
B（ブルー）方向

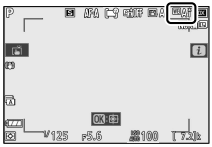


G（グリーン）および
M（マゼンタ）方向

3 色温度を決定する

・Ⓚボタンを押して色温度を決定すると、メニューに戻ります。

・G（グリーン）、M（マゼンタ）方向の色温度を0以外に設定すると、アイコンにアスタリスク（✱）が表示されます。



☑ 色温度設定についてのご注意

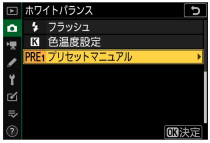
・光源が蛍光灯のときは、色温度設定を使わず、[蛍光灯]に設定してください。

・ホワイトバランスの色温度を指定したときは、試し撮りをして、設定した色温度が撮影状況に適しているかどうかを確認することをおすすめします。

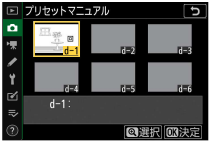
撮影済み画像のホワイトバランスデータをプリセットマニュアルデータとしてコピーする

撮影済みの画像で使用されたホワイトバランスを、プリセットマニュアルデータとして使用できます。プリセットマニュアルデータを新規に取得する方法については「基準となる白を取得して設定（プリセットマニュアル）」（🕮142）をご覧ください。

1 **静止画撮影メニュー［ホワイトバランス］で、PRE［プリセットマニュアル］を選んでマルチセレクターの▶を押す**

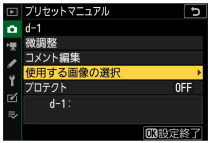


2 **コピー先を選ぶ**



- マルチセレクターで黄色い枠を移動してd-1～d-6の中からコピー先を選びます。
- 🔍ボタンを押すと設定画面が表示されます。

3 [使用する画像の選択] を選ぶ



[**使用する画像の選択**] を選んで▶を押すと、メモリーカード内の画像が一覧表示されます。

4 ホワイトバランスデータをコピーしたい画像を選ぶ



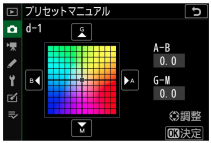
- マルチセレクターで黄色い枠を移動して画像を選びます。
- 🔍ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。

5 ホワイトバランスデータをコピーする

- Ⓚボタンを押すとメモリーカード内の画像のホワイトバランスデータがコピーされます。
- 選んだ画像に画像コメントがある場合、画像コメントもコピーされます。

プリセットマニュアルデータの微調整について

設定画面で［**微調整**］を選ぶと、微調整画面が表示され、選択中のプリセットマニュアルデータを微調整できます（🕮226）。



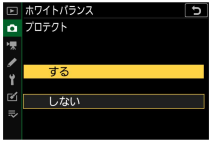
プリセットマニュアルデータにコメントを入力する

設定画面で［**コメント編集**］を選ぶと、選択中のプリセットマニュアルデータにコメント（最大36文字）を入力できます。



プリセットマニュアルデータを保護する（プロテクト）

設定画面で［**プロテクト**］を選ぶと、選択中のプリセットマニュアルデータにプロテクト（保護）を設定できます。プロテクトの設定画面で［**する**］を選んでⓄⓀボタンを押すと、選んだプリセットマニュアルデータがプロテクト設定されます。プロテクト設定されたプリセットマニュアルデータは微調整やコメント編集ができなくなります。



ピクチャーコントロール

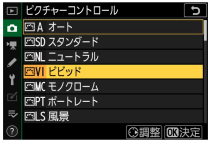
MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。ピクチャーコントロールの詳しい説明については、「iメニューを使う」の「ピクチャーコントロール」（🕮134）をあわせてご覧ください。

メニューからピクチャーコントロールを調整する

ピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロールの設定は、撮影目的や好みに合わせて調整できます。

1 調整したいピクチャーコントロールを選ぶ



ピクチャーコントロールの一覧画面で、マルチセレクターの▶を押します。

2 ピクチャーコントロールを調整する



- ▲▼で調整する項目（🕮137）を選びます。◀▶を押すと1ステップ刻みで、サブコマンドダイヤルを回すと0.25ステップ刻みで値を設定します。
- 設定できる項目は、選んだピクチャーコントロールによって異なります。
- [**クイックシャープ**] を選んで◀▶を押すと、[**輪郭強調**]、[**ミドルレンジシャープ**]、[**明瞭度**] のレベルをバランスよく調整します。
- 🗑ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。

3 設定する

Ⓚボタンを押して設定します。

✓ iメニューから調整する

・iメニューで［**ピクチャーコントロール**］を選んでⓄKボタンを押すとピクチャーコントロールを選べます。



・◀▶でピクチャーコントロールを選び、▼を押すと調整画面が表示されます。色味を確認しながら調整できます。

✓ ［カスタムピクチャーコントロール］について

静止画撮影メニューまたは動画撮影メニューで［**カスタムピクチャーコントロール**］を選ぶと、調整したピクチャーコントロールに名前を付けて登録したり、メモリーカードを使って、同じ機種のカメラやピクチャーコントロールに対応するソフトウェアと共用することができます。

カスタムピクチャーコントロール

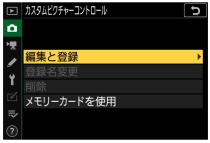
MENUボタン➡ 📷静止画撮影メニュー

「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。

項目	内容
［**編集と登録**］	カスタムピクチャーコントロールを登録または編集します。
［**登録名変更**］	登録したカスタムピクチャーコントロールの名前を変更します。
［**削除**］	登録したカスタムピクチャーコントロールを削除します。
［**メモリーカードを使用**］	登録したカスタムピクチャーコントロールをメモリーカードに保存したり、メモリーカードに保存したカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録できます。

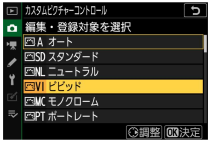
カスタムピクチャーコントロールの登録方法

1 ［編集と登録］を選ぶ



［**編集と登録**］を選んで▶を押すと、［**編集・登録対象を選択**］画面が表示されます。

2 元にするピクチャーコントロールを選ぶ



- ピクチャーコントロールを選んで▶を押すと、編集画面が表示されます。
- 編集を行わない場合はⓄⓀボタンを押します。［**登録先の選択**］画面が表示されます（手順4へ）。

3 ピクチャーコントロールを調整する



- 項目の内容や調整方法は［**ピクチャーコントロール**］と同じです。
- ⓄⓀボタンを押すと［**登録先の選択**］画面が表示されます。
- 🗑ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。

4 登録先を選ぶ



C-1～9（カスタム1～9）の中から登録先を選びます。

5 登録名を編集する



- 登録先を選んで⊛を押すと、［**登録名変更**］画面が表示されます。
- 初期状態では、「（元になったピクチャーコントロール名）-XX」が名前エリアに入力されています。XXには自動的に数値が設定されます。
- 登録名は19文字まで入力できます。文字はカーソル位置に挿入されます。
- 文字種変更アイコンをタッチすると、アルファベット大文字/小文字/記号を切り換えられます。
- 文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮219）をご覧ください。
- ⊕ボタンを押すと登録名を決定し、カスタムピクチャーコントロールを登録します。
- 登録したカスタムピクチャーコントロールは、ピクチャーコントロールの一覧画面に表示されます。

元になったピクチャーコントロールの表示について

カスタムピクチャーコントロールの調整画面では、元になったピクチャーコントロールがアイコンで表示されます。

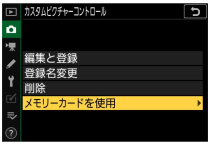


カスタム1～9で調整できる項目について

カスタム1～9を選んだ場合は、元になったピクチャーコントロールと同じ項目が調整できます。

カメラで登録したカスタムピクチャーコントロールについて

［**カスタムピクチャーコントロール**］の［**メモリーカードを使用**］を使うと、カメラで登録したカスタムピクチャーコントロールをメモリーカードにコピーできます。また、メモリーカード内のカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録したり、削除したりできます。



- ［**カメラに登録**］：メモリーカードに保存されているカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録（インポート）できます。カメラに登録したいカスタムピクチャーコントロールと登録先（C-1～9（カスタム1～9））を選んで名前を付けると、選んだカスタムピクチャーコントロールがカメラに登録されます。
- ［**メモリーカードから削除**］：メモリーカードに保存されているカスタムピクチャーコントロールを選んで削除できます。
- ［**メモリーカードにコピー**］：カメラで登録したカスタムピクチャーコントロールをメモリーカードにコピー（エクスポート）できます。メモリーカードにコピーしたいカスタムピクチャーコントロールとコピー先（1～99）を選んでⓄⓀボタンを押すと、選んだカスタムピクチャーコントロールがメモリーカードにコピーされます。

色空間

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

記録する画像の色空間を指定します（色空間とは、モニターやプリンターで表現できる色の範囲のことです）。［**sRGB**］色空間は、再生やプリントなど、一般的な用途で画像を楽しむのに適しています。［**Adobe RGB**］色空間は［**sRGB**］色空間に比べて色域が広いため、商業印刷などの業務用途に適しています。

色空間についてのご注意

他社製の画像閲覧用または画像編集用ソフトウェアを使うと、このカメラで設定した色空間と異なる設定の色空間に置き換えられることがあります。NX Studioをお使いになると、このカメラで設定した色空間で画像を開くことができます。

Adobe RGB色空間について

適切な色再現には、カラーマネージメント機能に対応したアプリケーション、モニター、プリンターなどの環境が必要です。

アクティブD-ライティング

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。詳しくは、「**i**メニューを使う」の「アクティブD-ライティング」（151）をご覧ください。

長秒時ノイズ低減

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

低速シャッタースピードになったときに発生するノイズ（むら、輝点）を低減します。

項目	内容
［**する**］	シャッタースピードが1秒より低速になった場合に、長秒時ノイズの低減処理を行います。

項目	内容
［**しない**］	長秒時ノイズの低減処理を行いません。

長秒時ノイズ低減処理は、撮影後に行われます。処理中は、撮影画面に［**ノイズ低減処理中**］と表示されます。この表示が消えるまで、撮影はできません。長秒時ノイズの低減処理を行う場合、画像を記録するまでの時間は、長秒時ノイズ低減を行わない場合の約2倍になります。



長秒時ノイズ低減についてのご注意

処理中に電源をOFFにすると、処理は行われず、長秒時ノイズの低減処理を行う前の画像が保存されます。

高感度ノイズ低減

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

静止画撮影時に、感度が高くなるほど発生しやすいノイズ（ざらつき）を低減します。

項目	内容
［**強め**］	全てのISO感度で高感度ノイズの低減処理を行います。ISO感度が高くなるほど効果的です。ノイズ低減の効果は、強い順に［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］になります。
［**標準**］	
［**弱め**］	
［**しない**］	ノイズが発生しやすい条件で撮影する場合のみ、ノイズ低減処理を行います。この場合のノイズ低減効果は［**弱め**］に設定したときよりもさらに弱くなります。

ヴィネットコントロール

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

ヴィネットコントロールは、レンズの特性による周辺光量の低下をレンズに応じて軽減します。特に開放絞り側で撮影した場合に効果的です。

項目		内容
▢H	[**強め**]	効果が強い順に、[**強め**]、[**標準**]、[**弱め**] になります。
▢N	[**標準**]	
▢L	[**弱め**]	
[**しない**]		周辺光量の低下を補正しません。

ヴィネットコントロールについてのご注意

JPEG画像の場合、使用するレンズ、撮影条件や撮影シーンの組み合わせによっては、周辺光量が過剰に補正されて画像周辺部が明るくなることや補正が不足して暗くなること、画像にノイズ（むら）が発生することがあります。また、調整したピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロールを設定している場合も、適切な補正ができない場合があります。試し撮りをして、撮影状況に適した設定を選ぶことをおすすめします。

回折補正

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

[**する**] にすると、レンズの絞りを絞り込んだときに画像の解像感が低下する、回折現象を補正します。

自動ゆがみ補正

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

[**する**] にすると、カメラが必要だと判断した場合に、広角レンズ使用時のたる型のゆがみや望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。装着しているレンズによっては設定が [**する**] に固定され、メニューはグレーで表示されて選べません。

フリッカー低減撮影

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

［**する**］にすると、蛍光灯や水銀灯などの光源下で発生する、照明の明滅による明るさのちらつき（フリッカー現象）の影響を低減できます。

- フリッカー現象が発生している場合、撮影した画像の一部に露出ムラが生じたり、連続撮影時に露出や色味にばらつきが生じることがあります。
- ［**する**］に設定した場合、連続撮影時に撮影速度が遅くなったり、撮影間隔が一定ではなくなることがあります。

静止画撮影メニュー［フリッカー低減撮影］について

- フリッカー低減機能を使うと、光源によってシャッターのきれるタイミングが少し遅れることがあります。
- 電源周波数が50Hzの場合は100Hzの点滅周期を、また電源周波数が60Hzの場合は120Hzの点滅周期を検出します。連続撮影中に光源の点滅周期が変化した場合、フリッカーの影響は低減できません。
- 背景が暗い場合や輝度が高い光源が含まれる場合など光源や撮影条件によっては、フリッカーが検出できなかったり、フリッカー低減の効果が得られないことがあります。
- イルミネーションなどの特殊な光源下では、フリッカー低減機能の効果が得られないことがあります。

静止画撮影メニュー［フリッカー低減撮影］の制限について

次の場合など、静止画撮影メニュー［**フリッカー低減撮影**］が無効になります。

- レリーズモードが［**高速連続撮影（拡張）**］の場合
- 静止画撮影メニュー［**サイレント撮影**］が［**する**］の場合
- インターバルタイマー撮影、タイムラプス動画、またはフォーカスシフト撮影を行うときに、それぞれの機能の［**サイレント撮影**］を［**する**］にしている場合
- HDR（ハイダイナミックレンジ）撮影時
- 露出ディレーモードが有効の場合

測光モード

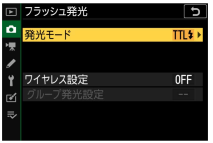
MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

カメラが被写体の明るさを測るための測光モードを選べます。詳しくは、「*i*メニューを使う」の「測光モード」（🕮149）をご覧ください。

フラッシュ発光

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

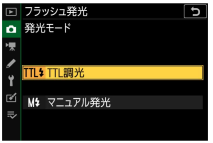
別売のスピードライトを取り付けた場合の発光モードおよびワイヤレス増灯撮影時の設定を行います。



- 別売スピードライトをカメラに取り付けた場合の撮影については「スピードライトをカメラに装着して撮影する」（🕮450）をあわせてご覧ください。
- 別売スピードライトをワイヤレスで制御した場合の撮影については「複数のスピードライトをワイヤレスで制御する（増灯撮影）」（🕮461）をあわせてご覧ください。

発光モード

SB-500、SB-400、またはSB-300をカメラに装着した場合のスピードライトの発光モードや補正量などを設定できます。



- SB-500、SB-400、SB-300以外のスピードライトを装着した場合、発光モードなどの設定はスピードライト本体で行ってください。

項目	内容
［**TTL調光**］	スピードライトの発光量は、撮影状況に応じて自動的に調節されます。

項目	内容
［**マニュアル発光**］	指定した発光量でスピードライトが発光します。

ワイヤレス設定

複数のスピードライトを同時に発光させて撮影（ワイヤレス増灯撮影）する場合に、制御方法を選びます。カメラにSB-500を装着したときのみ表示されます。



項目		内容
～	［**光制御AWL**］	マスターフラッシュの微小発光で、リモートフラッシュを制御します（🕮462）。
［**しない**］		リモートフラッシュの制御を行いません。

グループ発光設定

別売スピードライトを使用して増灯撮影をする場合に、各グループの発光設定を行えます（🕮461）。カメラにSB-500を装着したときのみ表示されます。



フラッシュモード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

別売スピードライトを、カメラに装着またはワイヤレスで制御する場合のフラッシュモードを設定できます。詳しくは、「スピードライトをカメラに装着して撮影する」の「フラッシュモードを設定する」（🕮455）をご覧ください。

フラッシュ調光補正

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

別売スピードライトの発光量を意図的に変えて、背景に対する被写体の明るさを調整できます。発光量を多くして被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにできます（🕮457）。

レリーズモード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

シャッターをきる（レリーズする）ときの動作を設定できます。レリーズモードの詳しい説明については、「*i*メニューを使う」の「レリーズモード」（🕮152）をご覧ください。

フォーカスモード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

ピントの合わせ方を選べます。詳しくは、「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「フォーカスモード」（🕮90）をご覧ください。

AFエリアモード

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

オートフォーカス使用時に、フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。詳しくは、「カメラの基本機能と設定」にある「ピント合わせの設定」の「AFエリアモード」（🕮92）をご覧ください。

手ブレ補正

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。詳しくは、「*i*メニューを使う」の「手ブレ補正」（🕮156）をご覧ください。

オートブラケティング

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

明るさ（露出）、フラッシュの発光量、ホワイトバランス、アクティブD-ライティング（ADL）の設定をカメラが自動的に変えながら撮影します。画像の明るさやフラッシュの発光量の調整が難しい場合や複数の光源が混在していてホワイトバランスを決めにくい場合の撮影に効果的です。

項目	内容
[**オートブラケティングのセット**]	オートブラケティングの種類を設定できます。 ・[**AE・フラッシュブラケティング**]：露出値（AE）とフラッシュの発光量を変えながら撮影します。 ・[**AEブラケティング**]：露出値（AE）を変えながら撮影します。 ・[**フラッシュブラケティング**]：フラッシュの発光量を変えながら撮影します。 ・[**WBブラケティング**]：ホワイトバランスの色温度を変えながら撮影します。 ・[**ADLブラケティング**]：アクティブD-ライティングの効果の度合いを変えながら撮影します。
[**コマ数**]	オートブラケティングで撮影するコマ数を設定できます。

項目	内容
［**補正ステップ**］	［**オートブラケティングのセット**］が［**ADLブラケティング**］以外の場合、ブラケティングの変化の度合いを設定できます。
［**効果の度合い**］	［**オートブラケティングのセット**］が［**ADLブラケティング**］の場合、アクティブD-ライティングの効果の度合いを設定できます。

AEブラケティング、フラッシュブラケティングの撮影方法



補正なし　　−1段補正　　＋1段補正

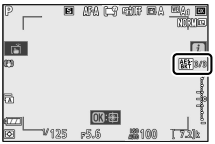
1 **［オートブラケティングのセット］で［AE・フラッシュブラケティング］、［AEブラケティング］または［フラッシュブラケティング］を選ぶ**
設定項目として［**コマ数**］と［**補正ステップ**］が表示されます。

2 撮影コマ数を設定する

・［**コマ数**］を選んでマルチセレクターの◀▶を押すと、撮影コマ数を設定できます。



・［**0F**］以外に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。

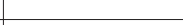


3 **補正ステップを設定する**

・[**補正ステップ**] を選んで◀▶を押すと、補正ステップを設定できます。

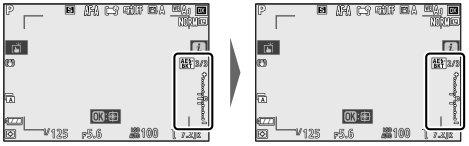
・補正ステップは、0.3（1/3段）、0.7（2/3段）、1.0（1段）、2.0（2段）、3.0（3段）から選ぶことができます。補正ステップを2.0または3.0に設定した場合、撮影コマ数は最大5枚です。手順2で撮影コマ数を7枚または9枚に設定していても、自動的に5枚に変更されます。

・補正ステップが0.3のときの撮影コマ数と撮影順序は次の表の通りです。

[コマ数]	AE・フラッシュブラケティングインジケーター	撮影コマ数	撮影順序
0F		0	0
＋3F		3	0/＋0.3/＋0.7
－3F		3	0/－0.7/－0.3
＋2F		2	0/＋0.3
－2F		2	0/－0.3
3F		3	0/－0.3/＋0.3
5F		5	0/－0.7/－0.3/＋0.3/＋0.7
7F		7	0/－1.0/－0.7/－0.3/＋0.3/＋0.7/＋1.0
9F		9	0/－1.3/－1.0/－0.7/－0.3/＋0.3/＋0.7/＋1.0/＋1.3

4 **撮影する**

- 設定した撮影コマ数を撮影してください。
- シャッタースピードと絞り値は補正された値が表示されます。
- 撮影画面に、AE・フラッシュブラケティングのアイコンと残りの撮影コマ数、AE・フラッシュブラケティングインジケーターが表示されます。撮影するたびに残りのコマ数表示が減少し、AE・フラッシュブラケティングインジケーター上からもコマ数を示す表示が消えます。



撮影コマ数：3
補正ステップ：0.7

1コマ撮影した状態

- AEブラケティングと露出補正を同時に設定すると、両方の補正値が加算されたAEブラケティング撮影が行えます。

AE、フラッシュブラケティング撮影をやめるには

［**コマ数**］を［**0F**］に設定してください。

AEブラケティング、フラッシュブラケティングについて

［**AE・フラッシュブラケティング**］では、AEブラケティングとフラッシュブラケティングを同時に行います。AEブラケティングだけを行いたいときは［**AEブラケティング**］を、フラッシュブラケティングだけを行いたいときは［**フラッシュブラケティング**］を選びます。フラッシュブラケティングはi-TTL調光時および絞り連動外部自動調光（**㊎A**）時（別売の絞り連動外部自動調光対応スピードライト使用時のみ）に使用できます（🕮452、🕮495）。

AE・フラッシュブラケティング、AEブラケティング、フラッシュブラケティング撮影について

- レリーズモードを連続撮影に設定した場合、シャッターボタンを押し続けると、セットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止します。シャッターボタンを押し直すと、次の連続撮影が可能になります。
- 撮影中に電源をOFFにしてもう一度ONにすると、1コマ目から撮影を行います。
- 撮影中にメモリーカードのメモリー残量がなくなっても、メモリー残量のある他のメモリーカードに交換すれば残りを撮影できます。

AEブラケティング

AEブラケティングでは、撮影モードによって補正される内容（シャッタースピード、絞り値）が異なります。

撮影モード	変化する内容
P	シャッタースピードと絞り値※1
S	絞り値※1
A	シャッタースピード※1
M	シャッタースピード※2、3

※1　静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**感度自動制御**］が［**する**］のときは、シャッタースピードや絞り値が制御範囲を超えると自動的にISO感度が変化します。

※2　静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**感度自動制御**］が［**する**］のときは、まずISO感度を変化させて基準となる露出を適正露出に近づけてから、AEブラケティングでシャッタースピードを変化させます。

※3　カスタムメニューe5［**BKT変化要素（Mモード）**］により変化する内容をシャッタースピードと絞り値の両方、絞り値のみ、あるいはシャッタースピードのみに変更できます。

WBブラケティングの撮影方法

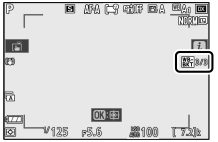
1 **［オートブラケティングのセット］で［WBブラケティング］を選ぶ**
設定項目として［**コマ数**］と［**補正ステップ**］が表示されます。

2 **撮影コマ数を設定する**

・［**コマ数**］を選んでマルチセレクターの◀▶を押すと、撮影コマ数を設定できます。



・［**0F**］以外に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。



3 **補正ステップを設定する**

・[**補正ステップ**] を選んで◀▶を押すと、補正ステップを設定できます。
・補正ステップは、1（1段）、2（2段）、3（3段）から選ぶことができます。
・ホワイトバランス補正ステップの1段は、約5ミレッドに相当します。A方向に数が大きくなるごとにアンバーが強くなります。B方向に数が大きくなるごとにブルーが強くなります。
・補正ステップが1のときの撮影コマ数と撮影順序は次の表の通りです。

[コマ数]	WBブラケティングインジケーター	撮影コマ数	補正ステップ	撮影順序
0F		0	1段	0
B3F		3	B方向1段	0/B1/B2
A3F		3	A方向1段	0/A2/A1
B2F		2	B方向1段	0/B1
A2F		2	A方向1段	0/A1
3F		3	各方向1段	0/A1/B1
5F		5	各方向1段	0/A2/A1/B1/B2
7F		7	各方向1段	0/A3/A2/A1/B1/B2/B3
9F		9	各方向1段	0/A4/A3/A2/A1/B1/B2/B3/B4

4 撮影する

・シャッターボタンを1回全押しすると、設定した全てのコマ数の画像が記録されます。
・ホワイトバランスを微調整している場合は、微調整値にWBブラケティングの補正ステップが加算されます。
・WBブラケティングの撮影コマ数が記録可能コマ数より多い場合、シャッターがきれません。新しいメモリーカードに交換すると撮影できます。

WBブラケティング撮影をやめるには

［**コマ数**］を［**0F**］に設定してください。

WBブラケティングの制限について

WBブラケティングは、RAWを含む画質モードでは使用できません。

WBブラケティング撮影について

・WBブラケティングでは、色温度（A（アンバー）からB（ブルー）への横方向）の補正のみを行います。G（グリーン）からM（マゼンタ）への縦方向の補正は行いません。
・撮影中に電源をOFFにした場合、全てのコマの記録が終了してから電源が切れます。
・セルフタイマー撮影時には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc2［**セルフタイマー**］の［**撮影コマ数**］で設定した撮影コマ数にかかわらず、「WBブラケティングの撮影方法」（🕮252）の手順2で設定した撮影コマ数が全て記録されます。

ADLブラケティングの撮影方法

1 ［オートブラケティングのセット］で［ADLブラケティング］を選ぶ

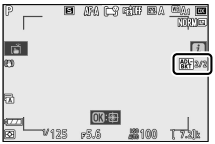
設定項目として［**コマ数**］と［**効果の度合い**］が表示されます。

2 撮影コマ数を設定する

・［**コマ数**］を選んでマルチセレクターの◀▶を押すと、撮影コマ数を設定できます。



・［**0F**］以外に設定すると、撮影画面にアイコンが表示されます。



・設定した撮影コマ数により、ブラケティングの内容が次のように異なります。

撮影コマ数	ブラケティングの内容
2コマ	［**しない**］→（手順3で設定するアクティブD-ライティングの度合い）
3コマ	［**しない**］→［**弱め**］→［**標準**］
4コマ	［**しない**］→［**弱め**］→［**標準**］→［**強め**］
5コマ	［**しない**］→［**弱め**］→［**標準**］→［**強め**］→［**より強め**］

・撮影コマ数を3コマ以上に設定した場合は、手順4に進んでください。

3 **撮影コマ数を2コマにしたときのアクティブD-ライティングの度合いを設定する**

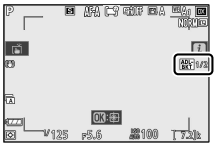
・［**効果の度合い**］を選んでJKを押すと、撮影コマ数が2コマのときの2コマ目のアクティブD-ライティングの度合いを設定できます。
・アクティブD-ライティングの度合いは、次のようになります。

［効果の度合い］	ブラケティングの内容
OFF L	［**しない**］→［**弱め**］
OFF N	［**しない**］→［**標準**］
OFF H	［**しない**］→［**強め**］
OFF H+	［**しない**］→［**より強め**］
OFF AUTO	［**しない**］→［**オート**］

4 **撮影する**



・設定した撮影コマ数を撮影してください。
・撮影画面に、ADLブラケティングのアイコンと残りの撮影コマ数が表示されます。撮影するたびに残りのコマ数表示が減少します。



ADLブラケティング撮影をやめるには

［**コマ数**］を［**0F**］に設定してください。

ADLブラケティング撮影について

- レリーズモードを連続撮影に設定した場合、シャッターボタンを押し続けると、セットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止します。シャッターボタンを押し直すと、次の連続撮影が可能になります。
- 撮影中に電源をOFFにしてもう一度ONにすると、1コマ目から撮影を行います。
- 撮影中にメモリーカードのメモリー残量がなくなっても、メモリー残量のある他のメモリーカードに交換すれば残りを撮影できます。

多重露出

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

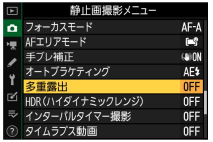
2〜10コマのRAWデータを重ねて写し込み、1つの画像として記録します。

項目	内容
[**多重露出モード**]	・[**する（連続）**]：解除するまで連続して多重露出撮影します。多重露出撮影を解除するには、もう一度［**多重露出モード**］を選んで［**しない**］に設定してください。 ・[**する（1回）**]：多重露出撮影を終了すると、多重露出が解除されます。 ・[**しない**]：多重露出撮影を解除します。
[**コマ数**]	コマ数（露光回数）を設定します。

項目	内容
［**合成モード**］	・［**加算**］：全ての露光結果をそのまま重ね合わせます。 ・［**加算平均**］：重ね合わせた画像の露出が適正になるように、露光回数に合わせて自動的にゲイン（出力）を補正します。各コマのゲインは、「1÷露光回数」となります。たとえば、露光回数が「2コマ」の場合は1/2、「3コマ」の場合は1/3になります。 ・［**比較明合成**］：撮影した各画像を比較し、最も明るい部分を選択して合成します。  ・［**比較暗合成**］：撮影した各画像を比較し、最も暗い部分を選択して合成します。 
［**合成前の画像を保存（RAW）**］	・［**する**］：合成した画像のほかに、多重露出で撮影した全てのコマをRAW画像として保存します。 ・［**しない**］：合成した画像のみ保存します。
［**確認撮影**］	・［**する**］：多重露出撮影中、撮影したコマを合成して画像モニターに半透過で表示します。次のコマを撮影するときに構図が決めやすくなります。 ・［**しない**］：多重露出撮影中、撮影したコマは表示されません。
［**1コマ目の画像（RAW）の指定**］	メモリーカード内のRAW画像から1コマ目に使用する画像を選ぶことができます。

多重露出の撮影方法

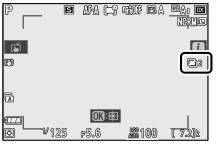
1 静止画撮影メニュー［多重露出］を選んでマルチセレクターの▶を押す



2 ［多重露出モード］を設定する



・［**多重露出モード**］を選んで、▶を押します。
・▲▼を押して多重露出モードを設定し、⊛ボタンを押します。
・［**する（連続）**］または［**する（1回）**］を選ぶと、撮影画面にアイコンが表示されます。



3 [コマ数]（露光回数）を設定する



・[**コマ数**] を選んで、▶を押します。
・▲▼を押して露光回数を設定し、⊛ボタンを押します。

4 [合成モード] を設定する



・[**合成モード**] を選んで、▶を押します。
・▲▼を押して項目を選び、⊛ボタンを押します。

5 [合成前の画像を保存（RAW）] を設定する



・[**合成前の画像を保存（RAW）**] を選んで、▶を押します。
・▲▼を押して項目を選び、⊛ボタンを押します。
・[**する**] を選ぶと、合成した画像のほかに多重露出で撮影した全てのコマをRAW画像として保存します。[**しない**] を選ぶと、合成後の画像のみを保存します。

6 [確認撮影] を設定する



- [**確認撮影**] を選んで、▶を押します。
- ▲▼を押して項目を選び、⊛ボタンを押します。
- [**する**] を選ぶと、これまでに撮影したコマを合成して撮影画面に半透明で表示します。前のコマと構図を合わせやすくなります。

7 [1コマ目の画像（RAW）の指定] を設定する

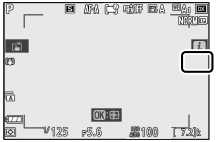


- 撮影済みの画像に重ねて写し込みたい場合は、[**1コマ目の画像（RAW）の指定**] を選んで▶を押し、メモリーカード内のRAW画像から1コマ目に使用する画像を選びます。
- マルチセレクターで黄色い枠を移動して画像を選びます。
- 🔍ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- 画像を選択したら、⊛ボタンを押します。

8 撮影を開始する



- 設定したコマ数を撮影してください。手順7の［**1コマ目の画像（RAW）の指定**］でメモリーカード内のRAW画像から1コマ目に使用する画像を選んだ場合は、2コマ目以降を撮影します。
- 設定したコマ数を撮影すると、合成画像を作成して保存します。
- ［**する（連続）**］の場合、［**多重露出モード**］で［**しない**］を選んで多重露出モードを解除するまで、多重露出撮影できます。
- 多重露出モードが［**する（1回）**］の場合、手順3で設定したコマ数分の撮影をすると、多重露出撮影が解除されます。

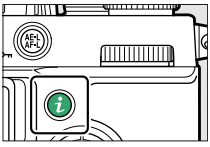


☑ 保存された合成画像について

画質モードをRAWに設定して撮影した場合、画質モード［**FINE**］のJPEG画像が保存されます。

i メニューを使う

多重露出撮影中に▶ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。多重露出撮影で最後に撮影したコマには🗗が表示され、このときにiボタンを押すと多重露出撮影時のiメニューが表示されます。





・項目を選んで⊛ボタンを押すと、選んだ項目が実行されます。
・iボタンを押したときの設定は、タッチ操作でも行えます。

項目	内容
[**合成画像の確認**]	それまでに撮影したコマで合成画像を作成してプレビューします。
[**撮影画像の撮り直し**]	最後に撮影したコマを撮影し直せます。
[**保存して終了**]	それまでに撮影したコマで合成画像を作成し、保存して多重露出撮影を終了します。
[**保存せずに終了**]	合成画像を保存しないで多重露出撮影を終了します。 ・[**合成前の画像を保存（RAW）**] が [**する**] の場合は、撮影した画像を合成せずに1コマずつ保存します。

多重露出撮影時のご注意

- 多重露出の撮影途中に画像を再生したりメニューを表示して、操作をしないまま40秒程度（メニュー表示時は90秒程度）経過すると、画像が記録されて多重露出が解除されます。撮影間隔が長くなる場合は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**画像の再生**］または［**メニュー表示**］を長めに設定すると、多重露出が解除されるまでの時間が延長されます。
- 多重露出で撮影する場合、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生しやすくなります。
- 連続撮影に設定しているときにシャッターボタンを全押しし続けると、多重露出で設定された撮影コマ数まで撮影し、合成画像を保存します。多重露出モードが［**する（1回）**］のときは、撮影が終了して合成画像が保存されると多重露出撮影を解除します。［**する（連続）**］のときは、撮影後に再度全押しすると、繰り返し多重露出撮影を行えます。
- セルフタイマー撮影時には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc2［**セルフタイマー**］の［**連続撮影間隔**］で設定した撮影間隔で撮影します。ただし、c2の［**撮影コマ数**］で設定した撮影コマ数にかかわらず、多重露出で設定した撮影コマ数の撮影が終了した時点で画像が記録されます。
- 多重露出撮影中にカメラの設定を変更すると、多重露出撮影が終了する場合があります。
- 多重露出の撮影設定および撮影データは1コマ目の内容になります。
- 多重露出による撮影中は、メモリーカードを交換しないでください。
- 多重露出撮影中はメモリーカードの初期化はできません。また、一部のメニュー項目がグレーで表示されて選択できません。

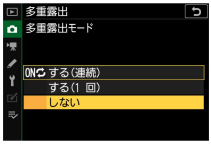
多重露出の制限について

次の場合など、多重露出とは同時に使用できない機能や設定があります。

- **P**、**S**、**A**、**M**以外の撮影モード
- 動画撮影
- オートブラケティング撮影
- HDR（ハイダイナミックレンジ）
- インターバルタイマー撮影
- タイムラプス動画撮影
- フォーカスシフト撮影

▮▮ 多重露出撮影を終了するには

設定したコマ数分を撮影する前に多重露出撮影を終了するには、多重露出モードを［**しない**］に設定します。多重露出撮影を中断すると、その時点までの露光結果だけを重ね合わせた画像が記録されます（［**合成モード**］を［**加算平均**］に設定していた場合は、露光回数に合わせてゲイン補正が行われます）。



このほか、次の場合も、多重露出は終了されます。

- 1コマ目撮影後に半押しタイマーがオフになったとき
- 多重露出撮影中に▶ボタンを押してからiボタンを押し、［**保存して終了**］または［**保存せずに終了**］を選んだとき

HDR（ハイダイナミックレンジ）

MENUボタン➡ 📷静止画撮影メニュー

1回の撮影で露出が異なる画像を2コマ撮影して合成することにより、輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します。明暗差が著しい撮影シーンなどで、シャドー部からハイライト部まで幅広く再現された画像になります。

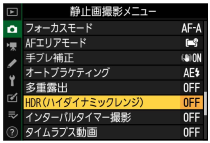


項目	内容
［**HDRモード**］	・［**する（連続）**］：解除するまで連続してHDR撮影します。HDRモードを解除するには、もう一度［**HDRモード**］を選んで［**しない**］に設定してください。 ・［**する（1回）**］：1回撮影を終了すると、HDRモードが解除されます。 ・［**しない**］：HDRモードを解除します。
［**露出差**］	合成する2コマの露出差を設定できます。露出差が大きいほど、階調の幅が広がります。［**オート**］に設定すると、撮影シーンに応じて自動的に露出差を設定します。
［**スムージング**］	合成する2コマの境界のなめらかさを設定できます。
［**合成前の画像を保存（RAW）**］	［**する**］に設定すると、合成する2コマの画像をそれぞれRAW形式で保存します

HDRの撮影方法

HDRモードを設定したときは、測光モードをマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめします。

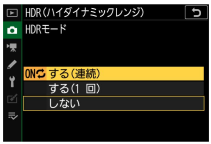
1 静止画撮影メニュー［HDR（ハイダイナミックレンジ）］を選んでマルチセレクターの▶を押す



2 ［HDRモード］を設定する



・［**HDRモード**］を選んで▶を押します。
・▲▼を押してHDRモードを設定し、⊛ボタンを押します。



項目		内容
ON	［**する（連続）**］	解除するまで連続してHDR撮影します。HDRモードを解除するには、もう一度［**HDRモード**］を選んで［**しない**］を選んでください。
［**する（1回）**］		撮影を終了すると、HDRモードが解除されます。
［**しない**］		HDRモードを解除します。

・［**する（連続）**］または［**する（1回）**］を選ぶと、撮影画面にアイコンが表示されます。



3 [露出差] を設定する



- [**露出差**] を選んで▶を押します。
- ▲▼を押して露出差を設定し、⊛ボタンを押します。

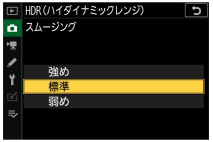


- 露出差を大きく設定するほど、輝度範囲のより広い被写体に対応できます。
- 被写体の輝度範囲に適した露出差以上に設定すると、不自然な画像になる場合があります。被写体の輝度範囲に合わせて選んでください。
- [**オート**] に設定すると、シーンに適した露出差が選ばれます。

4 [スムージング] を設定する



・[**スムージング**] を選んで▶を押します。
・▲▼を押してスムージング（2枚の画像の境界のなめらかさ）の強さを設定し、⊛ボタンを押します。



・スムージングを強めに設定するほど、画像がよりなめらかに合成されます。

5 [合成前の画像を保存（RAW)] を設定する



・[**合成前の画像を保存（RAW)**] を選んで▶を押します。
・▲▼を押して項目を選び、⊛ボタンを押します。
・[**する**] を選ぶと、合成する2コマの画像をそれぞれRAW形式で保存します。

6 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、2回連続してシャッターがきれます。
- ［**する（連続）**］の場合、［**HDRモード**］で［**しない**］を選んでHDRモードを解除するまで、HDRモードで撮影できます。
- HDRモードが［**する（1回）**］の場合、1回撮影すると、HDRモードが解除されます。
- 元の画質モードにかかわらず、合成画像はJPEGになります。

HDR撮影時のご注意

- 撮影した画像の画像周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されない場合があります。撮影時は、三脚をお使いいただくことをおすすめします。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影がでたり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。［**スムージング**］の設定で調整できます。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- 測光モードが中央部重点測光またはスポット測光のときに［**露出差**］を［**オート**］に設定すると、露出差は［**2 EV**］相当の度合いに固定されます。
- 別売のスピードライトは発光しません。
- レリーズモードを連続撮影に設定した場合にシャッターボタンを全押しし続けても連続撮影しません。
- 長時間露出（バルブまたはタイム）撮影はできません。シャッタースピードダイヤルを**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）に合わせると、撮影画面の**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）表示が点滅します。

HDRモードの制限について

次の場合など、HDRモードとは同時に使用できない機能や設定があります。

- **P**、**S**、**A**、**M**以外の撮影モード
- フリッカー低減
- オートブラケティング撮影
- 多重露出撮影
- インターバルタイマー撮影
- タイムラプス動画撮影
- フォーカスシフト撮影

インターバルタイマー撮影

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

設定した撮影間隔（インターバル）と撮影回数で自動的に撮影するインターバルタイマー撮影を行えます。インターバルタイマー撮影をするときは、レリーズモードを以外に設定してください。

項目	内容
［**撮影開始**］	インターバルタイマー撮影を開始します。［**開始日時の設定**］で［**即時**］を選んでいる場合は約3秒後に撮影を開始し、［**日時指定**］を選んでいる場合は設定した日時に撮影を開始します。撮影は、設定した撮影間隔とコマ数で繰り返されます。
［**開始日時の設定**］	インターバルタイマー撮影の開始方法を設定します。インターバルタイマー撮影をすぐに開始する場合は［**即時**］を、開始日時を設定する場合は［**日時指定**］を選びます。
［**撮影間隔**］	撮影間隔（時、分、秒）を設定します。
［**撮影回数×1回のコマ数**］	撮影回数と1回で撮影するコマ数を設定します。
［**露出平滑化**］	［**する**］を選ぶと、1コマ前に撮影した静止画と大きく明るさが変化しないようにカメラが自動で露出を調整します。 ・輝度の変化が大きい被写体を撮影するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合は撮影間隔を短くすることをおすすめします。 ・撮影モード**M**で静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**感度自動制御**］が［**しない**］の場合、露出の平滑化は行いません。
［**サイレント撮影**］	［**する**］を選ぶと、シャッター動作による振動とシャッター音を出さずに撮影できます。 ・［**する**］に設定していても、完全に無音にはなりません。撮影時に絞りやオートフォーカスなどカメラの動作音がすることがあります（特に絞りをf/5.6よりも絞った（大きい数値にした）場合は、絞りによる動作音がします）。

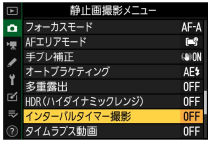
項目	内容
［**撮影間隔優先**］	・［**する**］：撮影モードが**P**または**A**のときに、露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影します。 - フォーカスモードが**AF-S**の場合はカスタムメニューa2［**AF-Sモード時の優先**］を、**AF-C**の場合はカスタムメニューa1［**AF-Cモード時の優先**］を［**レリーズ**］に設定してください。 - 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］で［**感度自動制御**］を［**する**］に設定した場合、［**低速限界設定**］を、撮影間隔よりも短くなるように設定してください。 ・［**しない**］：撮影間隔よりも露光時間を優先して撮影します。
［**撮影間隔毎のAF駆動**］	［**する**］を選ぶと、撮影してから次の撮影までの間に、カメラが自動でピント合わせを行います。
［**オプション**］	インターバルタイマー撮影に、別の機能をオプションとして組み合わせることができます。 ・［**AEブラケティング**］：インターバルタイマー撮影とAEブラケティングを同時に行えます。 ・［**タイムラプス動画**］：インターバルタイマー撮影した画像をつないで、アスペクト比（縦横比）が16：9のタイムラプス動画として記録できます。 - インターバルタイマー撮影した画像とタイムラプス動画が保存されます。 - 静止画撮影メニュー［**撮像範囲設定**］が［**1:1（16×16）**］のときは撮影できません。 -［**タイムラプス動画**］を選んだときは、静止画撮影メニュー［**色空間**］の設定にかかわらず［**sRGB**］の色空間で撮影されます。 ・［**しない**］：オプションなしでインターバルタイマー撮影を行います。
［**撮影開始時の記録フォルダー**］	項目を選んでマルチセレクターの⊛を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。 ・［**新規フォルダー作成**］：インターバルタイマー撮影を開始するたびに新しいフォルダーを自動的に作成して画像を保存します。 ・［**ファイル番号リセット**］：新規フォルダーが作成されるたびにファイル番号が「0001」に戻ります。

インターバルタイマー撮影の撮影方法

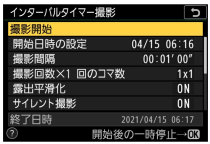
インターバルタイマー撮影を開始する前に

- 試し撮りをすることをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニュー［**タイムゾーンと日時**］で日時が正確に設定されていることを確認してください。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリー、または別売の本体充電ACアダプターをお使いください。

1 静止画撮影メニュー［インターバルタイマー撮影］を選ぶ

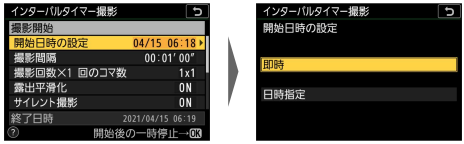


マルチセレクターの▶を押すと、インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



2 インターバルタイマー撮影の設定をする

・開始方法を選ぶ



［**開始日時の設定**］を選んで▶を押す

開始方法を選んでOKボタンを押す

- インターバルタイマー撮影をすぐに開始する場合は、［**即時**］を選びます。
- インターバルタイマー撮影の開始日時を設定する場合は、［**日時指定**］を選びます。表示される画面で開始日時を設定してOKボタンを押します。

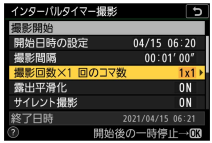
・撮影間隔（インターバル）を設定する



［**撮影間隔**］を選んで▶を押す

撮影間隔（時、分、秒）を設定してOKボタンを押す

・撮影回数と1回のコマ数を設定する



［**撮影回数x1回のコマ数**］を選んで▶を押す



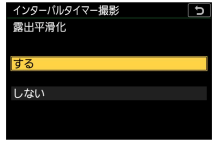
撮影回数と1回で撮影するコマ数を設定して、⊛ボタンを押す

- レリーズモードが1コマ撮影の場合、撮影コマ数を2コマ以上に設定すると、レリーズモードを高速連続撮影に設定した場合の速度で撮影します。
- ［**サイレント撮影**］が［**しない**］のときは、1回のコマ数によって設定できる撮影回数が異なります。

・露出平滑化をするかどうかを選ぶ



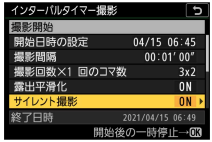
［**露出平滑化**］を選んで▶を押す



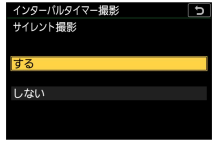
露出平滑化をするかどうかを選んで⊛ボタンを押す

- ［**する**］を選ぶと、1コマ前に撮影した静止画と大きく明るさが変化しないようにカメラが自動で露出を調整します。

・**サイレント撮影を行うかどうかを選ぶ**

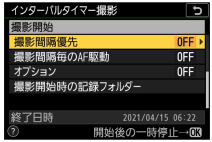


［**サイレント撮影**］を選んで▶を押す

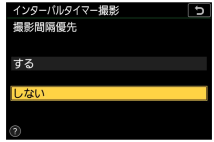


サイレント撮影をするかどうかを選んでOKボタンを押す

・**露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影するかどうかを選ぶ**

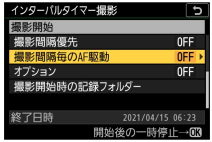


［**撮影間隔優先**］を選んで▶を押す

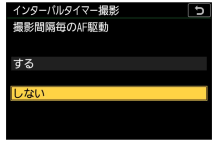


撮影間隔を優先して撮影するかどうかを選んでOKボタンを押す

・**撮影間隔ごとにピント合わせを行うかどうかを選ぶ**

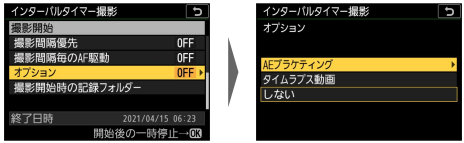


［**撮影間隔毎のAF駆動**］を選んで▶を押す



撮影してから次の撮影までの間に、ピント合わせを行うかどうかを選んでOKボタンを押す

・オプションを設定する



［**オプション**］を選んで▶を押す

［**AEブラケティング**］または［**タイムラプス動画**］を選んでOKボタンを押す

- ［**AEブラケティング**］の場合は［**コマ数**］と［**補正ステップ**］を、［**タイムラプス動画**］の場合は［**画像サイズ/フレームレート**］を設定します。

・撮影開始時の記録フォルダーの設定をする



［**撮影開始時の記録フォルダー**］を選んで▶を押す

各項目の設定をしてOKボタンを押す

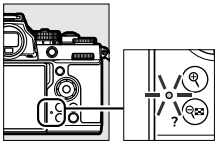
3 ［撮影開始］を選んでⓄKボタンを押す



- 手順2の［**開始日時の設定**］で［**即時**］を選んでいる場合は、約3秒後に撮影を開始します。
- 手順2の［**開始日時の設定**］で［**日時指定**］を選んでいる場合は、設定した日時に撮影を開始します。
- 撮影中は撮影画面は消灯します。
- 設定した撮影間隔とコマ数で撮影を繰り返します。

☑ インターバルタイマー撮影の待機状態について

・インターバルタイマー撮影の待機状態では、メモリーカードアクセスランプが点滅します。



・待機状態でシャッターボタンを半押しすると、撮影画面に［**インターバル撮影中**］と表示され、INTVLアイコンが点滅します。



インターバルタイマー撮影を一時停止するには

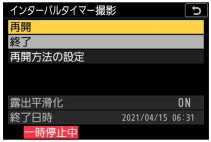
インターバルタイマー撮影を一時停止するには、撮影待機中に㊗ボタンを押すか、静止画撮影メニュー［**インターバルタイマー撮影**］で［**一時停止**］を選んで㊗ボタンを押します。ただし［**撮影間隔**］で設定した間隔が短いときは、**MENU**ボタンを押してもメニュー画面が表示されない場合があります。

・［**オプション**］で［**タイムラプス動画**］を選んだ場合、撮影待機中に㊗ボタンを押すとインターバルタイマー撮影を途中で終了します。

インターバルタイマー撮影を再開するには

インターバルタイマー撮影を再開する手順は次の通りです。

・**すぐに再開する場合**



［**再開**］を選んで㊗ボタンを押す

・**再開する日時を設定する場合**



［**再開方法の設定**］画面で［**日時指定**］を選び㊐を押す

開始日時を設定して㊗ボタンを押す

［**再開**］を選んで㊗ボタンを押す

インターバルタイマー撮影を途中で終了するには

インターバルタイマー撮影を途中で終了するには、撮影待機中に静止画撮影メニュー［**インターバルタイマー撮影**］で［**終了**］を選び、㊗ボタンを押し

ます。ただし［**撮影間隔**］の設定が短い場合、**MENU**ボタンを押してもメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は㊎ボタンを押して一時停止してから、静止画撮影メニュー［**インターバルタイマー撮影**］で［**終了**］を選んで㊎ボタンを押してください。

インターバルタイマー撮影についてのご注意

- 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードに1回の撮影コマ数を掛けた値よりも長い時間を設定してください。実際のインターバルタイマー撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間などが含まれます。撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、設定した撮影間隔で撮影できず、その回の撮影がキャンセルされることがあります。
- 撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、設定した［**撮影回数×1回のコマ数**］で撮影できないことがあります。
- スピードライトを使用する場合は、適正な発光を行うために必要な充電時間よりも長い時間を設定してください。撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、発光量が不足することがあります。
- 設定した開始日時が現在時刻後1分以内の場合や［**撮影間隔**］が［**00:00'00"**］の場合、シャッタースピードが**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）の場合など、インターバルタイマー撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
- ［**サイレント撮影**］と［**撮影間隔優先**］の両方が［**する**］に設定され、［**撮影間隔**］が［**00:00'0.5"**］の場合、インターバルタイマー撮影を開始できません。
- ［**サイレント撮影**］で［**する**］を選んだ場合、および［**オプション**］で［**タイムラプス動画**］を選んだ場合は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］の設定にかかわらず、インターバルタイマー撮影中に半押しタイマーはオフになりません。
- メモリーカードのメモリー残量がない場合、撮影時刻ごとにカウントは進みますが、実際の撮影は行われません。メモリー残量のあるメモリーカードに交換し、インターバルタイマー撮影を再開してください（🕮279）。
- 次の場合はインターバルタイマー撮影が一時停止状態になります。
  - 電源をOFFにして、再度ONにしたとき（電源がOFFの間にバッテリーやメモリーカードを交換しても、一時停止状態が持続します）
  - レリーズモードを⏲に切り換えたとき
- インターバルタイマー撮影中にカメラの設定を変更すると、インターバルタイマー撮影が終了する場合があります。

撮影コマ数について

レリーズモードに関係なく、1回の撮影ごとに設定された撮影コマ数が撮影されます。

インターバルタイマー撮影待機中の各種設定について

インターバルタイマー撮影の待機中は、各種設定やメニュー画面の操作や、画像の再生を行うことができます。ただし、撮影時刻の数秒前に画面の表示を消灯して、撮影に入ります。

インターバルタイマー撮影の制限について

次の場合など、インターバルタイマー撮影とは同時に使用できない機能や設定があります。

- 動画撮影
- 長時間露出（バルブまたはタイム）撮影
- セルフタイマー撮影
- オートブラケティング撮影
- HDR（ハイダイナミックレンジ）
- 多重露出撮影
- フォーカスシフト撮影

［サイレント撮影］を［する］にした場合の制限について

次の場合など、［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定すると使用できない機能や設定があります。

- ISO感度のHi 1、Hi 2
- フラッシュ撮影
- 長秒時ノイズ低減
- フリッカー低減

インターバルタイマー撮影の設定について

電源をOFFにしたり、レリーズモードを切り換えたりした場合も、設定した内容は記憶されています。

タイムラプス動画

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

設定した撮影間隔で自動的に撮影を行い、撮影した静止画をつないで動画として記録できます。

項目	内容
［**撮影開始**］	タイムラプス動画撮影を開始します。約3秒後に撮影を開始し、設定した［**撮影時間**］内に設定した［**撮影間隔**］で撮影を繰り返します。

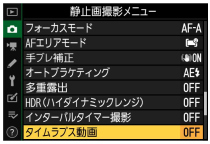
項目	内容
［**撮影間隔**］	撮影間隔（分、秒）を設定します。
［**撮影時間**］	撮影時間（時、分）を設定します。
［**露出平滑化**］	［**する**］を選ぶと、明るさの変化がなめらかになり、より自然な動画を記録します。 ・輝度の変化が大きい被写体を撮影するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合は撮影間隔を短くすることをおすすめします。 ・撮影モード**M**で静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**感度自動制御**］が［**しない**］の場合、露出の平滑化は行いません。
［**サイレント撮影**］	［**する**］を選ぶと、シャッター動作による振動とシャッター音を出さずに撮影できます。 ・［**する**］に設定していても、完全に無音にはなりません。撮影時に絞りやオートフォーカスなどカメラの動作音がすることがあります（特に絞りをf/5.6よりも絞った（大きい数値にした）場合は、絞りによる動作音がします）。
［**画像サイズ/フレームレート**］	記録されるタイムラプス動画の画像サイズ（ピクセル）とフレームレートを設定できます。
［**撮影間隔優先**］	・［**する**］：撮影モードが**P**または**A**のときに、露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影します。 - フォーカスモードが**AF-S**の場合はカスタムメニューa2［**AF-Sモード時の優先**］を、**AF-C**の場合はカスタムメニューa1［**AF-Cモード時の優先**］を［**レリーズ**］に設定してください。 - 静止画撮影メニュー［**ISO感度設定**］で［**感度自動制御**］を［**する**］にしたときの［**低速限界設定**］の設定値が、設定した撮影間隔より長い場合は、撮影間隔を優先して感度が自動制御されます。 ・［**しない**］：撮影間隔よりも露光時間を優先して撮影します。
［**撮影間隔毎のAF駆動**］	［**する**］を選ぶと、撮影してから次の撮影までの間に、カメラが自動でピント合わせを行います。

タイムラプス動画の撮影方法

タイムラプス動画撮影を開始する前に

- タイムラプス動画撮影で撮影される静止画の画角は、動画撮影時と同じになります。
- 試し撮りをして、画像を再生して確認することをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニュー［**タイムゾーンと日時**］で日時が正確に設定されていることを確認してください。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリー、または別売の本体充電ACアダプターをお使いください。

1 静止画撮影メニュー［タイムラプス動画］を選ぶ



マルチセレクターの▶を押すと、［**タイムラプス動画**］画面が表示されます。



2 タイムラプス動画の設定をする

・撮影間隔（インターバル）を設定する



［**撮影間隔**］を選んで▶を押す



撮影間隔（分、秒）を設定してⓄⓀボタンを押す

- 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードよりも長い時間を設定してください。

・撮影時間を設定する



［**撮影時間**］を選んで▶を押す



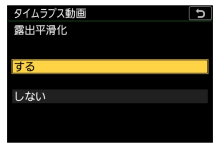
撮影時間（時、分）を設定してⓄⓀボタンを押す

- 撮影時間は、最長で7時間59分まで設定できます。

・露出平滑化をするかどうかを選ぶ



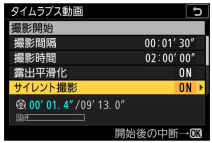
［**露出平滑化**］を選んで▶を押す



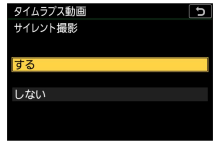
露出平滑化をするかどうかを選んでⓄⓀボタンを押す

- [**する**] を選ぶと、明るさの変化がなめらかになり、より自然な動画を記録します。

・サイレント撮影を行うかどうかを選ぶ



[**サイレント撮影**] を選んで▶を押す



サイレント撮影をするかどうかを選んでOKボタンを押す

・画像サイズ/フレームレートを設定する



[**画像サイズ/フレームレート**] を選んで▶を押す

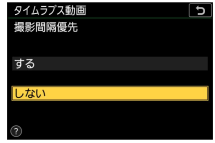


動画の画像サイズ/フレームレートを選んでOKボタンを押す

・露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影するかどうか選ぶ

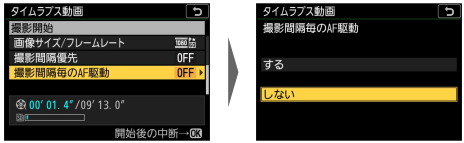


[**撮影間隔優先**] を選んで▶を押す



撮影間隔を優先して撮影するかどうかを選んでOKボタンを押す

・撮影間隔ごとにピント合わせを行うかどうか選ぶ



［**撮影間隔毎のAF駆動**］を選んで⊛を押す

撮影してから次の撮影までの間に、ピント合わせを行うかどうかを選んでⓄⓀボタンを押す

- ［**撮影間隔毎のAF駆動**］が［**する**］のときは、選んだフォーカスモードに従って、毎回の撮影の直前にピント合わせを行います。

3 ［撮影開始］を選んでⓄⓀボタンを押す



- 約3秒後に撮影を開始します。
- 撮影中は撮影画面は消灯します。
- 手順2で設定した［**撮影時間**］内に、設定した［**撮影間隔**］で撮影を繰り返します。

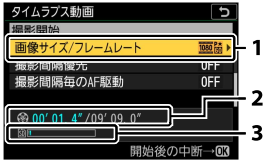
■■ タイムラプス動画撮影を途中で終了するには

タイムラプス動画撮影を途中で終了するには、撮影待機中にⓄⓀボタンを押すか、静止画撮影メニュー［**タイムラプス動画**］で［**終了**］を選んでⓄⓀボタンを押します。ただし［**撮影間隔**］で設定した間隔が短いときは、**MENU**ボタンを押してもメニュー画面が表示されない場合があります。

- タイムラプス動画撮影を終了すると、終了時点までの動画がメモリーカードに記録され、通常の撮影待機状態に戻ります。

タイムラプス動画の記録コマ数（撮影回数）と動画の長さについて

- 手順2で設定する撮影時間を撮影間隔で割った数（小数点以下切り上げ）に1を足した数が、記録コマ数（撮影回数）になります。
- タイムラプス動画で記録される動画の長さは、上記の記録コマ数÷［**画像サイズ/フレームレート**］で選んだフレームレートで計算できます（例えば、［**画像サイズ/フレームレート**］が［**1920×1080 24p**］のときに記録コマ数が48コマの場合、記録される動画の長さは約2秒になります）。
- 最長20分の動画を記録できます。



1	動画の画像サイズ/フレームレート	3	メモリーカード使用状況
2	記録時間/最長記録時間		

撮影直後の画像確認について

タイムラプス動画撮影中は、▶ボタンで画像を表示することはできません。ただし、再生メニュー［**撮影直後の画像確認**］を［**する**］または［**する（画像モニター表示のみ）**］にすると、撮影のたびに自動的に画像が数秒間表示されます。表示だけを行い、通常の再生時の操作は無効になります。また、撮影間隔が短い場合は表示されないことがあります。

タイムラプス動画撮影についてのご注意

- タイムラプス動画には音声は記録されません。
- 実際のタイムラプス動画撮影には、インターバル時間のほか、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間が含まれます。そのため、設定した撮影間隔で撮影できないことがあります。
- 次のような場合には、タイムラプス動画撮影を開始または設定できません。
  - 設定した［**撮影時間**］が［**撮影間隔**］より短い場合
  - ［**撮影時間**］または［**撮影間隔**］が［**00:00'00"**］の場合
  - ［**サイレント撮影**］と［**撮影間隔優先**］をそれぞれ［**する**］に設定し、［**撮影間隔**］を［**00:00'0.5"**］に設定した場合
  - メモリーカードのメモリー残量がない場合

・シャッタースピードが**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）の場合など、タイムラプス動画撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
・タイムラプス動画撮影中は、▶ボタンを押しても画像の再生はできません。
・タイムラプス動画を撮影する場合、ホワイトバランスを**WB A**［**オート**］または**☀A**［**自然光オート**］以外に設定すると色味を固定することができます。
・タイムラプス動画撮影中は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］の設定にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。
・タイムラプス動画撮影中にカメラの設定を変更したり、カメラの操作を行ったり、HDMIケーブルを接続すると、撮影が終了することがあります。その場合はその時点までの動画を記録してタイムラプス動画撮影を終了します。
・次の場合は動画を記録せずに、タイムラプス動画撮影が終了します（タイムラプス動画撮影終了時の電子音は鳴りません）。
- バッテリーを取り外したとき
- メモリーカードを取り出したとき

☑ タイムラプス動画撮影の待機状態について
タイムラプス動画撮影の待機状態ではメモリーカードアクセスランプが点灯します。

☑ タイムラプス動画撮影待機中の各種設定について
タイムラプス動画撮影の待機中は、各種設定やメニュー画面の操作を行うことができます。ただし、撮影時刻の約2秒前に画像モニターを消灯して、撮影に入ります。

☑ タイムラプス動画の制限について
次の場合など、タイムラプス動画とは同時に使用できない機能や設定があります。
・動画撮影
・長時間露出（バルブまたはタイム）撮影
・セルフタイマー撮影
・オートブラケティング撮影
・HDR（ハイダイナミックレンジ）
・多重露出撮影
・インターバルタイマー撮影
・フォーカスシフト撮影

☑ ［サイレント撮影］を［する］にした場合の制限について
次の場合など、［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定すると使用できない機能や設定があります。
・ISO感度のHi 1、Hi 2
・フラッシュ撮影

・露出ディレーモード
・長秒時ノイズ低減
・フリッカー低減

フォーカスシフト撮影

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

ピント位置を変えながら自動的に連続撮影を行います。ピント面の異なる複数の画像を合成して被写界深度の深い画像を作成する、深度合成の素材を撮影できます。フォーカスシフト撮影をするときは、フォーカスモードを**AF-A**、**AF-S**または**AF-C**に設定し、レリーズモードを以外に設定してください。

項目	内容
［**撮影開始**］	撮影を開始します。撮影は、設定したフォーカスステップ幅で繰り返されます。
［**撮影回数**］	撮影回数を最大300回まで設定できます。
［**フォーカスステップ幅**］	フォーカスシフト撮影は、ピント位置を変更しながらステップ撮影を行います。ピント位置の変更幅を設定します。
［**待機時間**］	シャッターをきってから次にシャッターをきるまでの時間を秒単位で設定できます。 ・［**00**］に設定すると、最速約3コマ/秒でシャッターがきれます。 ・フラッシュを使用して撮影する場合は光量不足にならないように充電時間を考慮して設定してください。
［**露出固定**］	・［**する**］：露出を1コマ目撮影時の設定に固定します。 ・［**しない**］：1コマごとに露出を合わせます。
［**サイレント撮影**］	［**する**］を選ぶと、シャッター音を出さずに撮影できます。 ・［**する**］に設定していても、完全に無音にはなりません。撮影時に絞りやオートフォーカスなどカメラの動作音がすることがあります（特に絞りをf/5.6よりも絞った（大きい数値にした）場合は、絞りによる動作音がします）。

項目	内容
[**撮影開始時の記録フォルダー**]	項目を選んでマルチセレクターの▶を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。 ・[**新規フォルダー作成**]：フォーカスシフト撮影を開始するたびに新しいフォルダーを自動的に作成して画像を保存します。 ・[**ファイル番号リセット**]：新規フォルダーが作成されるたびにファイル番号が「0001」に戻ります。

フォーカスシフト撮影の撮影方法

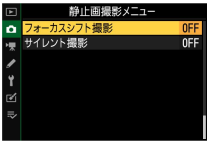
☑ フォーカスシフト撮影を開始する前に

・試し撮りをすることをおすすめします。
・撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリー、または別売の本体充電ACアダプターをお使いください。

1 被写体にピントを合わせる

・撮影開始のピント位置から無限遠方向に向かって自動撮影されます。ピント位置が無限遠に達すると撮影を終了するため、撮影開始時は、被写体より少し手前（カメラ側）にピントを合わせておくことをおすすめします。
・ピント合わせ後はカメラを動かさないでください。

2 静止画撮影メニュー［フォーカスシフト撮影］を選ぶ



マルチセレクターの▶を押すと、フォーカスシフト撮影の設定画面が表示されます。



3 フォーカスシフト撮影の設定をする

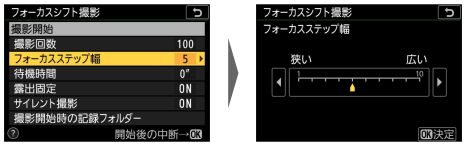
・撮影回数を設定する



［**撮影回数**］を選んでを押す　　撮影回数を設定して、ボタンを押す

- 撮影回数は最大300回まで設定できます。
- 撮影回数は多めに設定しておくことをおすすめします。合成時には必要な画像を選んで使用してください。
- 昆虫などの小さい被写体をクローズアップ撮影する場合、100枚以上の画像が必要になることがあります。また、手前から遠くまでをカバーする風景を広角レンズで撮影する場合は、数枚で充分なこともあります。

・フォーカスステップ幅（ピント位置の間隔）を設定する



［**フォーカスステップ幅**］を選んでを押す　　フォーカスステップ幅を設定して、ボタンを押す

- を押すほどステップ間の幅が広くなり、を押すほど狭くなります。
- フォーカスステップ幅を大きな数値に設定すると、深度合成したときにピントの合っていない領域ができてしまうことがあります。通常は5以下に設定することをおすすめします。
- フォーカスステップ幅は何度か試して決めてください。

・待機時間を設定する



［**待機時間**］を選んで▶を押す　　待機時間を設定して、OKボタンを押す

- シャッターをきってから次にシャッターをきるまでの時間を秒単位で設定できます。
- ［**00**］に設定すると最速約3コマ/秒でシャッターがきれます。
- フラッシュを使用して撮影する場合は光量不足にならないように充電時間を考慮して設定してください。フラッシュを使用しない場合は、［**00**］に設定することをおすすめします。

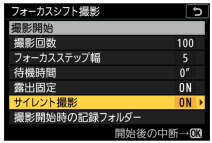
・露出を固定するかどうかを選ぶ



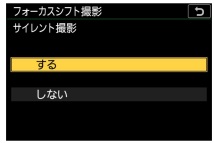
［**露出固定**］を選んで▶を押す　　露出を固定するかどうかを選んでOKボタンを押す

- 光源などの撮影環境が安定している場合は［**しない**］、風景などの光線条件が変化するような場合は［**する**］をおすすめします。
- ［**する**］を選ぶと、全てのコマが同じ露出になるように、露出を1コマ目撮影時の設定に固定します。ただし、輝度の変化が大きい被写体を撮影するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合は、［**しない**］にすることをおすすめします。

・サイレント撮影を行うかどうかを選ぶ



［**サイレント撮影**］を選んで▶を押す

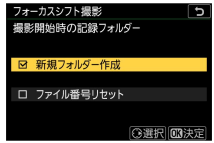


サイレント撮影をするかどうかを選んでOKボタンを押す

・撮影開始時の記録フォルダーの設定をする



［**撮影開始時の記録フォルダー**］を選んで▶を押す



各項目の設定をしてOKボタンを押す

- 項目を選んでマルチセレクターの▶を押すと、項目の左側のチェックボックスがオン☑になります。もう一度▶を押すと、チェックボックスがオフ☐になります。
- ［**新規フォルダー作成**］のチェックボックスをオン☑にすると、フォーカスシフト撮影を開始するたびに新しいフォルダーを自動的に作成して画像を保存します。
- ［**ファイル番号リセット**］のチェックボックスをオン☑にすると、新規フォルダーが作成されるたびにファイル番号が「0001」に戻ります。

4 **［撮影開始］を選んでⓀボタンを押す**



- 約3秒後に撮影を開始します。
- 撮影中は撮影画面は消灯します。
- 撮影開始時のピント位置から無限遠に向かって連続撮影を行います。
- 設定した撮影回数に達するか、ピント位置が無限遠に達すると撮影を終了します。

■■ フォーカスシフト撮影を途中で終了するには

フォーカスシフト撮影を途中で終了するには、次の操作を行います。

- 撮影待機中に静止画撮影メニュー［**フォーカスシフト撮影**］で［**終了**］を選び、Ⓚボタンを押す
- 次の撮影までの間にシャッターボタンを半押しするか、Ⓚボタンを押す

フォーカスシフト撮影時の絞り値について

レンズの絞りを絞り込み過ぎることによる解像感の低下を防ぐため、絞り値をf/8～f/11よりも開いて（より小さい数値にして）撮影することをおすすめします。

フォーカスシフト撮影の待機状態について

フォーカスシフト撮影の待機状態ではメモリーカードアクセスランプが点滅します。

フォーカスシフト撮影についてのご注意

- 実際のフォーカスシフト撮影には、待機時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間が含まれます。そのため、設定した待機時間で撮影できないことがあります。
- ピント位置が無限遠に達すると撮影を終了するため、撮影開始時のピント位置によっては、設定した撮影回数の撮影を行わない場合があります。
- フォーカスシフト撮影中は、カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］の設定にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。
- スピードライトを使用する場合は、適正な発光を行うために必要な充電時間よりも長い時間を設定してください。待機時間が充分な長さに設定されていない場合は、発光量が不足することがあります
- シャッタースピードが**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）の場合など、フォーカスシフト撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
- フォーカスシフト撮影中にカメラの設定を変更すると、フォーカスシフト撮影が終了する場合があります。

フォーカスシフト撮影の制限について

次の場合など、フォーカスシフト撮影とは同時に使用できない機能や設定があります。

- 動画撮影
- 長時間露出（バルブまたはタイム）撮影
- セルフタイマー撮影
- オートブラケティング撮影
- HDR（ハイダイナミックレンジ）
- 多重露出撮影
- インターバルタイマー撮影
- タイムラプス動画撮影

［サイレント撮影］を［する］にした場合の制限について

次の場合など、［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定すると使用できない機能や設定があります。

- ISO感度のHi 1、Hi 2
- フラッシュ撮影
- 露出ディレーモード
- 長秒時ノイズ低減
- フリッカー低減

ヒント: 近接撮影を行う場合

近接撮影では焦点深度が浅くなるため、近接被写体のフォーカスシフト撮影を行う場合は、フォーカスステップ幅を狭めにし、撮影回数を多めにして撮影することをおすすめします。

サイレント撮影

MENUボタン➡ 静止画撮影メニュー

シャッター音を出さずに撮影できます（🕮110）。

項目	内容
［**する**］	シャッターをきるときの振動をなくして撮影できます。風景や静物など動きの少ない被写体を撮影する場合に適しています。撮影時は、三脚をお使いいただくことをおすすめします。 ・［**サイレント撮影**］を［**する**］に設定していても、完全に無音にはなりません。撮影時に絞りやオートフォーカスなどカメラの動作音がすることがあります（特に絞りをf/5.6よりも絞った（大きい数値にした）場合は、絞りによる動作音がします）。 ・フラッシュ撮影はできません。 ・長秒時ノイズ低減は無効になります。 ・カスタムメニューd4［**シャッター方式**］の設定にかかわらず、電子シャッターを使用します。 ・セットアップメニュー［**電子音**］の設定にかかわらず、ピントが合ったときの電子音とセルフタイマー作動時の電子音は鳴りません。 ・レリーズモードが連続撮影の場合、連続撮影速度が変更されます（🕮154）。

項目	内容
［**しない**］	サイレント撮影を行いません。

動画撮影メニュー：動画撮影で使える便利な機能

メニュー画面で動画タブを選ぶと、動画撮影メニューが表示されます。



動画撮影メニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	🕮
［動画撮影メニューのリセット］	301
［ファイル名設定］	301
［画像サイズ/フレームレート］	301
［動画の画質］	301
［動画記録ファイル形式］	302
［ISO感度設定］	302
［ホワイトバランス］	303
［ピクチャーコントロール］	304
［カスタムピクチャーコントロール］	304
［アクティブD-ライティング］	304
［高感度ノイズ低減］	305
［ヴィネットコントロール］	305
［回折補正］	305

メニュー項目	🕮
［自動ゆがみ補正］	305
［フリッカー低減］	305
［測光モード］	306
［レリーズモード（フレーム保存）］	306
［フォーカスモード］	307
［AFエリアモード］	307
［手ブレ補正］	307
［電子手ブレ補正］	307
［マイク感度］	307
［アッテネーター］	308
［録音帯域］	308
［風切り音低減］	309
［タイムコード］	309

関連ページ

「動画撮影メニューの初期設定」（🕮201）

動画撮影メニューのリセット

MENUボタン➡ 🎥動画撮影メニュー

［**する**］を選んでⓄKボタンを押すと、動画撮影メニューをリセットして初期設定に戻します（🕮201）。

ファイル名設定

MENUボタン➡ 🎥動画撮影メニュー

このカメラで撮影した動画のファイル名DSC_nnnn.movの「DSC」の3文字を任意に変更できます（🕮222）。

画像サイズ/フレームレート

MENUボタン➡ 🎥動画撮影メニュー

動画を撮影するときの画像サイズ（ピクセル）とフレームレートを設定します。詳しくは、「**i**メニューを使う」の「画像サイズ/フレームレート/画質」（🕮160）をご覧ください。

動画の画質

MENUボタン➡ 🎥動画撮影メニュー

動画の画質を［**高画質**］と［**標準**］から選べます。詳しくは、「**i**メニューを使う」の「画像サイズ/フレームレート/画質」（🕮160）をご覧ください。

動画記録ファイル形式

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

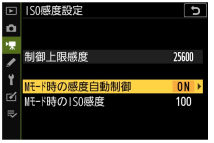
動画のファイル形式をMOVとMP4から選べます。

・動画のファイル形式によって、音声の記録方式も異なります。MOVの場合はリニアPCM、MP4の場合はAACで記録されます。

ISO感度設定

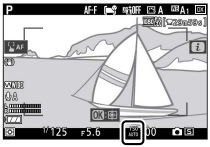
MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のISO感度に関する設定ができます。



項目	内容
［**制御上限感度**］	感度自動制御するときにISO 感度が高くなりすぎないように、上限感度を設定できます。 ・撮影モードが**P**、**S**、または**A**の場合と、撮影モード**M**で［**Mモード時の感度自動制御**］が［**する**］の場合は、ここで設定した感度が自動制御の上限になります。
［**Mモード時の感度自動制御**］	［**する**］を選んでⓄⓀボタンを押すと、撮影モードが**M**のときにカメラが自動的に動画モード時のISO感度を変更します。［**しない**］を選ぶと、ISO感度ダイヤルで設定したISO感度に固定されます。 ・撮影モードが**M**以外の場合は常に感度自動制御が動作します。
［**Mモード時のISO感度**］	ISO感度ダイヤルで設定したISO感度が表示されます。

・感度自動制御する場合、撮影画面に**ISO AUTO**が表示されます。感度が自動制御されると、制御されたISO感度が表示されます。



感度自動制御についてのご注意

・ISO感度が上がると、被写体によっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生することがあります。
・ISO感度が上がると、ピントが合いにくくなることがあります。
・上記の現象が発生する場合は、［**ISO感度設定**］の［**制御上限感度**］を下げて撮影してください。

ホワイトバランス

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

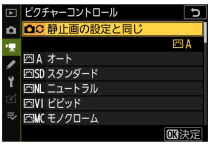
動画モード時のホワイトバランスを設定できます。［**静止画の設定と同じ**］を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（🕮226）。



ピクチャーコントロール

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のピクチャーコントロールを設定できます。[**静止画の設定と同じ**]を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（🕮233）。



カスタムピクチャーコントロール

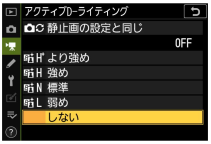
MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます（🕮235）。

アクティブD-ライティング

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のアクティブD-ライティングを設定できます。[**静止画の設定と同じ**]を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（🕮151、🕮165）。



高感度ノイズ低減

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画撮影時に、ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズ（ざらつき）を低減します（🕮240）。

ヴィネットコントロール

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のヴィネットコントロールを設定できます。［**静止画の設定と同じ**］を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（🕮241）。

回折補正

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時の回折補正を設定できます（🕮241）。

自動ゆがみ補正

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時の自動ゆがみ補正を設定できます（🕮241）。

フリッカー低減

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画記録中に、蛍光灯や水銀灯などの光源下で画面に生じるちらつきや横縞（フリッカー現象）を低減できます。通常はカメラが自動的に電源周波数を選ぶ［**オート**］をお使いください。［**オート**］にしていても、フリッカー低減効果が得られない場合は、お使いの地域の電源周波数に応じて、［**50 Hz**］と［**60 Hz**］から選びます。東日本など電源周波数が50 Hzの地域では［**50 Hz**］を選び、西日本など電源周波数が60 Hzの地域では［**60 Hz**］を選んでください。

動画撮影メニュー［フリッカー低減］についてのご注意

- ［**オート**］に設定してもフリッカー低減効果が得られない場合や電源周波数がわからない場合は、設定を切り換えて試し撮りをすることをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。絞りを絞り込んで（より大きい数値にして）ください。
- 撮影モードが**M**以外の場合、フリッカー低減効果が得られないことがあります。そのような場合は、撮影モードを**M**に設定し、シャッタースピードを次の値にすることで、フリッカー現象を低減できます。
  - 電源周波数が50Hzの場合：1/100秒、1/50秒、1/25秒
  - 電源周波数が60Hzの場合：1/125秒、1/60秒、1/30秒

測光モード

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時の測光モードを設定できます。動画撮影メニューでは［**スポット測光**］は選べません（🕮149）。

レリーズモード（フレーム保存）

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード中の静止画撮影（🕮84）のレリーズモードを設定できます。

項目		内容
S	［**1コマ撮影**］	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。1回の動画記録中に撮影できる静止画は、最大40コマです。
連	［**連続撮影**］	・シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影します。 ・連続撮影速度は動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］で設定しているフレームレートにより異なります。 ・連続撮影中は撮影画面に連続撮影可能時間が表示されます。 ・動画を撮影している間は1コマ撮影になります。

フォーカスモード

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のフォーカスモードを設定できます（🕮90）。

AFエリアモード

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時のAFエリアモードを設定できます（🕮92）。

手ブレ補正

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画モード時の手ブレ補正を設定できます。［**静止画の設定と同じ**］を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります（🕮156）。

電子手ブレ補正

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます（🕮166）。

マイク感度

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

内蔵マイクまたは外部マイクの感度の程度を設定します。

項目	内容
［**オート**］	カメラが自動的にマイク感度を調整します。

項目	内容
［**マニュアル**］	マイク感度を手動調整します。［**1**］～［**20**］の調整ができます。数字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなります。 
［**録音しない**］	音声は記録しません。

音声が記録されていない動画の表示について

［**マイク感度**］を［**録音しない**］にして撮影した動画の場合、（音声なしマーク）が表示されます。



アッテネーター

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

［**有効**］を選ぶと、大音量の環境下で動画撮影をするときに、マイク感度を減衰させて音割れを抑えます。

録音帯域

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

内蔵マイクまたは外部マイクの周波数特性を設定します。

項目		内容
WIDE	[**広帯域**]	低音域から高音域まで録音します。楽器演奏や街のざわめきの録音など、幅広いシーンに適しています。
VOICE	[**音声帯域**]	主に人の声を録音したいときに適しています。

風切り音低減

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

動画撮影時に風切り音低減機能を使用するかどうかを設定できます。風切り音低減の詳しい説明については、「iメニューを使う」の「風切り音低減」（🕮164）をご覧ください。

タイムコード

MENUボタン➡ 動画撮影メニュー

フレームごとに「時・分・秒・フレーム」の情報（タイムコード）を記録した動画を撮影できます。タイムコードはファイル形式がMOVの動画にのみ記録できます。

項目	内容
[**タイムコード記録**]	・[**する**]：動画にタイムコードを記録します。撮影画面にタイムコードが表示されます。 ・[**する（HDMI外部出力あり）**]：カメラと外部レコーダーをHDMIケーブルで接続している場合、外部レコーダーに記録される動画にタイムコードを記録します。外部レコーダーはAtomos社製Monitor Recorder（SHOGUN、NINJA、SUMOシリーズ）に対応しています。 ・[**しない**]：タイムコードを記録しません。
[**カウントアップ方式**]	・[**レックラン**]：動画記録中のみタイムコードをカウントアップします。 ・[**フリーラン**]：常にタイムコードをカウントアップします。カメラの電源がOFFになっている場合もカウントアップしています。

項目	内容
［**タイムコードの起点**］	・［**リセット**］：現在表示されているタイムコードをリセットして「00:00:00.00」に戻します。 ・［**手動入力**］：時、分、秒、フレームをそれぞれ手動で設定できます。 ・［**現時刻**］：カメラに設定されている現在の時刻をそのままタイムコードとして使用します。あらかじめセットアップメニュー［**タイムゾーンと日時**］で日時が正確に設定されていることを確認してください。
［**ドロップフレーム**］	［**する**］に設定すると、動画のフレームレートが30fpsまたは60fpsの場合に生じる実時間とタイムコードのずれを補正します。

HDMI接続時のご注意

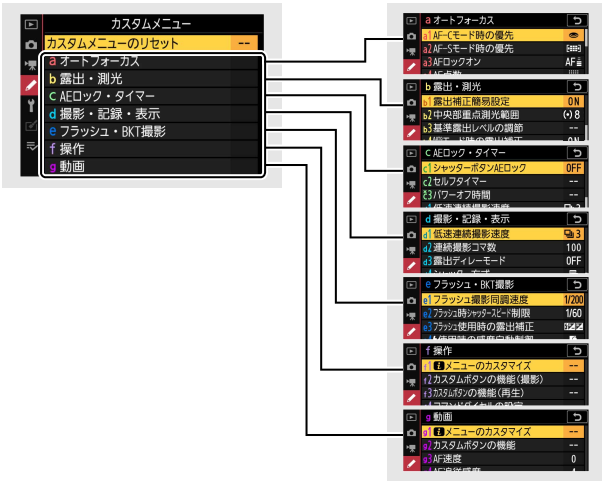
HDMI接続でテレビなどに外部出力している場合に、［**タイムコード記録**］が［**する（HDMI外部出力あり）**］に設定されていると、画像が乱れることがあります。

カスタムメニュー：撮影に関するさらに詳細な設定

メニュー画面でタブを選ぶと、カスタムメニューが表示されます。



カメラの各種設定を撮影者の好みに合わせて変更できます。カスタムメニュー画面は、2つの階層で構成されています。



カスタムメニューの項目は次の通りです。※1

	メニュー項目	🕮
	［カスタムメニューのリセット］	313
a	［オートフォーカス］	
a1	［**AF-C**モード時の優先］	314
a2	［**AF-S**モード時の優先］	314
a3	［**AF**ロックオン］	315
a4	［**AF**点数］	315
a5	［縦/横位置フォーカスポイント切換］	316
a6	［半押し**AF**レンズ駆動］	317
a7	［**AF**エリアモードの限定］	318
a8	［フォーカスポイント循環選択］	318
a9	［フォーカスポイント表示の設定］	318
a10	［ローライト**AF**］	319
a11	［内蔵**AF**補助光の照射設定］	320
a12	［**AF**設定時のフォーカスリング操作］※2	321
b	［露出・測光］	
b1	［露出補正簡易設定］	321
b2	［中央部重点測光範囲］	322
b3	［基準露出レベルの調節］	322
b4	［WB/ISOモード時の露出補正］	323
c	［**AE**ロック・タイマー］	
c1	［シャッターボタン**AE**ロック］	323
c2	［セルフタイマー］	323
c3	［パワーオフ時間］	324
d	［撮影・記録・表示］	
d1	［低速連続撮影速度］	324
d2	［連続撮影コマ数］	324
d3	［露出ディレーモード］	325
d4	［シャッター方式］	325
d5	［**M**モード時のシャッタースピード延長］	326
d6	［連番モード］	326
d7	［**Lv**に撮影設定を反映］	327
d8	［格子線表示］	328
d9	［フォーカスピーキング］	328
d10	［連続撮影中の表示］	328
e	［フラッシュ・**BKT**撮影］	
e1	［フラッシュ撮影同調速度］	328
e2	［フラッシュ時シャッタースピード制限］	330

	メニュー項目	🕮
e3	［フラッシュ使用時の露出補正］	330
e4	［ϟ使用時の感度自動制御］	331
e5	［BKT変化要素（Mモード）］	331
e6	［BKTの順序］	332

f［操作］

f1	［iメニューのカスタマイズ］	333
f2	［カスタムボタンの機能（撮影）］	334
f3	［カスタムボタンの機能（再生）］	342
f4	［コマンドダイヤルの設定］	343
f5	［ボタンのホールド設定］	345
f6	［インジケーターの＋/－方向］	346

g［動画］

g1	［iメニューのカスタマイズ］	346
g2	［カスタムボタンの機能］	347
g3	［AF速度］	352
g4	［AF追従感度］	353
g5	［ハイライト表示］	353

※1　設定内容が初期設定と異なる場合、変更されたメニュー項目の左上にアスタリスク（✱）を表示します。
※2　このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

関連ページ

「カスタムメニューの初期設定」（🕮203）

カスタムメニューのリセット

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

カスタムメニューをリセットして初期設定に戻します。

a：オートフォーカス

a1：AF-C モード時の優先

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

フォーカスモードが**AF-C**のときにシャッターボタンを押した場合の動作を設定できます。

項目		内容
●	［**レリーズ**］	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることができます。
▦	［**フォーカス**］	ピントが合うまで、シャッターボタンを全押ししてもシャッターをきることができません。

a2：AF-Sモード時の優先

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

フォーカスモードが**AF-S**のときにシャッターボタンを押した場合の動作を設定できます。

項目		内容
●	［**レリーズ**］	ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることができます。
▦	［**フォーカス**］	ピントが合うまで、シャッターボタンを全押ししてもシャッターをきることができません。

a3：AFロックオン

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

フォーカスモードが**AF-C**の場合または**AF-A**のときに**AF-C**で撮影している場合に、カメラと被写体の間を障害物や別の被写体が横切った場合のピント動作を設定できます。



- ［**5（鈍感）**］に設定すると、元の被写体からピントが外れにくくなります。
- ［**1（敏感）**］に設定すると、横切った被写体にピントが合いやすくなります。
- AFエリアモードが［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］の場合は、［**2**］、［**1（敏感）**］に設定していても、［**3**］を選んだときと同じ動作になります。

a4：AF点数

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

AFエリアモードを［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］以外にしているときの、手動で選べるフォーカスポイントの数を設定できます。

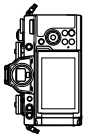
項目		内容
⁞⁞	［**全点**］	全てのフォーカスポイントを選べます。選べるフォーカスポイントの数はAFエリアモードにより異なります。
⁞⁞	［**スキップ**］	［**全点**］に比べて約1/4のフォーカスポイントから選べます。フォーカスポイントの位置を素早く動かせます。AFエリアモードが［**ピンポイントAF**］、［**ワイドエリアAF（L）**］、［**ワイドエリアAF（L-人物）**］、または［**ワイドエリアAF（L-動物）**］の場合は、選べるフォーカスポイントの数は変化しません。

a5：縦/横位置フォーカスポイント切換

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

カメラを正位置（横位置）にしたときと、時計回りの縦位置と反時計回りの縦位置にしたときで個別にフォーカスポイントを設定できます。

・［**しない**］に設定した場合、横位置と縦位置で同じフォーカスポイントを使います。



縦位置反時計回りに90°回転



横位置

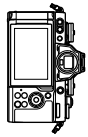


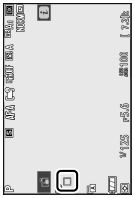
縦位置時計回りに90°回転

・［**する**］に設定すると、横位置と縦位置で個別にフォーカスポイントを設定できます。

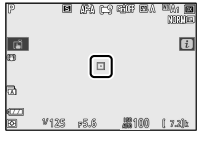




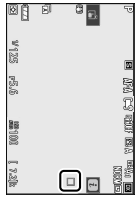




縦位置反時計回りに90°回転



横位置



縦位置時計回りに90°回転

a6：半押しAFレンズ駆動

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

シャッターボタンを半押ししたときに、ピント合わせをするかどうかを設定できます。［**しない**］を選んだ場合は、シャッターボタンを半押ししてもピントを合わせません。ピントを合わせるには、カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］でAF-ON機能を割り当てたボタンを押してください。

非合焦時のレリーズ

カスタムメニューa6［**半押しAFレンズ駆動**］で［**しない**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、ピントが合わないとシャッターがきれないようにカメラが設定されている場合でもシャッターがきれるようにするかどうかを設定できます。［**許可**］に設定すると、常にシャッターをきることができるようになります。

項目	内容
[**許可**]	シャッターをきることができます。
[**禁止**]	シャッターをきることができません。

a7：AFエリアモードの限定

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

iメニューやカスタムボタンにAFエリアモードを割り当てた場合に選べるAFエリアモードを設定できます。

・ 項目を選んでマルチセレクターの▶を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。チェックボックスをオン☑にした項目のみ、サブコマンドダイヤルで選べるようになります。



・ ⓄⓀボタンを押すと、設定を完了します。

a8：フォーカスポイント循環選択

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

フォーカスポイントをマルチセレクターで選ぶときに、上下左右端で循環するように設定できます。[**する**] に設定すると、たとえば画面の右端のフォーカスポイントを選んでいるときにマルチセレクターの▶を押すと、フォーカスポイントが左端に移動します。

a9：フォーカスポイント表示の設定

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

フォーカスポイントの表示に関する設定ができます。

マニュアルフォーカス時の表示

項目	内容
［**する**］	マニュアルフォーカスでの撮影時にフォーカスポイントが常に点灯します。
［**しない**］	フォーカスポイントを移動したときのみ一瞬点灯します。

ダイナミックAFモード時のアシスト表示

ダイナミックAFモード時に、自分で選んだフォーカスポイントの周辺のフォーカスポイントを表示するかどうかを設定できます。

項目	内容
［**する**］	周辺のフォーカスポイントも同時に表示します。
［**しない**］	自分で選んだフォーカスポイントのみ表示します。

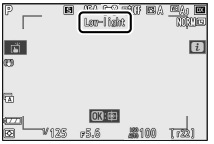
a10：ローライトAF

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

［**する**］に設定すると、フォーカスモードが**AF-S**の場合または**AF-A**に設定していて**AF-S**で撮影している場合に、暗い場所でもピントが合いやすくなります。

- 静止画モードの場合のみ有効になります。
- 撮影モードがAUTOの場合は［**する**］に固定されます。
- インターバルタイマー撮影およびタイムラプス動画撮影時は無効になります。
- ［**する**］に設定している場合、ピント合わせの動作に時間がかかることがあります。

・ローライトAF実行中は撮影画面に「Low-light」が表示されます。また、撮影画面の画面がコマ落ちしたような表示になることがあります。



a11：内蔵AF補助光の照射設定

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

シャッターボタンを半押ししたときに被写体が暗い場合、ピント合わせのためにAF補助光を自動的に照射するかどうかを設定できます。

項目	内容
［**する**］	静止画モードでフォーカスモードを**AF-S**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-S**で撮影している場合に、被写体が暗いとAF補助光を自動的に照射します。
［**しない**］	AF補助光を照射しません。被写体が暗いときなどは、オートフォーカスでのピント合わせはできなくなる場合があります。

☑ AF補助光について

・AF補助光が届く距離範囲の目安は約1～3mです。
・AF補助光使用時は、レンズフードを取り外してください。
・AF補助光が照射される場合、手などでAF補助光を遮らないようにご注意ください。



a12：AF設定時のフォーカスリング操作

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

レンズのフォーカスリングの操作を有効にするかどうかを設定できます。

項目	内容
［**有効**］	オートフォーカス時にレンズのフォーカスリングを回すとマニュアルフォーカスに切り替わります（M/A（マニュアル優先オートフォーカスモード））。オートフォーカス時にシャッターボタンを半押ししたままフォーカスリングを手で回転させると、マニュアルフォーカスでピントを調整できます。いったんシャッターボタンから指を放し、再度半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせます。
［**無効**］	フォーカスリングを回しても、オートフォーカスからマニュアルフォーカスに切り替わりません。

b：露出・測光

b1：露出補正簡易設定

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

露出補正ダイヤルを［**C**］に合わせたときに、コマンドダイヤルで露出補正できるように設定を変更できます。

項目	内容
［**する（自動リセット）**］	コマンドダイヤルで露出補正値を設定できます。コマンドダイヤルを使って設定した露出補正値は、電源をOFFにするか、半押しタイマーがオフになると、リセットされます。
［**する**］	コマンドダイヤルで露出補正値を設定できます。電源をOFFにしても、半押しタイマーがオフになっても、設定した露出補正値はリセットされません（撮影モードAUTOの場合は、電源をOFFにすると露出補正値がリセットされます）。
［**しない**］	露出補正ダイヤルで露出補正を設定します。

・撮影モード**P**、**S**、**A**、および**AUTO**の場合に有効です。撮影モードが**AUTO**の場合は、カスタムメニューb4［**AUTOモード時の露出補正**］を［**有効**］に設定してください。その他の撮影モードの場合、露出補正簡易設定は機能しません。
・露出補正値を設定できるコマンドダイヤルは、撮影モードによって異なります。

b2：中央部重点測光範囲

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

測光モードを［**中央部重点測光**］にすると、撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。カスタムメニューb2［**中央部重点測光範囲**］では、［**中央部重点測光**］設定時の測光範囲を変更できます。

b3：基準露出レベルの調節

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

適正露出の基準を撮影者の好みに合わせ、測光モードごとに明るめ（＋側）または暗め（－側）に調節できます。1/6段ステップ幅で±1段の範囲で設定できます。初期設定は0です。



☑ 基準露出レベルの調節について

カスタムメニューb3［**基準露出レベルの調節**］を0以外に設定しても、☒マークは表示されませんのでご注意ください。設定した基準露出レベルは、カスタムメニューb3の画面でのみ確認できます。

b4：AUTOモード時の露出補正

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

［**無効**］にすると、撮影モードAUTOで露出補正ができなくなります。

c：AEロック・タイマー

c1：シャッターボタンAEロック

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

シャッターボタンを押してAEロックを行うかどうかを設定できます。

項目		内容
AE-L ON	［**する（半押し）**］	シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行います。
AE-L ON	［**する（連続撮影時）**］	シャッターボタンを半押ししたときにはAEロックを行わず、全押ししたときにAEロックを行います。
［**しない**］		シャッターボタンを押してもAEロックを行いません。

c2：セルフタイマー

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

セルフタイマー撮影時にシャッターボタンを全押ししてからシャッターがきれるまでの時間と、撮影するコマ数、連続撮影するときの撮影間隔を設定できます。

項目	内容
［**時間**］	シャッターがきれるまでの時間を選べます。
［**撮影コマ数**］	マルチセレクターの▲▼を押して、1コマ～9コマの間で設定できます。
［**連続撮影間隔**］	［**撮影コマ数**］を2コマ以上に設定した場合に連続撮影するときの撮影間隔を選べます。

c3：パワーオフ時間

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

画像モニターやファインダーが自動的に消灯するまでの時間を変更できます。

- ［**画像の再生**］、［**メニュー表示**］、［**撮影直後の画像確認**］、［**半押しタイマー**］で個別に設定できます。
- ［**半押しタイマー**］では、シャッターボタンを半押ししてからどれくらいの間カメラを操作しないと画像モニターやファインダー、表示パネルが消灯するかを設定できます。画像モニターとファインダーが消灯する数秒前は、表示が暗くなります。［**10秒**］に設定した場合でもiメニュー表示中は20秒に延長されます。
- セルフタイマー撮影時は、［**撮影直後の画像確認**］以外の各設定時間が1分延長されます。
- 表示時間を延長すると、バッテリーの消耗が早くなります。

d：撮影・記録・表示

d1：低速連続撮影速度

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

低速連続撮影時の連続撮影速度を、［**4コマ/秒**］～［**1コマ/秒**］の間で設定できます。

d2：連続撮影コマ数

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

連続撮影を最大何コマまで継続できるか1コマ～100コマの間で設定します。

- 撮影モードが**S**または**M**のときにシャッタースピードが1秒または1秒よりも遅い場合は、連続撮影のコマ数は制限されません。

連続撮影コマ数について

カスタムメニューd2［**連続撮影コマ数**］で設定するコマ数は、連続撮影を継続できる最大のコマ数です。ただし、連続撮影速度を維持したまま連続撮影できるコマ数には、画質モードなどによって上限があります。このコマ数を超えると「**r00**」と表示され、連続撮影速度は低下します。

d3：露出ディレーモード

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

顕微鏡撮影時など、カメラブレを最小限に抑えたい場合に、シャッターボタンを押してから約0.2～3秒後にシャッターがきれるように変更できます。

d4：シャッター方式

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

静止画を撮影するシャッター方式を設定できます。

項目		内容
	［**オート**］	シャッタースピードに応じて、カメラが自動でシャッター方式を切り換えます。シャッタースピードが低速になった場合、電子先幕シャッターに切り替わり、カメラブレを低減します。
	［**メカニカルシャッター**］	常にメカニカルシャッターで撮影します。
	［**電子先幕シャッター**］	常に電子先幕シャッターで撮影します。

メカニカルシャッターについて

お使いのレンズによっては［**メカニカルシャッター**］を設定できません。

電子先幕シャッターについて

［**電子先幕シャッター**］に設定している場合は、シャッタースピードの上限が1/2000秒に制限されます。

d5：Mモード時のシャッタースピード延長

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

［**する**］を選ぶと、撮影モード**M**で撮影するときのシャッタースピードを、最長900秒（15分）まで延長できます。天体撮影時など、長時間シャッターを開いて撮影したい場合に便利です。

・［**する**］を選んでシャッタースピードを60秒または60秒よりも遅く設定した場合は、設定したシャッタースピードの表示と同じ秒時でシャッターがきれます。撮影を開始すると、表示パネルが露光中を示す表示に切り替わります。

d6：連番モード

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

ファイル名に使われるファイル番号の連番について設定できます。

項目	内容
［**する**］	メモリーカードを交換したり、画像を記録するフォルダーを変更しても、連番でファイル番号を付けます。複数のカードを使って撮影してもファイル番号が重複しないため、撮影後の画像ファイルを管理しやすくなります。
［**しない**］	メモリーカードや画像を記録するフォルダーを変更するたびに、ファイル番号が「0001」に戻ります。画像を記録するフォルダー内にすでに画像ファイルがある場合は、次の番号からファイル番号が付きます。 連番モードを［**する**］から［**しない**］に変更しても、カメラはファイル番号を記憶しています。次に［**する**］に切り換えたときは、以前記憶した番号からの連番でファイル名が付きます。
［**リセット**］	［**する**］に設定したときのファイル番号をリセットします。リセットした後に撮影を行うと、現在選択中のフォルダーに画像ファイルがない場合は0001から連番で画像が記録されます。すでにファイルがある場合には、そのファイル番号の次の番号からファイル番号が付きます。

☑ ファイル番号について

- ファイル番号が9999に達したときに撮影を行うと、自動的に新規フォルダーが作成され、ファイル番号が0001番に戻ります。
- フォルダー番号が999になるとカメラが自動的にフォルダーを作成できないため、次のときに撮影ができなくなります。
  - フォルダー内のファイル数が5000個に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル数が5000個を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）
  - ファイル番号が9999に達したとき（動画モード時、最長記録時間を記録するのに必要なファイルによってフォルダー内のファイル番号が9999を超えるとカメラが判断した場合、動画の撮影はできなくなります）

  この場合は、カスタムメニューd6［**連番モード**］を［**リセット**］した後、メモリーカードを初期化するか、交換してください。

☑ フォルダーの自動作成について

- 記録フォルダー内に5000個のファイルが記録された後またはファイル番号が9999となった後に撮影すると、フォルダーを自動的に作成して、記録フォルダーとしてそのフォルダーを選びます。
- 自動で作成されるフォルダーの番号は、使用中のフォルダー番号+1になります。ただし、既存フォルダーの番号と重複する場合、重複しない数字の中で最も若い数字になります。

d7：Lvに撮影設定を反映

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

撮影の設定（色味や明るさ）を、ファインダーや画像モニターの撮影画面（ライブビュー）に反映させるかどうかを設定できます。動画モードの場合、設定にかかわらず常に撮影の設定を反映します。

項目	内容
［**する**］	ホワイトバランスやピクチャーコントロール、露出補正などの設定を変更すると、撮影画面の表示に反映されます。
［**しない**］	・ホワイトバランスやピクチャーコントロール、露出補正などの設定を変更しても、撮影画面の表示には反映されません。撮影画面が見やすい色味や明るさで表示され、長時間の撮影に適しています。 ・撮影画面に📷が表示されます。

d8：格子線表示

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

撮影画面に構図を確認するのに便利な、3×3（9分割）または4×4（16分割）の格子線を表示できます。

d9：フォーカスピーキング

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

マニュアルフォーカスで撮影するときに、ピントが合っている部分の輪郭を色付きで表示するかどうかを設定できます。色の変更も可能です。

ピーキングの検出

ピーキングの感度を［**3（高感度）**］、［**2（標準）**］、［**1（低感度）**］、または［**しない**］から選びます。感度を高くするとピントが合っていると判断される範囲が広くなり、感度を低くすると範囲が狭くなります。

ピーキング表示色

ピーキング表示で強調する部分の色を変更できます。

d10：連続撮影中の表示

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

［**しない**］に設定すると、連続撮影中は撮影画面に何も表示されなくなります。

e：フラッシュ・BKT撮影

e1：フラッシュ撮影同調速度

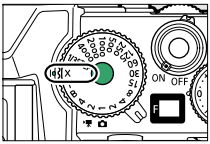
MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

フラッシュ撮影時の同調速度を設定できます。

項目	内容
［**1/200秒（オートFP）**］	フラッシュ撮影時の同調する最高速度を1/200秒に設定しますが、別売のオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライト使用時は1/200秒より速いシャッタースピードになると自動的にFP発光に切り替わります。 ・撮影モードが**P**または**A**で、撮影画面のシャッタースピードが1/200秒を示す場合、実際に制御されるシャッタースピードが1/200秒よりわずかでも高速側であれば、FP発光に切り替わります。オートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを装着した場合は、高速側のシャッタースピードが1/4000秒まで制御されます。 ・撮影モードが**S**または**M**でオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを装着した場合は、高速側のシャッタースピードを1/4000秒まで設定できます。 ・撮影モードが**S**または**M**でシャッタースピードダイヤルを**X**に合わせた場合、シャッタースピードが1/200秒の設定になります。
［**1/200秒**］ ［**1/160秒**］ ［**1/125秒**］ ［**1/100秒**］ ［**1/80秒**］ ［**1/60秒**］	フラッシュ撮影時の同調する最高速度を、1/200～1/60秒の範囲で設定できます。 ・撮影モードが**S**または**M**でシャッタースピードダイヤルを**X**に合わせた場合、シャッタースピードが同調速度と同じ設定になります。 ・撮影モードが**S**または**M**でシャッタースピードダイヤルを同調速度より高速側に設定している場合、シャッタースピードが同調速度と同じ設定になります。

シャッタースピードの同調速度を固定するには

撮影モード**S**または**M**のときに、シャッタースピードの同調速度をカスタムメニューe1［**フラッシュ撮影同調速度**］で設定した値に固定するには、シャッタースピードダイヤルを**X**に合わせてください。撮影画面に**X**（フラッシュシンクロマーク）と設定した同調速度が表示されます。



FP発光について

・フラッシュ撮影時のシャッタースピードをカメラの最高速度まで設定できます。［**1/200秒（オートFP）**］に設定すると、シャッタースピードがフラッシュ撮影同調速度よりも高速側になった場合、自動的にFP発光に切り替わります。日中でも、レンズの絞りを開いて背景をぼかした撮影ができます。

e2：フラッシュ時シャッタースピード制限

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

撮影モードが**P**または**A**の場合のフラッシュ撮影時のシャッタースピードの低速側の制限を設定できます。

スローシンクロモード、後幕シンクロモード、赤目軽減スローシンクロモード時や撮影モードが**S**、**M**の場合には、カスタムメニューe2［**フラッシュ時シャッタースピード制限**］の設定にかかわらず、シャッタースピードの低速側の制限は30秒になります。

e3：フラッシュ使用時の露出補正

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

フラッシュ撮影時に露出補正を設定した場合のフラッシュの調光を設定できます。

項目		内容
	［全体を補正］	露出と調光量を同時に補正します。全体の露出が変化します。
	［背景のみ補正］	背景の露出だけを補正します。

e4：⚡使用時の感度自動制御

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

フラッシュ撮影時に感度自動制御を行う場合の、露出を合わせる対象を設定できます。

項目		内容
	［被写体と背景］	主な被写体以外の背景も適切な露出となるように、感度自動制御を行います。
	［被写体のみ］	主な被写体が適切な露出となるように、感度自動制御を行います。

e5：BKT変化要素（M モード）

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

撮影モード**M**でオートブラケティングを行うときに変化する内容は、静止画撮影メニュー［**オートブラケティング**］の［**オートブラケティングのセット**］と、e5［**BKT変化要素（Mモード）**］との組み合わせによって次のようになります。

カスタムメニューe5［BKT変化要素（Mモード）］		静止画撮影メニュー［オートブラケティングのセット］	
		AE・フラッシュブラケティング※	AEブラケティング※
	［フラッシュ・シャッタースピード］	シャッタースピードとフラッシュの調光レベル	シャッタースピード
	［フラッシュ・シャッタースピード・絞り値］	シャッタースピード、絞り値、フラッシュの調光レベル	シャッタースピードと絞り値

カスタムメニューe5［BKT変化要素（Mモード）］		静止画撮影メニュー［オートブラケティングのセット］	
		AE・フラッシュブラケティング※	AEブラケティング※
ϟ+㊎	［フラッシュ・絞り値］	絞り値とフラッシュの調光レベル	絞り値
ϟ	［フラッシュ］	フラッシュの調光レベル	—

※ e5［**BKT変化要素（Mモード）**］が［**フラッシュ・シャッタースピード**］、［**フラッシュ・シャッタースピード・絞り値**］、［**フラッシュ・絞り値**］のいずれかのときに、［**感度自動制御**］が［**する**］に設定され、フラッシュを使用していない場合、ブラケティング1コマ目のISO感度で固定されます。

フラッシュ調光レベルについて

フラッシュブラケティング中は、フラッシュ調光レベルは、i-TTL調光時または絞り連動外部自動調光時（㊎**A**）のみ変化します。

e6：BKTの順序

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

オートブラケティングの補正順序を変更できます。

項目		内容
N	［**[0]** → **[−]** → **[+]**］	「補正なし」→「−側に補正」→「+側に補正」の順になります。
−→+	［**[−]** → **[0]** → **[+]**］	「−側に補正」→「補正なし」→「+側に補正」の順になります。

・静止画撮影メニュー［**オートブラケティング**］の［**オートブラケティングのセット**］が［**ADLブラケティング**］の場合、e6［**BKTの順序**］の設定を変更しても補正順序は変わりません。

f：操作

f1：iメニューのカスタマイズ

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

静止画モードでiボタンを押して表示されるiメニューの項目を設定できます。

- 機能を設定したいiメニューの場所を選んでⓄKボタンを押し、割り当てたい機能を選んでください。
- iメニューに割り当てられる機能は次の通りです。

項目		🕮
DX FX	［撮像範囲設定］	222
QUAL	［画質モード］	147
SIZE	［画像サイズ］	148
±	［露出補正］	126
WB	［ホワイトバランス］	105
	［ピクチャーコントロール］	134
RGB	［色空間］	239
	［アクティブD-ライティング］	151
NR	［長秒時ノイズ低減］	239
ISO NR	［高感度ノイズ低減］	240
	［測光モード］	149
ϟ	［フラッシュモード］	455
±ϟ	［フラッシュ調光補正］	457

項目		🕮
AF/MF	［フォーカスモード］	90
[•]	［AFエリアモード］	92
	［手ブレ補正］	156
BKT	［オートブラケティング］	246
	［多重露出］	257
HDR	［HDR（ハイダイナミックレンジ）］	265
	［インターバルタイマー撮影］	271
	［タイムラプス動画］	282
FOCUS	［フォーカスシフト撮影］	290
SL	［サイレント撮影］	298
/	［レリーズモード］	152

✐カスタムメニュー：撮影に関するさらに詳細な設定

項目		🕮
	［カスタムボタンの機能(撮影)］	334
DLY	［露出ディレーモード］	325
	［シャッター方式］	325
	［Lvに撮影設定を反映］	327
PEAK	［フォーカスピーキング］	328

項目		🕮
☼	［モニター/ファインダーの明るさ］	357、359
	［Bluetooth通信機能］	334
	［Wi-Fi通信機能］	150
	［リモコン接続］	374

Bluetooth通信機能

Bluetooth通信機能のオン/オフを切り換えられます。

f2：カスタムボタンの機能（撮影）

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

静止画モードでの撮影時にカメラのボタンやレンズのコントロールリングなどを操作したときの機能を設定できます。

・機能を割り当てられるボタンは次の通りです。割り当てを設定したいボタンの項目を選んで、㊞ボタンを押してください。



項目	
	［Fnボタン］
	［AE/AFロックボタン］
OK	［OKボタン］

✐カスタムメニュー：撮影に関するさらに詳細な設定

項目	
	[動画撮影ボタン]
Lfn	[レンズのFnボタン]
Lfn2	[レンズのFn2ボタン]
	[レンズのコントロールリング]

・各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

項目				※1				
RESET	[フォーカスポイント中央リセット]	—	✓	✓	—	—	—	—
AF-ON	[AF-ON]	✓	✓	—	—	✓	✓	—
AF	[AF-L]	✓	✓	—	—	✓	✓	—
AE	[AE-L（ホールド）]	✓	✓	—	✓	✓	✓	—
AE	[AE-L（レリーズでリセット）]	✓	✓	—	✓	✓	✓	—
AE	[AE-L]	✓	✓	—	—	✓	✓	—
AF	[AE-L/AF-L]	✓	✓	—	—	✓	✓	—
FL	[FV-L]	✓	—	—	—	✓	✓	—
/	[発光禁止/許可切換]	✓	—	—	—	✓	✓	—
	[プレビュー]	✓	—	—	✓	✓	✓	—
	[マルチパターン測光簡易設定]	✓	—	—	—	✓	✓	—
	[中央部重点測光簡易設定]	✓	—	—	—	✓	✓	—
	[スポット測光簡易設定]	✓	—	—	—	✓	✓	—
*	[ハイライト重点測光簡易設定]	✓	—	—	—	✓	✓	—
BKT	[BKT自動連写]	✓	—	—	—	✓	✓	—
+RAW	[プラスRAW記録]	✓	—	—	✓	✓	✓	—
	[ターゲット追尾]	✓	—	—	—	✓	✓	—

項目								
S	［サイレント撮影］	✓	—	—	—	✓	✓	—
OFF	［ライブビュー情報表示の消灯］	✓	✓	—	✓	✓	✓	—
	［格子線表示］	✓	—	—	✓	✓	✓	—
	［拡大画面との切り換え］	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—
	［マイメニュー］	✓	—	—	✓	✓	✓	—
	［マイメニューのトップ項目へジャンプ］	✓	—	—	✓	✓	✓	—
	［再生］	✓	—	—	—	✓	✓	—
DX	［撮像範囲選択］	✓	—	—	✓	—	—	—
QUAL	［画質モード/画像サイズ］	✓	—	—	✓	—	—	—
WB	［ホワイトバランス］	✓	—	—	✓	—	—	—
	［ピクチャーコントロール］	✓	—	—	✓	—	—	—
	［アクティブD-ライティング設定］	✓	—	—	✓	—	—	—
	［測光モード］	✓	—	—	✓	—	—	—
±0	［フラッシュモード/調光補正］	✓	—	—	✓	—	—	—
	［レリーズモード］	✓	—	—	—	—	—	—
AF/	［フォーカスモード/AFエリアモード］	✓	—	—	✓	—	—	—
BKT	［オートブラケティング］	✓	—	—	✓	—	—	—
	［多重露出］	✓	—	—	✓	—	—	—
HDR	［HDR（ハイダイナミックレンジ）］	✓	—	—	✓	—	—	—
DLY	［露出ディレーモード］	✓	—	—	✓	—	—	—
PEAK	［フォーカスピーキング］	✓	—	—	—	—	—	—
Non-CPU	［手動設定済みレンズの選択］	✓	—	—	✓	—	—	—
M/A	［フォーカス（M/A）］	—	—	—	—	—	—	✓※2、3
	［絞り］	—	—	—	—	—	—	✓※3

項目					※1				
±	[露出補正]	—	—	—	—	—	—	✓※3
[設定しない]		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓※3

※1 AFエリアモードが［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］の場合、設定にかかわらずターゲット追尾AF（🕮99）の設定になります。

※2 このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

※3 フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合、設定にかかわらずコントロールリングを回すとマニュアルフォーカスでのピント合わせを行います。

・割り当てられる機能は次の通りです。

割り当てられる機能		内容
RESET	［**フォーカスポイント中央リセット**］	ボタンを押すと、フォーカスポイントが中央に戻ります。
AF-ON	［**AF-ON**］	ボタンを押すと、カメラが自動的に被写体にピントを合わせます。
AF	［**AF-L**］	ボタンを押している間、フォーカスロックを行います。
AE	［**AE-L（ホールド）**］	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。シャッターをきってもAEロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。
AE	［**AE-L（リリーズでリセット）**］	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。もう一度ボタンを押すか、シャッターをきるか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。
AE	［**AE-L**］	ボタンを押している間、AEロックを行います。
AF	［**AE-L/AF-L**］	ボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを同時に行います。

割り当てられる機能		内容
FL	[**FV-L**]	別売のスピードライト使用時は、FVロックを行い、もう一度ボタンを押すと解除します。
⊛/ϟ	[**ϟ発光禁止/許可切換**]	フラッシュモードが発光禁止以外の場合、ボタンを押している間、フラッシュは発光禁止になります。フラッシュモードが発光禁止の場合は、ボタンを押している間、先幕シンクロモードで撮影できます。
◎	[**プレビュー**]	ボタンを押している間、現在設定している静止画の色味や露出、被写界深度を撮影画面の表示に反映します。
▣	[**マルチパターン測光簡易設定**]	ボタンを押している間、測光モードが［**マルチパターン測光**］になります。
◉	[**中央部重点測光簡易設定**]	ボタンを押している間、測光モードが［**中央部重点測光**］になります。
⊡	[**スポット測光簡易設定**]	ボタンを押している間、測光モードが［**スポット測光**］になります。
⊡*	[**ハイライト重点測光簡易設定**]	ボタンを押している間、測光モードが［**ハイライト重点測光**］になります。
BKT	[**BKT自動連写**]	- 静止画撮影メニュー［**オートブラケティング**］の［**オートブラケティングのセット**］が［**WBブラケティング**］以外の場合でレリーズモードが連続撮影のときは、ボタンを押しながらシャッターボタンを全押ししている間、1回分のブラケティング設定コマ数を撮影し終えた後も、引き続きオートブラケティング撮影をします。また、レリーズモードが1コマ撮影のときは、ボタンを押しながらシャッターボタンを全押しし続けると、1回分のブラケティング設定コマ数を連続撮影します。 - ［**オートブラケティングのセット**］が［**WBブラケティング**］の場合は、ボタンを押しながらシャッターボタンを全押ししている間連続撮影して、各コマに対してWBブラケティングを行います。

割り当てられる機能		内容
+RAW	[**プラスRAW記録**]	- 画質モードがJPEG形式に設定されている場合、ボタンを押すと撮影画面の画質モードに「RAW」が表示され、押してから1回の撮影のみRAW画像がJPEG画像と同時に記録されます。撮影後シャッターボタンから指を放すか、もう一度ボタンを押すと［**プラスRAW記録**］を解除します。 - RAW画像は静止画撮影メニュー［**RAW記録**］の設定で記録されます。
	[**ターゲット追尾**]	AFエリアモードが［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］の場合にボタンを押すと、フォーカスポイントの形が変わってターゲット選択画面になり、ターゲット追尾AFが可能になります。 - 割り当てたボタンまたは（**?**）ボタンを押すと、ターゲット追尾AFを終了します。
SL	[**サイレント撮影**]	ボタンを1回押すとサイレント撮影ができます。もう一度ボタンを押すと、サイレント撮影を解除します。
OFF	[**ライブビュー情報表示の消灯**]	ボタンを1回押すと撮影画面のアイコンや撮影情報を非表示にします。もう一度ボタンを押すと、アイコンや撮影情報が表示されます。
	[**格子線表示**]	ボタンを押すごとに、撮影画面の構図用格子線の表示を、［**しない**］、［**する（3×3）**］、［**する（4×4）**］に切り換えます。
	[**拡大画面との切り換え**]	ボタンを1回押すと、フォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
	[**マイメニュー**]	ボタンを押すと、マイメニューを表示します。
	[**マイメニューのトップ項目へジャンプ**]	マイメニューの最上位に登録してある項目へジャンプします。よく使うメニュー項目をマイメニューの最上位に登録して、この機能を使うと便利です。
▶	[**再生**]	ボタンを押すと再生画面を表示します。

割り当てられる機能		内容
DX	［**撮像範囲選択**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、撮像範囲の設定を変更できます。
QUAL	［**画質モード/画像サイズ**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと画質モード、サブコマンドダイヤルを回すと画像サイズの設定を変更できます。
WB	［**ホワイトバランス**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバランスを設定できます。ホワイトバランスの設定によっては、サブコマンドダイヤルを回して種類を変更できます。
	［**ピクチャーコントロール**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ピクチャーコントロールの設定を変更できます。
	［**アクティブD-ライティング設定**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、アクティブD-ライティングの設定を変更できます。
	［**測光モード**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、測光モードの設定を変更できます。
±0	［**フラッシュモード/調光補正**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフラッシュモード、サブコマンドダイヤルを回すとフラッシュ調光補正値の設定を変更できます。
	［**レリーズモード**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとレリーズモードの設定を変更できます。レリーズモードが［**低速連続撮影**］の場合にサブコマンドダイヤルを回すと連続撮影速度の設定、［**セルフタイマー**］の場合にサブコマンドダイヤルを回すとシャッターがきれるまでの時間の設定を変更できます。
AF/[+]	［**フォーカスモード/AFエリアモード**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフォーカスモード、サブコマンドダイヤルを回すとAFエリアモードの設定を変更できます。

割り当てられる機能		内容
BKT	［**オートブラケティング**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと撮影コマ数、サブコマンドダイヤルを回すと補正ステップまたはアクティブD-ライティングの度合いを変更できます。
▣	［**多重露出**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと多重露出モード、サブコマンドダイヤルを回すと、多重露出のコマ数の設定を変更できます。
HDR	［**HDR（ハイダイナミックレンジ）**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとHDRモード、サブコマンドダイヤルを回すと露出差の設定を変更できます。
DLY	［**露出ディレーモード**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、露出ディレーモードの設定を変更できます。
PEAK	［**フォーカスピーキング**］	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとピーキングの感度、サブコマンドダイヤルを回すとピーキング表示色の設定を変更できます。
Non-CPU	［**手動設定済みレンズの選択**］	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、現在使用中のレンズの情報を、セットアップメニュー［**レンズ情報手動設定**］で設定したレンズNo.のものに切り換えます。
M/A	［**フォーカス（M/A）**］	オートフォーカス時にレンズのコントロールリングを回すとマニュアルフォーカスに切り替わります（M/A（マニュアル優先オートフォーカスモード））。オートフォーカス時にシャッターボタンを半押ししたままコントロールリングを手で回転させると、マニュアルフォーカスでピントを調整できます。いったんシャッターボタンから指を放し、再度半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせます。
◎	［**絞り**］	レンズのコントロールリングを回すと、絞り値の設定を変更します。
±	［**露出補正**］	露出補正ダイヤルを［**C**］に合わせたときにレンズのコントロールリングを回すと、露出補正の設定を変更します。

割り当てられる機能	内容
[**設定しない**]	ボタンは機能しません。

f3：カスタムボタンの機能（再生）

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

再生時にカメラのボタンを操作したときの機能を設定できます。

項目		割り当てられる機能		内容
AE/AF-L	[**AE/AFロックボタン**]		[**プロテクト**]	ボタンを押すと、表示されている画像をプロテクトします。
		★	[**レーティング**]	ボタンを押すと、マルチセレクターの◀▶を押す、またはメインコマンドダイヤルを回して、表示されている画像のレーティングの設定を変更できます。
		🔍	[**拡大画面との切り換え**]	ボタンを1回押すと、フォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。 ・[**拡大画面との切り換え**] を選んでマルチセレクターの▶を押すと、拡大率を選べます。 ・サムネイル表示時も拡大表示できます。
		[**設定しない**]		ボタンは機能しません。
OK	[**OKボタン**] ※		[**1コマとサムネイルの切り換え**]	ボタンを押すごとに、1コマ表示、サムネイル表示（4コマ、9コマ、72コマ）、カレンダー表示を切り換えます。
			[**ヒストグラム表示**]	ボタンを押している間、ヒストグラムを表示します。サムネイル表示時もヒストグラム表示できます。

項目		割り当てられる機能		内容
OK	[OKボタン] ※	🔍	[拡大画面との切り換え]	ボタンを1回押すと、フォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。 ・[**拡大画面との切り換え**] を選んでマルチセレクターの▶を押すと、拡大率を選べます。 ・サムネイル表示時も拡大表示できます。
		🗀	[フォルダー指定]	ボタンを押すと、[**フォルダー指定**] 画面が表示され、画像を再生するフォルダーを指定できます。

※ 1コマ表示中の画像が動画の場合、設定にかかわらずOKボタンを押すと動画を再生します。

f4：コマンドダイヤルの設定

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルに関する設定ができます。

回転方向の変更

露出補正の設定時またはシャッタースピード/絞り値の設定時に、メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルを操作するときの回転方向を逆方向に変更できます。

- [**露出補正の設定時**] または [**シャッタースピード/絞り値 設定時**] を選んでマルチセレクターの▶を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。
- OKボタンを押すと、設定が完了します。

メインとサブの入れ換え

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの機能を入れ換えられます。

項目	内容
［露出設定］	［**する**］を選ぶと、メインコマンドダイヤルで絞り値を、サブコマンドダイヤルでシャッタースピードを設定します。［**する（Aモード）**］を選ぶと、撮影モード**A**のときのみ、メインコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
［**AF設定**］	［**する**］を選ぶと、カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］で［**フォーカスモード/AFエリアモード**］を割り当てたボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回してAFエリアモードを、サブコマンドダイヤルを回してフォーカスモードを設定します。

再生/メニュー画面で使用

画像のコマ送りやメニュー操作を、マルチセレクターでの操作から、メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作でも行えるように変更できます。

項目		内容
［**する**］		**再生時：** ・1コマ表示時には、メインコマンドダイヤルで撮影画像をコマ送りします。サブコマンドダイヤルを回すと、［**サブコマンドダイヤルで画像送り**］で設定した方法でコマ送りします。 ・サムネイル表示時には、メインコマンドダイヤルを回すと、黄色の枠（カーソル）が左右に移動し、サブコマンドダイヤルを回すと、ページを切り換えます。 **メニュー画面表示時**※**：** メインコマンドダイヤルで選択項目を切り換えます。サブコマンドダイヤルを時計方向に回すと、サブメニューに移動します。反時計回りに回すと、前の画面に戻ります。
ON Ⓢ	［**する（撮影後確認を除く）**］	［**する**］と同じ内容ですが、撮影直後の画像確認時は操作できません。
［**しない**］		再生時の表示画像の切り換え、画像の選択、およびメニュー画面での項目の選択は、マルチセレクターで行います。

※　サブコマンドダイヤルでは項目を決定することはできません。項目を決定するには、Ⓚボタンかマルチセレクターの▶を押してください。

サブコマンドダイヤルで画像送り

1コマ表示時にサブコマンドダイヤルを回したときの操作を設定できます。この設定を有効にするには、［**再生/メニュー画面で使用**］を［**する**］または［**する（撮影後確認を除く）**］にします。

項目		内容
［**10コマ**］		10コマずつコマ送りします。
［**50コマ**］		50コマずつコマ送りします。
★	［**レーティング**］	レーティングが設定された画像だけをコマ送りして表示します。［**レーティング**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、表示するレーティングを限定できます。
［**プロテクト**］		プロテクト（保護）した撮影画像だけをコマ送りして表示します。
［**静止画のみ**］		静止画だけをコマ送りして表示します。
［**動画のみ**］		動画だけをコマ送りして表示します。
［**フォルダー**］		再生フォルダーを切り換えます。

f5：ボタンのホールド設定

MENUボタン➡ ✎カスタムメニュー

［**する**］に設定すると、ボタンを押しながらコマンドダイヤルを操作するときに、指を放してもコマンドダイヤル単独で設定できる状態が維持できます。もう一度ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しするか、半押しタイマーがオフになると、解除されます。

- ［**ボタンのホールド設定**］の対象ボタンは、f2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］またはg2［**カスタムボタンの機能**］で［**撮像範囲選択**］、［**画質モード/画像サイズ**］、［**ホワイトバランス**］、［**ピクチャーコントロール**］、［**アクティブD-ライティング設定**］、［**測光モード**］、［**フラッシュモード/調光補正**］、［**レリーズモード**］、［**レリーズモード（フレーム保存）**］、［**フォーカスモード/AFエリアモード**］、［**オートブラケティング**］、［**多重露出**］、［**HDR（ハイダイナミックレンジ）**］、［**露出ディレーモード**］、［**フォーカスピーキ

ング]、[**手動設定済みレンズの選択**]、[**マイク感度**] を割り当てたボタンになります。

f6：インジケーターの＋ / －方向

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

撮影画面に表示されるインジケーターの＋と－方向を入れ換えることができます。

項目		内容
+0−		インジケーターの＋側を左に、－側を右に表示します。
−0+		インジケーターの－側を左に、＋側を右に表示します。

g：動画

g1：iメニューのカスタマイズ

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

動画モードで**i**ボタンを押して表示される**i**メニューの項目を設定できます。

- 機能を設定したい**i**メニューの場所を選んでOKボタンを押し、割り当てたい機能を選んでください。
- **i**メニューに割り当てられる機能は次の通りです。

項目		🕮
QUAL	[**画像サイズ/フレームレート/画質**]	160
±	[**露出補正**]	126
WB	[**ホワイトバランス**]	160
	[**ピクチャーコントロール**]	160

項目		🕮
	[**アクティブD-ライティング**]	165
	[**測光モード**]	165
AF/MF	[**フォーカスモード**]	167
[•]	[**AFエリアモード**]	166
	[**手ブレ補正**]	166

項目		🕮
	［電子手ブレ補正］	166
	［マイク感度］	163
ATT	［アッテネーター］	308
	［録音帯域］	308
	［風切り音低減］	164
	［レリーズモード（フレーム保存）］	306
PEAK	［フォーカスピーキング］	328

項目		🕮
	［ハイライト表示］	353
	［モニター/ファインダーの明るさ］	357、359
	［Bluetooth通信機能］	347
	［Wi-Fi通信機能］	150、165
	［リモコン接続］	374

Bluetooth通信機能

Bluetooth通信機能のオン/オフを切り換えられます。

g2：カスタムボタンの機能

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

動画モードでカメラのボタンやレンズのコントロールリングなどを操作したときの機能を設定できます。

・機能を割り当てられるボタンは次の通りです。割り当てを設定したいボタンの項目を選んで、⊛ボタンを押してください。



項目	
Fn	［Fnボタン］

✐カスタムメニュー：撮影に関するさらに詳細な設定

項目	
AEL AFL	[AE/AFロックボタン]
OK	[OKボタン]
	[シャッターボタン]
Lfn	[レンズのFnボタン]
Lfn2	[レンズのFn2ボタン]
	[レンズのコントロールリング]

・各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

項目					※1			
RESET	[フォーカスポイント中央リセット]	—	✓	✓	—	—	—	—
AF-ON	[AF-ON]	—	✓	—	—	✓	✓	—
AF	[AF-L]	—	✓	—	—	✓	✓	—
AE	[AE-L（ホールド）]	—	✓	—	—	✓	✓	—
AE	[AE-L]	—	✓	—	—	✓	✓	—
AF	[AE-L/AF-L]	—	✓	—	—	✓	✓	—
	[ターゲット追尾]	✓	—	—	—	✓	✓	—
OFF	[ライブビュー情報表示の消灯]	✓	✓	—	—	✓	✓	—
	[格子線表示]	✓	—	—	—	✓	✓	—
	[拡大画面との切り換え]	✓	✓	✓	—	✓	✓	—
	[マイメニュー]	✓	—	—	—	✓	✓	—
	[マイメニューのトップ項目へジャンプ]	✓	—	—	—	✓	✓	—
	[再生]	✓	—	—	—	✓	✓	—
	[静止画撮影]	—	—	—	✓	—	—	—
	[動画撮影]	—	✓	✓	✓	—	—	—

項目								
WB	［ホワイトバランス］	✓	—	—	—	—	—	—
	［ピクチャーコントロール］	✓	—	—	—	—	—	—
	［アクティブD-ライティング設定］	✓	—	—	—	—	—	—
	［測光モード］	✓	—	—	—	—	—	—
	［レリーズモード（フレーム保存）］	✓	—	—	—	—	—	—
AF/[•]	［フォーカスモード/AFエリアモード］	✓	—	—	—	—	—	—
	［マイク感度］	✓	—	—	—	—	—	—
PEAK	［フォーカスピーキング］	✓	—	—	—	—	—	—
M/A	［フォーカス（M/A）］	—	—	—	—	—	—	✓※2、3
	［パワー絞り］	—	—	—	—	—	—	✓※3
	［露出補正］	—	—	—	—	—	—	✓※3
［設定しない］		✓	✓	✓	—	✓	✓	✓※3

※1　AFエリアモードが［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］の場合、設定にかかわらずターゲット追尾AF（🕮99）の設定になります。

※2　このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

※3　フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合、設定にかかわらずコントロールリングを回すとマニュアルフォーカスでのピント合わせを行います。

・割り当てられる機能は次の通りです。

割り当てられる機能		内容
RESET	［**フォーカスポイント中央リセット**］	ボタンを押すと、フォーカスポイントが中央に戻ります。
AF-ON	［**AF-ON**］	ボタンを押すと、カメラが自動的に被写体にピントを合わせます。
AF	［**AF-L**］	ボタンを押している間、フォーカスロックを行います。

割り当てられる機能		内容
	[**AE-L（ホールド）**]	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。シャッターをきってもAEロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。
	[**AE-L**]	ボタンを押している間、AEロックを行います。
	[**AE-L/AF-L**]	ボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを同時に行います。
	[**ターゲット追尾**]	AFエリアモードが［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］の場合にボタンを押すと、フォーカスポイントの形が変わってターゲット選択画面になり、ターゲット追尾AFが可能になります。 ・割り当てたボタンまたは（**?**）ボタンを押すと、ターゲット追尾AFを終了します。
	[**ライブビュー情報表示の消灯**]	ボタンを1回押すと撮影画面のアイコンや撮影情報を非表示にします。もう一度ボタンを押すと、アイコンや撮影情報が表示されます。
	[**格子線表示**]	ボタンを押すごとに、撮影画面の構図用格子線の表示を、［**しない**］、［**する（3×3）**］、［**する（4×4）**］に切り換えます。
	[**拡大画面との切り換え**]	ボタンを1回押すと、フォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
	[**マイメニュー**]	ボタンを押すと、マイメニューを表示します。
	[**マイメニューのトップ項目へジャンプ**]	マイメニューの最上位に登録してある項目へジャンプします。よく使うメニュー項目をマイメニューの最上位に登録して、この機能を使うと便利です。
	[**再生**]	ボタンを押すと再生画面を表示します。
	[**静止画撮影**]	シャッターボタンを全押しすると、アスペクト比16：9の静止画を撮影します。

割り当てられる機能		内容
	[動画撮影]	ボタンを押すと、動画撮影を開始します。もう一度ボタンを押すと、動画撮影を終了します。
WB	[ホワイトバランス]	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、動画のホワイトバランスを設定できます。ホワイトバランスの設定によっては、サブコマンドダイヤルを回して種類を変更できます。
	[ピクチャーコントロール]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ピクチャーコントロールの設定を変更できます。
	[アクティブD-ライティング設定]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画のアクティブD-ライティングの設定を変更できます。
	[測光モード]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画の測光モードの設定を変更できます。
	[レリーズモード（フレーム保存）]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画モード中の静止画撮影のレリーズモードを設定できます。
AF/[+]	[フォーカスモード/AFエリアモード]	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフォーカスモード、サブコマンドダイヤルを回すとAFエリアモードの設定を変更できます。
	[マイク感度]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、マイク感度の設定を変更できます。
PEAK	[フォーカスピーキング]	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとピーキングの感度、サブコマンドダイヤルを回すとピーキング表示色の設定を変更できます。
M/A	[フォーカス（M/A）]	レンズのコントロールリングを回すと、フォーカスモードの設定にかかわらずマニュアルフォーカス撮影が行えます。カメラのシャッターボタンの半押しやAF-ON機能を割り当てたボタンを再度操作するとオートフォーカスで撮影が可能となります。

割り当てられる機能		内容
	［**パワー絞り**］	レンズのコントロールリングを回すと、絞り値の設定を変更します。
	［**露出補正**］	露出補正ダイヤルを［**C**］に合わせたときにレンズのコントロールリングを回すと、露出補正の設定を変更します。
［**設定しない**］		ボタンは機能しません。

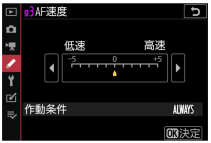
パワー絞りについて

- 撮影モード**A**または**M**のときのみ動作します。
- マークが撮影画面に表示されているときは、パワー絞りは動作しません。
- パワー絞りの動作中は画面にちらつきが発生します。

g3：AF速度

MENUボタン➡ カスタムメニュー

動画モード時にフォーカスモードを**AF-C**または**AF-F**にしたときの、ピント合わせの速度を設定できます。



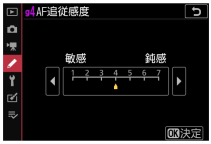
設定したAF速度が有効な条件を［**作動条件**］で設定します。

項目		内容
ALWAYS	［**常時有効**］	動画モードの間は常に設定したAF速度で動作します。
REC	［**記録中のみ有効**］	動画記録中のみ設定したAF速度で動作します。それ以外は最高速（+5）でピントを合わせます。

g4：AF追従感度

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

動画モード時にフォーカスモードを**AF-C**または**AF-F**にしたときの、被写体にピントを合わせる感度を1～7の範囲で設定できます。



- ［**7（鈍感）**］に設定すると、元の被写体からピントが外れにくくなります。
- ［**1（敏感）**］に設定すると、被写体がフォーカスポイントから外れた場合、フォーカスポイントの範囲内にある他の被写体にすぐにピントを合わせます。

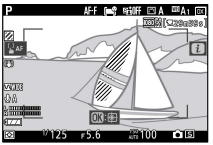
g5：ハイライト表示

MENUボタン➡ ✐カスタムメニュー

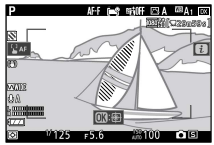
動画モード時に、ハイライト部分（非常に明るい部分）を斜線で表示できます。

表示パターン

［**パターン1**］または［**パターン2**］を選ぶと、動画モード時にハイライト部分（非常に明るい部分）を斜線で表示できます。



パターン1



パターン2

ハイライト表示のしきい値

ハイライト表示時に、どの程度の明るさをハイライトとして扱うかを設定できます。値が小さいほど暗い部分もハイライトとして表示します。［**255**］を選ぶと白とびする部分だけがハイライトされます。

ハイライト表示について

フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合、ハイライト表示およびピーキング表示の両方を有効にしているとピーキング表示のみ表示されます。マニュアルフォーカス時にハイライト表示したい場合は、カスタムメニューd9［**フォーカスピーキング**］の［**ピーキングの検出**］を［**しない**］に設定してください。

セットアップメニュー：カメラを使いやすくする基本設定

メニュー画面でタブを選ぶと、セットアップメニューが表示されます。



セットアップメニューの項目は次の通りです。

メニュー項目	🕮
［カードの初期化（フォーマット）］	356
［言語（Language）］	356
［タイムゾーンと日時］	357
［モニターの明るさ］	357
［モニターのカラーカスタマイズ］	358
［ファインダーの明るさ］	359
［ファインダーのカラーカスタマイズ］	359
［モニターモードの限定］	360
［インフォ画面の表示設定］	360
［AF微調節の設定］	360
［レンズ情報手動設定］	363
［フォーカス位置の記憶］	363
［イメージダストオフデータ取得］	363

メニュー項目	🕮
［ピクセルマッピング］	365
［画像コメント］	366
［著作権情報］	367
［電子音］	368
［タッチ操作］	368
［自分撮りモード］	369
［HDMI］	369
［機内モード］	369
［スマートフォンと接続］	370
［PCと接続］	372
［リモコン（ML-L7）設定］	374
［認証情報］	376
［USB給電］	376

メニュー項目	🕮
［パワーセーブ（静止画モード）］	377
［カードなし時レリーズ］	378
［メニュー設定の保存と読み込み］	378

メニュー項目	🕮
［カメラの初期化］	382
［ファームウェアバージョン］	382

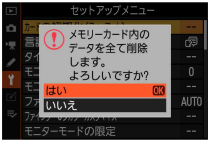
☑ 関連ページ

「セットアップメニューの初期設定」（🕮208）

カードの初期化（フォーマット）

MENUボタン➡ セットアップメニュー

メモリーカードを初期化（フォーマット）します。**初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。**カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化の前にパソコンなどに保存してください。



☑ カードの初期化についてのご注意

［**カードの初期化（フォーマット）中です。**］のメッセージが画像モニターに表示されている間は、電源をOFFにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。

言語（Language）

MENUボタン➡ セットアップメニュー

メニュー画面やメッセージの表示言語を設定できます。お買い上げの国や地域によって、表示される言語は異なります。

タイムゾーンと日時

MENUボタン➡ セットアップメニュー

現在地と日時、年月日の表示順を設定します。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

項目	内容
［**タイムゾーン**］	現在地のタイムゾーンを選びます。現在地のタイムゾーンを変更すると、［**日時の設定**］で設定された日時が、時差に合わせて自動的に更新されます。
［**日時の設定**］	［**タイムゾーン**］で選ばれているタイムゾーンの時刻を設定します。
［**日付の表示順**］	日付の年、月、日の表示順を選びます。
［**夏時間の設定**］	現在地で夏時間が実施されている場合は［**する**］に、そうでない場合は［**しない**］に設定します。［**する**］にすると、時刻が1時間進みます。初期設定は［**しない**］です。

カメラの内蔵時計の設定が初期化されている場合、撮影画面に🕒マークが表示されて警告します。

モニターの明るさ

MENUボタン➡ セットアップメニュー

画像モニターの明るさをマルチセレクターの▲▼を押して調整できます。
+にすると明るく、−にすると暗くなります。

- ［**モニターの明るさ**］は、画像モニターが表示されている状態で調整してください。ファインダーを見ている状態や、モニターモードが［**ファインダーのみ**］の場合は調整できません。
- 画像モニターを明るくすると、バッテリーの消耗が早くなります。

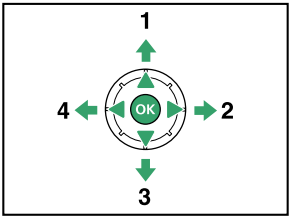
モニターのカラーカスタマイズ

MENUボタン➡ セットアップメニュー

画像モニターの色調を好みに合わせて変更できます。

- ［**モニターのカラーカスタマイズ**］は、画像モニターが表示されている状態で調整してください。ファインダーを見ている状態や、モニターモードが［**ファインダーのみ**］の場合は調整できません。
- マルチセレクターで画像モニターの色味を調整できます。▲▼◀▶を押すたびに、画像モニターの色味が次のように変わります。⊛ボタンを押すと決定します。





1 グリーンが強くなる	3 マゼンタが強くなる
2 アンバーが強くなる	4 ブルーが強くなる

- 画像モニターの色味を調整すると、撮影画面やメニュー表示、画像再生時の表示全てに反映されますが、撮影した画像または動画には反映されません。
- 最後に撮影した画像または最後に再生した画像がサンプルとして表示されます。撮影した画像がメモリーカード内にない場合、グレーで表示されます。

・ ⊖⊠（?）ボタンを押すと、画像の選択画面が表示されます。画像を選んでOKボタンを押すと、選んだ画像がサンプルとして表示されます。



・ 画像の選択画面で⊕ボタンを押すと、ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示します。

ファインダーの明るさ

MENUボタン➡ 🔧セットアップメニュー

・ ファインダーの明るさを調整できます。［**ファインダーの明るさ**］は、ファインダーを見ている状態で調整してください。画像モニターが表示されている状態や、モニターモードが［**モニターのみ**］の場合は調整できません。
・ ファインダーを明るくすると、バッテリーの消耗が早くなります。

項目	内容
［**オート**］	周囲の明るさによってファインダーの明るさを自動で調整します。
［**マニュアル**］	マルチセレクターの⊕⊖を押して調整できます。+にすると明るく、−にすると暗くなります。

ファインダーのカラーカスタマイズ

MENUボタン➡ 🔧セットアップメニュー

ファインダーの色調を好みに合わせて変更できます。［**ファインダーのカラーカスタマイズ**］は、ファインダーを見ている状態で調整してください。画像モニターが表示されている状態や、モニターモードが［**モニターのみ**］の場合は調整できません。調整方法は［**モニターのカラーカスタマイズ**］（📖358）と同様です。

モニターモードの限定

MENUボタン➡ セットアップメニュー

Iボタンを押して切り換えられるモニターモードを設定できます。

- 項目を選んでマルチセレクターの▶を押すと、オン☑とオフ☐を切り換えられます。チェックボックスをオン☑にした項目のみ選べるようになります。
- ⓚボタンを押すと、設定を完了します。

インフォ画面の表示設定

MENUボタン➡ セットアップメニュー

明るい場所や暗い場所で画像モニターが見づらいときにインフォ画面の見え方を設定できます。



黒文字表示



白文字表示

項目		内容
B	[黒文字]	明るい場所で撮影するときにインフォ画面が見やすいように、画像モニターが点灯し、文字を黒く表示します。
W	[白文字]	暗い場所で撮影するときにインフォ画面が見やすいように、画像モニターの明るさを抑え、文字を白く表示します。

AF微調節の設定

MENUボタン➡ セットアップメニュー

装着したレンズのピント位置を、好みなどに合わせて微調節できます。

- 必要な場合のみAF微調節を行ってください。

・AF微調節は、普段の撮影でよく使用する撮影距離で行うことをおすすめします。たとえば、近い距離でAF微調節を行った場合、遠い被写体に対してはAF微調節の効果が低下することがあります。

項目	内容
［**AF微調節の適用**］	・［**する**］：AF微調節の設定が有効になります。 ・［**しない**］：AF微調節を行いません。
［**レンズの調節と登録**］	装着しているレンズの微調節値を登録できます。マルチセレクターの▲▼を押して項目を選び、◀▶を押して＋20～－20の範囲で調節できます。 ・ピントの合う位置は、微調節値が大きいほどカメラから遠ざかり、微調節値が小さいほどカメラに近づきます。 ・画面には今回の微調節値と、前回設定した微調節値が表示されます。 ・最大40種類のレンズを登録できます。 ・すでに登録してあるレンズを装着している場合、微調節値が上書きされます。
［**未登録レンズの調節**］	［**レンズの調節と登録**］で登録していないレンズを装着したときに、一律で微調節する値を設定します。◀▶を押して、＋20～－20の範囲で調節できます。
［**登録済みレンズリスト**］	［**レンズの調節と登録**］で登録したレンズを一覧表示します。登録リストからレンズを選んで▶を押すと、［**識別番号**］画面が表示されます。  ・［**識別番号**］画面では、レンズの識別番号を入力できます。 ・Zマウントレンズと一部のFマウントレンズは、シリアル番号が自動的に入力されます。

登録したレンズを削除するには

［**レンズの調節と登録**］で登録したレンズを削除するには、［**登録済みレンズリスト**］画面の一覧表示から削除したいレンズを選んで、🗑ボタンを押します。

AF微調節の設定と微調節値の登録方法

1 **AF微調節の設定を行うレンズをカメラに装着する**

2 **セットアップメニュー［AF微調節の設定］で［レンズの調節と登録］を選んで▶を押す**

AF微調節の設定画面が表示されます。

3 **◀▶を押して微調節値を変更する**

- ＋20～－20の範囲で調節できます。
- 今回の微調節値は▲で、前回設定した微調節値は△で表示されます。
- ズームレンズを装着している場合は、広角側（WIDE）と望遠側（TELE）で個別に調節できます。広角側と望遠側を切り換えるには▲▼を押します。
- ピントの合う位置は、微調節値が大きいほどカメラから遠ざかり、微調節値が小さいほどカメラに近づきます。

4 **OKボタンを押して設定を登録する**

未登録レンズ装着時の微調整値の設定方法

1 **セットアップメニュー［AF微調節の設定］で［未登録レンズの調節］を選んで▶を押す**

2 **◀▶を押して微調節値を変更する**

- ＋20～－20の範囲で調節できます。
- 今回の微調節値は▲で、前回設定した微調節値は△で表示されます。
- ピントの合う位置は、微調節値が大きいほどカメラから遠ざかり、微調節値が小さいほどカメラに近づきます。

3 **OKボタンを押して設定を登録する**

レンズ情報手動設定

MENUボタン➡ セットアップメニュー

別売のマウントアダプターを使用して装着する非CPUレンズの情報を登録します。非CPUレンズの焦点距離と開放絞り値をカメラに登録することにより、これらの情報を撮影情報として表示できます。

項目	内容
[**レンズNo.**]	レンズ情報を登録するレンズNo.を選びます。
[**焦点距離（mm）**]	レンズの焦点距離を選びます。
[**開放絞り値**]	レンズの開放絞り値を選びます。

フォーカス位置の記憶

MENUボタン➡ セットアップメニュー

[**する**] に設定すると、カメラの電源をOFFにして再度ONにした場合に、フォーカス（ピント）位置が電源OFFの前と同じ位置に保持されます。

- ズーム操作や環境温度の変化によっては、ピント位置が変わる場合があります。
- この機能は、オートフォーカス機能を持つZマウントレンズを装着している場合のみ有効です。
- [**する**] に設定すると、電源をONにしてからカメラの操作ができるようになるまで時間がかかることがあります。

イメージダストオフデータ取得

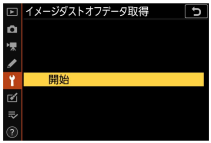
MENUボタン➡ セットアップメニュー

NX Studioの「イメージダストオフ機能」を使うためのデータを取得します。イメージダストオフとは、カメラの撮像素子の前面に付いたゴミの写り込みをRAW画像から取り除く機能です。イメージダストオフ機能については、NX Studioのヘルプをご覧ください。

イメージダストオフデータ取得の手順

1 **イメージダストオフデータ取得画面で［開始］を選ぶ**

・［**開始**］を選んでⓄⓀボタンを押すと撮影画面が表示されます。



2 **レンズ先端から10cm程度離れた、明るく白い無地の被写体を画面いっぱいにとらえ、シャッターボタンを半押しする**

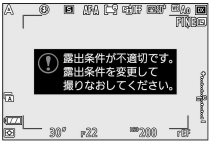
・オートフォーカスのときは、カメラが自動的に無限遠にピントを合わせます。

・マニュアルフォーカスのときは、手動で無限遠に合わせてください。

3 **シャッターボタンを全押ししてイメージダストオフデータを取得する**

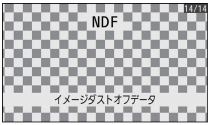
・シャッターボタンを押すと、画像モニターが消灯します。

・被写体が明るすぎ、または暗すぎたために、データが取得できなかった場合は、画像モニターにメッセージが表示されて手順1の状態に戻ります。被写体の明るさを変えて、もう一度撮影してください。



イメージダストオフデータ取得についてのご注意

- お使いになるレンズは、焦点距離が50mm以上のレンズをおすすめします。
- ズームレンズは望遠側にしてください。
- 取得したイメージダストオフデータは、データ取得後にレンズや絞り値を変更して撮影した画像にも適用できます。
- イメージダストオフデータは画像処理ソフトウェアなどで開けません。
- イメージダストオフデータをカメラで再生すると、図のように表示されます。



ピクセルマッピング

MENUボタン➡ セットアップメニュー

撮像素子のチェックと最適化を行います。撮影した画像に予期しない輝点が記録されて気になる場合は、次の手順でピクセルマッピングを行ってください。

- Zマウントレンズ、または別売のマウントアダプターFTZを装着しているときのみピクセルマッピングを実行できます。
- 作業中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリー、または別売の本体充電ACアダプターをお使いください。

1 セットアップメニュー［ピクセルマッピング］を選ぶ

カメラの電源をONにして、**MENU**ボタンを押し、セットアップメニュー［**ピクセルマッピング**］を選びます。

2 ［実行］を選ぶ

ピクセルマッピングを開始します。実行中は、画像モニターに実行中のメッセージが表示されます。

3 ピクセルマッピングが終了したら、カメラの電源をOFFにする

ピクセルマッピングについてのご注意

- ピクセルマッピング中は、カメラの操作はできません。カメラの電源をOFFにしたり、バッテリーを取り外さないでください。
- カメラ内部の温度が高くなっているときは、ピクセルマッピングを実行できない場合があります。

画像コメント

MENUボタン➡ セットアップメニュー

あらかじめコメントを登録しておき、撮影する画像に添付できます。添付されたコメントは、NX Studioの［**情報**］タブで確認できます。

コメント入力

36文字までのコメントを登録できます。［**コメント入力**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと、画像コメントの入力画面が表示されます。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮219）をご覧ください。

コメント添付

登録したコメントを画像に添付したいときは、［**コメント添付**］を選んで▶を押し、チェックボックスをオン☑にします。OKボタンを押すと、設定が有効になり、その後撮影した画像には全てコメントが添付されます。



画像情報に表示される画像コメントについて

入力・添付された画像コメントは、「撮影情報」の「画像コメント」に表示されます。

著作権情報

MENUボタン➡ セットアップメニュー

撮影した画像に著作権情報を添付することができます。添付された著作権情報は、NX Studioの［**情報**］タブで確認できます。

撮影者名入力、著作権者名入力

36文字までの撮影者名と、54文字までの著作権者名を登録できます。［**撮影者名入力**］または［**著作権者名入力**］を選んでマルチセレクターの▶を押すと名前の入力画面が表示されます。入力画面での文字の入力方法については、「入力画面の操作方法について」（🕮219）をご覧ください。

著作権情報添付

登録した著作権情報を画像に添付したいときは、［**著作権情報添付**］を選んで▶を押し、チェックボックスをオン☑にします。Ⓚボタンを押すと、設定が有効になり、その後撮影した画像には全て著作権情報が添付されます。



☑ 著作権情報に関するご注意

- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用を防ぐため、［**著作権情報添付**］の設定を必ず解除してください。また、撮影者名と著作権者名は空欄にしてください。
- ［**著作権情報**］の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を負いません。

☑ 画像情報に表示される著作権情報について

入力・添付された著作権情報は、「撮影情報」に表示されます。

電子音

MENUボタン➡ セットアップメニュー

電子音設定

電子音を鳴るようにしたり、鳴らないようにしたりできます。

- ［**電子音設定**］を［**有効**］に設定すると、次の場合に電子音が鳴ります。
  - セルフタイマー作動中
  - インターバルタイマー撮影、タイムラプス動画撮影、およびフォーカスシフト撮影終了時
  - 静止画モードでオートフォーカスのピントが合ったとき（ただし、フォーカスモードが**AF-C**の場合または**AF-A**のときに**AF-C**で撮影している場合、およびカスタムメニューa2［**AF-Sモード時の優先**］が［**レリーズ**］の場合は、電子音は鳴りません）
  - タッチパネル操作時
  - 「LOCK」したメモリーカードをカメラに入れてシャッターをきろうとしたとき
- ［**タッチ音無効**］を選ぶと、タッチパネル操作時の電子音のみ鳴らないようにできます。
- 静止画撮影メニュー［**サイレント撮影**］が［**する**］の場合は、［**電子音**］の設定にかかわらず、ピントが合ったときの電子音とセルフタイマー作動時の電子音は鳴りません。

音量

電子音の音量を設定できます。

音の高さ

電子音の音の高さを［**高音**］と［**低音**］から選べます。

タッチ操作

MENUボタン➡ セットアップメニュー

画像モニターのタッチ操作の機能を設定できます。

タッチ操作の設定

タッチ操作の有効または無効を切り換えられます。[**再生時のみ有効**]を選ぶと、再生画面でのみタッチ操作ができます。

1コマ送り時のフリック操作

1コマ表示モードで、次の画像を表示するフリック操作を設定できます。

項目		内容
⬅	[**左←右**]	画像モニターの右側から左側にフリックすると、次の画像が表示されます。
➡	[**左→右**]	画像モニターの左側から右側にフリックすると、次の画像が表示されます。

自分撮りモード

MENUボタン➡ セットアップメニュー

[**無効**]にすると、画像モニターを自分撮りモードのポジションにセットしても自分撮りモードに切り替わりません。

HDMI

MENUボタン➡ セットアップメニュー

HDMI対応機器との接続時の設定を変更できます（🕮447）。

機内モード

MENUボタン➡ セットアップメニュー

[**有効**]にすると、BluetoothおよびWi-Fiを使った無線通信をOFFにすることができます。

スマートフォンと接続

MENUボタン➡ セットアップメニュー

スマートフォンとBluetooth接続またはWi-Fi接続する場合に使用します。



ペアリング（Bluetooth）

スマートフォンとBluetooth接続します。

項目	内容
［**ペアリング開始**］	スマートフォンとのペアリングを開始します（🕮434）。
［**ペアリング済み機器**］	カメラとペアリングしたことのあるスマートフォンを表示しています。接続するスマートフォンを切り換えたい場合、ここでスマートフォンを選びます。
［**Bluetooth通信機能**］	［**有効**］を選ぶと、Bluetooth接続を開始します。

送信指定（Bluetooth）

スマートフォンに送信する静止画を指定できます。カメラで撮影後すぐにスマートフォンに送信することもできます。

項目	内容
［**撮影後自動送信指定**］	［**する**］に設定すると、カメラで撮影した画像をスマートフォンに自動で送信します。カメラでの設定に関わらず、ファイルは常に2Mサイズの JPEG画像として送信されます。動画モードで撮影した静止画は自動送信されません。手動で送信指定を行ってください。
［**選択送信指定**］	画像を選んでスマートフォンに送信できます。選んだ画像には送信指定のマークがつきます。

項目	内容
［**送信指定の一括解除**］	送信設定マークをすべて削除します。

Wi-Fi接続

スマートフォンとWi-Fi接続します。

Wi-Fi接続を開始

Wi-Fi接続を開始します。

- カメラのSSIDとパスワードが表示されます。スマートフォンでSSIDを選び、パスワードを入力して接続してください（🕮437）。
- Wi-Fi接続中は［**Wi-Fi接続を停止**］に変更されます。
- ［**Wi-Fi接続を停止**］を選ぶとカメラとのWi-Fi接続を停止します。

Wi-Fi接続の設定

Wi-Fi関連の情報を設定できます。

項目	内容
［**SSID**］	カメラのSSIDを変更できます。
［**認証/暗号**］	Wi-Fiの認証方式を［**OPEN**］または［**WPA2-PSK-AES**］から選びます。
［**パスワード**］	カメラのパスワードを変更できます。
［**チャンネル**］	通信で使用するチャンネルを設定します。 ・［**オート**］を選ぶとカメラが自動でチャンネルを選びます。 ・［**マニュアル**］を選ぶとチャンネルを手動で設定できます。
［**現在の設定**］	現在のWi-Fi関連の設定を確認できます。
［**接続設定の初期化**］	［**はい**］を選ぶとWi-Fiの接続設定を初期化します。

電源OFF中の通信

［**する**］に設定すると、カメラとスマートフォンをBluetooth接続またはWi-Fi接続している場合、カメラの電源をOFFにしてもスマートフォンとの通信を継続して画像を送信できます。

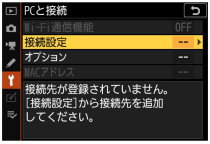
位置情報（スマートフォン）

スマートフォンから取得した緯度、経度、標高、UTC（協定世界時）を表示します。

PCと接続

MENUボタン➡ セットアップメニュー

カメラとパソコンをWi-Fi接続する場合に使用します。



Wi-Fi通信機能

接続設定を行った後で［**有効**］を選ぶと、現在［**接続設定**］で選ばれている設定でWi-Fi接続を開始します。

接続設定

［**新規追加**］を選ぶと、接続設定を作成できます（🕮415、🕮421）。

- 作成済みの接続設定が複数ある場合、⊛ボタンを押して使用する接続設定を変更して無線接続を開始します。
- 接続設定を選んでマルチセレクターの▶を押すと、接続設定の内容を変更できます。

項目	内容
［**全般**］	・［**接続設定名**］：接続設定名を変更できます。初期設定では接続するネットワークのSSIDが設定されています。 ・［**パスワードによる保護**］：［**有効**］に設定すると、接続設定の内容を変更する場合にパスワード入力が必要になります。［**有効**］を選んで⊛を押すと、パスワードが設定できます。
［**無線**］	・**インフラストラクチャーモードの接続設定の場合**：接続するネットワークに合わせて、無線接続の設定を行います。 - ［**SSID**］：接続するネットワークのSSIDを設定します。 - ［**チャンネル**］：自動的に設定されます。 - ［**認証/暗号**］：［**OPEN**］または［**WPA2-PSK-AES**］から選びます。 - ［**パスワード**］：接続するネットワークのパスワードを入力します。 ・**アクセスポイントモードの接続設定の場合**：カメラの設定を変更できます。 - ［**SSID**］：カメラのSSIDを変更できます。 - ［**チャンネル**］：無線チャンネルを［**オート**］または［**マニュアル**］で設定できます。 - ［**認証/暗号**］：［**OPEN**］または［**WPA2-PSK-AES**］から選びます。 - ［**パスワード**］：［**認証/暗号**］を［**WPA2-PSK-AES**］に設定した場合、カメラのパスワードを変更できます。
［**TCP/IP**］	インフラストラクチャーモードの接続設定の場合、TCP/IPの情報を設定できます。IPアドレスは必ず入力してください。 ・［**自動取得**］を［**有効**］に設定すると、IPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーまたは自動プライベートIPアドレッシングによって取得します。 ・［**無効**］に設定した場合は［**アドレス**］（IPアドレス）と［**マスク**］（サブネットマスク）を手動で入力してください。

オプション

カメラの通信機能を設定できます。

■■ 撮影後自動送信

［**する**］に設定すると、撮影と同時に画像を自動送信します。

・撮影された画像はいったんメモリーカードに記録され、自動的に送信設定が行われます。撮影する場合は必ずカメラにメモリーカードを挿入してください。
・動画および動画モードで撮影した静止画は自動送信されません。これらのファイルを送信するには、再生画面で送信設定してください（🕮428）。

▮▮ 送信後ファイル削除

［**する**］に設定すると、送信終了後にメモリーカード内のファイルが自動的に削除されます。
・［**する**］に設定するよりも前に送信設定されたファイルは、送信が終了しても削除されません。
・カメラの状態によっては、ファイルの削除を一時停止する場合があります。

▮▮ RAW＋JPEG送信設定

RAWとJPEGを同時に記録する画質モードで撮影された画像を送信する場合に、RAW画像とJPEG画像の両方を送信するか、JPEG画像のみを送信するかを選べます。
・［**RAW＋JPEG送信設定**］の設定は、［**撮影後自動送信**］が［**する**］の場合に有効になります。

▮▮ 全送信マーク解除

［**する**］を選ぶと、メモリーカード内の全ての画像送信マークを解除します。画像送信中の場合は、送信を中断します。

MACアドレス

MACアドレスが表示されます。

リモコン（ML-L7）設定

MENUボタン➡ セットアップメニュー

別売のリモコンML-L7とBluetoothで接続できます。ML-L7の**Fn1/Fn2**ボタンに機能を割り当てることもできます。

・リモコンで操作できる機能や、このカメラとリモコンの接続については「使用できるアクセサリー」にある「リモコンML-L7について」（🕮518）をご覧ください。



リモコン接続

項目	内容
［**有効**］	ペアリング済みのML-L7と接続を開始します。スマートフォンまたはパソコンと無線接続していた場合、それらの機器との接続は解除されます。
［**無効**］	ML-L7との接続を解除します。

リモコン登録

ML-L7とペアリングを行います。カメラがペアリング待機状態になったら、リモコンの電源ボタンを約3秒以上長押ししてください。ペアリングが完了すると、リモコンの状態表示ランプが約3秒間隔で緑色に点滅します。
リモコンは1台のカメラにつき1個のみペアリングできます。最後にペアリングしたリモコンのみ有効になります。

リモコン登録の解除

ペアリング済みのML-L7とペアリングを解除します。

Fn1ボタンの機能/Fn2ボタンの機能

ML-L7の**Fn1**または**Fn2**ボタンを押したときの機能を設定できます。

項目	内容
［**カメラの▶ボタンと同じ**］	カメラの▶ボタンと同じ機能を設定します。

項目	内容
[**カメラのMENUボタンと同じ**]	カメラのMENUボタンと同じ機能を設定します。
[**カメラのiボタンと同じ**]	カメラのiボタンと同じ機能を設定します。
[**設定しない**]	ボタンを押しても機能しません。

認証情報

MENUボタン➡ セットアップメニュー

このカメラが取得している認証に関する情報の一部を表示します。

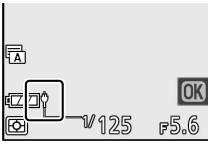
USB給電

MENUボタン➡ セットアップメニュー

別売の本体充電ACアダプターやパソコンとUSBケーブルで接続中に、接続した機器からカメラに電力の供給（給電）を行うかどうかを設定できます。給電を行うと、バッテリーの消耗を抑えながらカメラを使用できます。

項目	内容
[**有効**]	カメラの電源がONのとき、接続した機器からカメラに給電されます。電源スイッチをOFFの位置にしても、Bluetooth通信中やメモリーカードアクセスランプ点灯中は給電されます。
[**無効**]	カメラの状態にかかわらず、カメラに給電されません。

- 給電を行うには、カメラにバッテリーが挿入されている必要があります。
- 給電中は、給電アイコンが撮影画面に表示されます。



- 詳しい使い方などは、「本体充電ACアダプターを使用して充電する」（🕮516）をご覧ください。

パソコンからの給電について

・パソコンからカメラに給電を行う場合、パソコン側のUSB端子がType-Cであることをご確認ください。カメラとの接続には別売のUSBケーブルUC-E25をお使いください。
・パソコンの機種や仕様によっては、カメラと接続しても給電できない場合があります。

「給電」と「充電」について

「給電」とは、カメラに電力を供給して動作できる状態にすること、「充電」とは、バッテリー内に電力を蓄えることを意味します。接続した機器から給電または充電される条件は、次の通りです。

［USB給電］の設定	カメラ電源の状態	実施する電力供給
［有効］	ON※	給電
	OFF	充電
［無効］	ON※	—
	OFF	充電

※　電源スイッチがOFFの位置で、Bluetooth通信中やメモリーカードアクセスランプ点灯中の場合も含みます。

パワーセーブ（静止画モード）

MENUボタン➡ セットアップメニュー

静止画モードの場合に、半押しタイマーがオフになる約15秒前から撮影画面の表示を暗くしてバッテリーの消耗を抑えます。

項目	内容
［有効］	パワーセーブ機能を使用します。パワーセーブ時は撮影画面がコマ落ちしたような表示になります。
［無効］	パワーセーブ機能を使用しません。［無効］に設定していても、半押しタイマーがオフになる数秒前は撮影画面が暗くなります。

パワーセーブについて

・［**有効**］に設定していても、次の場合はパワーセーブ機能が無効になります。
- カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**半押しタイマー**］の設定が30秒未満または［**制限なし**］
- 自分撮りモード時
- 拡大表示中
- HDMI接続時
- パソコンとUSB接続して通信しているとき

・［**無効**］に設定すると、バッテリーの消耗が早くなります。

カードなし時レリーズ

MENUボタン➡ セットアップメニュー

カメラにメモリーカードを入れていないときのレリーズ操作を設定できます。

項目		内容
LOCK	［**レリーズ禁止**］	メモリーカードを入れていないときは、シャッターはきれません。
OK	［**レリーズ許可**］	メモリーカードを入れていないときでも、シャッターがきれます。再生時には［**デモモード**］と表示され、画像は記録できません。

メニュー設定の保存と読み込み

MENUボタン➡ セットアップメニュー

メニューの各機能の設定データをメモリーカードに保存できます。また、メモリーカードに保存されている設定データをカメラで読み込むこともできるので、複数の同一機種を同じ設定で使う場合などに便利です。

・設定を保存、読み込みできる機能は次の通りです。

メニュー設定の保存と読み込みができる機能	
再生メニュー	［**再生画面設定**］
	［**撮影直後の画像確認**］

メニュー設定の保存と読み込みができる機能	
再生メニュー	［**縦位置自動回転**］
静止画撮影メニュー	［**ファイル名設定**］
	［**撮像範囲設定**］
	［**画質モード**］
	［**画像サイズ**］
	［**RAW記録**］
	［**ホワイトバランス**］
	［**ピクチャーコントロール**］（登録されたカスタムピクチャーコントロールは［**オート**］で保存します）
	［**色空間**］
	［**アクティブD-ライティング**］
	［**長秒時ノイズ低減**］
	［**高感度ノイズ低減**］
	［**ヴィネットコントロール**］
	［**回折補正**］
	［**自動ゆがみ補正**］
	［**フリッカー低減撮影**］
	［**測光モード**］
	［**フラッシュ発光**］
	［**フラッシュモード**］
	［**フラッシュ調光補正**］
	［**フォーカスモード**］
	［**AFエリアモード**］
	［**手ブレ補正**］（設定は装着したレンズにより異なります）

メニュー設定の保存と読み込みができる機能	
静止画撮影メニュー	［**オートブラケティング**］
動画撮影メニュー	［**ファイル名設定**］
	［**画像サイズ/フレームレート**］
	［**動画の画質**］
	［**動画記録ファイル形式**］
	［**ホワイトバランス**］
	［**ピクチャーコントロール**］（登録されたカスタムピクチャーコントロールは［**オート**］で保存します）
	［**アクティブD-ライティング**］
	［**高感度ノイズ低減**］
	［**ヴィネットコントロール**］
	［**回折補正**］
	［**自動ゆがみ補正**］
	［**フリッカー低減**］
	［**測光モード**］
	［**フォーカスモード**］
	［**AFエリアモード**］
	［**手ブレ補正**］（設定は装着したレンズにより異なります）
	［**電子手ブレ補正**］
	［**マイク感度**］
	［**アッテネーター**］
	［**録音帯域**］
	［**風切り音低減**］
	［**タイムコード**］（［**タイムコードの起点**］を除く）

メニュー設定の保存と読み込みができる機能	
カスタムメニュー	全メニュー
セットアップメニュー	［**言語（Language）**］
	［**タイムゾーンと日時**］（［**日時の設定**］を除く）
	［**モニターモードの限定**］
	［**インフォ画面の表示設定**］
	［**レンズ情報手動設定**］
	［**フォーカス位置の記憶**］
	［**画像コメント**］
	［**著作権情報**］
	［**電子音**］
	［**タッチ操作**］
	［**HDMI**］
	［**USB給電**］
	［**パワーセーブ（静止画モード）**］
	［**カードなし時レリーズ**］

保存

カメラの設定データをメモリーカードに保存します。メモリーカードに空き容量がない場合は、エラーメッセージが表示され、設定データは保存されません。保存された設定データは他機種のカメラとの互換性はありません。

読み込み

メモリーカードからカメラの設定データを読み込みます。メモリーカードが装着されていないときや、メモリーカードに設定データが記録されていないときは、［**読み込み**］は選べません。

設定データについてのご注意

メモリーカードに保存したカメラの設定データのファイル名は「NCSET***」です。「***」に入る文字はカメラの機種によって異なります。ファイル名を変更すると、設定データを読み込めなくなるためご注意ください。

カメラの初期化

MENUボタン➡ セットアップメニュー

セットアップメニュー［**言語（Language）**］と［**タイムゾーンと日時**］を除く、全ての設定をリセットして初期設定に戻します。著作権情報などの撮影者が入力したデータも初期化されます。初期化した設定は元には戻せないのでご注意ください。

あらかじめセットアップメニュー［**メニュー設定の保存と読み込み**］で設定データを保存しておくことをおすすめします。

ファームウェアバージョン

MENUボタン➡ セットアップメニュー

カメラを制御する「ファームウェア」のバージョンを表示します。カメラの新しいファームウェアがメモリーカードにある場合、ファームウェアのバージョンアップが行えます。

- 画面に表示される記号は、それぞれ次の機器のファームウェアバージョンであることを示しています。カメラに接続していない機器のファームウェアバージョンは表示されません。
  - C：カメラ
  - LF/MA：レンズ（マウントアダプター装着時は「MA」が表示されます）
  - S：スピードライト
  - TC：テレコンバーター
  - RG：リモートグリップ

ヒント: ファームウェアのバージョンアップについて

カメラのファームウェアをバージョンアップするには、パソコンをお使いになる方法とスマートフォンをお使いになる方法があります。

- **パソコンをお使いの場合**:ニコンダウンロードセンターで新しいバージョンのファームウェアがあるか確認できます。バージョンアップの手順については、ファームウェアのダウンロードページをご覧ください。
- **スマートフォンをお使いの場合**:SnapBridgeアプリでカメラとスマートフォンをペアリング済みの場合、カメラの新しいファームウェアがあるとアプリにお知らせが表示され、スマートフォン経由でファームウェアをカメラ内のメモリーカードに転送できます。バージョンアップの手順については、SnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。お知らせが表示されるタイミングは、ニコンダウンロードセンターで公開されるタイミングと異なる場合があります。

画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能

メニュー画面で画像編集タブを選ぶと、画像編集メニューが表示されます。



画像編集メニューでは、メモリーカード内の撮影済み画像を編集することができます。

- カメラにメモリーカードが入っていない場合やメモリーカードに画像が記録されていない場合は、画像編集メニューはグレーで表示されて選択できません。
- 編集された画像は、元の画像とは別に、新しい画像としてメモリーカードに記録されます。
- 画像編集メニューの項目は次の通りです。

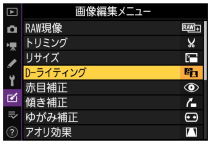
メニュー項目		🕮
RAW現像	[**RAW現像**]	387
✂	[**トリミング**]	391
▣	[**リサイズ**]	392
◧	[**D-ライティング**]	395
👁	[**赤目補正**]	396
⟋	[**傾き補正**]	397

メニュー項目		🕮
⊶	[**ゆがみ補正**]	397
▲	[**アオリ効果**]	398
◨	[**モノトーン**]	398
⧉	[**画像合成**]※	399
▣	[**動画編集（始点/終点設定）**]	405

※　再生時のiメニューで［**画像編集**］を選んだ場合は表示されません。

画像編集の操作方法

1 画像編集メニューでメニュー項目を選ぶ



マルチセレクターの▲▼でメニュー項目を選び、▶を押します。

2 画像を選ぶ



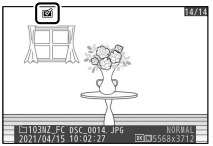
- マルチセレクターで画像を選びます。
- 🔍ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示します。
- 画像を選んでOKボタンを押すと、編集画面が表示されます。

3 画像を編集する

- 画像の編集方法については、各項目の説明をご覧ください。
- 画像編集を途中でやめるには、**MENU**ボタンを押してください。画像編集メニューに戻ります。

☑画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能

4 編集した画像を記録する



・Ⓚボタンを押すと、編集した画像を記録します。

・画像編集した画像には☑が付きます。

☑画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能

☑ 選んだ画像を編集する

編集したい画像を再生し、**i**ボタンを押して［**画像編集**］を選ぶと、画像編集メニューが表示され、選んだ画像を編集できます。

☑ 画像編集についてのご注意

- このカメラ以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、このカメラでは再生または編集できないことがあります。
- 画像編集中に何も操作しないまましばらくすると、画像モニターが消灯し、編集中の画像は保存されません。カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］の［**メニュー表示**］の時間を長く設定することをおすすめします。

☑ 繰り返し画像編集する場合のご注意

- 画像編集によって作成した画像に、さらに画像編集を行うこともできますが、画像が粗くなったり、褪色したりする場合があります。
- 同じ画像編集を繰り返し行うことはできません（［**動画編集（始点/終点設定）**］を除く）。
- 画像編集の組み合わせによっては繰り返し編集できないものもあります。
- 選択中の画像に使用できない画像編集項目は、画像編集メニューでグレーで表示されて選べません。

☑ 画質モードについて

- 元画像がRAWを含む画質モードで撮影された画像の場合、［**画質モード**］が［**FINE**］のJPEG画像になります。
- 元画像がJPEGの場合は、元画像と同じ画質モードになります。
- RAW画像とJPEG画像を同時に記録した場合は、RAW画像が画像編集の対象になります。

☑ 画像サイズについて

画像編集した画像は、元画像と同じ画像サイズで記録されます（［**RAW現像**］、［**トリミング**］および［**リサイズ**］を除く）。

RAW現像（パソコンを使わずにRAW画像をJPEG画像に変換する）

MENUボタン➡ ☑画像編集メニュー

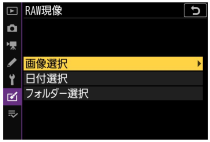
RAW画像をJPEG画像など他のファイル形式に変換することを「RAW現像」と呼びます。カメラでRAW画像をJPEG画像に変換する手順は次の通りです。

1 画像編集メニュー画面で［RAW現像］を選ぶ



［**RAW現像**］を選んでマルチセレクターの▶を押します。

2 画像の選択方法を選ぶ



項目	内容
［**画像選択**］	選んだRAW画像をRAW現像します。複数のRAW画像を選んで一括でRAW現像することもできます。
［**日付選択**］	選択した日付に撮影したRAW画像を一括でRAW現像します。
［**フォルダー選択**］	選んだフォルダー内のRAW画像を一括でRAW現像します。

3 **RAW現像する画像を選ぶ**

［画像選択］を選んだ場合：



・マルチセレクターでRAW現像する画像を選びます。

・ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。

・（**?**）ボタンを押して設定します。設定すると☑が表示されます。もう一度（**?**）ボタンを押すと、☑が消えます。選んだ全てのRAW画像を同じ設定でRAW現像します。

・Ⓚボタンを押して決定します。

［日付選択］を選んだ場合：



・日付を選んでⒿを押すと、チェックボックスのオン☑とオフ☐を切り換えられます。

・チェックボックスがオン☑になった日付の全てのRAW画像を同じ設定でRAW現像します。

・Ⓚボタンを押して決定します。

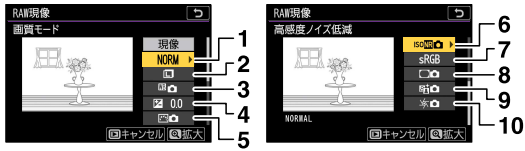
［フォルダー選択］を選んだ場合：

フォルダーを選んでⓀボタンを押すと、選んだフォルダー内の全てのRAW画像を同じ設定でRAW現像します。

4 表示されている項目をそれぞれ設定する

・プレビュー画像の下には、撮影時の設定が表示されています。

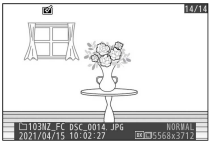
・［**撮影時設定**］を選ぶと（項目によっては選べないことがあります）、それぞれのRAW画像の撮影時の設定でRAW現像します。



1	画質モード（🕮223）	6	高感度ノイズ低減（🕮240）
2	画像サイズ（🕮223）	7	色空間（🕮239）
3	ホワイトバランス（🕮226）	8	ヴィネットコントロール（🕮241）
4	露出補正（🕮126）	9	アクティブD-ライティング（🕮151）
5	ピクチャーコントロール（🕮233）	10	回折補正（🕮241）

・キャンセルするときは、▶ボタンを押してください。

5 RAW現像する



・［**現像**］を選んでⓄKボタンを押すと、JPEG画像を保存します。

・複数の画像を一度に処理する場合、［**現像**］を選んでⓄKボタンを押し、確認画面で［**はい**］を選んでⓄKボタンを押すと、JPEG画像を保存します。

・RAW現像の処理中に**MENU**ボタンを押し、確認画面で［**はい**］を選んでⓄKボタンを押すと、処理を中止します。

RAW現像についてのご注意

- RAW現像できる画像は、このカメラで撮影したRAW画像だけです。機種の異なるカメラで撮影したRAW画像やRAW以外の画質モードで撮影した画像は選べません。
- ［**露出補正**］で設定できる明るさ（−2〜+2）は、通常の露出補正の段数とは異なります。

トリミング

MENUボタン➡ 画像編集メニュー

画像の必要な部分だけを切り抜きます。編集画面では、トリミング範囲の黄色い枠が表示され、次の操作ができます。

操作	内容
切り抜く範囲を変更する	ボタンまたは（**?**）ボタンを押して切り抜く範囲を変更できます。
画像のアスペクト比（縦横比）を変更する	メインコマンドダイヤルを回すと、アスペクト比を変更できます。
切り抜く範囲を移動する	マルチセレクターを押してトリミングで切り抜く範囲を移動します。
トリミングを実行して画像を保存する	ボタンを押すと、トリミングした画像が記録されます。

トリミング画像についてのご注意

- トリミング後の画像サイズによっては、拡大表示できなくなります。
- トリミング画像の画像サイズは編集画面の左上に表示されます。画像サイズは、トリミングする範囲とアスペクト比（横：縦）により変わります。



画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能

リサイズ

MENUボタン➡ 画像編集メニュー

サイズの小さい画像を作成します。

複数の画像を選んでリサイズ画像を作成する

MENUボタンを押して画像編集メニューを選んだ場合、複数の画像のリサイズ画像を一度に作成できます。

1 画像編集メニュー画面で［リサイズ］を選ぶ



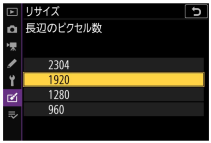
［**リサイズ**］を選んでマルチセレクターの▶を押します。

2 画像サイズを設定する



・［**画像サイズの設定**］を選んで▶を押します。

・▲▼で画像サイズ（長辺のピクセル数）を選び、OKボタンを押します。



3 画像の選択方法を選ぶ



項目	内容
［**画像選択**］	選んだ画像のリサイズ画像を作成します。複数の画像を選んで一括でリサイズすることもできます。
［**日付選択**］	選択した日付に撮影した画像を一括でリサイズします。
［**フォルダー選択**］	選んだフォルダー内の全ての画像を一括でリサイズします。

4 **リサイズする画像を選ぶ**
［画像選択］を選んだ場合：



・マルチセレクターでリサイズする画像を選びます。
・⊕ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
・⊖（**?**）ボタンを押して設定します。設定すると🖼が表示されます。もう一度⊖（**?**）ボタンを押すと、🖼が消えます。選んだ全ての画像を、手順2で設定した画像サイズにリサイズします。
・画像を選択後、Ⓚボタンを押します。

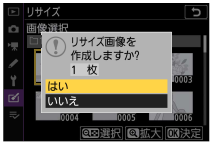
［日付選択］を選んだ場合：



・日付を選んで▶を押すと、チェックボックスのオン☑とオフ☐を切り換えられます。
・チェックボックスがオン☑になった日付の全ての画像を手順2で設定した画像サイズにリサイズします。
・日付を選択後、Ⓚボタンを押します。

［フォルダー選択］を選んだ場合：
フォルダーを選んでⓀボタンを押すと、選んだフォルダー内の全ての画像を手順2で設定した画像サイズにリサイズします。

5 リサイズ画像を作成する



・確認画面で［**はい**］を選んでⓀボタンを押すと、リサイズ画像が保存されます。

・リサイズの処理中に**MENU**ボタンを押し、確認画面で［**はい**］を選んでⓀボタンを押すと、処理を中止します。

☑ リサイズ画像についてのご注意

リサイズ後の画像サイズによっては、拡大表示できなくなります。

D-ライティング

MENUボタン➡ ☑画像編集メニュー

画像の暗い部分を明るく補正できます。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなった画像などに効果的です。



D-ライティング前



D-ライティング後

編集画面では、D-ライティング効果の適用前と適用後のプレビュー画像を表示します。

・マルチセレクターの◀▶を押すと、効果の度合いを選べます。効果の度合いは、設定画面のプレビュー画像で確認できます。



・ⓄⓀボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

赤目補正

MENUボタン➡ 画像編集メニュー

フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって人物の瞳の部分が赤くなってしまった画像を、補正できます。

・フラッシュを発光しないで撮影した画像は選べません。
・カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
・ⓄⓀボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

赤目補正についてのご注意

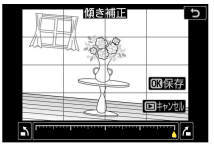
・赤目補正を行う場合は、次のことにご注意ください。
- 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。

・赤目補正を行う場合は、画像を保存する前に、プレビュー画像で効果をよく確認してください。

傾き補正

MENUボタン➡ 画像編集メニュー

画像の傾きを±5°の範囲（約0.25°ステップ）で補正できます。

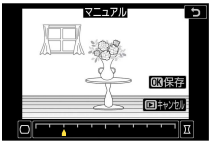


- 編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- 補正する傾きが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。
- マルチセレクターの◀▶を押すと、傾きを補正できます。
- Ⓚボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

ゆがみ補正

MENUボタン➡ 画像編集メニュー

広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正できます。［**オート**］を選ぶと画像のゆがみを自動的に判別して補正しますが、好みに応じて微調整することもできます。［**マニュアル**］を選ぶと自分でゆがみを補正できます。



- 編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- ［**オート**］で補正を行った画像または静止画撮影メニュー［**自動ゆがみ補正**］で補正を行った画像の場合、［**マニュアル**］のみ選べます。一度［**マニュアル**］で補正を行った画像を再度補正することはできません。
- マルチセレクターの◀を押すと糸巻き型のゆがみを、▶を押すとたる型のゆがみを補正できます。
- Ⓚボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

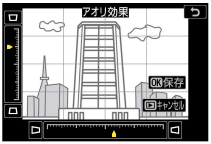
画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能

ゆがみ補正についてのご注意
補正するゆがみが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。

アオリ効果

MENUボタン➡ 画像編集メニュー

高層ビルを見上げて撮影したときなどに生じる、遠近感による被写体のゆがみを補正します。



- 編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- アオリ効果が大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。
- マルチセレクターの▲▼◀▶でアオリの効果を調節できます。
- ⓄⓀボタンを押すと、編集した画像が記録されます。



アオリ効果処理前　　アオリ効果処理後

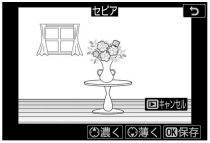
モノトーン

MENUボタン➡ 画像編集メニュー

モノトーンの画像（1種類の色の明暗のみで構成される画像）を作成します。［**モノトーン**］を選ぶと色調を選ぶことができます。

項目	内容
[**白黒**]	モノクロになります。
[**セピア**]	セピア色（褐色）のモノトーンになります。
[**クール**]	ブルー系のモノトーンになります。

・編集画面では、プレビュー画像を表示します。



・[**セピア**] または [**クール**] を選んだ場合は、マルチセレクターで色の濃さを調整できます。▲を押すと色が濃くなり、▼を押すと色が薄くなります。調整した色の濃さはプレビュー画像に反映されます。
・㊗ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

画像合成

MENUボタン➡ 画像編集メニュー

メモリーカードに記録されている画像を重ね合わせて1コマの画像に合成できます。RAW画像2コマを重ねる［**加算**］と、複数の画像の最も明るい部分または暗い部分を重ねる［**比較明合成**］と［**比較暗合成**］から選べます。

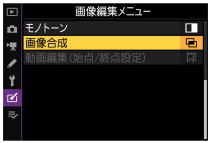
加算

RAW画像2コマを重ね合わせて1コマのJPEG画像に合成できます。



画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能

1 画像編集メニュー画面で［画像合成］を選ぶ



［**画像合成**］を選んでマルチセレクターの▶を押します。

2 ［加算］を選ぶ



［**加算**］を選んで▶を押すと、画像編集画面が表示され、［**画像 1**］欄がハイライト表示されます。

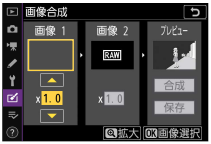


3 合成する画像の1コマ目を選ぶ



- ⊛ボタンを押すと表示されるRAW画像のサムネイル一覧から、1コマ目の画像を選びます。
- 🔍ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。

4 1コマ目の画像を決定する



Ⓚボタンを押すと、選んだ画像が1コマ目に設定され、［**画像 1**］欄にプレビューが表示されます。

5 2コマ目の画像を選ぶ



Ⓘを押して［**画像 2**］を選び、手順3～4と同じ手順で2コマ目の画像を選びます。

6 ゲインを調節する



- プレビュー欄に［**画像 1**］と［**画像 2**］を合成した画像が表示されます。プレビュー欄で確認しながら、合成画像の明るさが適正になるように、［**画像 1**］または［**画像 2**］を選んでからⒾⒼを押してゲイン（出力）を設定します。
- ゲインは0.1～2.0の範囲で、0.1ステップで設定できます。
- 各数値は初期設定の1.0（補正なし）を基準にした比率です。たとえば0.5にするとゲインは約半分になります。

7 プレビュー欄に移動する



・◀▶を押して、プレビュー欄に移動します。
・合成画像を確認せずに画像を保存したいときは、［**保存**］を選んでⓄボタンを押してください。

8 合成画像を確認する



・［**合成**］を選び、Ⓞボタンを押すと、合成画像の確認画面が表示されます。
・設定をやり直したいときは、? （**?**）ボタンを押してください。手順6の画面に戻ります。

9 合成画像を保存する



もう一度Ⓞボタンを押すと、合成画像が保存され、合成画像が表示されます。

［加算］についてのご注意

- プレビュー画像と実際の合成画像では、色や明るさなどの見え方が異なることがあります。
- 合成できる画像は、このカメラで撮影したRAW画像だけです。機種の異なるカメラやRAW以外の画質モードで撮影した画像は選べません。
- 合成画像は［**画質モード**］が［**FINE**］のJPEG画像になります。
- 次の項目の設定が同じRAW画像のみ合成できます。
  - ［**撮像範囲設定**］
  - ［**RAW記録**］
- 合成画像のホワイトバランス、ピクチャーコントロール、撮影データ（撮影日時、測光モード、シャッタースピード、絞り値、撮影モード、露出補正値、焦点距離、縦横位置情報など）は、［**画像 1**］で選んだ画像の内容を引き継ぎます。ただし、著作権情報は引き継ぎません。また、合成された画像には、画像合成時にカメラに設定されている画像コメントが添付されます。

比較明合成、比較暗合成

複数の画像の最も明るい部分または暗い部分を重ね合わせて1コマのJPEG画像に合成できます。

1 **［比較明合成］または［比較暗合成］を選ぶ**

画像編集メニュー［**画像合成**］で［**比較明合成**］または［**比較暗合成**］を選んでマルチセレクターの▶を押します。

- ［**比較明合成**］：撮影した各画像を比較し、最も明るい部分を選択して合成します。



- ［**比較暗合成**］：撮影した各画像を比較し、最も暗い部分を選択して合成します。



2 画像の選択方法を選ぶ

項目	内容
［**画像選択（個別指定）**］	個別に選んだ画像を合成します。
［**画像選択（範囲指定）**］	2枚の画像を選択し、その間にある全ての画像を撮影時間順に合成します。
［**フォルダー選択**］	選んだフォルダー内の全ての画像を合成します。

3 合成する画像を選ぶ

［画像選択（個別指定）］を選んだ場合：

- マルチセレクターで合成する画像を選びます。
- ⊕ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- ⊖（**?**）ボタンを押して設定します。設定すると☑が表示されます。もう一度⊖（**?**）ボタンを押すと、☑が消えます。選んだ全ての画像を手順1の内容で合成します。
- 画像を選択後、Ⓚボタンを押します。

［画像選択（範囲指定）］を選んだ場合：

- マルチセレクターで合成する画像の範囲を設定すると、範囲内の全ての画像が手順1の内容で合成されます。
  - 範囲の始点および終点は、⊖（**?**）ボタンを押して設定します。
  - 始点および終点の画像には☑が表示され、その間の画像には☑が表示されます。
  - 範囲を変更する場合は、マルチセレクターを操作して始点および終点を設定し直します。AF-L（Ⓞ）ボタンを押すと、範囲の始点と終点を移動できます。
- ⊕ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- 合成する画像の範囲を設定後、Ⓚボタンを押します。

［フォルダー選択］を選んだ場合：

フォルダーを選んでⓀボタンを押すと、選んだフォルダー内の全ての画像を手順1の内容で合成します。

4 合成画像を保存する

・確認画面で［**はい**］を選んでⓄⓀボタンを押すと、合成画像が保存され、合成画像が表示されます。

・画像合成の処理中にMENUボタンを押し、確認画面で［**保存して終了**］を選んでⓄⓀボタンを押すと、処理中の画像までの処理を実行して以降の処理を中止します。確認画面で［**保存せずに終了**］を選んでⓄⓀボタンを押すと、処理を中止します。

［比較明合成］および［比較暗合成］についてのご注意

- 合成できる画像は、このカメラで撮影した画像だけです。機種の異なるカメラで撮影した画像は選べません。
- 次の項目の設定が同じ画像のみ合成できます。
  - ［**撮像範囲設定**］
  - ［**画像サイズ**］
- 異なる画質モードで撮影した画像を合成した場合、合成画像の画質モードは一番高い画質で撮影された画像と同じになります。
- 合成する画像にRAW画像が含まれる場合、合成画像の画質モードは［**FINE**］になります。
- RAW画像とJPEG画像を合成する場合、画像サイズはJPEG画像と同じになります。

動画編集（始点/終点設定）

MENUボタン➡ 画像編集メニュー

撮影した動画の前半、後半、または前後両端を切り取って、選択した範囲だけを残すことができます（🕮186）。

マイメニュー/最近設定した項目

メニュー画面でタブを選ぶと、［**マイメニュー**］画面が表示されます。

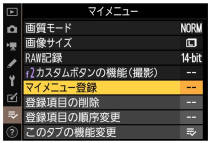


マイメニュー：よく使うメニューを登録する

再生、静止画撮影、動画撮影、カスタム、セットアップ、画像編集の各メニューから、よく使う項目だけを選んで、20項目までマイメニューに登録できます。登録した項目は、削除したり、表示順序を変えたりできます。

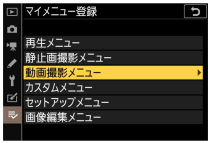
マイメニューを登録する

1 **［マイメニュー］画面で［マイメニュー登録］を選ぶ**



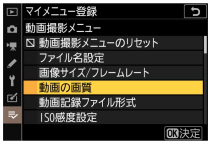
［**マイメニュー登録**］を選んで、マルチセレクターの▶を押します。

2 登録したいメニューを選ぶ



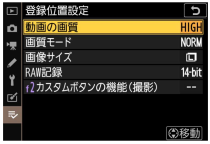
登録したいメニューを選んで▶を押すと、選んだメニューが一覧表示されます。

3 マイメニューに登録する項目を選ぶ



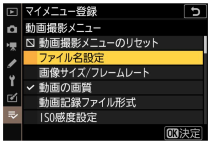
マイメニューに登録する項目を選んでⓄⓀボタンを押します。

4 登録する項目の表示位置を選ぶ



▲▼で登録する項目の表示位置を選んで、Ⓞⓚボタンを押します。

5 マイメニューに表示したい全ての項目を登録する

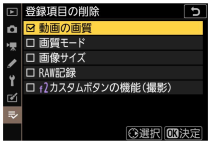


・✔が表示されている項目は、すでにマイメニューに登録済みです。
・左横に☒が表示されている項目は、マイメニューに登録できません。
・手順1～4を繰り返して、マイメニューに表示したい項目を登録します。

▮▮ 登録した項目を削除する

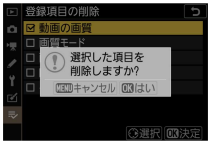
1 **［マイメニュー］画面で［登録項目の削除］を選ぶ**
［**登録項目の削除**］を選び、マルチセレクターの▶を押します。

2 **削除したいメニュー項目を選ぶ**



・▶を押すと、項目のチェックボックスが☑になります。
・削除したい全ての項目に✔を入れます。

3 **選んだ項目を削除する**



Ⓚボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度Ⓚボタンを押すと、選んだ項目が削除されます。

登録した項目をボタン操作で削除するには

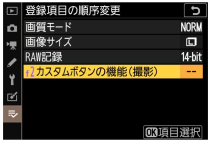
［マイメニュー］画面で削除したい項目を選んでボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度ボタンを押すと、選んだ項目を削除します。

登録した項目の表示順序を変える

1 **［マイメニュー］画面で［登録項目の順序変更］を選ぶ**

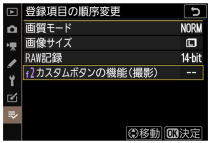
［**登録項目の順序変更**］を選び、マルチセレクターの▶を押します。

2 **順番を変えたい項目を選ぶ**



順番を変えたい項目を選んで、ボタンを押します。

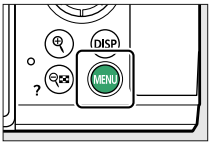
3 **選んだ項目を移動したい位置を選ぶ**



- ▲▼で移動したい位置を選んで、ボタンを押すと、マイメニューの中で位置が変わります。
- 必要に応じて手順2～3を繰り返します。

4 **［マイメニュー］画面に戻る**

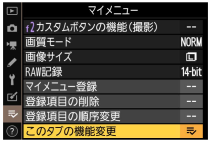
MENUボタンを押すと、［**マイメニュー**］画面に戻ります。





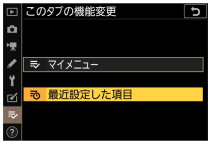
■■ マイメニューの機能を［最近設定した項目］に変更する

1 **［マイメニュー］画面で［このタブの機能変更］を選ぶ**



［**このタブの機能変更**］を選び、マルチセレクターの▶を押します。

2 ［最近設定した項目］を選ぶ

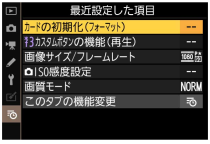


・［**このタブの機能変更**］画面で［**最近設定した項目**］を選んで、Ⓚボタンを押します。
・［**マイメニュー**］が［**最近設定した項目**］に切り替わります。

最近設定した項目：最近設定したメニューをたどる

［最近設定した項目］の設定方法

メニューを設定するたびに［**最近設定した項目**］に追加されます。最大20項目まで登録されます。



最近設定した項目を削除するには

［**最近設定した項目**］画面で削除したい項目を選んで🗑ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度🗑ボタンを押すと、選んだ項目を削除します。

［最近設定した項目］からマイメニューに戻すには

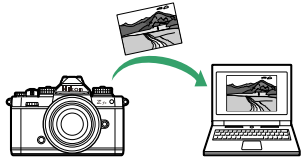
［**最近設定した項目**］の［**このタブの機能変更**］を選ぶと、「マイメニューの機能を［**最近設定した項目**］に変更する」（🕮410）の手順2と同じ画面が表示されます。［**マイメニュー**］を選んでⓀボタンを押すと、マイメニューに切り替わります。

パソコン/スマートフォンと無線接続する

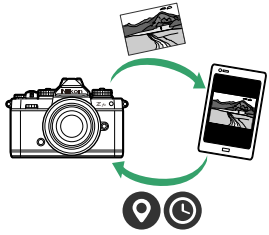
カメラのネットワークシステム

このカメラで接続できるネットワークは次の通りです。

- **カメラとパソコンをWi-Fi接続する（🕮413）**



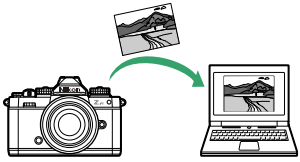
- **カメラとスマートフォンを無線接続する（🕮433）**



パソコンとWi-Fi接続する

Wi-Fi接続してできること

カメラの内蔵Wi-Fi機能を使用してパソコンと無線接続すると、選んだ画像をパソコンに転送できます。



Wireless Transmitter Utilityについて

カメラとパソコンをWi-Fi接続して画像を転送するには、パソコン用のニコンソフトウェアWireless Transmitter Utility（ワイヤレストランスミッターユーティリティー）を使用してペアリングする必要があります。

- ペアリングを行うと、パソコンがカメラの接続先として設定されます。
- Wireless Transmitter Utilityはニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。ソフトウェアの最新情報や動作環境を確認し、必ず最新版をインストールしてください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/

カメラとパソコンの接続方法について

カメラとパソコンを無線接続するには、次の2通りの方法があります。

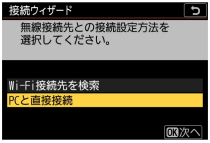
▮▮ パソコンと直接接続（アクセスポイントモード）

カメラとパソコンを直接無線接続します。カメラをアクセスポイントとして使用するため、野外など無線LAN環境がない場合でも無線接続ができ、複雑な

設定も不要です。カメラと無線接続中は、パソコンはインターネットを使用できません。



・接続設定を新規作成する場合に、接続ウィザードで［**PCと直接接続**］を選びます。

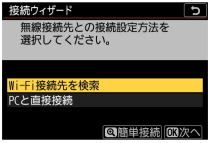


■■ 既存のネットワークに接続（インフラストラクチャーモード）

ご自宅などにすでに構築されているネットワークに、無線LANアクセスポイントを経由してパソコンと接続します。カメラと無線接続中でも、パソコンはインターネットを使用できます。



・接続設定を新規作成する場合に、接続ウィザードで［**Wi-Fi接続先を検索**］を選びます。

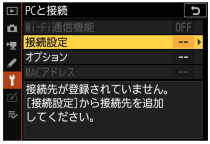


インフラストラクチャーモードで接続する場合

・本書はすでに無線LAN環境が設定されているお客様を対象としています。
・ルーターを越えて別のネットワークに接続することはできません。同じネットワーク内のパソコンとのみ接続できます。

アクセスポイントモードの接続設定

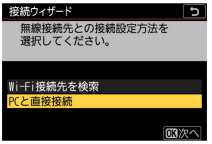
1 **カメラのセットアップメニュー［PCと接続］で［接続設定］を選び、マルチセレクターの▶を押す**



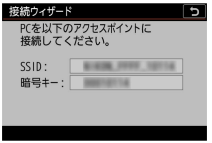
2 **［新規追加］を選び、OKボタンを押す**



3 [PCと直接接続] を選び、⊛ボタンを押す



カメラのSSIDと暗号キーが表示されます。



4 パソコンをカメラに接続する

Windowsの場合：



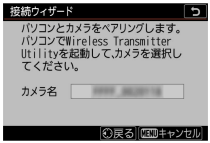
- 画面の右下にある無線LANのアイコンをクリックしてください。
- 手順3でカメラに表示されたSSIDを選んでクリックしてください。
- ネットワークキーを入力する画面が表示されたら、手順3で表示された暗号キーを入力してください。カメラとパソコンの接続が開始されます。

macOSの場合：



- 画面の右上にある無線LANのアイコンをクリックしてください。
- 手順3でカメラに表示されたSSIDを選んでクリックしてください。
- ネットワークキーを入力する画面が表示されたら、手順3で表示された暗号キーを入力してください。カメラとパソコンの接続が開始されます。

5 パソコンとのペアリングを開始する



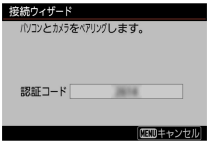
カメラに図のような画面が表示されたら、パソコンでWireless Transmitter Utilityを起動してください。

6 Wireless Transmitter Utilityでカメラ名を選ぶ



手順5でカメラに表示されているカメラ名を選択し、[**次へ**] をクリックします。

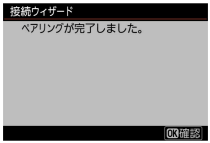
7 カメラに表示される認証コードをWireless Transmitter Utilityに入力する



- カメラに認証コードが表示されます。
- Wireless Transmitter Utilityに認証コードを入力し、［**次へ**］をクリックします。



8 ペアリングを完了する



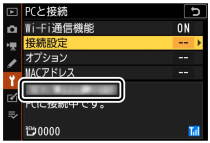
・カメラに図のような画面が表示されたらⓄⓀボタンを押してください。

・Wireless Transmitter Utilityは［**次へ**］をクリックすると画像を転送するフォルダーを設定する画面になります。詳しくはWireless Transmitter Utilityのヘルプをご覧ください。



・ペアリング完了後に、カメラとパソコンの接続が開始されます。

9 カメラとパソコンの接続を確認する



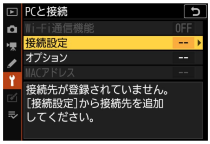
カメラとパソコンが接続されると、［**PCと接続**］画面に接続中のSSIDが緑色で点灯します。

・カメラのSSIDが緑色で点灯していない場合は、パソコンの無線接続設定でカメラと接続し直してください。

カメラとパソコンの無線接続が完了しました。
カメラで撮影した画像をパソコンに転送するには、「パソコンに画像を送信する」（🕮428）をご覧ください。

インフラストラクチャーモードの接続設定

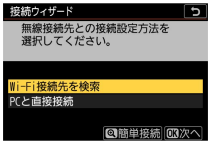
1 カメラのセットアップメニュー［PCと接続］で［接続設定］を選び、マルチセレクターの▶を押す



2 ［新規追加］を選び、OKボタンを押す



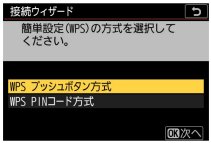
3 [Wi-Fi接続先を検索] を選び、Ⓚボタンを押す



カメラの周辺にある無線LANアクセスポイントを検索して、検出した接続先のSSIDを表示します。

☑ [簡単接続] で接続する

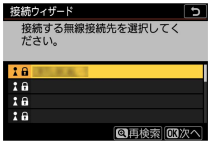
・手順3でQボタンを押すと、SSIDや暗号キーを入力せずに無線LANアクセスポイントに接続できます。Ⓚボタンを押して接続方法を選んでください。



接続方法	内容
[**WPSプッシュボタン方式**]	無線LANアクセスポイントにWPSプッシュボタンがある場合に使用できます。WPSプッシュボタンを押した後にカメラのⓀボタンを押すと、無線LANアクセスポイントに接続できます。
[**WPS PINコード方式**]	カメラにPINコードが表示されます。パソコンを使用して無線LANアクセスポイントにPINコードを入力します。無線LANアクセスポイントにPINコードを入力する方法については、お使いの無線LANアクセスポイントの使用説明書をご覧ください。

・接続が完了したら、手順6に進んでください。

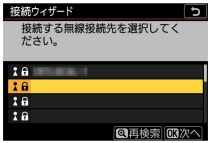
4 接続先のSSIDを選ぶ



・接続先のSSIDを選んでⓄKボタンを押します。
・暗号ありのSSIDには🔒が表示されます。暗号あり🔒のSSIDを選んだ場合は、暗号キーの設定画面が表示されます。暗号なしの接続先を選んだ場合は手順6へお進みください。
・🔍ボタンを押すと無線接続先を再検索します。

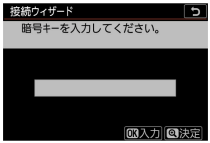
☑ SSIDが非公開に設定されている場合

無線LANアクセスポイントがSSIDを非公開に設定している場合、検出されたSSID一覧にSSID名が表示されません。



・非公開のSSIDに接続したい場合、空欄になっている項目を選択してⓄKボタンを押してください。続いてⓄKボタンを押すと、SSID入力画面になります。
・接続したいSSID名を入力し、🔍ボタンを押してください。もう一度🔍ボタンを押すと、暗号キーの設定画面が表示されます。

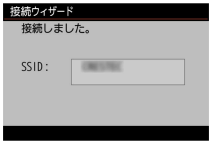
5 暗号キーを入力する



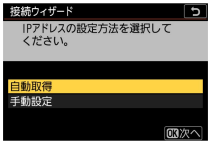
- Ⓚボタンを押して、無線LANアクセスポイントで使用している暗号キーを入力します。
- 無線LANアクセスポイントの暗号キーについては、無線LANアクセスポイントの使用説明書などをご覧ください。



- ⊕ボタンを押して、暗号キーの入力を完了します。
- もう一度⊕ボタンを押すと、接続を開始します。接続に成功すると、図のような画面が数秒間表示されます。



6 IPアドレスの設定方法を選んで設定する

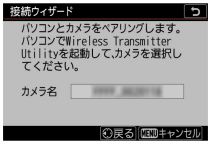


・IPアドレスの設定方法を選んでOKボタンを押します。

設定方法	内容
[**自動取得**]	カメラが自動でIPアドレスを取得します。IPアドレスを取得するとIPアドレス設定完了画面が表示されます。
[**手動設定**]	IPアドレス、サブネットマスクを手動で入力します。 ・メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。 ・◀▶を押して数値を変更し、OKボタンを押して決定します。 ・🔍ボタンを押すと、IPアドレス設定完了画面が表示されます。再度🔍ボタンを押すと、サブネットマスク入力画面が表示されます。 ・サブネットマスクは▲▼を押して数値を変更し、OKボタンを押して決定すると、IPアドレス設定完了画面が表示されます。

・IPアドレス設定完了画面が表示されたらOKボタンを押します。

7 パソコンとのペアリングを開始する



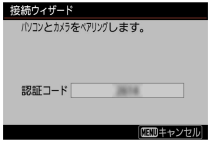
カメラに図のような画面が表示されたら、パソコンでWireless Transmitter Utilityを起動してください。

8 Wireless Transmitter Utilityでカメラ名を選ぶ



手順7でカメラに表示されているカメラ名を選択し、［**次へ**］をクリックします。

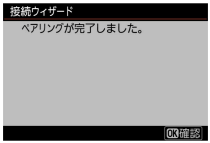
9 カメラに表示される認証コードをWireless Transmitter Utilityに入力する



- カメラに認証コードが表示されます。
- Wireless Transmitter Utilityに認証コードを入力し、［**次へ**］をクリックします。



10 ペアリングを完了する



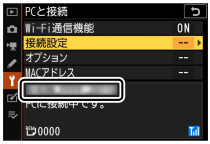
・カメラに図のような画面が表示されたらⓄⓀボタンを押してください。

・Wireless Transmitter Utilityは［**次へ**］をクリックすると画像を転送するフォルダーを設定する画面になります。詳しくはWireless Transmitter Utilityのヘルプをご覧ください。



・ペアリング完了後に、カメラとパソコンの接続が開始されます。

11 カメラとパソコンの接続を確認する



カメラとパソコンが接続されると、［**PCと接続**］画面に接続中のSSIDが緑色で点灯します。

・カメラのSSIDが緑色で点灯していない場合は、パソコンの無線接続設定でカメラと接続し直してください。

カメラとパソコンの無線接続が完了しました。
カメラで撮影した画像をパソコンに転送するには、「パソコンに画像を送信する」（🕮428）をご覧ください。

パソコンに画像を送信する

再生画面で選んだ画像をパソコンに送信できます。カメラで撮影するたびに自動で送信することもできます。

保存先のフォルダーについて

送信された画像は、次のフォルダーに転送されます。

- Windows：\Users\"ユーザー名"\Pictures\Wireless Transmitter Utility
- macOS：/Users/"ユーザー名"/Pictures/Wireless Transmitter Utility

Wireless Transmitter Utilityを使うと、転送先のフォルダーを変更できます。詳しくはWireless Transmitter Utilityのヘルプをご覧ください。

アクセスポイントモードで接続時のご注意

アクセスポイントモードでカメラとパソコンを接続している場合、パソコンはインターネットを使用できません。パソコンでインターネットを使用する場合は、カメラとの接続を解除し、インターネットに接続し直してください。

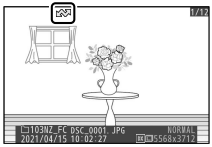
画像を選んで送信する

1 カメラの▶ボタンを押して1コマ表示モードまたはサムネイル表示モードにする

2 送信したい画像を選んでtボタンを押す



3 **［送信指定（PC）］を選んでⓀボタンを押す**



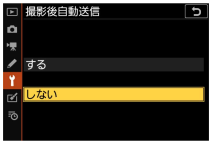
- 送信設定マーク（白色）が付加されます。ネットワークに接続済みの場合、すぐに送信が始まります（送信マークが緑色に変わります）。
- 送信指定した画像がある状態でネットワークに接続すると、自動的に送信が開始されます。
- 複数の画像を送信する場合は、手順2～3を繰り返してください。

☑ 送信指定を解除するには

・解除したい画像を選んで、手順2と3を行います。
・セットアップメニュー［**PCと接続**］にある［**オプション**］の［**全送信マーク解除**］で一括削除できます。

▮▮ 撮影した画像を自動で送信する

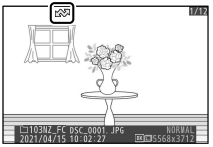
セットアップメニュー［**PCと接続**］にある［**オプション**］の［**撮影後自動送信**］を［**する**］に設定すると、静止画を撮影するたびにパソコンに転送します。



- 画像はメモリーカードに記録されてから自動的に送信設定が行われます。撮影する場合は必ずカメラにメモリーカードを挿入してください。
- 動画モードで撮影した静止画、および動画は自動送信されません。これらのファイルを送信するには、再生画面で送信設定してください。

■■ マーク表示について

送信する画像には次のようなマークが表示されます。



（白）：送信予定の画像（送信設定マーク）

送信予定の画像の送信設定マークは白色で表示されます。

（緑）：送信中の画像（送信中マーク）

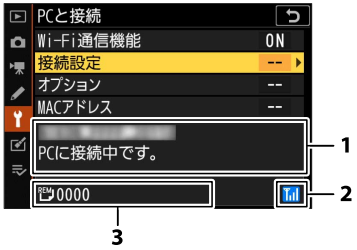
画像の送信中は送信設定マークが緑色で表示されます。

（青）：送信済みの画像（送信済みマーク）

画像が正常に送信された場合、送信設定マークが青色に変わります。

▮▮ 画像送信時の設定画面

［**PCと接続**］画面では、次の状態が確認できます。



1	**接続状態**：接続状態を表します。接続されたときは接続先名が緑色で表示されます。 データを送信中の場合、接続先名の下に「(送信中のファイル名)」＋「送信中」と表示されます。エラーが発生した場合には、エラーの内容が表示されます。
2	**電波状態**：電波の状態がアイコンで表示されます。
3	**残り**：送信予定のコマ数と、残りの送信予定時間を表示します。表示される時間は目安です。

☑ 電波状態による送信の中断について

無線LAN接続時、電波状態によっては送信が一時中断されることがあります。この場合、電波状態が回復した後、カメラの電源をいったんOFFにして再度ONにすると、送信設定マークが表示された画像の送信を再開します。

ネットワーク接続を解除/再接続する

▮▮ ネットワーク接続を解除する

パソコンとのネットワーク接続を解除するには、次の方法があります。

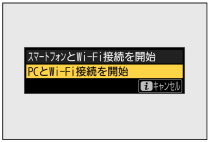
- カメラの電源をOFFにする
- セットアップメニュー［**PCと接続**］の［**Wi-Fi通信機能**］で［**無効**］を選ぶ

・セットアップメニュー［**機内モード**］で［**有効**］を選ぶ
・撮影時の**i**メニューで［**Wi-Fi通信機能**］の［**Wi-Fi接続を停止**］を選ぶ
・スマートフォンとWi-Fi接続またはBluetooth接続を開始する

アクセスポイントモードで接続している場合
パソコンの無線接続を先に解除すると通信エラーになります。カメラのWi-Fi通信機能を先にオフにしてください。

ネットワークに再度接続する

接続設定を行ったカメラをネットワークに再度接続するには、次の方法があります。
・セットアップメニュー［**PCと接続**］の［**Wi-Fi通信機能**］で［**有効**］を選ぶ
・撮影時の**i**メニューで［**Wi-Fi通信機能**］の［**PCとWi-Fi接続を開始**］を選ぶ



アクセスポイントモードで接続する場合
カメラのWi-Fi通信機能をオンにした後に、パソコンを無線接続してください。

複数の接続設定がある場合
カメラのWi-Fi通信機能をオンにすると、最後に接続していたネットワークに接続されます。接続設定を切り換えたい場合はセットアップメニュー［**PCと接続**］の［**接続設定**］で接続設定を選んでください。

スマートフォンと接続する

SnapBridgeアプリについて

SnapBridgeアプリを使用すると、カメラとスマートフォンを無線で接続できます。

- SnapBridgeアプリはApple App Store®またはGoogle Play™でダウンロードできます。

- SnapBridgeアプリの最新情報については当社ホームページでご確認ください。
- SnapBridgeアプリを起動した後に使用許諾などの同意を求める画面が表示された場合は、内容をよくお読みになり、ご同意の上、次にお進みください。

SnapBridgeアプリを使ってできること

SnapBridgeアプリを使用すると、次のようなことが行えます。詳しい使い方などは、アプリのヘルプをご覧ください。
https://nikonimglib.com/snbr/onlinehelp/ja/index.html

▮▮ スマートフォンに画像を転送する

カメラで撮影した画像を、スマートフォンに転送できます。カメラで撮影するたびに自動で送信することもできます。

▮▮ スマートフォンからカメラを操作する（リモート撮影）

スマートフォンからカメラをリモート操作して撮影できます。

スマートフォンと無線接続するには

カメラとスマートフォンを無線接続するには、SnapBridgeアプリを使用します。接続方法には、Bluetoothで接続する方法（🕮434）と、Wi-Fiで接続する方法（🕮437）があります。Bluetoothで無線接続した場合、撮影した画像を自動で転送することもできます。

Bluetooth接続（ペアリング）

カメラとスマートフォンを初めてBluetoothで接続する場合、ペアリングを行う必要があります。

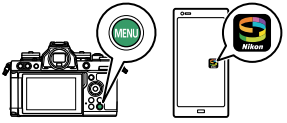
ペアリングの前に

- あらかじめスマートフォンのBluetooth機能をONにしてください。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。
- 途中で電源が切れないよう、スマートフォンとカメラのどちらも充分にバッテリー残量がある状態でご使用ください。
- カメラに残量のあるメモリーカードを入れてください。

ペアリング方法

SnapBridgeアプリを使ってカメラとスマートフォンをペアリングするには、次の手順で行います。

- カメラとスマートフォンのそれぞれで操作を行います。

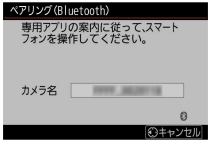


- SnapBridgeアプリのヘルプもあわせてご覧ください。

1 **カメラ：セットアップメニュー［スマートフォンと接続］にある［ペアリング（Bluetooth）］で［ペアリング開始］を選んでⓄKボタンを押す**



画像モニターにカメラ名が表示されます。



2 **スマートフォン：SnapBridgeアプリを起動し、タブの［カメラと接続する］をタップする**

・SnapBridgeアプリをダウンロード後に初めて起動する場合は、アプリの紹介画面にある［**カメラと接続する**］をタップします。

3 **スマートフォン：アプリ画面の指示に従って操作する**

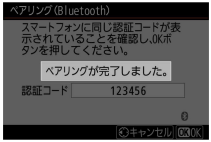
・カメラのカテゴリー選択画面が表示されたら、接続するカメラのカテゴリーをタップし、次に表示される接続方法の選択画面でペアリングをタップしてください。

・カメラ名が表示されたら、接続したいカメラのカメラ名をタップしてください。

4 カメラ/スマートフォン：カメラとスマートフォンに同じ番号が表示されたら、それぞれの画面の指示に従ってカメラとスマートフォンを操作し、ペアリングする

・スマートフォンはペアリングを行うためのボタンをタップし、カメラは㊎ボタンを押してください。

・ペアリングに成功すると、ペアリング完了のメッセージがカメラとスマートフォンにそれぞれ表示されます。カメラ側は自動でメッセージが消えて、メニュー画面に戻ります。



カメラとスマートフォンのペアリングは完了しました。
ペアリング後の操作方法などは SnapBridge アプリのヘルプをご覧ください。

ペアリング中にエラーが表示されたときは

手順4でカメラまたはスマートフォンのボタンを押してから、もう片方のボタンを押すまでに時間が開きすぎると、ペアリングできずにスマートフォンにエラーが表示されます。

- Androidの場合、表示されたダイアログで［**OK**］をタップして、手順1からやり直してください。
- iOSの場合、SnapBridgeを完全に終了（バックグラウンドからも終了）してiOS上でデバイスの登録を解除し、手順1からやり直してください。デバイスの登録解除は、iOSの設定アプリで行います。



Bluetooth機能をオフにするには

カメラのセットアップメニュー［**スマートフォンと接続**］>［**ペアリング（Bluetooth）**］>［**Bluetooth通信機能**］で［**無効**］を選ぶと、Bluetooth機能をオフにできます。

ペアリング済みのスマートフォンと接続する場合

一度カメラとスマートフォンをペアリングしておくと、次回以降はカメラとスマートフォンのBluetooth機能をそれぞれ有効にした状態でSnapBridgeアプリを起動するだけで通信が可能になります。

Wi-Fiモード（Wi-Fiで接続）

Bluetoothによるペアリングを行わずにカメラとスマートフォンを直接Wi-Fi接続できるモードです。

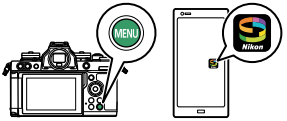
Wi-Fiモードで接続する前に

- あらかじめスマートフォンのWi-Fi機能をONにしてください。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。
- 途中で電源が切れないよう、スマートフォンとカメラのどちらも充分にバッテリー残量がある状態でご使用ください。
- カメラに残量のあるメモリーカードを入れてください。

■■ 接続方法

SnapBridgeアプリを使ってカメラとスマートフォンをWi-Fiモードで接続するには、次の手順で行います。

・ カメラとスマートフォンのそれぞれで操作を行います。



・ SnapBridgeアプリのヘルプもあわせてご覧ください。

1 スマートフォン：SnapBridgeアプリを起動し、タブのボタンをタップして［Wi-Fi mode］を選ぶ

・ SnapBridgeアプリをダウンロード後に初めて起動する場合は、アプリの紹介画面にある［**カメラと接続する**］をタップします。カメラのカテゴリー選択画面が表示されたら、接続するカメラのカテゴリーをタップし、次に表示される接続方法の選択画面でWi-Fi接続をタップしてください。

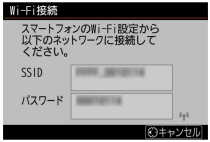
2 カメラ/スマートフォン：カメラ操作の説明画面が表示されたら、カメラの電源をONにする

この時点ではまだアプリの操作を行わないでください。

3 カメラ：セットアップメニュー［スマートフォンと接続］にある［**Wi-Fi接続**］で［**Wi-Fi接続を開始**］を選んで⊛ボタンを押す



SSIDとパスワードが表示されます。



Wi-Fi接続について

撮影時の**i**メニューで［**Wi-Fi通信機能**］の［**スマートフォンとWi-Fi接続を開始**］を選んでもWi-Fi接続を開始できます。



4 スマートフォン：アプリ画面の指示に従ってスマートフォンを操作し、Wi-Fi接続する

・iOSの場合、設定アプリが表示されます。[**< 設定**]をタップして[**設定**]画面へ移動し、画面上部の[**Wi-Fi**]をタップして、Wi-Fi接続の操作を行ってください。

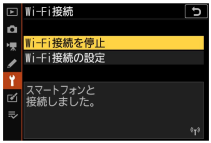


・Wi-Fi接続画面では、手順3でカメラに表示されているSSIDを選び、パスワードを入力してください。

5 スマートフォン：手順4でOSの設定を完了したら、手動でSnapBridgeアプリに戻る

・スマートフォンとカメラのWi-Fi接続が完了すると、スマートフォンにWi-Fiモード画面が表示されます。

・カメラの画像モニターには接続完了のメッセージが表示されます。



カメラとスマートフォンのWi-Fi接続は完了しました。
接続後の操作方法などはSnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。

Wi-Fiモードの解除方法

SnapBridgeアプリの●タブで📶ボタンをタップして、Wi-Fi接続を解除してください。表示が📶に切り替わったら、⚙ボタンをタップして[**Wi-Fi modeの解除**]をタップします。

トラブルシューティング

次のような症状が発生した場合の対処法については、こちらをご覧ください。

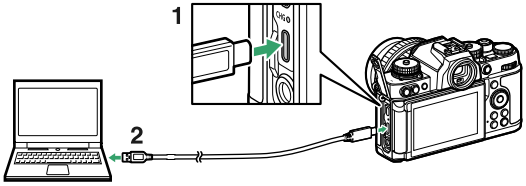
- SnapBridgeアプリの動作や症状などについてはSnapBridgeアプリのオンラインヘルプをご覧ください。
  https://nikonimglib.com/snbr/onlinehelp/ja/index.html
- Wireless Transmitter Utilityについては Wireless Transmitter Utilityのヘルプをご覧ください。

こんなときは	対処方法
「TCP/IPエラーが発生しました」と表示される。	接続設定が正しくありません。無線LANアクセスポイントやパソコンの設定を確認し、カメラの設定をやり直してください（🕮372）。
「メモリーカードが入っていません」と表示される。	メモリーカードが入っていないか、正しくセットされていません。メモリーカードを正しくセットしてください（🕮70）。
途中で送信が中断して画像を送信できなかった。	カメラの電源をいったんOFFにして再度ONにすると送信設定マークが表示された画像の送信を再開します（🕮428）。
通信が不安定になる。	スマートフォンとの接続時に［**チャンネル**］の設定が［**オート**］になっている場合、［**マニュアル**］でチャンネルを設定してください（🕮371）。
	パソコンとの接続時にインフラストラクチャーモードで接続している場合、アクセスポイントのチャンネルの設定を、1～8chの間で設定してください（🕮372）。

パソコン/HDMI対応機器と有線接続する

パソコンとUSBケーブルで接続する

カメラをUSB端子のあるパソコンと接続できます。接続には、別売のUSB ケーブル（🕮515）が必要です。別途お買い求めください。ニコンのソフトウェアNX Studioをインストールすると、画像の転送、閲覧、および調整ができます。無線を使用してカメラとパソコンを接続したい場合は「パソコン/スマートフォンと無線接続する」の「パソコンとWi-Fi接続する」（🕮413）をご覧ください。



1 USB Type-C 端子（カメラ側）
2 USB 端子※（パソコン側）

※ 使用するパソコンの端子に合ったケーブルをお使いください。

NX Studioをインストールする

NX Studioのインストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。ソフトウェアの最新情報、動作環境は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

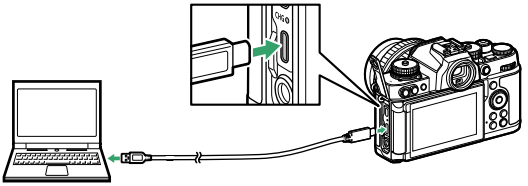
- 下記のホームページからNX Studioの最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/
- 最新のバージョンではない場合、カメラの画像が転送できないことがあります。

NX Studioを使ってパソコンに画像を取り込む

NX Studioの詳しい使い方はヘルプをご覧ください。

1 パソコンに接続する

メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。または市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットにメモリーカードを挿入します。その場合、カードリーダーがお使いのメモリーカードに対応しているかご確認ください。



2 カメラの電源をONにする

- NX StudioのNikon Transfer 2が起動します。Nikon Transfer 2は、NX Studioをインストールすると一緒にインストールされる画像転送ソフトウェアです。
- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選んでください。
- 自動で起動しない場合、NX Studioを起動して「取り込む」アイコンをクリックしてください。

3 [転送開始] をクリックする



記録されている画像がパソコンに取り込まれます。

4 カメラの電源をOFFにする

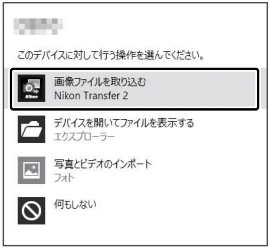
USBケーブルを抜いて接続を解除してください。

Windows 10またはWindows 8.1をお使いの場合

パソコンの設定によっては、図のようなダイアログが表示されます。



この場合は、表示されたダイアログをクリックしてから、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2**］をクリックしてNikonTransfer 2を選びます。



macOSをお使いの場合

Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、macOS付属アプリケーションのイメージキャプチャを起動し、カメラを接続時に開くアプリケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

動画を転送する場合のご注意

このカメラで使用したメモリーカードを他機種のカメラに入れて、そのカメラから動画を転送しないでください。動画が転送されないままファイルが削除されるおそれがあります。

パソコンとの接続時のご注意

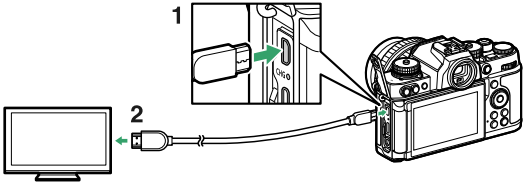
- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源をOFFにしたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
- ケーブルを接続するときは、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- カメラとパソコンを接続するときは、充分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。

USBハブについて

USBハブを使ってカメラをパソコンに接続すると、正しく動作しないことがあります。

HDMI対応機器と接続する

カメラをHDMI端子のあるテレビや外部レコーダーなどと接続することができます。接続には市販のHDMI端子用ケーブル（Type D）が必要です。別途お買い求めください。HDMIケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。



1 HDMI端子（カメラ側）　　2 HDMI端子※（外部機器側）

※　使用する外部機器の端子に合ったケーブルをお使いください。

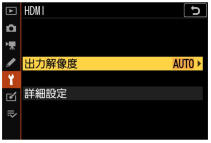
テレビと接続する

- テレビの入力をHDMI入力に切り換え、カメラの電源をONにして▶ボタンを押すと、撮影した画像がテレビの画面に表示されます。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラ側では音量調節できません。
- カメラとSnapBridgeアプリをインストールしたスマートフォンをペアリングしておくと、テレビの画面に表示した画像の再生操作をスマートフォンで行うことができます。詳しくは、SnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。

外部レコーダーと接続する

HDMIに対応した外部レコーダーに接続すると、直接HDMI機器で録画することもできます。セットアップメニュー［**HDMI**］で、HDMI対応機器との接続時の設定を変更できます。一部の外部レコーダーと接続した場合、カメラ側の操

作に連動して外部レコーダーの録画の開始および終了を行うこともできます。



出力解像度

HDMI対応機器への出力解像度を設定できます。［**オート**］を選んだ場合、出力先の映像信号形式を自動的に検出します。

詳細設定

HDMI対応機器接続時の詳細設定を行えます。

項目	内容
［**出力レンジ**］	ビデオ信号の色階調の入力範囲（RGBレンジ）は、HDMI対応機器によって異なります。通常は、HDMI対応機器に合わせて自動で出力レンジを切り換える［**オート**］をお使いください。HDMI対応機器のRGBレンジを識別できない場合は、次のいずれかを選んでください。 ・［**リミテッドレンジ**］：RGBレンジが16～235の機器に適しています。画面で黒色がつぶれて表示される場合に選びます。 ・［**フルレンジ**］：RGBレンジが0～255の機器に適しています。黒色が明るく表示されたり、薄く表示されたりする場合に選びます。

項目	内容
[外部記録制御]	[**する**] に設定すると、Atomos Open Protocolに対応した市販の外部レコーダーとカメラをHDMIケーブルで接続したときに、カメラ側の操作に連動して外部レコーダーの動画記録の開始と終了を行えます。 ・Atomos社製Monitor Recorder（SHOGUN、NINJA、SUMOシリーズ）に対応しています。機能や動作の詳細などについては、外部レコーダーの使用説明書をご覧になるか、Atomos社にお問い合わせください。 ・カスタムメニューc3 [**パワーオフ時間**] の [**半押しタイマー**] で設定した時間が経過すると、画像モニターが自動的に消灯して外部レコーダーにも映像が送られなくなります。[**半押しタイマー**] の設定は、動画を撮影する時間よりも長い時間を設定するか、[**制限なし**] にすることをおすすめします。 ・[**する**] に設定すると、カメラの画像モニターにアイコン（動画記録待機中：**⊡STBY**、動画記録中：**⊡REC**）が表示されます。動画を記録するときは、外部レコーダーの表示や、外部レコーダーで動画が記録されていることをご確認ください。 ・[**する**] に設定すると、テレビなどに外部出力している場合に画像が乱れることがあります。

☑ HDMI出力できない場合

動画の画像サイズ/フレームレートを1920×1080 120p、1920×1080 100pまたは1920×1080スローに設定して撮影している場合、HDMI出力ができません。

☑ 拡大表示をする場合

動画記録中に拡大表示すると、HDMI対応機器では記録している動画が等倍（100%）で表示されます。動画記録待機中は、画像サイズを3840×2160に設定して拡大表示した場合、HDMI対応機器の表示は1920×1080サイズになります。

スピードライトをカメラに装着して撮影する

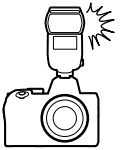
フラッシュ撮影の方法

このカメラで別売スピードライトを使用するには、次の方法があります。

・フラッシュ撮影時は静止画撮影メニュー［**サイレント撮影**］を［**しない**］に設定してください。

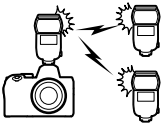
一灯撮影

カメラに装着した別売スピードライトを発光させて撮影します。次ページ以降で詳しく説明します。



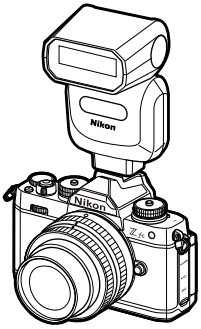
増灯撮影

カメラから離れた位置にあるスピードライト（リモートフラッシュ）をワイヤレスで制御して、増灯撮影ができます（アドバンストワイヤレスライティング（AWL））。詳しくは「複数のスピードライトをワイヤレスで制御する（増灯撮影）」（🕮461）をご覧ください。



別売スピードライトをカメラに装着して撮影する（一灯撮影）

1 **カメラのアクセサリーシューにスピードライトを装着する**



スピードライトの装着方法については、お使いになる各スピードライトの説明書をご覧ください。

2 **カメラとスピードライトの電源をONにする**

スピードライトの充電が開始され、撮影ができる状態になると撮影画面に ϟ（レディーライト）が点灯します。

3 **発光モード（🕮454）とフラッシュモード（🕮455）を設定する**

4 **シャッタースピード、絞り値を設定する**

5 **撮影する**

別売スピードライト使用時のシャッタースピード

別売のスピードライト使用時にカメラで設定できるシャッタースピードは次の通りです。

撮影モード	設定可能なシャッタースピード
AUTO	カメラが自動的に1/200～1/60秒にセット
P、**A**	カメラが自動的に1/200～1/60秒にセット※
S	1/200～30秒
M	1/200～30秒、**Bulb**（バルブ）、**Time**（タイム）

※ フラッシュモードをスローシンクロモード、後幕発光、赤目軽減スローシンクロモードに設定している場合は、シャッタースピードが最長30秒まで延長されます。

他社製フラッシュについてのご注意

カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるフラッシュや、アクセサリーシュー部の接点をショートさせてしまうフラッシュを使用することはできません。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびフラッシュのシンクロ回路を破損することがあります。

スピードライトの調光方式について

別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトをカメラに装着し、スピードライトの発光モードをTTLにセットすると、モニター発光を行う専用TTLモード（i-TTLモード）になり、i-TTL-BL調光などによるフラッシュ撮影ができます。ニコンクリエイティブライティングシステム非対応のスピードライトでは、i-TTLモードでの撮影はできません。i-TTLモード時は、次のような調光方式が利用できます。

調光方式	内容
i-TTL-BL調光	主要被写体と背景光のバランスを考慮したBL（バランス）調光を行います。シャッターボタンを押すと、シャッターの開く直前にスピードライトがモニター発光を行い、被写体と背景光のバランスを考慮した最適な発光量を決定します。

調光方式	内容
スタンダードi-TTL調光	背景の明るさは考慮されず、撮影画面が基準露光量となるように調光します。主要被写体のみを強調する場合や、フラッシュ撮影で露出補正する場合に適しています。

・ カメラの測光モードが［**スポット測光**］に設定されている場合、自動的にスタンダードi-TTL調光になります。

カメラに装着したスピードライトの発光モードを設定する

別売スピードライトSB-500、SB-400、またはSB-300をカメラに装着した場合、スピードライトの発光モードや補正量などは、静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］の［**発光モード**］で設定できます。



- SB-500、SB-400、SB-300以外のスピードライトを装着した場合、発光モードなどの設定はスピードライト本体で行ってください。

項目	内容
［**TTL調光**］	・スピードライトの発光量は、撮影状況に応じて自動的に調節されます。 ・調光補正は静止画撮影メニュー［**フラッシュ調光補正**］で行えます。
［**マニュアル発光**］	・指定した発光量でスピードライトが発光します。 ・［**マニュアル発光量**］でスピードライトの発光量を設定します。

フラッシュモードを設定する

静止画撮影メニュー［**フラッシュモード**］を設定すると、フラッシュの効果を変えることができます。設定できるフラッシュモードは、撮影モードにより異なります。

項目		内容	撮影モード
ϟ	［**通常発光**］（先幕発光）	通常のフラッシュ撮影の場合はこのモードに設定します。撮影モードを**P**または**A**にセットしてフラッシュ撮影すると、カメラが適正露出となるようにシャッタースピードを1/200〜1/60秒（オートFPハイスピードシンクロ時は1/4000 〜 1/60秒）に自動的にセットします。	AUTO、**P**、**S**、**A**、**M**
ϟ◉	［**赤目軽減発光**］	人物撮影に適しています。フラッシュが発光する前に、カメラまたはスピードライトの赤目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。 ・赤目軽減発光機能付きのスピードライトをご使用ください。 ・シャッターがきれるまで、カメラや被写体の人物が動かないように注意してください（シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません）。	AUTO、**P**、**S**、**A**、**M**
ϟ SLOW	［**通常発光+スローシャッター**］（スローシンクロ）	通常発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。 ・シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにご注意ください。 ・三脚の使用をおすすめします。	**P**、**A**
ϟ◉ SLOW	［**赤目軽減+スローシャッター**］（赤目軽減スローシンクロ）	夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。赤目軽減発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。 ・シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにご注意ください。 ・三脚の使用をおすすめします。	**P**、**A**

項目		内容	撮影モード
REAR	［後幕発光］	通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光しますが、後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。 ・撮影モードを**P**または**A**に設定した場合、スローシンクロモードも自動的にセットされます。 ・シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにご注意ください。 ・三脚の使用をおすすめします。	**P**、**S**、**A**、**M**
	［発光禁止］	発光しません。	AUTO、**P**、**S**、**A**、**M**

スタジオ用大型ストロボ使用時について

スタジオ用大型ストロボでは正しい同調が行えないため、後幕発光は使用できません。

調光補正してフラッシュの発光量を変更する

調光補正とは、フラッシュの発光量を意図的に変えることで、背景に対する被写体の明るさを調整したいときなどに使います。静止画撮影メニュー［**フラッシュ調光補正**］で発光量を多くして被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにするなど、発光量の微妙な調整ができます。



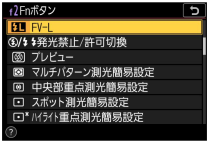
- 調光補正は、－3段～＋1段の範囲を1/3段ステップで設定できます。
- 被写体を明るくしたいときは＋側に、暗くしたいときは－側に補正してください。
- 調光補正が設定されていると、撮影画面に±マークが表示されます。
- 調光補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正量の設定は解除されません。

FVロックして調光量を固定する

別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト使用時は、調光量を固定（FVロック）することにより、被写体に調光量を合わせたまま構図を変えたり、同じ調光量を維持したまま撮影できます。被写体が画面の中央にない場合など、自由な構図で適切な調光量のフラッシュ撮影が可能です。

- FVロック中にカメラのISO感度や絞り値を変更しても、フラッシュの発光量が補正されることによりFVロックは維持されます。
- 撮影モードがAUTOの場合、FVロックはできません。

1 **カスタムメニューf2［カスタムボタンの機能（撮影）］で任意のボタンに［FV-L］を割り当てる**



2 **FVロック対応スピードライトをカメラのアクセサリーシューに装着する**

3 **スピードライトの電源をONにし、発光モードをTTLまたは「モニター発光あり」のAまたはAのいずれかにセットする**

- SB-500、SB-400、またはSB-300をカメラに装着した場合、静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］の［**発光モード**］を［**TTL調光**］に設定します。
- SB-500、SB-400、またはSB-300以外のスピードライトをカメラに装着した場合の発光モードについては、スピードライトの説明書をご覧ください。

4 被写体にピントを合わせる

発光量を合わせたい被写体を画面の中央でとらえ、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせます。





5 モニター発光を行う

・撮影画面に$\lightning$が点灯していることを確認し、[**FV-L**] を割り当てたボタンを押すと、フラッシュがモニター発光を行い、調光量を計算します。

・FVロックが行われ、撮影画面にFVロックマーク（**FL**）が表示されます。



6 構図を変更する



7 シャッターボタンを全押しして撮影する

FVロック中は、被写体の露出を一定にしたまま複数のコマを撮影できます。必要に応じて手順6～7を繰り返してください。

8 FVロックを解除する

もう一度［**FV-L**］を割り当てたボタンを押すと、FVロックが解除され、撮影画面のFVロックマーク（**FL**）が消灯します。

複数のスピードライトをワイヤレスで制御する（増灯撮影）

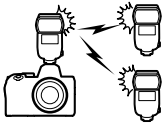
増灯撮影とは

カメラから離れた位置にあるスピードライト（リモートフラッシュ）をワイヤレスで制御して、増灯撮影ができます（アドバンストワイヤレスライティング（AWL））。カメラにスピードライトを装着して撮影する方法については、「スピードライトをカメラに装着して撮影する」（🕮450）をご覧ください。

この章では、カメラおよびカメラに装着している機器での操作を📷、リモートフラッシュとして使用するスピードライトでの操作を🔦で表しています。🔦の手順での詳しい設定方法などは、スピードライトの説明書をご覧ください。

リモートフラッシュを制御する

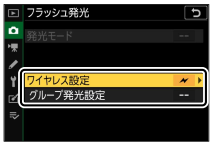
カメラに装着したスピードライトをマスターフラッシュとして使用し、リモートフラッシュを光で制御することを光制御アドバンストワイヤレスライティングと呼びます。光制御に対応するスピードライトについては「ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組み合わせで使用できる機能」（🕮495）をご覧ください。



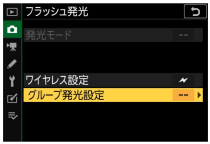
- SB-500をマスターフラッシュとして使用する場合は、スピードライトの設定をカメラ側で行います。詳しくは「SB-500を使用して撮影する」（🕮462）をご覧ください。リモートフラッシュの配置などについては、スピードライトの説明書をご覧ください。
- SB-500以外のスピードライトを使用する場合は、スピードライト側で設定を行う必要があります。詳しくは、スピードライトの説明書をご覧ください。

SB-500を使用して撮影する

別売スピードライトSB-500をカメラのアクセサリーシューに装着すると、静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］に［**ワイヤレス設定**］が表示されます。［**ワイヤレス設定**］で［**光制御AWL**］を選ぶと、グループ発光が行えます。



1 **：［フラッシュ発光］画面で［グループ発光設定］を選んでマルチセレクターの▶を押す**



2 📷：発光モードと調光補正量（または発光量）、チャンネルを設定する



- マスターフラッシュおよびリモートフラッシュグループそれぞれの発光モードと補正量（または発光量）を設定します。
- 設定できる発光モードは次の通りです。

項目	内容
TTL	i-TTL調光を行います。
A	絞り連動外部自動調光を行います。ただし、絞り連動外部自動調光に対応していないスピードライトは発光しません。
M	マニュアル発光を行います。
--（非発光）	リモートフラッシュは発光しません。［**補正量**］は設定できません。

- ［**チャンネル**］を［**3**］に設定してください。



3 📷：リモートフラッシュのチャンネルを［3］に設定する

4 📷：リモートフラッシュにグループの設定をする

- AおよびBのグループを設定できます。
- 同時に使用できるリモートフラッシュの台数に制限はありません。ただし、センサーに他のリモートフラッシュの強い光が入ると正常に動作しない場合があるため、実用上は各グループ3台程度が目安です。

5 **📷/📱：構図を決め、カメラとリモートフラッシュを配置する**

- リモートフラッシュの配置などについては、スピードライトの説明書をご覧ください。
- テスト発光を行って、使用する全てのスピードライトが正常に発光するか確認してください。テスト発光をするには、マスターフラッシュのテスト発光ボタンを押してください。

6 **📷/📱：使用する全てのスピードライトのレディーライトが点灯していることを確認してから撮影する**

☑ 増灯撮影する場合のご注意

- リモートフラッシュは、マスターフラッシュの光がセンサー窓に入る位置に置きます。特に、手持ちで撮影するときは、マスターフラッシュの光が確実にセンサー窓に入るようにしてください。
- リモートフラッシュの直接光または強い反射光が、カメラの撮影レンズ（[**TTL**]設定時）や他のリモートフラッシュの外部自動調光用受光窓（[**A**]設定時）に入らないようにしてください。光が入ると、適正露出が得られません。
- [**マスターフラッシュ**]の[**発光モード**]を[**---**]にした場合でも、リモートフラッシュの発光タイミングを合わせるため、撮影中にマスターフラッシュが微小発光を行います。近距離撮影を行う場合、この少量発光が画像に写り込む場合があります。画像への影響を防ぐには、低いISO感度、または小さい絞り（大きい絞り値）で撮影してください。
- 撮影準備と配置が終わったら、必ずテスト撮影を行って、画像を確認してください。

困ったときは

お問い合わせになる前に

カメラの動作がおかしいときは、次の手順を行うことで問題が解決する場合があります。ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前にお試しください。

STEP 1

カメラの動作がおかしいときの対処方法を確認して、カメラを点検する。

次のページで対処方法が確認できます。

- 故障かな？と思ったら（🕮468）
- 警告表示と警告メッセージ（🕮476）

STEP 2

電源をOFFにしてバッテリーを取り出し、約1分後に再度バッテリーを入れてカメラの電源をONにする。

✅ 撮影直後はメモリーカードに画像の記録を行っている場合があります。バッテリーを取り出すまで、撮影後は1分以上お待ちください。

STEP 3

ニコンのホームページを確認する。

- サポートサイトのQ&Aなどで解決方法を探すことができます。
  https://www.nikon-image.com/support/
- ニコンダウンロードセンターで、カメラの最新のファームウェアを確認してください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/

STEP 4

ニコンサービス機関に問い合わせる。

☑ カメラの初期化について

- 機能の組み合わせによって、使用したい機能（メニュー項目）が設定できない場合があります。使用したいメニュー項目がグレーアウトしているときなどにセットアップメニュー［**カメラの初期化**］を実行すると、メニューが選べるようになることがあります。
- カメラを初期化すると、無線接続設定や著作権情報などの撮影者が入力したデータも初期化されます。初期化した設定は元に戻せないのでご注意ください。

故障かな？と思ったら

次のような症状が発生した場合の対処法については、こちらをご覧ください。

電源・表示関連

●電源ONの状態で、カメラの操作ができない

- 画像の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
- 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。
- 電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。
  - 記録中であったデータは保存されません。
  - 保存済みのデータはバッテリーの取り外しでは失われません。

●ファインダーまたは画像モニターが表示されない

- モニターモードを変更していませんか？　**INFO**ボタンを押して、表示設定を切り換えてください。
- セットアップメニュー［**モニターモードの限定**］で表示設定を限定していませんか？　適切な表示設定に変更してください。
- アイセンサーにゴミやほこりなどが付着していると、アイセンサーが正しく反応しない場合があります。ブロアーで軽く吹き払ってください。

●ファインダー内がはっきり見えない

- ファインダー内の見え方は、視度調節ダイヤルを回して調節できます。
- 視度調節しても被写体がはっきり見えない場合は、フォーカスモードを**AF-S**、AFエリアモードをシングルポイントAFに設定します。次に、中央のフォーカスポイントを選んで、コントラストの高い被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。その状態で被写体が最もはっきり見えるように調節してください。

●ファインダー内や画像モニター、表示パネルの表示がすぐに消えてしまう

カスタムメニューc3［**パワーオフ時間**］で、表示が消えるまでの時間を設定できます。

撮影関連

●電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる

メモリーカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。

●シャッターがきれない

・残量のあるメモリーカードが入っていますか？
・メモリーカードがロックされていませんか？
・撮影モード**M**でシャッタースピードを**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）に設定し、そのまま撮影モードを**S**に変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影してください。
・セットアップメニュー［**カードなし時レリーズ**］が［**レリーズ禁止**］になっていませんか？

●シャッターがきれるのが遅い

カスタムメニューd3［**露出ディレーモード**］を［**しない**］にしてください。

●連続撮影できない

HDR撮影時は、連続撮影できません。

●ピントが合わない

・マニュアルフォーカスになっていませんか？　オートフォーカスで撮影するには、フォーカスモードを**AF-A**、**AF-S**、**AF-C**または**AF-F**に設定してください。
・次のような被写体では、オートフォーカスではピントが合わせづらい場合があります。マニュアルフォーカス、フォーカスロックを利用して撮影してください。明暗差がはっきりしない/遠くのものと近くのものが混在する/連続した繰り返しパターン/輝度差が著しく異なる/背景に対して主要被写体が小さい/絵柄が細かい

●電子音が鳴らない

・静止画撮影メニュー［**サイレント撮影**］が［**する**］になっていませんか？
・フォーカスモードを**AF-C**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。
・セットアップメニュー［**電子音**］の［**電子音設定**］を［**無効**］以外に設定すると電子音が鳴ります。
・動画モード時は電子音は鳴りません。

●設定できるシャッタースピードの範囲が狭い

フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます。フラッシュ撮影時の同調シャッタースピードは、カスタムメニューe1［**フラッシュ撮影同調速度**］で、1/200〜1/60秒の範囲で設定できます。［**1/200秒（オート FP）**］に設定して、別売のオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを使用すると、全シャッタースピードに同調可能なオートFPハイスピードシンクロが可能です。

●シャッターボタンを半押ししても、フォーカスロックされない

フォーカスモードを**AF-C**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、AF-ON（OK）ボタンを押してフォーカスをロックしてください。

●フォーカスポイントを選べない

AFエリアモードが［**オートエリアAF**］、［**オートエリアAF（人物）**］、［**オートエリアAF（動物）**］のときは、選べません。

●画像の記録に時間がかかる

静止画撮影メニュー［**長秒時ノイズ低減**］が［**する**］になっていませんか？

●撮影画面に表示された明るさと、撮影した画像の明るさ（露出）が違う

・カスタムメニューd7［**Lvに撮影設定を反映**］を［**しない**］に設定すると、露出や色味の設定を変えても画像モニターの表示には反映されません。
・セットアップメニュー［**モニターの明るさ**］または［**ファインダーの明るさ**］で撮影画面の明るさを調整しても、撮影した画像には反映されません。

●動画モード時に画面にちらつきや横縞が生じる

動画撮影メニュー［**フリッカー低減**］の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせてください。

●横帯状の明るい部分が生じる

撮影している周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合には、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生することがあります。

●画像にゴミが写り込む

・レンズの前面または背面（マウント側）が汚れていませんか？
・撮像素子の前面にゴミが付着していませんか？ 「撮像素子前面をブロアーで掃除する」（🕮527）をご覧いただくか、ニコンサービス機関にご相談ください。

●ボケ像が欠けて写る

高速のシャッタースピードや大口径レンズを使用した撮影では、ボケ像が欠けて写ることがあります。ボケ像の欠けが気になるときは、シャッタースピードを遅くしたり、絞り値を大きくすると目立たなくなります。

●ゴースト、フレアが目立つ

太陽や高輝度の照明などの明るい光源が含まれるなどのシーンを撮影したときに、画像上にゴーストやフレアが目立つ場合があります。レンズにフードを付ける、あるいは光源を画角から大きく外すことで目立ちにくくなります。また、レンズからフィルターを外す、シャッタースピードを変更する、サイレント撮影するなどを試していただくと目立ちにくくなることがあります。

●撮影が開始されなかったり、自動的に終了する

・次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、自動的に終了することがあります。
- 撮影時の気温が高い場合
- 動画撮影を長時間行った場合
- 連続撮影を行った直後など

・カメラが熱くなって撮影できない場合は、カメラ内部の温度が下がるまで電源をOFFにしてください。このとき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありません。

●撮影画面にノイズ（ざらつき、むら、すじ、輝点）が発生する

・ISO感度やシャッタースピード、アクティブD-ライティングなどのカメラの設定を変更してください。
・長時間露出撮影や、カメラが高温になるような環境で撮影をする場合、ISO感度を高く設定しているとノイズが強調されることがあります。
・長時間カメラを使用すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ざらつき、むら、輝点が発生する場合があります。撮影時以外は、電源をOFFにしてください。
・撮影時、🔍ボタンで表示を拡大すると、ざらつき、むら、すじや色の変化が発生しやすくなります。
・撮影した画像に発生するノイズは、撮影画面で表示されたノイズと見え方が異なることがあります。

●ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない

被写体が明るすぎるか、暗すぎます。

●ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータとして設定できない画像がある

この機種以外のカメラで撮影した画像は、プリセットマニュアルデータとして設定することはできません。

●ホワイトバランス（WB）ブラケティング撮影ができない

・RAWを含む画質モードの場合、ホワイトバランスブラケティング撮影はできません。
・ホワイトバランスブラケティングと多重露出またはHDR（ハイダイナミックレンジ）による撮影を同時に行うことはできません。

●［ピクチャーコントロール］の効果が安定しない

［**ピクチャーコントロール**］、［**カスタムピクチャーコントロール**］が［**オート**］に設定されているか、それぞれの調整画面で［**クイックシャープ**］、［**コントラスト**］、［**色の濃さ（彩度）**］のいずれかが［**A**］（オート）に設定されています。ピクチャーコントロールの効果を一定にするには、これらの項目を［**A**］（オート）以外に設定してください。

●測光モードが変更できない

AEロック中は、測光モードを変更できません。

●露出補正ができない

撮影モードが**M**の場合、露出補正を行っても、露出インジケーターの表示が変わるだけで、シャッタースピードと絞り値は変化しません。

●長時間露出撮影時に色むらが発生する

シャッタースピードを**Bulb**（バルブ）または**Time**（タイム）にした場合など、長時間露出で撮影すると、画像に色むらが発生することがあります。この現象は、静止画撮影メニュー［**長秒時ノイズ低減**］を［**する**］に設定することで低減できます。

●AF補助光ランプが光らない

・カスタムメニューa11［**内蔵AF補助光の照射設定**］が［**しない**］になっていませんか？
・動画モード時はAF補助光は照射しません。
・フォーカスモードを**AF-C**に設定している場合または**AF-A**に設定していて**AF-C**で撮影している場合、および**MF**の場合、AF補助光は照射しません。

●動画に音声が録音されない

・動画撮影メニュー［**マイク感度**］が［**録音しない**］になっていませんか？
・動画撮影メニュー［**マイク感度**］の［**マニュアル**］で、低い感度に設定されていませんか？

再生関連

●RAW画像が表示されない

［**画質モード**］を［**RAW＋FINE**］、［**RAW＋NORMAL**］、［**RAW＋BASIC**］にして撮影した画像は、JPEG画像しか再生されません。

●他のカメラで撮影した画像が表示されない

この機種以外のカメラで撮影した画像は、正常に表示されないことがあります。

●全ての画像が表示されない

再生メニュー［**再生フォルダー設定**］を［**全てのフォルダー**］にしてください。

●画像の縦位置・横位置が正しく表示されない

- 再生メニュー［**縦位置自動回転**］が［**しない**］になっていませんか？
- 撮影直後の画像確認では自動回転はしません。
- カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

●画像が削除できない

- メモリーカードがロックされていませんか？
- 画像にプロテクトが設定されていませんか？

●画像が編集できない

- このカメラでは編集できない画像です。
- メモリーカードの残量は充分にありますか？

●画像を記録したのに［撮影画像がありません。］と表示される

再生メニュー［**再生フォルダー設定**］を［**全てのフォルダー**］にしてください。

●RAW画像をプリントできない

- 画像編集メニューの［**RAW現像**］などでRAW画像からJPEG画像を作成してからプリントしてください。
- RAW画像はパソコンに転送してから、NX Studioなどのソフトウェアを使ってプリントしてください。

●画像がHDMI対応機器で再生できない

HDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください。

●画像がHDMI対応機器で正しく表示されない

- HDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください。

・セットアップメニュー［**HDMI**］にある［**詳細設定**］の［**外部記録制御**］が［**する**］になっていませんか？
・セットアップメニュー［**カメラの初期化**］を実行すると正しく表示されることがあります。

●［ピクチャーコントロール］、［アクティブD-ライティング］、［ヴィネットコントロール］などの効果がパソコンで確認できない

RAW画像で記録した場合、当社製ソフトウェア以外では機能しません。RAW画像の現像はNX Studioをお使いください。

●画像をパソコンに転送できない

お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送できないことがあります。カードリーダーなどの機器を使って、メモリーカードの画像をパソコンに保存してください。

Wi-Fi（無線LAN）およびBluetooth関連

●スマートフォンにカメラのSSID（ネットワーク名）が表示されない

・セットアップメニューの［**機内モード**］が［**無効**］になっていること、および［**スマートフォンと接続**］にある［**ペアリング（Bluetooth）**］の［**Bluetooth通信機能**］が［**有効**］になっていることを確認してください。
・セットアップメニュー［**スマートフォンと接続**］にある［**Wi-Fi接続**］が有効になっていることを確認してください。
・スマートフォンの無線機能をOFFにしてからONにし直してください。

●プリンターなどの無線通信機器と接続できない

このカメラは、スマートフォンやパソコン、リモコンML-L7以外の機器とは無線接続できません。

●画像がスマートフォンに自動送信できない

・SnapBridgeアプリの[●]タブで［**自動連携**］>［**連携モード**］を［**フォアグラウンド**］に設定している場合、SnapBridgeアプリを起動していても他の画面が表示されている状態（バックグラウンドで起動中）は自動転送されません。SnapBridgeアプリの画面がスマートフォンに表示されている状態（SnapBridgeアプリがフォアグラウンドで起動中）で使用してください。
・カメラとスマートフォンがペアリングされていることを確認してください。
・カメラとスマートフォンがBluetooth通信可能な状態か確認してください。

●位置情報がスマートフォンから取得できない

・お使いのスマートフォンのOSおよびSnapBridgeアプリのバージョンによっては、位置情報の取得や表示ができない場合があります。

・SnapBridgeアプリの●タブで［**自動連携**］>［**連携モード**］を［**フォアグラウンド**］に設定している場合、位置情報はカメラに送られません。位置情報は、カメラから静止画が転送された後に、スマートフォン側で静止画に記録されます。

その他

●撮影日時が正しく表示されない

カメラの内蔵時計は合っていますか？　カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

●表示されているメニュー項目が選べない

一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選べない場合があります。

●［リモコン（ML-L7）設定］が選べない、［リモコン（ML-L7）設定］の［リモコン登録］でリモコンML-L7 とペアリングできない

・充分に充電されたバッテリーを使用してください。

・セットアップメニューの［**機内モード**］が［**無効**］になっていることを確認してください。

・カメラとパソコンをUSB接続して通信しているときは、リモコンは使用できません。USB接続を解除してください。

●リモコンML-L7を操作してもカメラが反応しない

・カメラとリモコン ML-L7（別売）が接続されていません。リモコンの電源ボタンを押して接続してください。撮影画面に📡が表示されていない場合は、再度ペアリングして接続してください（🕮522）。

・セットアップメニュー［**リモコン（ML-L7）設定**］の［**リモコン接続**］が［**有効**］になっていることを確認してください。

・セットアップメニューの［**機内モード**］が［**無効**］になっていることを確認してください。

・カメラとパソコンをUSB接続して通信しているときは、リモコンは使用できません。USB接続を解除してください。

警告表示と警告メッセージ

撮影画面に表示される警告表示と警告メッセージの意味は次の通りです。

警告表示

撮影画面に次の警告が表示されます。

表示	原因	対処方法
	バッテリー残量は残りわずかです。	バッテリー交換の準備をしてください。
F−− （表示パネルにも［--］を点滅で表示）	レンズが正しく装着されていません。	・レンズを正しく装着してください。 ・沈胴式のレンズをご使用の場合、レンズを繰り出してください。 ・マウントアダプターを使用して非CPUレンズを装着すると表示されますが、異常ではありません。
Bulb （点滅）	撮影モードが**S**のときにシャッタースピードが**Bulb**（バルブ）にセットされています。	・シャッタースピードを変えてください。 ・撮影モード**M**で撮影してください。
Time （点滅）	撮影モードが**S**のときにシャッタースピードが**Time**（タイム）にセットされています。	・シャッタースピードを変えてください。 ・撮影モード**M**で撮影してください。

表示	原因	対処方法
（シャッタースピード表示、絞り値表示のいずれかと、露出インジケーターが点滅）	被写体が明るすぎてカメラの制御範囲を超えています。	・ISO感度を低くしてください。 ・撮影モードが**P**のときは市販のNDフィルター（光量調節用）を使用してください（**S**、**A**のときに下記の操作を行っても警告表示が消えない場合も同様に対応してください）。 ・撮影モードが**S**のときはシャッタースピードをより高速側にセットしてください。 ・撮影モードが**A**のときは絞りを絞り込んでください（より大きい数値）。
	被写体が暗すぎて、カメラの制御範囲を超えています。	・ISO感度を高くしてください。 ・撮影モードが**P**のときは別売スピードライトを使用してください（**S**、**A**のときに下記の操作を行っても警告表示が消えない場合も同様に対応してください）。 ・撮影モードが**S**のときはシャッタースピードをより低速側にセットしてください。 ・撮影モードが**A**のときは絞りを開いてください（より小さい数値）。
ϟ（点滅）	スピードライトがフル発光しました。	撮影に必要な光量が不足している可能性があります。撮影距離、絞り値、調光範囲、ISO感度などをご確認ください。
	被写体が暗く、露出が不足しています。	別売スピードライトを使用してください。
Full（点滅）	・画像を記録する空き容量がありません。 ・カメラが扱えるファイル数をオーバーしています。	・メモリーカードに記録されている画像を削除して、カードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 ・新しいメモリーカードに交換してください。

表示	原因	対処方法
Err （点滅）	撮影中に何らかの異常を検出しました。	もう一度シャッターボタンを押してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。
Card （点滅）	メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされています。	メモリーカードのロックを解除してください（🕮545）。

警告メッセージ

撮影画面に次のメッセージが表示されます。

●撮影できません。バッテリーを交換してください。

バッテリーが消耗しています。

- バッテリーを交換してください。
- バッテリーを充電してください。

●お使いのバッテリーと正しく通信ができないためカメラの動作を停止します。安全にお使いいただくために専用バッテリーと交換してください。

- バッテリーとの情報通信ができません。
  - このバッテリーは使用できません。ニコンサービス機関にご相談ください。
  - 極端に消耗したバッテリーを使用している場合は、充電してください。
- カメラと通信できないバッテリーを使用しています。
  - カメラと通信できないバッテリーを使用している場合は、ニコン純正品のバッテリーと交換してください。

●メモリーカードが入っていません。

メモリーカードが入っていないか、正しくセットされていません。

- メモリーカードを正しくセットしてください。

●メモリーカードにアクセスできません。カードを交換してください。

メモリーカードへのアクセス異常です。

- このカメラ用のメモリーカードであるかどうかを確認してください。
- 繰り返し抜き差ししてもエラーが解消しない場合は、メモリーカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関までご連絡願います。

●メモリーカードが書き込み禁止になっています。

メモリーカードの書き込み禁止スイッチがロックされています。

・メモリーカードのロックを解除してください（🕮545）。

●このメモリーカードは初期化（フォーマット）されていません。フォーマットしてください。

メモリーカードが正しく初期化されていません。
・メモリーカードを初期化してください。
・正しく初期化されたメモリーカードに交換してください。

●マウントアダプター FTZのファームウェアをバージョンアップしてください。

マウントアダプターのファームウェアバージョンが最新ではありません。
・マウントアダプターのファームウェアを最新版にバージョンアップしてください。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページでご確認ください。

●動画記録を中断します。しばらくお待ちください。

動画の書き込み速度に対応していないメモリーカードが使用されています。
・書き込み速度に対応したメモリーカードに交換するか、動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］の設定を変更してください。

●カメラが高温になっています。温度がさがるまで使用できません。しばらくおまちください。電源をOFFにします。

・カメラ内部の温度が高くなっています。
- カメラ内部の温度が下がるまで、撮影を一時休止してください。
・バッテリーの温度が高くなっています。
- バッテリーをカメラから取り出して、バッテリーの温度が下がるまでお待ちください。

●撮影画像がありません。

・撮影画像がありません。
- 画像が記録されているメモリーカードを入れてください。
・再生するフォルダーの指定に問題があります。
- 再生メニューの［**再生フォルダー設定**］で、表示可能な画像があるフォルダーを選んでください。

●このファイルは表示できません。

・アプリケーションソフトで編集された画像やDCF規格外の画像ファイルのため再生できません。
・画像ファイルに異常があるため再生できません。
- アプリケーションソフトで編集された画像を上書き保存しないでください。

●このファイルは選択できません。

編集できない画像です。

・このカメラで撮影または編集した画像しか画像編集できません。

●この動画は編集できません。

編集できない動画です。

・このカメラで撮影した動画しか編集できません。

・2秒未満の動画は編集できません。

資料

使用できるレンズ

このカメラでは全てのZマウントレンズをお使いいただけます。

NIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR

レンズ名にNIKKOR Zが含まれていることをご確認ください。

ヒント: 使用できるFマウントレンズについて

マウントアダプターFTZを使用すると、Zマウント用カメラにFマウントレンズを装着することができます。

・ 装着するレンズによっては、一部の機能に制限があります。

Zマウント用カメラで使用できるFマウントレンズおよび制限などの詳しい情報については、「使用できるFマウントレンズについて」をご覧ください。「使用できるFマウントレンズについて」はニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

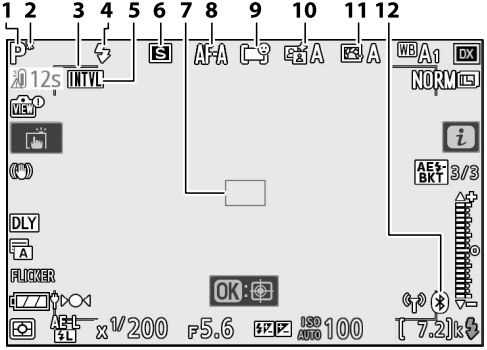
https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/491/FTZ.html

全画面表示

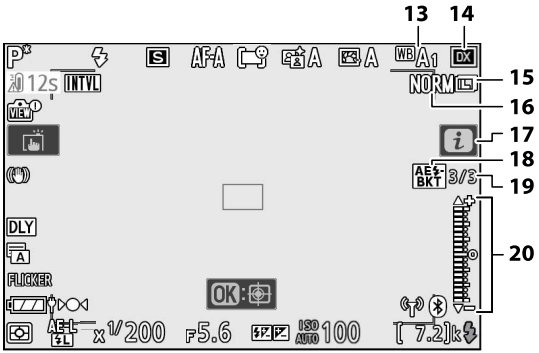
説明のため、全ての表示を点灯させています。

画像モニター

▮▮ 静止画モードの場合



1	撮影モード（🕮115）	7	フォーカスポイント（🕮77、🕮92）
2	プログラムシフトマーク（🕮116）	8	フォーカスモード（🕮90）
3	AFエリアフレーム（🕮92）	9	AFエリアモード（🕮92）
4	フラッシュモード（🕮455）	10	アクティブD-ライティング（🕮151）
5	インターバルタイマー設定マーク（🕮271） 🕒マーク（🕮76） カードなしマーク（🕮70、🕮485）	11	ピクチャーコントロール（🕮134）
6	レリーズモード（🕮152）	12	Bluetooth通信マーク（🕮370） 機内モード（🕮369）



13 ホワイトバランス（🕮105、🕮139、🕮226）

14 撮像範囲（🕮222）

15 画像サイズ（🕮148）

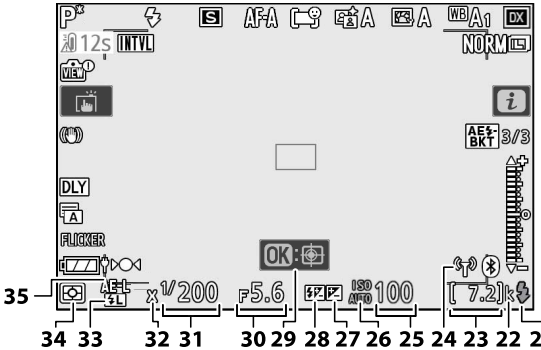
16 画質モード（🕮147）

17 **i**メニュー（🕮132）

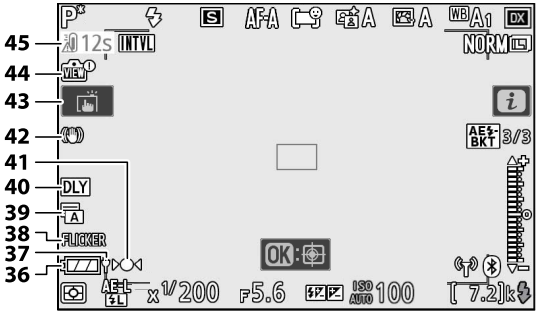
18 AE・フラッシュブラケティングマーク（🕮247）
WBブラケティングマーク（🕮252）
ADLブラケティングマーク（🕮254）
HDRマーク（🕮266）
多重露出マーク（🕮259）

19 AE・フラッシュブラケティング撮影コマ数表示（🕮247）
WBブラケティング撮影コマ数表示（🕮252）
ADLブラケティング撮影コマ数表示（🕮254）
HDR露出差（🕮266）
多重露出撮影コマ数（🕮259）

20 インジケーター
露出（🕮120）
露出補正（🕮126）
オートブラケティング（🕮246）



21	レディーライト（🕮451）	28	調光補正マーク（🕮457）
22	1000コマ以上補助表示（🕮72）	29	ターゲット追尾AF（🕮99）
23	記録可能コマ数（🕮72、🕮547）	30	絞り値（🕮118、🕮118）
24	Wi-Fi通信マーク（🕮150） リモコン接続マーク（🕮522）	31	シャッタースピード（🕮116、🕮118）
25	ISO感度（🕮124）	32	フラッシュシンクロマーク（🕮328）
26	ISO感度マーク（🕮124） ISO-AUTOマーク（🕮224）	33	FVロックマーク（🕮458）
27	露出補正マーク（🕮126）	34	測光モード（🕮149）
		35	**AE-L**マーク（🕮129）



36	バッテリー残量表示（🕮71）	41	ピント表示（🕮102）
37	USB給電中表示（🕮376）	42	手ブレ補正（🕮156）
38	**FLICKER**アイコン（🕮242）	43	タッチ撮影機能（🕮50、🕮100）
39	シャッター方式（🕮325） サイレント撮影（🕮110）	44	Lvに撮影設定を反映（🕮327）
		45	温度上昇警告
40	露出ディレーモード（🕮325）		

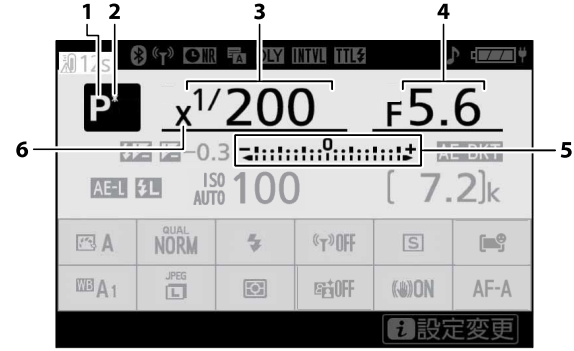
温度上昇警告について

- カメラ内部の温度が上昇すると、温度上昇警告が表示され、カウントダウンが表示されます。カウントダウンが0になると、撮影画面の表示が消灯します。
- 消灯する30秒前から赤字で表示されます。撮影条件によっては、電源をONにした後すぐにカウントダウンが始まることがあります。

メモリーカードが入っていないときの表示について

撮影画面に**【–E–】**マークとカードなし警告が表示されます。

● インフォ画面



1 撮影モード（🕮115）

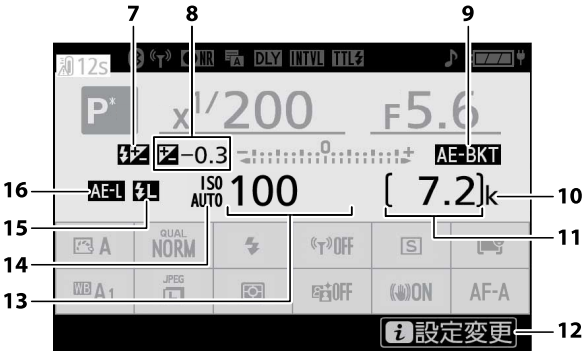
2 プログラムシフトマーク（🕮116）

3 シャッタースピード（🕮116、🕮118）

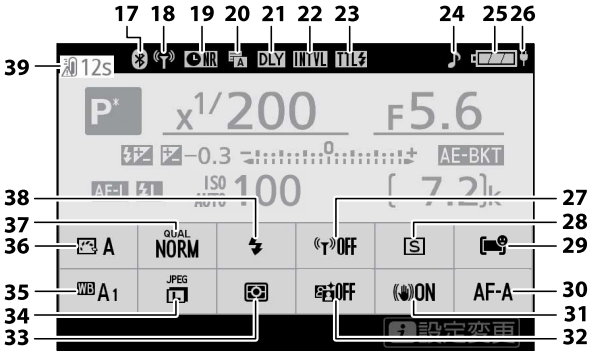
4 絞り値（🕮118、🕮118）

5 インジケーター
- 露出（🕮120）
- 露出補正（🕮126）
- AE・フラッシュブラケティング（🕮247）
- WBブラケティング（🕮252）
- ADLブラケティング（🕮254）

6 フラッシュシンクロマーク（🕮328）

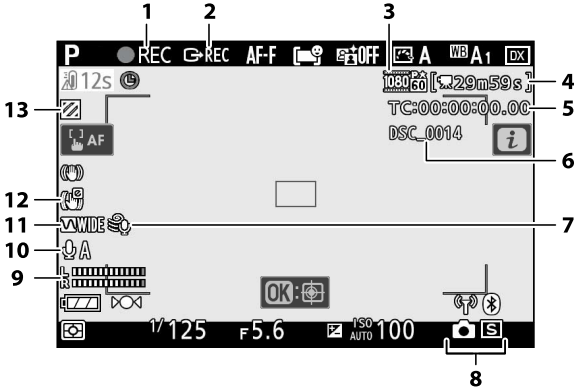


7	調光補正マーク（🕮457）
8	露出補正マーク（🕮126） 露出補正値（🕮126）
9	AE・フラッシュブラケティングマーク（🕮247） WBブラケティングマーク（🕮252） ADLブラケティングマーク（🕮254） HDRマーク（🕮266） 多重露出マーク（🕮259）
10	1000コマ以上補助表示（🕮72）
11	記録可能コマ数（🕮72、🕮547）
12	**i**メニュー（🕮132）
13	ISO感度（🕮124）
14	ISO感度マーク（🕮124） ISO-AUTOマーク（🕮224）
15	FVロックマーク（🕮458）
16	**AE-L**マーク（🕮129）



17	Bluetooth通信マーク（🕮370） 機内モード（🕮369）
18	Wi-Fi通信マーク（🕮150） リモコン接続マーク（🕮522）
19	長秒時ノイズ低減マーク（🕮239）
20	シャッター方式（🕮325） サイレント撮影（🕮110）
21	露出ディレーモード（🕮325）
22	インターバルタイマー設定マーク（🕮271） マーク（🕮76）
23	発光モード（🕮454）
24	電子音マーク（🕮368）
25	バッテリー残量表示（🕮71）
26	USB給電中表示（🕮376）
27	Wi-Fi通信機能（🕮150）
28	レリーズモード（🕮152）
29	AFエリアモード（🕮92）
30	フォーカスモード（🕮90）
31	手ブレ補正（🕮156）
32	アクティブD-ライティング（🕮151）
33	測光モード（🕮149）
34	画像サイズ（🕮148）
35	ホワイトバランス（🕮105、🕮139、🕮226）
36	ピクチャーコントロール（🕮134）
37	画質モード（🕮147）
38	フラッシュモード（🕮455）
39	温度上昇警告

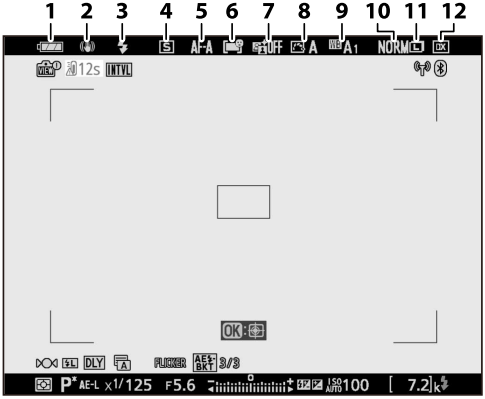
動画モードの場合



1	録画中マーク（🕮82） 動画記録禁止マーク（🕮84）
2	外部記録制御（🕮447）
3	画像サイズ/フレームレート/画質（🕮160）
4	動画記録残り時間（🕮82）
5	タイムコード（🕮309）
6	ファイル名（🕮222）
7	風切り音低減マーク（🕮164）
8	静止画撮影のレリーズモード（🕮306）
9	音声レベルインジケーター（🕮163）
10	マイク感度（🕮163）
11	録音帯域（🕮308）
12	電子手ブレ補正マーク（🕮166）
13	ハイライト表示（🕮353）

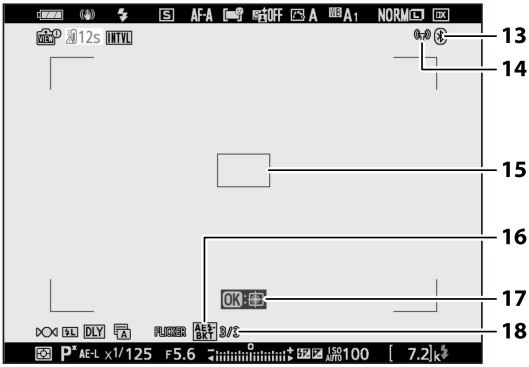
ファインダー

静止画モードの場合



1 バッテリー残量表示（🕮71）
2 手ブレ補正（🕮156）
3 フラッシュモード（🕮455）
4 レリーズモード（🕮152）
5 フォーカスモード（🕮90）
6 AFエリアモード（🕮92）
7 アクティブD-ライティング（🕮151）
8 ピクチャーコントロール（🕮134）
9 ホワイトバランス（🕮105、🕮139、🕮226）
10 画質モード（🕮147）
11 画像サイズ（🕮148）
12 撮像範囲（🕮222）

全画面表示



13 Bluetooth通信マーク（🕮370）
機内モード（🕮369）

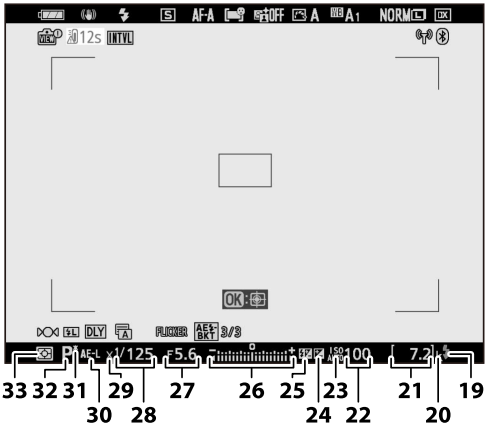
14 Wi-Fi通信マーク（🕮150）
リモコン接続マーク（🕮522）

15 フォーカスポイント（🕮77、🕮92）

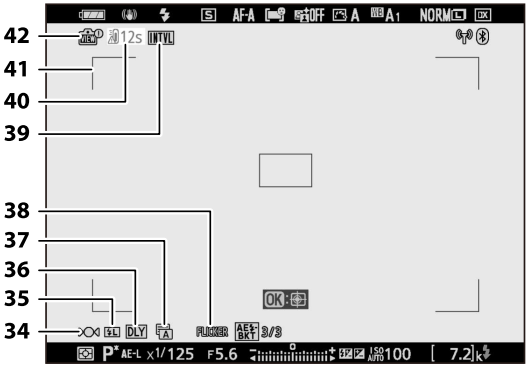
16 AE・フラッシュブラケティングマーク（🕮247）
WBブラケティングマーク（🕮252）
ADLブラケティングマーク（🕮254）
HDRマーク（🕮266）
多重露出マーク（🕮259）

17 ターゲット追尾AF（🕮99）

18 AE・フラッシュブラケティング撮影コマ数表示（🕮247）
WBブラケティング撮影コマ数表示（🕮252）
ADLブラケティング撮影コマ数表示（🕮254）
HDR露出差（🕮266）
多重露出撮影コマ数（🕮259）

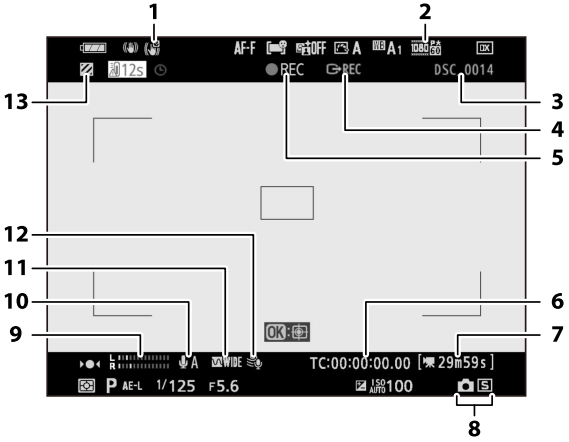


19	レディーライト（🕮451）
20	1000コマ以上補助表示（🕮72）
21	記録可能コマ数（🕮72、🕮547）
22	ISO感度（🕮124）
23	ISO感度マーク（🕮124） ISO-AUTOマーク（🕮224）
24	露出補正マーク（🕮126）
25	調光補正マーク（🕮457）
26	インジケーター 露出（🕮120） 露出補正（🕮126） オートブラケティング（🕮246）
27	絞り値（🕮118、🕮118）
28	シャッタースピード（🕮116、🕮118）
29	フラッシュシンクロマーク（🕮328）
30	**AE-L**マーク（🕮129）
31	プログラムシフトマーク（🕮116）
32	撮影モード（🕮115）
33	測光モード（🕮149）



34	ピント表示（🕮102）
35	FVロックマーク（🕮458）
36	露出ディレーモード（🕮325）
37	シャッター方式（🕮325） サイレント撮影（🕮110）
38	**FLICKER**アイコン（🕮242）
39	インターバルタイマー設定マーク（🕮271） マーク（🕮76） カードなしマーク（🕮70、🕮485）
40	温度上昇警告
41	AFエリアフレーム（🕮92）
42	Lvに撮影設定を反映（🕮327）

動画モードの場合



1	電子手ブレ補正マーク（🕮166）
2	画像サイズ/フレームレート/画質（🕮160）
3	ファイル名（🕮222）
4	外部記録制御（🕮447）
5	録画中マーク（🕮82） 動画記録禁止マーク（🕮84）
6	タイムコード（🕮309）
7	動画記録残り時間（🕮82）
8	静止画撮影のレリーズモード（🕮306）
9	音声レベルインジケーター（🕮163）
10	マイク感度（🕮163）
11	録音帯域（🕮308）
12	風切り音低減マーク（🕮164）
13	ハイライト表示（🕮353）

使用できるスピードライト

ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）について

ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）はニコンのスピードライトとカメラのデータ通信方式を改良したシステムで、さまざまな機能を提供します。

ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組み合わせで使用できる機能

スピードライト	🕮
SB-5000	495
SB-910/SB-900/SB-800	497
SB-700	499
SB-600	500
SB-500	502

スピードライト	🕮
SB-R200	504
SB-400	505
SB-300	507
SU-800	508

SB-5000

使用できる機能		
1灯		
i-TTL	i-TTL-BL調光	✓※1
	スタンダードi-TTL調光	✓※2
A	絞り連動外部自動調光	✓
A	外部自動調光	—
GN	距離優先マニュアル発光	✓

使用できる機能		
M	マニュアル発光	✓
RPT	リピーティングフラッシュ	✓
光制御アドバンストワイヤレスライティング		
マスターフラッシュ		
リモートフラッシュへの発光指示		✓
i-TTL	i-TTL調光	✓
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
㊎A	絞り連動外部自動調光	✓
A	外部自動調光	—
M	マニュアル発光	✓
RPT	リピーティングフラッシュ	✓
リモートフラッシュ		
i-TTL	i-TTL調光	✓
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	✓※3
M	マニュアル発光	✓
RPT	リピーティングフラッシュ	✓
電波制御アドバンストワイヤレスライティング		—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）		✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）		—
オートFPハイスピードシンクロ		✓※4
FVロック		✓※5
赤目軽減発光		✓

使用できる機能	
カメラ起動モデリング発光	—
ユニファイドフラッシュコントロール	—
カメラからのスピードライトファームアップ	✓

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 スピードライト側でも設定できます。
※3 ㊎**A**と**A**の選択は、マスターフラッシュの設定に準じます。
※4 発光モードが**i-TTL**、㊎**A**、**A**、**GN**、**M**の場合のみ動作します。
※5 発光モードが**i-TTL**、「モニター発光あり」の㊎**A**または「モニター発光あり」の**A**の場合のみ動作します。

SB-910/SB-900/SB-800

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	✓※1
		スタンダードi-TTL調光	✓※2
	㊎**A**	絞り連動外部自動調光	✓※3
	A	外部自動調光	✓※3
	GN	距離優先マニュアル発光	✓
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	✓
光制御アドバンストワイヤレスライティング			
	マスターフラッシュ		
		リモートフラッシュへの発光指示	✓
		i-TTL i-TTL調光	✓
		[A : B] クイックワイヤレスコントロール	—

使用できる機能			
	㊎A	絞り連動外部自動調光	✓
	A	外部自動調光	—
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	✓
リモートフラッシュ			
	i-TTL	i-TTL調光	✓
	[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
	㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	✓※4
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	✓
電波制御アドバンストワイヤレスライティング			—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）			✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）			—
オートFPハイスピードシンクロ			✓※5
FVロック			✓※6
赤目軽減発光			✓
カメラ起動モデリング発光			—
ユニファイドフラッシュコントロール			—
カメラからのスピードライトファームアップ			✓※7

※1　スポット測光時は設定できません。
※2　スピードライト側でも設定できます。
※3　**㊎A**と**A**の選択は、スピードライトのカスタム設定で行います。
※4　**㊎A**と**A**の選択は、マスターフラッシュの設定に準じます。
※5　発光モードが**i-TTL**、**㊎A**、**A**、**GN**、**M**の場合のみ動作します。

※6 発光モードが**i-TTL**、「モニター発光あり」の**A**または「モニター発光あり」の**A**の場合のみ動作します。
※7 SB-910とSB-900のみカメラからのスピードライトファームアップが可能です。

SB-700

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	✓※1
		スタンダードi-TTL調光	✓
	A	絞り連動外部自動調光	—
	A	外部自動調光	—
	GN	距離優先マニュアル発光	✓
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング			
	マスターフラッシュ		
		リモートフラッシュへの発光指示	✓
	i-TTL	i-TTL調光	✓
	[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
	A	絞り連動外部自動調光	—
	A	外部自動調光	—
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	—
	リモートフラッシュ		
	i-TTL	i-TTL調光	✓

使用できる機能			
	[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
	A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	✓
電波制御アドバンストワイヤレスライティング			—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）			✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）			—
オートFPハイスピードシンクロ			✓※2
FVロック			✓※3
赤目軽減発光			✓
カメラ起動モデリング発光			—
ユニファイドフラッシュコントロール			—
カメラからのスピードライトファームアップ			✓

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 発光モードが**i-TTL**、**GN**、**M**の場合のみ動作します。
※3 発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

SB-600

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	✓※1
		スタンダードi-TTL調光	✓※2
	A	絞り連動外部自動調光	—
	A	外部自動調光	—

使用できる機能		
GN	距離優先マニュアル発光	—
M	マニュアル発光	✓
RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング		
マスターフラッシュ		
リモートフラッシュへの発光指示		—
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
㊎A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
リモートフラッシュ		
i-TTL	i-TTL調光	✓
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
M	マニュアル発光	✓
RPT	リピーティングフラッシュ	✓
電波制御アドバンストワイヤレスライティング		—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）		✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）		—
オートFPハイスピードシンクロ		✓※3
FVロック		✓※4

使用できる機能	
赤目軽減発光	✓
カメラ起動モデリング発光	—
ユニファイドフラッシュコントロール	—
カメラからのスピードライトファームアップ	—

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 スピードライト側でも設定できます。
※3 発光モードが**i-TTL**、**M**の場合のみ動作します。
※4 発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

SB-500

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	✓※1
		スタンダードi-TTL調光	✓
	Ⓐ A	絞り連動外部自動調光	—
	A	外部自動調光	—
	GN	距離優先マニュアル発光	—
	M	マニュアル発光	✓※2
	RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング			
	マスターフラッシュ		
		リモートフラッシュへの発光指示	✓※2
	i-TTL	i-TTL調光	✓※2
	[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
	Ⓐ A	絞り連動外部自動調光	—

使用できる機能			
	A	外部自動調光	—
	M	マニュアル発光	✓※2
	RPT	リピーティングフラッシュ	—
リモートフラッシュ			
	i-TTL	i-TTL調光	✓
	[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
	A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
	M	マニュアル発光	✓
	RPT	リピーティングフラッシュ	✓
電波制御アドバンストワイヤレスライティング			—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）			✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）			✓
オートFPハイスピードシンクロ			✓※3
FVロック			✓※4
赤目軽減発光			✓
カメラ起動モデリング発光			—
ユニファイドフラッシュコントロール			—
カメラからのスピードライトファームアップ			✓

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 カメラの［**フラッシュ発光**］で設定できます。
※3 発光モードが**i-TTL**、**M**の場合のみ動作します。
※4 発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

SB-R200

使用できる機能		
1灯		
i-TTL	i-TTL-BL調光	—
	スタンダードi-TTL調光	—
A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
GN	距離優先マニュアル発光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング		
マスターフラッシュ		
リモートフラッシュへの発光指示		—
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
リモートフラッシュ		
i-TTL	i-TTL調光	✓
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓
A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
M	マニュアル発光	✓

使用できる機能		
RPT	リピーティングフラッシュ	—
電波制御アドバンストワイヤレスライティング		—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）		—
発光色温度情報伝達（LEDライト）		—
オートFPハイスピードシンクロ		✔※1
FVロック		✔※2
赤目軽減発光		—
カメラ起動モデリング発光		—
ユニファイドフラッシュコントロール		—
カメラからのスピードライトファームアップ		—

※1　発光モードが**i-TTL**、**M**の場合のみ動作します。
※2　発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

SB-400

使用できる機能		
1灯		
i-TTL	i-TTL-BL調光	✔※1
	スタンダードi-TTL調光	✔
A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
GN	距離優先マニュアル発光	—
M	マニュアル発光	✔※2
RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング		

使用できる機能		
マスターフラッシュ		
リモートフラッシュへの発光指示		—
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
㊎A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
リモートフラッシュ		
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
電波制御アドバンストワイヤレスライティング		—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）		✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）		—
オートFPハイスピードシンクロ		—
FVロック		✓※3
赤目軽減発光		✓
カメラ起動モデリング発光		—
ユニファイドフラッシュコントロール		—
カメラからのスピードライトファームアップ		—

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 カメラの［**フラッシュ発光**］で設定できます。
※3 発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

SB-300

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	✔※1
		スタンダードi-TTL調光	✔
	A	絞り連動外部自動調光	—
	A	外部自動調光	—
	GN	距離優先マニュアル発光	—
	M	マニュアル発光	✔※2
	RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング			
	マスターフラッシュ		
		リモートフラッシュへの発光指示	—
		i-TTL i-TTL調光	—
		[A : B] クイックワイヤレスコントロール	—
		A 絞り連動外部自動調光	—
		A 外部自動調光	—
		M マニュアル発光	—
		RPT リピーティングフラッシュ	—
	リモートフラッシュ		
		i-TTL i-TTL調光	—

使用できる機能			
	[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
	A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
	M	マニュアル発光	—
	RPT	リピーティングフラッシュ	—
電波制御アドバンストワイヤレスライティング			—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）			✓
発光色温度情報伝達（LEDライト）			—
オートFPハイスピードシンクロ			—
FVロック			✓※3
赤目軽減発光			—
カメラ起動モデリング発光			—
ユニファイドフラッシュコントロール			—
カメラからのスピードライトファームアップ			✓

※1 スポット測光時は設定できません。
※2 カメラの［**フラッシュ発光**］で設定できます。
※3 発光モードが**i-TTL**の場合のみ動作します。

SU-800について

ワイヤレススピードライトコマンダーSU-800は、ワイヤレスでSB-5000、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-R200を制御するコマンダーです。スピードライトを3つのグループに分けて光制御できます。SU-800には発光機能はありません。

使用できる機能			
1灯			
	i-TTL	i-TTL-BL調光	—
		スタンダードi-TTL調光	—

使用できる機能		
㊎A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
GN	距離優先マニュアル発光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
光制御アドバンストワイヤレスライティング		
マスターフラッシュ		
リモートフラッシュへの発光指示		✓
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	✓※1
㊎A	絞り連動外部自動調光	—
A	外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
リモートフラッシュ		
i-TTL	i-TTL調光	—
[A : B]	クイックワイヤレスコントロール	—
㊎A/A	絞り連動外部自動調光/外部自動調光	—
M	マニュアル発光	—
RPT	リピーティングフラッシュ	—
電波制御アドバンストワイヤレスライティング		—
発光色温度情報伝達（フラッシュ）		—
発光色温度情報伝達（LEDライト）		—

使用できる機能	
オートFPハイスピードシンクロ	✔※2
FVロック	✔※3
赤目軽減発光	—
カメラ起動モデリング発光	—
ユニファイドフラッシュコントロール	—
カメラからのスピードライトファームアップ	—

※1 クローズアップ撮影時のみ設定できます。
※2 発光モードが**RPT**の場合は動作しません。
※3 発光モードが**i-TTL**、「モニター発光あり」の**A**の場合のみ動作します。

スピードライト使用時のご注意とヒント

スピードライトをお使いになる前に、必ず各スピードライトの説明書も併せてご覧ください。

- ニコンクリエイティブライティングシステム対応のスピードライトの説明書にカメラ分類表が記載されている場合は、ニコンクリエイティブライティングシステム対応デジタル一眼レフに該当する箇所をお読みください。なお、このカメラはSB-80DX、SB-28DX、SB-50DXの説明書に記載のデジタル一眼レフカメラには該当しません。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト使用時には、i-TTLや外部自動調光モードにおいて、フル発光でも露出不足になる可能性のある場合に、発光直後に（レディーライト）が約3秒間点滅して露出アンダー警告を行います。
- i-TTLモード時のISO 感度連動範囲はISO 100〜12800相当です。
- ISO感度を12800よりも増感した場合には、距離や絞り値によっては適正な発光量にならない場合があります。
- 撮影モードが**P**の場合、下表の絞り値よりも絞りを開くことはできません。

ISO感度と開放側の限界絞り（F）							
100	**200**	**400**	**800**	**1600**	**3200**	**6400**	**12800**
4	5	5.6	7.1	8	10	11	13

※　制御される絞り値よりも開放絞りが暗い場合は、装着レンズの開放絞りによって制御されます。

- スピードライトSB-5000、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-400の使用時に、フラッシュモードが赤目軽減、赤目軽減スローシンクロモードの場合は、スピードライト側で赤目軽減発光が行われます。
- パワーアシストパックSD-8AまたはSD-9をカメラに固定した状態でフラッシュ撮影をすると、筋状のノイズが写り込むことがあります。その場合は、ISO感度を下げるか、SD-8AまたはSD-9をカメラから離してお使いください。
- AF補助光の照射条件が満たされると、カメラのAF補助光を自動的に照射します。スピードライトのAF補助光は照射されません。
- i-TTLモード時に、調光コードSC-17、SC-28、SC-29を使用してカメラからスピードライトを離して撮影する場合、スタンダードi-TTL調光以外では適正露出を得られない場合があります。この場合は、スタンダードi-TTL調光に切り換えて撮影してください。また、あらかじめテスト撮影を行ってください。
- i-TTL モード時に、発光面に内蔵パネルまたは付属のバウンスアダプター以外の部材（拡散板など）を装着しないでください。カメラ内の演算に誤差が生じ、適正露出とならない場合があります。

スピードライトを使用した撮影の制限について

次の場合など、スピードライトとは同時に使用できない機能や設定があります。

- サイレント撮影
- 動画撮影
- HDR（ハイダイナミックレンジ）

別売スピードライトのFVロックについて

- 別売のスピードライトの発光モードがTTL、「モニター発光あり」の㊎**A**または「モニター発光あり」の**A**のいずれかにセットされている場合は、FVロックを行えます（別売スピードライトの発光モードについては、スピードライトの説明書をご覧ください）。
- 増灯時にFVロックを使用する場合は、主灯（マスターフラッシュ）または補助灯（リモート）グループのうち、少なくとも1グループの発光モードを**TTL**、㊎**A**または**A**のいずれかにセットしてください。

その他のスピードライトとの組み合わせで使用できる機能

次のスピードライトを使用する場合、外部自動調光（**A**）あるいはマニュアル発光撮影となります。装着レンズによって機能が変わることはありません。

スピードライト	使用できる機能
SB-80DX、SB-28DX、SB-28、SB-26、SB-25、SB-24	外部自動調光、マニュアル発光、マルチフラッシュ、後幕シンクロ※1
SB-50DX、SB-23、SB-29、SB-21B、SB-29S	マニュアル発光、後幕シンクロ※1
SB-30、SB-27※2、SB-22S、SB-22、SB-20、SB-16B、SB-15	外部自動調光、マニュアル発光、後幕シンクロ※1

※1　カメラ側のフラッシュモードで設定してください。

※2　このカメラとSB-27を組み合わせると自動的に**TTL**モードになりますが、**TTL**モードでは使えません。SB-27を**A**モードに設定し直してください。

スピードライトのFVロック時の測光エリアについて

スピードライトを使用したFVロック時の測光エリアは次のようになります。

- 1灯撮影時

発光モード	測光エリア
i-TTLモード	画面中央Φ6 mm相当

発光モード	測光エリア
絞り連動外部自動調光（㊎**A**）	スピードライトの外部測光エリア

・増灯撮影時

発光モード	測光エリア
i-TTLモード	全画面
絞り連動外部自動調光（㊎**A**）	スピードライトの外部測光エリア
外部自動調光（**A**）	

別売スピードライトの調光補正について

i-TTL調光時および絞り連動外部自動調光（㊎**A**）時に、静止画撮影メニュー［**フラッシュ調光補正**］で設定した調光補正と、スピードライト本体または静止画撮影メニュー［**フラッシュ発光**］で設定した調光補正を同時に行う場合、両方の補正値を加算します。

ヒント: スタジオ用フラッシュを使う場合

カスタムメニューd7［**Lvに撮影設定を反映**］を［**しない**］に設定すると、撮影画面が見やすい色味や明るさで表示され、構図の確認などがしやすくなります。

使用できるアクセサリー

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意されています。

☑ 使用できるアクセサリーについて

- 国または地域によって、販売していないまたは販売が終了している場合があります。
- アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

● 電源

- **Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25**：ニコンデジタルカメラ Z fc用のバッテリーです。
  - EN-EL25a使用時とEN-EL25使用時とでは、バッテリー容量が異なるので、撮影可能コマ数（電池寿命）などが異なります（🕮548）。
- **バッテリーチャージャーMH-32**：Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25用のチャージャーです。
- **本体充電ACアダプターEH-7P/ACアダプターEH-8P**：バッテリーを挿入したカメラ本体に接続して、バッテリーを充電できます。
  - カメラの電源がONの場合は充電できません。
  - セットアップメニュー［**USB給電**］が［**有効**］の場合、カメラに給電できます。詳しくは「USB給電」（🕮376）をご覧ください。
  - EH-8Pを使用してバッテリーの充電またはカメラへの給電を行うには、別売のUSBケーブルUC-E25が必要です。

● フィルター

- フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、ニュートラルカラーNCをお使いください。
- 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。
- 露出倍数のかかるフィルター（Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL（円偏光フィルター）、ND2S、ND4S、ND4、ND8S、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12）を使用する場合、マルチパターン測光の効果が得られない場合があります。その場合、測光モードを［**中央部重点測光**］に切り換えて撮影することをおすすめします。詳しくは、各フィルターの説明書をご覧ください。

・特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやピント表示（●）が行えないことがありますのでご注意ください。

● USBケーブル

・**USBケーブルUC-E24**：カメラ側がType-C、USB機器側がType-AのUSBケーブルです。
・**USBケーブルUC-E25**：両端がType-CのUSBケーブルです。

● ホットシューアダプター

ホットシューアダプターAS-15：アクセサリーシューに装着すると、シンクロターミナルを利用してスタジオ用フラッシュなどを接続できます。

● アクセサリーシューカバー

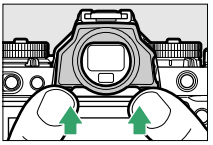
アクセサリーシューカバーBS-1：スピードライトを取り付けるアクセサリーシューを保護するためのカバーです。

● ボディーキャップ

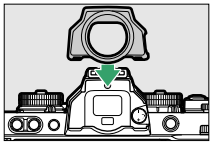
ボディーキャップBF-N1：レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。

● ファインダー用アクセサリー

接眼目当てDK-32：接眼部に取り付けて使用する、ゴム製の接眼目当てです。ファインダー視野がよりはっきり確認でき、目の疲れを軽減します。



取り外し方



取り付け方

● マウントアダプター

マウントアダプターFTZ：FマウントのNIKKORレンズをZマウントのレンズ交換式デジタルカメラに取り付けるためのアダプターです。

・マウントアダプターFTZのカメラへの取り付け方と取り外し方、マウントアダプターのお手入れと取り扱い上のご注意については、マウントアダプターの説明書をご覧ください。

※　マウントアダプターをカメラに装着したときに、バージョンアップを促す警告メッセージがカメラに表示された場合は、最新版にバージョンアップして

ください。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページでご確認ください。

● **外部マイク**

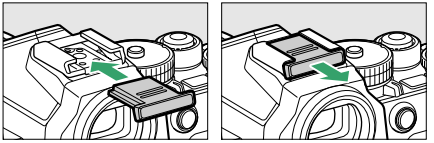
- **ステレオマイクロホンME-1**：ステレオマイクロホンME-1を外部マイク入力端子に接続すると、ステレオ録音ができます。また、動画記録中にオートフォーカスでピント合わせをしたときに生じるレンズの動作音などが録音されるのを軽減できます。
- **ワイヤレスマイクロホンME-W1**：Bluetooth無線通信技術を搭載したワイヤレスマイクロホンです。カメラの動画撮影時に離れた場所の音声を収音できます。

● **リモコン**

リモコンML-L7：カメラとペアリングして、リモート操作で動画、静止画の撮影などができます。

☑ アクセサリーシューカバーの取り付けおよび取り外し方

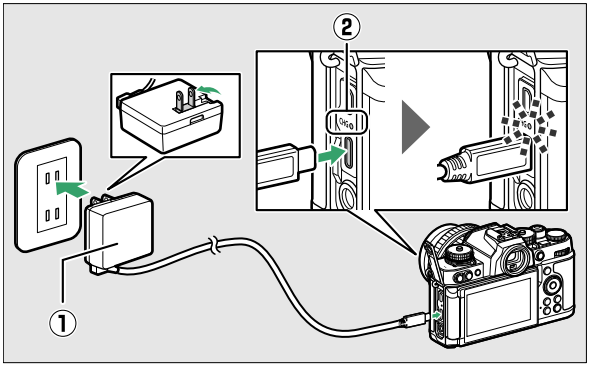
アクセサリーシューカバーBS-1を取り付けるには、カバーを図のようにカメラのアクセサリーシューに差し込みます。取り外すときは、カメラをしっかりと支えて、カバー全体を親指で押さえながら矢印の方向にスライドさせます。



本体充電ACアダプターを使用して充電する

別売の本体充電ACアダプター EH-7Pを使用すると、カメラにバッテリーを入れた状態で充電ができます。

・本体充電ACアダプター（①）をカメラに接続し、カメラの電源がOFFの状態で家庭用コンセントにつないでください。カメラの電源がOFFの間、充電を行います。プラグはまっすぐに抜き差ししてください。



- 充電中はチャージLED（②）がオレンジ色で点灯します。充電が終わると、チャージLEDが消灯します。
- フル充電するには約2時間（EN-EL25a使用時）または約1時間40分（EN-EL25使用時）かかります（残量のないバッテリーの場合）。
- 充電が終わったら本体充電ACアダプターをコンセントから外し、カメラからケーブルを外してください。

本体充電ACアダプターを使用した充電時のご注意

本体充電ACアダプターでの充電に対応していないバッテリーを使用している場合や、カメラが高温になった場合など、バッテリーを充電できない場合はチャージLEDが30秒間素早く点滅してから消灯します。チャージLEDが消灯していても、充分に充電されているかどうかを確認してください。

ヒント: 本体充電ACアダプターを使用して給電する

・セットアップメニュー［**USB給電**］が［**有効**］の場合、カメラの電源をONにすると給電を行います。詳しくは「「給電」と「充電」について」（🕮377）をご覧ください。
・給電中はバッテリーの充電は行われません。

ヒント: パソコンと接続して充電または給電する場合

・このカメラは、別売のUSBケーブルUC-E25を使ってパソコンと接続した場合も充電または給電できます。別売のUSB ケーブルUC-E24でパソコンと接続しても充電および給電できません。
・パソコンの機種や仕様によっては、カメラと接続しても充電および給電できない場合があります。

リモコンML-L7について

別売のリモコンML-L7をカメラとペアリング※して（🕮522）、リモコンからカメラを操作することができます。このカメラでは、「リモコン各部の名称と機能（Z fcの場合）」の操作ができます（🕮519）。

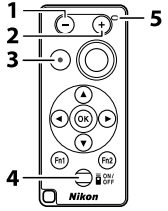
※ カメラとリモコンをBluetooth で接続する設定を、ここでは「ペアリング」と呼びます。

・リモコンは1台のカメラにつき1個のみペアリングできます。別のリモコンをペアリングすると、最後にペアリングしたリモコンのみ有効になります。
・リモコンML-L7付属の説明書もあわせてご覧ください。

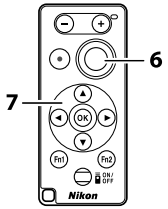
リモコン使用時のご注意

・次の場合は、リモコンは使用できません。
  - カメラのセットアップメニュー［**機内モード**］が［**有効**］のとき
  - カメラを他の機器にUSB接続して通信しているとき
・カメラとリモコンの接続と、カメラと他の機器の無線接続（Bluetooth接続またはWi-Fi接続）を、同時に行うことはできません。

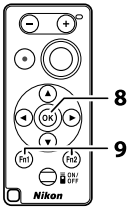
リモコン各部の名称と機能（Z fcの場合）



	操作部	機能
1	**－ボタン**	カメラの（**?**）ボタンと同様の操作ができます。
2	**＋ボタン**	カメラのボタンと同様の操作ができます。
3	**動画撮影ボタン**	ボタンを押すと動画撮影を開始し、もう一度押すと終了します。
4	**電源ボタン**	電源ボタンを押すと、リモコンの電源がONになり、ペアリング済みのカメラを探し始めます。そのまま長押し（3秒以上）すると、ペアリングしていないカメラを探し始めます。電源がONの状態で電源ボタンを押すとOFFになります。
5	**状態表示ランプ**	ランプの色や挙動によって、リモコンの状態や撮影の動作状態を表示します（🕮522）。



	操作部	機能
6	シャッターボタン	ボタンを押すとシャッターがきれます。 ・オートフォーカス使用時は、オートフォーカスでピントを合わせた後にシャッターがきれます。 ・半押し機能はありません。 ・ボタンを押し続けても連続撮影はできません。 ・バルブ撮影に設定している場合、タイム撮影と同じ操作で撮影できます。
7	マルチセレクター	カメラのマルチセレクターと同様の操作ができます。



	操作部	機能
8	㊙（決定）ボタン	カメラの㊙ボタンと同様の操作ができます。
9	**Fn1（ファンクション1）/Fn2（ファンクション2）ボタン**	あらかじめ登録した機能を使用できます（🕮375）。 ・初期設定では、リモコンの**Fn1**ボタンを押すとカメラの▶ボタンと同じ操作が、リモコンの**Fn2**ボタンを押すとカメラの**MENU**ボタンと同じ操作ができます。

ヒント: カメラで合わせたピント位置のままリモコン撮影するには

フォーカスモードを**AF-S**、カスタムメニューa2［**AF-Sモード時の優先**］を［**フォーカス**］に設定して、カメラのシャッターボタンを半押しすると、ピントが固定されます。その状態でリモコンのシャッターボタンを押すと、カメラで合わせたピント位置を変えずに撮影します。

ヒント: リモコン使用時の半押しタイマーについて

カメラの半押しタイマーがオフになり画像モニターとファインダーの表示が消灯しているとき、リモコンの電源をONにしてからリモコンのシャッターボタンまたは動画撮影ボタンを長押しすると、元の状態に戻ります。

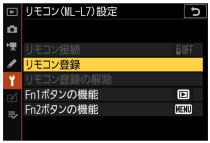
ヒント: リモコンの状態表示ランプについて（Z fcの場合）

色	状態	内容
緑	約1秒間隔で点滅	ペアリング済みカメラを検出中
緑	速く点滅（約0.5秒間隔）	ペアリング中
緑	約3秒間隔で点滅	カメラと接続されている状態
オレンジ	1回点滅	静止画撮影開始
オレンジ	2回点滅	静止画撮影終了
赤	1回点滅	動画撮影開始
赤	2回点滅	動画撮影終了

■■ 初めて接続する場合（ペアリング）

初めてリモコンを使うときには、カメラとのペアリングが必要です。

1 **カメラのセットアップメニュー［リモコン（ML-L7）設定］にある［リモコン登録］を選んでOKボタンを押す**



・カメラがペアリング待機中になります。
・スマートフォンまたはパソコンと無線接続していた場合、それらの機器との接続は解除されます。

2 **リモコンの電源ボタンを長押し（3秒以上）する**

・カメラとリモコンのペアリングがはじまります。この間、リモコンの状態表示ランプが約0.5秒間隔で点滅します。
・ペアリングが完了すると、カメラとリモコンが接続されます。撮影画面にすると、が表示されます。



・ペアリングに失敗したことを知らせるメッセージが表示されたら、手順1からやり直してください。

ペアリング済みのリモコンと接続する場合

1 **カメラのセットアップメニュー［リモコン（ML-L7）設定］にある［リモコン接続］で［有効］を選んで㊗ボタンを押す**



2 **リモコンの電源ボタンを押す**

・自動的にカメラとリモコンが接続されます。

ソフトウェア/アプリケーション

このカメラで使用できるニコン純正ソフトウェアは次の通りです。

● パソコン用ソフトウェア

パソコン用ソフトウェアは、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。ソフトウェアの最新情報や動作環境を確認し、必ず最新版をインストールしてください。

https://downloadcenter.nikonimglib.com/

- **NX Studio**※：ニコン製デジタルカメラで撮影した静止画や動画の閲覧と編集を行うソフトウェアです。ニコン独自のRAW（NEF/NRW）ファイルを調整したり、JPEGまたはTIFF 形式のファイルに変換（RAW現像）することができます。RAW画像だけでなく、ニコン製デジタルカメラで撮影したJPEG、TIFFの画像についても明るさやコントラスト、トーンカーブなどの豊富な機能を使った調整ができます。
  ※　最新のバージョンではない場合、カメラの画像が転送できないことがあります。
- **Wireless Transmitter Utility**：カメラをネットワークに接続する場合に必要なアプリケーションです。カメラとパソコンをWi-Fi接続し、Wireless Transmitter Utilityを使用してペアリングすると、画像の転送ができるようになります。
- **Webcam Utility**：USBケーブルでカメラとパソコンを接続してWebカメラとして利用することが可能になるモジュールです。Web会議ソフトウェアで外部カメラを選択すると「Webcam Utility」と表示されます。選択することでWebカメラとして活用することが可能です。対応カメラや使用方法、動作環境、ご使用時の注意については、ニコンダウンロードセンターのWebcam Utilityページをご確認ください。

● スマートフォン用アプリ

SnapBridge：カメラとスマートフォンを無線接続すると、画像や動画をスマートフォンへ送信できます。

- SnapBridgeアプリはApple App Store®またはGoogle Play™でダウンロードできます。
- SnapBridge アプリの最新情報については当社ホームページでご確認ください。

カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。カメラを保管するときは、下記の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所

クリーニングについて

クリーニングする部分によって方法が異なります。次の方法で行ってください。

- クリーニングするときは、アルコールやシンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

▮▮ カメラ本体

ほこりや糸くずをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、真水で湿らせた布で砂や塩を軽く拭き取り、よく乾かします。

ご注意：次の場合、当社の保証の対象外となります。

- カメラ内部にゴミやほこり、砂などが入り込んだことで発生した故障
- スプレータイプのブロアーをカメラに近づけすぎて使ったことにより発生した故障

▮▮ レンズ・ファインダー

レンズ面は傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払います。スプレー缶タイプのブロアーは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズやファインダーを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、レンズ面を傷つけないように注意して拭きます。

▮▮ 画像モニター

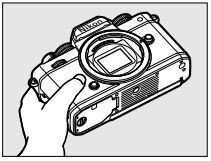
ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

撮像素子前面をブロアーで掃除する

レンズを取り付けるときなどに、撮像素子の前面にゴミやほこりが付くと、画像に影が写り込むことがあります。撮像素子前面は次の手順でクリーニングできます。ただし、カメラ内部の撮像素子は非常に傷つきやすいため、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。

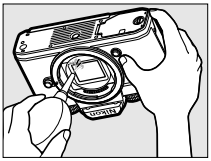
1 **カメラの電源をOFFにしてからレンズを取り外す**

2 **カメラの内部に光が当たるようにカメラを持ち、ゴミやほこりが付いていないかどうかを点検する**



ゴミやほこりが付いていない場合は、手順4にお進みください。

3 撮像素子前面に付いたゴミやほこりをブロアーで払う



・ブラシの付いていないブロアーをお使いください。ブラシで撮像素子の表面に傷が付くことがあります。
・ブロアーで取り除けない汚れがある場合は、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。絶対に、手でこすったり、布で拭き取ったりしないでください。

4 レンズまたは付属のボディーキャップを付ける

撮像素子前面に付着するゴミなどについて

撮像素子前面には、カメラからレンズまたはボディーキャップを取り外した際に外部からカメラ内に入ったゴミや、まれにカメラ内部の潤滑剤や細粉などが付着することがあり、撮影条件によっては撮像素子前面に付着したゴミや潤滑剤、細粉などが撮影画像に写り込む場合があります。カメラ内へのゴミの侵入を防止するため、ほこりの多い場所でのレンズ交換やボディーキャップの着脱は避け、カメラ本体のマウント部およびレンズのマウント部、ボディーキャップのゴミを除去してからカメラに取り付けてください。レンズを外してカメラを保管するときは、必ず付属のボディーキャップを装着してください。撮像素子前面に付着したゴミなどは、「撮像素子前面をブロアーで掃除する」（🕮527）の手順でクリーニングしていただくか、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。なお、ゴミの写り込みは、画像加工アプリケーションなどで修正できます。

定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1〜2年に1度は定期点検を、3〜5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。
・特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
・より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

カメラとバッテリーの使用上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えない

カメラを寒い場所から暖かい場所、または暖かい場所から寒い場所に持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じて故障の原因となります。温度差のある場所にカメラを持ち込むときは、あらかじめカメラをバッグやビニール袋などに入れて密閉してください。カメラが周囲の温度になじんだら、袋から取り出してお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、静電気が発生する環境では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色、焼き付き、破損を起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● レーザー光などの光線について

レーザー光などの強い光線がレンズに向けて照射されると、撮像素子が破損を起こすおそれがあります。

● カメラ本体のお手入れについて

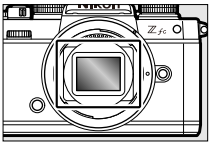
カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。

● レンズやファインダーのお手入れについて

レンズやファインダーは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズやファインダーを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● 撮像素子に触れない

撮像素子を押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。



● 撮像素子の手入れ方法について

撮像素子のクリーニングの方法については「撮像素子前面をブロアーで掃除する」（🕮527）をご覧ください。

● レンズの信号接点について

レンズの信号接点を汚さないようにご注意ください。指などが触れないようにご注意ください。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。防虫剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤（シリ

カゲル）は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態で、バッテリーを取り出すと故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 画像モニターとファインダーについて

- 画像モニター（ファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で画像モニターが見えにくい場合があります。
- 画像モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。画像モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、画像モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。
- ファインダーを見ながら撮影をしている場合に、次のいずれかの症状を感じた時は、使用をやめ、回復するまで休んでください。
  - 吐き気・目の痛み、目の疲れ
  - めまい・頭痛・首の痛み、肩こり
  - 気分が悪い・手と目の感覚のずれ
  - 乗り物酔いの症状
- 連続撮影時に、撮影画面が素早く点灯と消灯を繰りかえすことがあります。このとき、撮影画面を見続けることで体調不良などの症状が起きる恐れがあります。その場合は使用をやめ、回復するまで休んでください。

● 線状のノイズについて

逆光撮影や輝度の高い光源に向けて撮影する場合、まれに撮影した画像上に線状のノイズが発生することがあります。

バッテリーの使用上のご注意

● 使用上のご注意

・バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
- バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
- バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
- バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
- 必ず指定のバッテリーを使う。
- バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
- カメラやチャージャーから取り外したバッテリーは、ビニール袋などの電気を通さない容器に入れて絶縁する。

・カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。

・しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態でカメラから取り外し、涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃ ～ 25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

・使用後のバッテリーは半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。

・使用しないときは必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。

・バッテリーは0℃～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。

・バッテリーの温度が0℃～15℃、45℃～60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。

・一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、バッテリーに充電できる容量は少なくなります。

・一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確

にバッテリー残量として表示します。そのため、充分に充電したバッテリーでも、充電したときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることがあります。
・カメラの使用後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。バッテリーを取り出す際はご注意ください。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

・電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。電池残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。
・充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリーをお求めください。

● 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、接点部をビニールテープなどで絶縁しリサイクル協力店へお持ちください。

詳しくは一般社団法人JBRCホームページ（https://www.jbrc.com）をご覧ください。



※　数字の有無と数値は、電池によって異なります。

チャージャーの使用上のご注意

- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- チャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャーMH-32に対応していないバッテリーは、バッテリーチャージャーMH-32で充電しないでください。
- 落下などによる破損で内部が露出していたり、内部から異音がするような場合は、使用しないでください。
- 製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。
  ～ AC（交流）、⎓ DC（直流）、回 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

本体充電ACアダプターの使用上のご注意

- 充電中にカメラをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはカメラを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- 本体充電ACアダプターの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- 本体充電ACアダプターを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 落下などによる破損で内部が露出していたり、内部から異音がするような場合は、使用しないでください。
- 製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。
  ～ AC（交流）、⎓ DC（直流）、回 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

主な仕様

ニコンデジタルカメラ Z fc

型式	
型式	レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント	ニコンZマウント

使用レンズ	
使用レンズ	・Zマウント用NIKKORレンズ ・Fマウント用NIKKORレンズ（マウントアダプターが必要、一部機能制限あり）

有効画素数	
有効画素数	2088万画素

撮像素子	
方式	23.5×15.7 mmサイズCMOSセンサー（ニコンDXフォーマット）
総画素数	2151万画素
ダスト低減機能	イメージダストオフデータ取得（NX Studioが必要）

記録形式	
記録画素数	・**撮像範囲［DX（24×16）］の場合**： - 5568×3712ピクセル（サイズL：20.7 M） - 4176×2784ピクセル（サイズM：11.6 M） - 2784×1856ピクセル（サイズS：5.2 M） ・**撮像範囲［1:1（16×16）］の場合**： - 3712×3712ピクセル（サイズL：13.8 M） - 2784×2784ピクセル（サイズM：7.8 M） - 1856×1856ピクセル（サイズS：3.4 M） ・**撮像範囲［16:9（24×14）］の場合**： - 5568×3128ピクセル（サイズL：17.4 M） - 4176×2344ピクセル（サイズM：9.8 M） - 2784×1560ピクセル（サイズS：4.3 M） ・**動画の画像サイズを3840×2160に設定し、動画モード中に静止画撮影した場合**：3840×2160ピクセル ・**動画の画像サイズを3840×2160以外に設定し、動画モード中に静止画撮影した場合**：1920×1080ピクセル
ファイル形式（画質モード）	・**NEF（RAW）**：RAW 12ビット/14ビット ・**JPEG**：JPEG-Baseline準拠、圧縮率（約）：FINE（1/4）、NORMAL（1/8）、BASIC（1/16） ・**NEF（RAW）+JPEG**：RAWとJPEGの同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	オート、スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、フラット、Creative Picture Control（ドリーム、モーニング、ポップ、サンデー、ソンバー、ドラマ、サイレンス、ブリーチ、メランコリック、ピュア、デニム、トイ、セピア、ブルー、レッド、ピンク、チャコール、グラファイト、バイナリー、カーボン）、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能
記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード（SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードはUHS-I規格に対応）
対応規格	DCF 2.0、Exif 2.31

ファインダー	
ファインダー	電子ビューファインダー、0.39型XGA OLED、約236万ドット、明るさ調整可能（オート、マニュアル7段階）、カラーカスタマイズ可能
視野率	上下左右とも約100%（対実画面）
倍率	約1.02倍 （50mmレンズ使用時、∞、−1.0 m^{-1}のとき）
アイポイント	接眼レンズ最後尾から19.5mm（−1.0 m^{-1}のとき）
視度調節範囲	−3〜＋3 m^{-1}
アイセンサー	ファインダー表示と画像モニター表示の自動切り換え

画像モニター	
画像モニター	バリアングル式3.0型TFT液晶モニター（タッチパネル）、約104万ドット、視野角170°、視野率約100%、 明るさ調整可能（マニュアル11段階）、カラーカスタマイズ可能

シャッター	
型式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター、電子先幕シャッター、電子シャッター
シャッタースピード	・**シャッタースピードダイヤル使用時**：1/4000〜4秒（1ステップ）、Bulb、Time、X（フラッシュシンクロ） ・**メインコマンドダイヤル使用時**：1/4000〜30秒（1/3ステップ、撮影モード**M**では900秒まで延長可能）、Bulb、Time、X（フラッシュシンクロ）
フラッシュ同調シャッタースピード	X=1/200秒、1/200秒以下の低速シャッタースピードで同調、オートFPハイスピードシンクロ可能

レリーズ機能	
レリーズモード	1コマ撮影、低速連続撮影、高速連続撮影、高速連続撮影（拡張）、セルフタイマー撮影

レリーズ機能	
連続撮影速度	・**低速連続撮影**：約1～4コマ/秒 ・**高速連続撮影**：約5コマ/秒 ・**高速連続撮影（拡張）**：約11コマ/秒 ※　ニコン試験条件での最大撮影速度
セルフタイマー	作動時間：2、5、10、20秒、撮影コマ数：1～9コマ、連続撮影間隔：0.5、1、2、3秒

露出制御	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	・**マルチパターン測光** ・**中央部重点測光**：Φ8 mm相当を測光（中央部重点度約75%）、画面全体の平均に変更可能 ・**スポット測光**：約Φ3.5 mm相当（全画面の約2.5%）を測光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動 ・**ハイライト重点測光**
測光範囲	−4～17 EV ※ISO 100、f/2.0レンズ使用時、常温20℃
撮影モード	AUTO：オート、**P**：プログラムオート（プログラムシフト可能）、**S**：シャッター優先オート、**A**：絞り優先オート、**M**：マニュアル
露出補正	範囲：±3 段（露出補正ダイヤルを［**C**］に設定時は±5 段）、補正ステップ：1/3ステップ
AEロック	輝度値ロック方式
ISO感度（推奨露光指数）	ISO 100～51200（ステップ幅：1/3ステップ）、ISO 51200に対し約1段（ISO 102400 相当）、約2段（ISO 204800相当）の増感、感度自動制御が可能
アクティブD-ライティング	オート、より強め、強め、標準、弱め、しない
多重露出	加算、加算平均、比較明合成、比較暗合成

露出制御	
その他の機能	HDR（ハイダイナミックレンジ）、静止画フリッカー低減撮影

オートフォーカス	
方式	ハイブリッドAF（位相差AF/コントラストAF）、AF補助光付
検出範囲	−4.5〜19 EV ※ローライトAF無効時：−3〜19 EV ※静止画モード、シングルAFサーボ（**AF-S**）、ISO 100、f/1.8レンズ使用時、常温20℃
レンズサーボ	・**オートフォーカス**：シングルAFサーボ（**AF-S**）、コンティニュアスAFサーボ（**AF-C**）、AFモード自動切り換え（**AF-A**）（静止画モードのみ）、フルタイムAF（**AF-F**）（動画モードのみ）、予測駆動フォーカスあり ・**マニュアルフォーカス（M）**：フォーカスエイド可能
フォーカスポイント	209点 ※静止画モード、撮像範囲DX、シングルポイントAF時
AFエリアモード	ピンポイントAF（静止画モードのみ）、シングルポイントAF、ダイナミックAF（静止画モードのみ）、ワイドエリアAF（S）、ワイドエリアAF（L）、ワイドエリアAF（L-人物）、ワイドエリアAF（L-動物）、オートエリアAF、オートエリアAF（人物）、オートエリアAF（動物）
フォーカスロック	AF-ON（ON）ボタン、またはシングルAF サーボ（**AF-S**）時にシャッターボタン半押し

フラッシュ	
調光方式	**TTL調光制御**：i-TTL-BL調光（マルチパターン測光、中央部重点測光またはハイライト重点測光）、スタンダードi-TTL調光（スポット測光）可能
フラッシュモード	先幕シンクロ、スローシンクロ、後幕シンクロ、赤目軽減、赤目軽減スローシンクロ、発光禁止

フラッシュ	
調光補正	**P**、**S**、**A**、**M**時に設定可能、範囲：−3〜+1段、補正ステップ：1/3ステップ
レディーライト	別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光による露出不足警告時は点滅
アクセサリーシュー	ホットシュー（ISO 518）装備：シンクロ接点、通信接点、セーフティーロック機構（ロック穴）付
ニコンクリエイティブライティングシステム	i-TTL調光、光制御アドバンストワイヤレスライティング、FVロック、発光色温度情報伝達、オートFPハイスピードシンクロ

ホワイトバランス	
ホワイトバランス	オート（3種）、自然光オート、晴天、曇天、晴天日陰、電球、蛍光灯（3種）、フラッシュ、色温度設定（2500K〜10000K）、プリセットマニュアル（6件登録可）、色温度設定以外は微調整可能

ブラケティング	
ブラケティング	AE・フラッシュブラケティング、AEブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバランスブラケティング、アクティブD-ライティングブラケティング

動画機能	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、ハイライト重点測光
記録画素数/フレームレート	・3840×2160（4K UHD）：30p/25p/24p ・1920×1080：120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p ・1920×1080スロー：30p（4倍）/25p（4倍）/24p（5倍） ※120p：119.88fps、100p：100fps、60p：59.94fps、50p：50fps、30p：29.97fps、25p：25fps、24p：23.976fps ※標準/★高画質選択可能（3840×2160、1920×1080 120p/ 100p、1920×1080スローは★高画質のみ）

動画機能	
ファイル形式	MOV、MP4
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	リニアPCM（動画記録ファイル形式がMOVの場合）、AAC（動画記録ファイル形式がMP4の場合）
録音装置	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能、マイク感度設定可能、アッテネーター機能
露出補正	範囲：±3 段、補正ステップ：1/3ステップ
ISO感度（推奨露光指数）	・**M**：ISO 100～25600（ステップ幅：1/3ステップ）、感度自動制御（ISO 100～25600）が可能、制御上限感度が設定可能 ・**P**、**S**、**A**：感度自動制御（ISO 100～25600）、制御上限感度が設定可能 ・AUTO：感度自動制御（ISO 100～25600）
アクティブD-ライティング	静止画の設定と同じ、より強め、強め、標準、弱め、しない
その他の機能	タイムラプス動画、電子手ブレ補正、タイムコード

再生機能	
再生機能	1コマ再生、サムネイル（4、9、72分割またはカレンダーモード）、拡大再生、拡大再生中のトリミング、動画再生、スライドショー（静止画/動画選択再生可能）、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影情報表示、位置情報表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング

インターフェース	
USB	Type-C端子（SuperSpeed USB）（標準装備されたUSBポートへの接続を推奨）
HDMI出力	HDMI端子（Type D）装備
外部マイク入力	ステレオミニジャック（Φ3.5mm）、プラグインパワーマイク対応

Wi-Fi（無線LAN）・Bluetooth	
Wi-Fi	・**準拠規格**：IEEE802.11b/g/n/a/ac ・**周波数範囲（中心周波数）**：2412〜2472 MHz（13ch）、5180〜5700 MHz ・**出力（EIRP）**： - 8.1 dBm（2.4 GHz） - 7.9 dBm（5 GHz） ・**認証方式**：オープンシステム、WPA2-PSK
Bluetooth	・**通信方式**：Bluetooth標準規格 Ver.4.2 ・**周波数範囲（中心周波数）**： - Bluetooth：2402〜2480 MHz - Bluetooth Low Energy：2402〜2480 MHz ・**出力（EIRP）**： - Bluetooth：2.6 dBm - Bluetooth Low Energy：1.1 dBm

電源	
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25※1、※2 1個使用 ※1 EN-EL25aを使用するには、カメラのファームウェアバージョンがC: 1.50以上であることが必要です。 ※2 EN-EL25a使用時とEN-EL25使用時とでは、バッテリー容量が異なるので、撮影可能コマ数（電池寿命）などが異なります。
ACアダプター	・本体充電ACアダプターEH-7P（別売） ・ACアダプターEH-8P（USBケーブルUC-E25と組み合わせて使用）（別売）

三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	0.635 cm（1/4型、ISO 1222）

寸法・質量	
寸法	約134.5×93.5×43.5 mm（幅×高さ×奥行き）

寸法・質量	
質量	約445 g（バッテリー（EN-EL25）およびメモリーカードを含む、ボディーキャップを除く）、約390 g（本体のみ）

動作環境	
温度	0℃～40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格またはガイドラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- カメラに表示されるサンプル画像、および本書記載の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■■ バッテリーチャージャーMH-32

電源	AC 100–240 V、50/60 Hz、0.21 A
定格入力容量	21–31 VA
充電出力	DC 8.4 V、1.12 A（MAX）
適応充電池	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25
充電時間	約2時間40分（EN-EL25a使用時） 約2時間30分（EN-EL25使用時） ※残量のない状態からの充電時間（周囲温度25℃）
使用温度	0℃～40℃
寸法	約67×94×28 mm
質量	約99 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。
〜 AC（交流）、⎓ DC（直流）、回 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	7.6 V、1120 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法	約34×50.5×18 mm
質量	約53 g

カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリーカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。本製品を譲渡/廃棄する際は、使用者によって本製品内に登録または設定された、無線LAN接続設定などの個人情報を含む内容を、カメラのセットアップメニュー［**カメラの初期化**］を行って削除してください。

このカメラの準拠規格

- **Design rule for Camera File system（DCF） Version 2.0**：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- **Exif Version 2.31**：（Exif ＝ Exchangeable image file format for digital still cameras）：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- **HDMI（High-Definition Multimedia Interface）**：家庭用電化製品およびAV機器用のマルチメディアインターフェース規格です。1本のケーブルをつなぐだけで、画像、音声、制御信号をHDMI対応機器に送信できます。

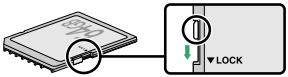
使用できるメモリーカード

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。
- UHS-Iに対応しています。

- 動画の撮影および再生には、UHSスピードクラス3以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の記録および再生が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。

ヒント: SDカードの書き込み禁止スイッチについて

- SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「LOCK」の位置にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像を保護できます。



- 「LOCK」したSDカードをカメラに入れると、撮影画面に**【----】**マークと［**Card**］の警告表示が表示されます。
- 「LOCK」したSDカードをカメラに入れてシャッターをきろうとすると、警告メッセージが表示され、撮影できません。撮影時や、画像を削除するときは「LOCK」を解除してください。

外部充電池（モバイルバッテリー）

モバイルバッテリーを使用したバッテリーの充電、およびカメラへの給電が可能です。動作確認済みのモバイルバッテリー、撮影可能コマ数、および充電可能回数は次の通りです。

メーカー	型番	撮影可能コマ数※1	充電可能回数※2
Anker	PowerCore III Elite 25600 87W	約2840枚（EN-EL25a使用時） 約2790枚（EN-EL25使用時）	約6回（EN-EL25a使用時） 約8回（EN-EL25使用時）

※1 CIPA（カメラ映像機器工業会）規格準拠。モニターモード［**ファインダーのみ**］時。初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影する。装着レンズNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR、温度23（±2）℃。フル充電されたバッテリー（EN-EL25a/EN-EL25）をカメラに入れた状態で、フル充電されたモバイルバッテリーからカメラへの給電を行った場合。

※2 フル充電されたモバイルバッテリーを使用して、カメラ内のバッテリー（EN-EL25a/EN-EL25）をフル充電できる回数。

- モバイルバッテリーの使い方については、モバイルバッテリーの説明書をご覧ください。
- モバイルバッテリーで充電または給電する場合、モバイルバッテリーに付属している両端がType-CのUSBケーブルをお使いください。
- モバイルバッテリーの最新情報については、メーカーホームページをご確認ください。また、国や地域によっては販売されていない場合があります。

記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数

画質モード（🕮147）、画像サイズ（🕮148）の組み合わせによって、［**撮像範囲設定**］が［**DX（24×16）**］の場合に32GBのメモリーカードに記録できるコマ数、および連続撮影できるコマ数は、次のようになります※1。ただし、カードの種類や撮影条件によって、コマ数は増減することがあります。

画質モード	画像サイズ	1コマあたりのファイルサイズ	記録可能コマ数※2	連続撮影可能コマ数※2、3
RAW（12ビット記録）	L	約19.4 MB	873コマ	44コマ
RAW（14ビット記録）	L	約24.4 MB	764コマ	36コマ
FINE	L	約9.5 MB	2100コマ	83コマ
	M	約6.6 MB	3400コマ	100コマ
	S	約3.7 MB	6400コマ	100コマ
NORMAL	L	約5.7 MB	4100コマ	100コマ
	M	約3.5 MB	6800コマ	100コマ
	S	約2.0 MB	12300コマ	100コマ
BASIC	L	約2.4 MB	8000コマ	100コマ
	M	約1.7 MB	12800コマ	100コマ
	S	約1.1 MB	22100コマ	100コマ

※1　SanDisk SDSDXVE-032G-JNJIPのメモリーカードを使用した場合（2021年4月現在）

※2　撮影条件により、記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数は増減することがあります。

※3　ISO感度がISO 100の場合の、連続撮影速度を維持して撮影できるコマ数です。［**自動ゆがみ補正**］を［**する**］に設定すると、連続撮影可能コマ数は減少します。

撮影可能コマ数（電池寿命）について

フル充電したLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25使用時の電池寿命は次の通りです。電池寿命は、バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって異なります。

● EN-EL25a使用時

静止画モード：撮影可能コマ数※1
- モニターモード［**ファインダーのみ**］時：約360枚
- モニターモード［**モニターのみ**］時：約400枚

動画モード：動画撮影可能時間※2
- モニターモード［**ファインダーのみ**］時：約90分
- モニターモード［**モニターのみ**］時：約90分

● EN-EL25使用時

静止画モード：撮影可能コマ数※1
- モニターモード［**ファインダーのみ**］時：約310枚
- モニターモード［**モニターのみ**］時：約360枚

動画モード：動画撮影可能時間※2
- モニターモード［**ファインダーのみ**］時：約80分
- モニターモード［**モニターのみ**］時：約80分

次の場合などは、バッテリーの消耗が早くなります。
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- RAWを含む画質モードで撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- BluetoothおよびWi-Fi（無線LAN）機能を使用した場合
- アクセサリーを装着して使用した場合
- レンズ使用時にズーム操作を繰り返した場合
- 低温環境で撮影した場合

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL25a/EN-EL25の性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。
- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分な性能が発揮できません。

・充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

※1 CIPA（カメラ映像機器工業会）規格準拠。初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影する。装着レンズNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR、SanDisk SDSDXVE-032G-JNJIPのメモリーカード、温度23（±2）℃。

※2 電池寿命測定方法を定めたCIPA規格による実撮影電池寿命。装着レンズNIKKOR Z DX 16–50mm f/3.5–6.3 VR、SanDisk SDSDXVE-032G-JNJIPのメモリーカード、温度23（±2）℃。カメラは初期設定状態。

・1回の動画撮影で記録可能な最長時間は29分59秒です。

・カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内やカードに空き容量があるときでも動画撮影が終了することがあります。

AF補助光撮影に制限のあるレンズについて

AF補助光が届く距離範囲の目安は約1～3 mです。使用するレンズや撮影距離によっては、AF補助光がレンズやレンズフードでさえぎられることがあります。レンズフードは取り外して撮影してください。

・ カメラのAF補助光を使って撮影するときの制限についての情報は、ニコンダウンロードセンターでご確認いただけます。
https://downloadcenter.nikonimglib.com/

商標およびソフトウェアの著作権とライセンスについて

- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple*、App Store*、Appleロゴ、iPhone*、iPad*、Mac、macOSは米国およびその他の国々で登録された、Apple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社（https://www.aiphone.co.jp/）のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidとGoogle PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。Androidロボットは、Googleが作成および提供している作品から複製または変更したものであり、Creative Commons 3.0Attributionライセンスに記載された条件に従って使用しています。
- IOSの商標は、米国およびその他の国におけるCiscoのライセンスに基づき使用しています。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Bluetooth*のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

FreeType License（FreeType2）

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project（https://www.freetype.org）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License（HarfBuzz）

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2018 The HarfBuzz Project（https://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz）のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

Unicode® Character Database License（Unicode® Character Database）

本製品のソフトウェアは、オープンソースソフトウェア（Unicode® Character Database）を利用しています。本オープンソースソフトウェアのライセンス条件は以下のとおりです。

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright © 1991-2019 Unicode, Inc. All rights reserved.

Distributed under the Terms of Use in

https://www.unicode.org/copyright.html

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that either

(i) this copyright and permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, or

(ii) this copyright and permission notice appear in associated Documentation.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。
(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること
上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
https://www.mpegla.comをご参照ください。

Wi-Fi（無線LAN）機能/Bluetooth機能について

● 電波に係わるご注意

- 本製品はWi-Fi（無線LAN）およびBluetooth機能を搭載しています。国や地域によって、法律によりWi-Fi（無線LAN）およびBluetooth機能が使用できない場合があります。ご購入された国以外での使用については、ニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- この機器は、電波法に基づく認証を受けており、機器に添付されている以外の証明ラベルは次の通りです。

Wi-Fi（無線LAN）機能：2.4DS2/OF1

本製品の使用周波数は2.4 GHz 帯、変調方式はDS-SS、OFDM、与干渉距離は約10mです。



Bluetooth機能：2.4FH2/XX1

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯、変調方式はFH-SS、その他の方式、与干渉距離は約10mです。



ご使用時の注意

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯（W52/W53/W56）の3種類の帯域を使用することができます。5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN（W52/W53）の屋外使用は電波法で禁止されています。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しているか、画面で確認ができます。
  以下の行為は法令で罰せられることがあります。
  - 無線設備のある製品の分解/改造
  - 無線設備のある製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
  - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
    ① 構内無線局（免許を要する無線局）
    ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

- アマチュア無線局（免許を要する無線局）

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

・本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
  - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
  - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiアクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
・その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
・データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
・本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
  - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
  - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）およびBluetooth機器としてお使いください。Wi-FiおよびBluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

・医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
・Wi-FiおよびBluetooth機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

● セキュリティーについて

・本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの個人情報が漏洩する可能性があります。
  - 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティーを設定したにもかかわらず、Wi-FiおよびBluetoothの仕様上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の上ご使用ください。
・スマートフォンに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations（EAR）を含む米国法の対象です。EAR の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア：変更される可能性があります）以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許可は不要です。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー［**カメラの初期化**］で工場出荷時の設定にリセットしてください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

☑ 認証情報

セットアップメニューの［**認証情報**］では、このカメラが取得している認証に関する情報の一部を確認できます。

ファームウェアバージョンアップによる変更内容

バージョンアップ方法について

カメラのファームウェアバージョン確認およびバージョンアップは、セットアップメニュー［**ファームウェアバージョン**］で行えます。

カメラのファームウェアをバージョンアップするには、パソコンをお使いになる方法とスマートフォンをお使いになる方法があります。

- **パソコンをお使いの場合**：ニコンダウンロードセンターで新しいバージョンのファームウェアがあるか確認できます。バージョンアップの手順については、ファームウェアのダウンロードページをご覧ください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/
- **スマートフォンをお使いの場合**：SnapBridgeアプリでカメラとスマートフォンをペアリング済みの場合、カメラの新しいファームウェアがあるとアプリにお知らせが表示され、スマートフォン経由でファームウェアをカメラ内のメモリーカードに転送できます。バージョンアップの手順については、SnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。お知らせが表示されるタイミングは、ニコンダウンロードセンターで公開されるタイミングと異なる場合があります。

ファームウェア（C: 1.30）による変更点について

カスタムメニューf2［カスタムボタンの機能（撮影）］/ g2［カスタムボタンの機能］に［フォーカス位置の登録］/［フォーカス位置の呼び出し］の追加

カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］とg2［**カスタムボタンの機能**］で割り当てられる機能に［**フォーカス位置の登録**］と［**フォーカス位置の呼び出し**］が追加されました。［**レンズのFnボタン**］に［**フォーカス位置の登録**］を、［**レンズのFn2ボタン**］に［**フォーカス位置の呼び出し**］をそれぞれ割り当てると、あらかじめレンズにピント位置（フォーカス位置）を登録して、素早く呼び出すことができる、メモリーリコール機能が使用できます。決まったピント位置で頻繁に撮影する場合に便利です。

- メモリーリコール機能は、**Fn**ボタンと**Fn2**ボタンのある、オートフォーカス可能なZマウントレンズの装着時にのみ使用できます。**Fn2**ボタンのないレンズの場合、レンズの**Fn**ボタンに［**フォーカス位置の登録**］を割り当てていてもピント位置を登録できません。
- ピント位置の登録と呼び出しは、静止画モードと動画モードのどちらでも可能です。
- ピント位置の登録は、フォーカスモードの設定にかかわらず可能です。
- カメラからレンズを取り外したり、レンズを交換した場合は登録したピント位置がリセットされます。

メモリーリコール機能の使い方

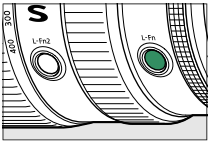
1 **カスタムメニューf2［カスタムボタンの機能（撮影）］またはg2［カスタムボタンの機能］にある［レンズのFnボタン］で［フォーカス位置の登録］を選ぶ**



2 **カスタムメニューf2［カスタムボタンの機能（撮影）］またはg2［カスタムボタンの機能］にある［レンズのFn2ボタン］で［フォーカス位置の呼び出し］を選ぶ**

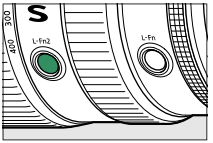


3 **撮影画面で被写体にピントを合わせ、レンズのFnボタンを長押しする**



ピント位置が正しく登録されると、撮影画面に アイコンが表示されます。

4 **レンズのFn2ボタンを押す**



・登録したピント位置にセットされます。
・レンズの**Fn2**ボタンを押している間は、フォーカスモードが**MF**に変更され、シャッターボタンを半押ししてもピント位置は移動しません。

メモリーリコール機能についてのご注意

・インフォ画面の表示中は、ピント位置を登録することはできません。
・環境温度の変化によっては、登録時と呼び出し時のピント位置が変わることがあります。
・ピント位置を登録した後にズーム操作で焦点距離を変えると、呼び出し時にピント位置が変わりやすくなります。この場合、セットアップメニュー［**電子音**］>［**電子音設定**］が［**無効**］以外に設定されていると、ピント位置を呼び出したときに電子音が短く4回鳴ります。

ヒント: 電子音について

・セットアップメニュー［**電子音**］>［**電子音設定**］が［**無効**］以外の場合に、静止画モードでピント位置の登録や呼び出しを行うと、電子音が短く2回鳴ります。
・サイレント撮影時や動画モード時、および［**電子音**］>［**電子音設定**］が［**無効**］の場合は、電子音は鳴りません。

ファームウェア（C: 1.40）による変更点について

カメラのファームウェアをC: 1.40にバージョンアップすると、次の機能に変更があります。

パワーズームレンズに対応

■■ カスタムメニューにf7/g5［パワーズームのボタン操作（PZレンズ）］追加

カスタムメニューf7およびg5として［**パワーズームのボタン操作（PZレンズ）**］が追加されました。パワーズームに関する設定ができます。

項目	内容
［**/ ボタンの使用**］	［**する**］に設定すると、ボタンを押している間は望遠側に、ボタンを押している間は広角側に電動でズーミング（パワーズーム）することができます。 ・カメラとリモートグリップMC-N10を接続している場合、［**する**］に設定すると、リモートグリップのボタンとボタンでもズーミングすることができます。 ・カメラとリモコンML-L7を接続している場合、［**する**］に設定すると、リモコンの＋ボタン（望遠側）と－ボタン（広角側）でもズーミングすることができます。
［**パワーズーム速度**］	ボタン操作でパワーズームするときのズーミングの速度を、－側にすると低速に、＋側にすると高速に設定できます。 ・カスタムメニューg5［**パワーズームのボタン操作（PZレンズ）**］の場合は、［**動画記録待機中**］および［**動画記録中**］のそれぞれを設定できます。

- この機能は、パワーズームに対応したレンズを装着している場合のみ有効です。
- このメニュー項目の追加によって、カスタムメニュー［**ハイライト表示**］の番号はg5からg6に変更されました。

レンズの動作音についてのご注意

動画記録中にズーミングを行うと、レンズの動作音が記録されることがあります。ボタン操作でパワーズームするときにレンズの動作音が気になる場合は、カスタムメニューg5［**パワーズームのボタン操作（PZレンズ）**］の［**パワーズーム速度**］の［**動画記録中**］を－側（低速）に設定することをおすすめします。

カメラの操作音についてのご注意

動画記録中にカメラのボタンを押してズーミングを行うと、操作音が記録されることがあります。ボタン操作でパワーズームするときに操作音が気になる場合は、次を使用してズーミングを行うことをおすすめします。

- SnapBridgeアプリをインストールしたスマートフォン（SnapBridgeアプリのバージョンによっては、パワーズームの操作ができない場合があります）
- リモコンML-L7
- リモートグリップMC-N10

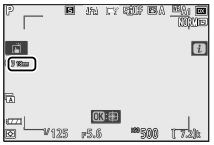
セットアップメニューに［ズーム位置の記憶（PZレンズ）］追加

セットアップメニューに［**ズーム位置の記憶（PZレンズ）**］が追加されました。［**する**］に設定すると、カメラの電源をOFFにして再度ONにした場合に、ズーム位置が電源OFFの前と同じ位置に保持されます。

- この機能は、パワーズームに対応したレンズを装着している場合のみ有効です。
- 製品名が異なるレンズに交換した場合はズーム位置がリセットされます。

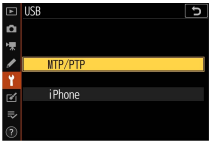
撮影画面に焦点距離の表示を追加

撮影画面に焦点距離の表示が追加されました。パワーズームに対応したレンズを装着している場合のみ表示されます。



セットアップメニューに［USB］追加

セットアップメニューに［**USB**］が追加されました。スマートフォン用アプリNX MobileAirアプリを使用して、カメラで撮影した画像をUSBケーブルで有線接続したiPhoneにインポートできるようになりました。



- パソコンやAndroid端末と接続する場合は［**MTP/PTP**］に設定してください。
- 市販のiPhone用USB-C to Lightningケーブルでiphoneと接続し、NX MobileAirアプリを使用する場合のみ［**iPhone**］に設定してください（使用できるUSB-C to Lightningケーブルについての詳細は、NX MobileAirアプリのヘルプをご覧ください）。
- iPhoneとの接続の有無にかかわらず、［**iPhone**］に設定している場合、次の機能が無効になります。これらの機能を使うには、［**MTP/PTP**］に設定してください。
  - カメラに内蔵されている通信機能
  - セットアップメニュー［**リモコン（ML-L7）設定**］
  - USBケーブルを使用した給電とバッテリーの充電（別売の本体充電ACアダプターを使用した給電と充電もできません）
- NX MobileAirアプリはApple App Store℠またはGoogle Play™でダウンロードできます。

リモートグリップMC-N10に対応

使用できるアクセサリーにリモートグリップMC-N10が追加されました。MC-N10をカメラに接続すると、撮影や設定変更などの操作をMC-N10で行うことができます。MC-N10は、市販の撮影用機器に取り付けるためのロゼットを備えています。MC-N10をARRI互換のロゼットアダプターが付いている撮影用機器に固定すると、被写体の動きに合わせてパンニングしながらピントを合わせたり、カメラに触れることなく手元で露出やホワイトバランスを調整したりできます。

索引

マーク・英数字

AUTO（オート） 77, 82
P（プログラムオート） 116
S（シャッター優先オート） 116
A（絞り優先オート） 118
M（マニュアル） 118
S（1コマ撮影） 152, 306
BL（低速連続撮影） 153
BH（高速連続撮影） 153
BH+（高速連続撮影（拡張）） 153
（セルフタイマー） 153
（連続撮影） 306
SL（サイレント撮影） 110
（電子先幕シャッター） 325
（メカニカルシャッター） 325
PIN（ピンポイントAF） 92
[ ]（シングルポイントAF） 93
[ ]（ダイナミックAF） 93
WIDE-S（ワイドエリアAF（S）） 94
WIDE-L（ワイドエリアAF（L）） 94
WIDE-L（ワイドエリアAF（L-人物）） 94
WIDE-L（ワイドエリアAF（L-動物）） 94
（オートエリアAF） 95
（オートエリアAF（人物）） 95
（オートエリアAF（動物）） 95
（マルチパターン測光） 150
（中央部重点測光） 150
（スポット測光） 150
（ハイライト重点測光） 150
（モニターモード切り換え）ボタン 42
MENUボタン 59
iボタン 63, 132
▶ボタン 86
ボタン 89
AF-ON（）ボタン 58, 129
ボタン 58
ボタン 58
（ヘルプあり表示） 63
iメニュー 63, 132
iメニューのカスタマイズ 64, 333, 346
使用時の感度自動制御 331
モード時の露出補正 323
1コマ撮影 152, 306
1コマ表示 168
ADLブラケティング 254
AE・フラッシュブラケティング 247
AEブラケティング 247
AEロック 129
AF-A（AFモード自動切り換え） 90
AF-C（コンティニュアスAF） 91
AF-Cモード時の優先 314
AF-F（フルタイムAF） 91
AF-S（シングルAF） 90
AF-Sモード時の優先 314
AFエリアモード 92
AFエリアモードの限定 318

AF設定時のフォーカスリング操作 321
AF速度 352
AF追従感度 353
AF点数 95, 315
AF微調節の設定 360
AFロックオン 315
BKTの順序 332
BKT変化要素（Mモード） 331
Bluetooth 434
Creative Picture Control（クリエイティブピクチャーコントロール） 135
D-ライティング 395
DISPボタン 56
Fnボタン 66, 105
FVロック 458
HDMI 369, 447
HDR（ハイダイナミックレンジ） 265
Hi（ISO） 125
IPアドレス 425
ISO感度 124
ISO感度設定 224, 302
ISO感度ダイヤル 45, 124
ISO感度ダイヤルロックボタン 45, 124
Li-ionリチャージャブルバッテリー 69
Lvに撮影設定を反映 327
MACアドレス 374
MF（マニュアルフォーカス） 91
Mモード時のシャッタースピード延長 326
PCと接続 372
PCと直接接続 416
RAW記録 223
RAW現像 387
RGBヒストグラム 174
SnapBridge 433
SSID 416, 423
USB給電 376
WBブラケティング 252
Wi-Fi接続 371
Wi-Fi接続先を検索 422
Wi-Fi通信機能 150, 165, 372
Wi-Fiモード 437
Wireless Transmitter Utility 413
WPS PINコード方式 422
WPSプッシュボタン方式 422

ア

アオリ効果 398
赤目軽減発光 149, 455
赤目補正 396
明るさ（ピクチャーコントロール） 138
アクセスポイントモード 413, 415
アクティブD-ライティング 151
アッテネーター 308
後幕発光 149, 456
暗号キー 416, 424
位置情報表示 179
一灯撮影 450
イメージダストオフデータ取得 363
色合い（色相）（ピクチャー コントロール） 138
色温度 109, 142, 228
色温度設定（ホワイトバランス） 107
色空間 239

色の濃さ（彩度）（ピクチャーコントロール） 138
インジケーターの+/−方向 346
インターバルタイマー撮影 271
インフォ画面の表示設定 360
インフラストラクチャーモード 414, 421
ヴィネットコントロール 241, 305
エラー（無線接続） 441
オート（ピクチャーコントロール） 134
オート（ホワイトバランス） 106
オートエリアAF 95
オートエリアAF（人物） 95
オートエリアAF（動物） 95
オートブラケティング 246

カ

カードなし時レリーズ 378
カードの初期化（フォーマット） 356
回折補正 241, 305
顔検出AF 96
拡大表示 192
風切り音低減 309
画質モード 147, 223
カスタムピクチャーコントロール 235, 304
カスタムボタンの機能 347
カスタムボタンの機能（再生） 342
カスタムボタンの機能（撮影） 334
カスタムメニュー 311
カスタムメニューのリセット 313
画像合成 399
画像コメント 366
画像サイズ 148, 223
画像サイズ/フレームレート 160, 301
画像情報 171
画像編集メニュー 384
画像モニター 46
画像を選択して削除 195
傾き補正 397
カメラの初期化 382
カレンダー表示 169
簡易トリミング 182
簡単接続 422
感度自動制御機能 224
基準露出レベルの調節 322
機内モード 369
距離基準マーク 103
記録可能コマ数 547
記録フォルダー設定 218
クイックシャープ（ピクチャーコントロール） 137
蛍光灯（ホワイトバランス） 106
言語（Language） 356
高感度 125
高感度ノイズ低減 240, 305
格子線表示 328
高速連続撮影 153
高速連続撮影（拡張） 153
コマンドダイヤル 44
コマンドダイヤルの設定 343
コンティニュアスAF 91
コントラスト（ピクチャーコントロール） 138
コントロールリング 102

サ

最近設定した項目 411
再生画面設定 213
再生フォルダー設定 213
再生メニュー 212
サイレント撮影 110, 298
削除 88, 194, 212
撮影後自動送信 429
撮影情報 177
撮影直後の画像確認 213
撮影モード切り換えレバー 43, 115
撮像範囲設定 222
サブコマンドダイヤル 44
サムネイル表示 169
自然光オート（ホワイトバランス） 106
始点/終点の設定 186
自動ゆがみ補正 241, 305
視度調節ダイヤル 41
自分撮りモード 48, 369
絞り値 118, 119
絞り優先オート 118
シャッタースピード 116, 118
シャッタースピードダイヤル 44, 116, 118
シャッタースピードダイヤルロックボタン 44, 116, 118
シャッター方式 325
シャッターボタンAEロック 323
シャッター優先オート 116
シングルAF 90
シングルポイントAF 93
水準器 56, 57
スタンダード（ピクチャーコントロール） 135
スポット測光 150
スマートフォンと接続 370, 433, 435
スライドショー 214
スローシャッター 149, 455
スローモーション動画 162
静止画/動画切り換えレバー 77, 82
静止画撮影メニュー 217
静止画撮影メニューのリセット 218
晴天（ホワイトバランス） 106
晴天日陰（ホワイトバランス） 106
接続設定 372, 415, 421
セットアップメニュー 355
セルフタイマー 153, 155, 323
全押し（シャッターボタン） 80
全画像を削除 195
送信指定 185
送信指定（Bluetooth） 370
送信指定（PC） 429
増灯撮影 461
測光モード 149

タ

ターゲット追尾AF 99
ダイナミックAF 93
タイムコード 309
タイム撮影 121
タイムゾーンと日時 357
タイムラプス動画 282
多重露出 257
タッチシャッター 100

タッチ操作 368
タッチパネル 50
縦/横位置フォーカスポイント切換 316
縦位置自動回転 214
チャージャー 69
中央部重点測光 150
中央部重点測光範囲 322
調光補正 457
長時間露出 121
調色（ピクチャーコントロール） 138
長秒時ノイズ低減 239
著作権情報 367
通常発光 149, 455
低速連続撮影 153
低速連続撮影速度 324
適用度(ピクチャーコントロール) 137
手ブレ補正 156
電球（ホワイトバランス） 106
電源OFF中の通信 372
電子音 368
電子手ブレ補正 166, 307
動画記録ファイル形式 302
動画撮影ボタン 83
動画撮影メニュー 300
動画撮影メニューのリセット 301
動画の画質 160, 301
動画編集（始点/終点設定） 405
統合表示 180
動物AF 97
トリミング 391
曇天（ホワイトバランス） 106

ナ

内蔵AF補助光の照射設定 320
内蔵マイク 83
ニュートラル（ピクチャーコントロール） 135
認証情報 376

ハ

ハイライト重点測光 150
ハイライト表示 173, 353
発光禁止 149, 456
発光モード 454
バッテリー 69, 70
バッテリーチャージャー 69
バルブ撮影 121
パワーオフ時間 72, 324
パワーセーブ（静止画モード） 377
半押し（シャッターボタン） 79
半押しAFレンズ駆動 317
半押しタイマー 72
ピクセルマッピング 365
ピクチャーコントロール 134, 233
ヒストグラム 56, 57
日付と時刻を設定する 76
日付を選択して削除 196
瞳AF 96
ビビッド（ピクチャーコントロール） 135
表示中のフレームを保存 190
表示パネル 37
標準表示 172
ピント表示 102

ピンポイントAF 92
ファームウェアバージョン 382
ファイル名設定 222, 301
ファインダー 41
ファインダーの明るさ 359
ファインダーのカラーカスタマイズ 359
フィルター効果（ピクチャーコントロール） 138
風景（ピクチャーコントロール） 135
フォーカス位置の記憶 363
フォーカスシフト撮影 290
フォーカスピーキング 104, 328
フォーカスポイント循環選択 318
フォーカスポイント表示の設定 318
フォーカスモード 90, 158, 167
フォーカスリング 102
フォーカスロック 129
フラッシュ（ホワイトバランス） 107
フラッシュ撮影同調速度 328
フラッシュ時シャッタースピード制限 330
フラッシュ使用時の露出補正 330
フラッシュ調光補正 245, 457
フラッシュ発光 243
フラッシュブラケティング 247
フラッシュモード 149, 455
フラット（ピクチャーコントロール） 135
フランジバック 103
プリセットマニュアル（ホワイトバランス） 107, 142, 230
フリッカー低減 305
フリッカー低減撮影 242
フルタイムAF 91
プログラムオート 116
プログラムシフト 116
プロテクト 114
ペアリング（Bluetooth） 370
ポートレート（ピクチャーコントロール） 135
ボタンのホールド設定 345
ホワイトバランス 105, 139, 226
本体充電ACアダプター 516

マ

マイク感度 163, 307
マイメニュー 406
マニュアル（撮影モード） 118
マニュアルフォーカス 91, 102
マルチパターン測光 150
ミドルレンジシャープ（ピクチャーコントロール） 138
明瞭度（ピクチャーコントロール） 138
メインコマンドダイヤル 44
メニュー設定の保存と読み込み 378
メモリーカード 545
モニターの明るさ 357
モニターのカラーカスタマイズ 358
モニターモードの限定 360
モノクローム（ピクチャーコントロール） 135
モノトーン 398

ヤ

ゆがみ補正 397

ラ

リサイズ 392
リモート撮影 433
リモコン（ML-L7）設定 374
輪郭強調（ピクチャーコントロール） 138
レーティング 112, 216
レリーズモード 152, 245
レリーズモード（フレーム保存） 306
レンズ情報手動設定 363
レンズの取り付け 73
レンズの取り外し 74
連続撮影 306
連続撮影可能コマ数 155
連続撮影コマ数 324
連続撮影中の表示 328
連番モード 326
ローライトAF 319
録音帯域 308
露出インジケーター 120
露出ディレーモード 325
露出補正 126
露出補正簡易設定 321
露出補正ダイヤル 46, 126

ワ

ワイドエリアAF（L） 94
ワイドエリアAF（L-人物） 94
ワイドエリアAF（L-動物） 94
ワイドエリアAF（S） 94
ワイヤレストランスミッターユーティリティー 413

ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重要なお知らせなどをメールでご案内いたします。ニコンイメージング会員登録および製品登録は以下ニコンホームページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内
https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

ニコンイメージングサポートページのご案内

https://www.nikon-image.com/support/
最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

CT4A07(10)
6MO00210-07

© 2021 Nikon Corporation